都道府県別地震被害想定概要集

平成２２年６月

内閣府（防災担当）

目　次

1　本資料の趣旨・留意点

(1)　本資料の趣旨

これまで中央省庁においては、「首都直下地震対策大綱」（平成 17 年９月中央防災会議決定　平成 22 年１月同修正）に基づき、「中央省庁業務継続ガイドライン　第１版」（平成 19 年６月内閣府（防災担当））を踏まえ、首都直下地震発災時に機能継続性を確保するための計画として業務継続計画の策定が進められてきた。一方、国の地方支分部局等についても、国の行政機関として、その管轄区域において、平常時から国家機能、国民生活及び経済活動等に係る重要な業務を担っている組織であり、大規模な地震により被災した場合であっても、役割を適切に果たすことが求められる。そのため、中央省庁に加えて、全国の地方支分部局等についても、大規模な地震により地方支分部局等が被災し機能低下した際においても、適切に業務執行が行えるよう、業務継続計画を策定することとされたところである。

業務継続計画の策定に当たっては、非常時優先業務（応急業務及び継続の必要性の高い通常業務）を選定し、その業務の遂行に必要な資源の確保状況を分析する前提として、計画が対象とする危機的事象（地方支分部局等の管轄区域の被害が最も甚大となる地震又は地方支分部局等自体の被害が最も甚大となる地震）を特定する必要がある。地方支分部局等の所在地は全国にわたることから、各地方支分部局等が業務継続計画の策定に当たり、想定事象を容易に選定できるよう、内閣府（防災担当）において、各都道府県別の地震に係る被害想定を整理することとした。本資料は、中央防災会議において実施した被害想定及び各都道府県（北海道については札幌市、以下同じ。）が実施した被害想定の概要を取りまとめたものである。本資料が、業務継続計画の策定のみならず、各種防災対策の推進に活用されることを期待する。

(2)　本資料の留意点

本資料は、中央防災会議及び各都道府県がそれぞれ実施した被害想定を取りまとめたものであるから、被害想定の実施主体によって、地震モデルの設定、人的・物的被害の推計方法等が異なっている。そのため、活用に当たっては、以下の点に留意する必要がある。

・被害が広域に及ぶ大規模な地震である、東海地震、東南海・南海地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、中部圏・近畿圏直下地震については、中央防災会議が被害想定を行っているため、２．にその概要を掲載している。中央防災会議の被害想定は、広域な防災対策を検討するためにマクロの被害を把握する目的で行ったものであるから、ブロック機関の管轄区域全体の被害など、都道府県を越える広域の被害を把握するときは、中央防災会議の被害想定を参照することが適当である。また、中央防災会議の被害想定の都道府県別の被害は、マクロの被害を把握する目的で行っているという趣旨から、ある程度幅を持って理解する必要があるほか、各都道府県が実施する被害想定結果とは異なっている。なお、２．に掲載した内容は、中央防災会議が実施した被害想定結果の一部であるため、さらに詳細な内容については、内閣府（防災担当）ホームページを参照する必要がある。

・各都道府県は、各地域の防災対策を検討するため、詳細な被害想定を実施しており、３．に各都道府県が実施した被害想定の概要を整理して掲載している。都道府県単位機関の管轄区域の被害を把握するときは、各都道府県の被害想定を参照することができる。また、各都道府県の被害想定は、市町村単位でも推計されていることから、庁舎が所在する周辺の被害を想定する便宜を図るため、都道府県全体だけでなく、都道府県庁所在地、政令指定都市、中核市の被害想定を併せて掲載している。また、ライフライン支障を想定する便宜を図るため、ライフライン（電力、上水道、電話・通信）の都道府県単位の被害想定についても、併せて掲載している。

・３．の都道府県の被害想定部分の取りまとめに当たっては、各都道府県の地震被害想定報告書等を収集し、それらについて統一的な様式にて整理・一覧化を行った。しかしながら、都道府県によっては、一覧表中の被害想定項目について、必ずしも出典の報告書等に掲載していなかったり、そもそも想定を実施していなかったりする場合があるため、一覧表中において想定結果が空欄となっている箇所がある。また、出典元の資料によっては図が鮮明でないために見にくかったりする箇所がある。そのため、より詳細な内容を参照したい場合には、各都道府県の担当課への問い合わせ等を通じて、各掲載箇所に記した出典資料を参照する必要がある。

・市単位の被害想定の数値は基本的には出典資料の策定当時のものであり、その後の市町村合併は考慮されていない。ただし、一部の県においては、出典資料の策定後に合併した市について、合併元の市町村の数値を合算することで合併後の市の数値として記載している場合があり、その旨は、注釈にて記載しているため、留意する必要がある。

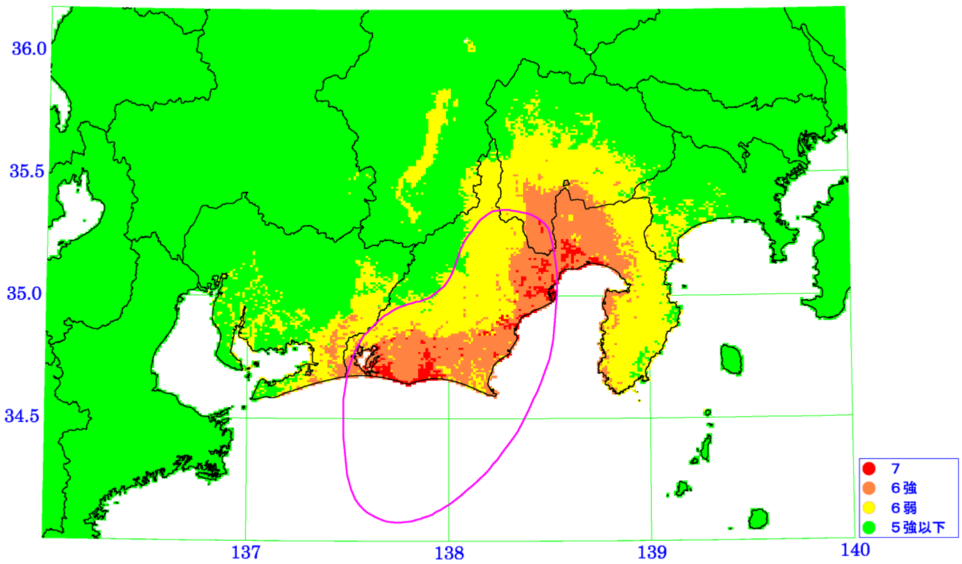
2　中央防災会議による地震被害想定調査結果（概要）

(1)　東海地震

出典：東海地震対策（http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_toukai/toukai_top.html）

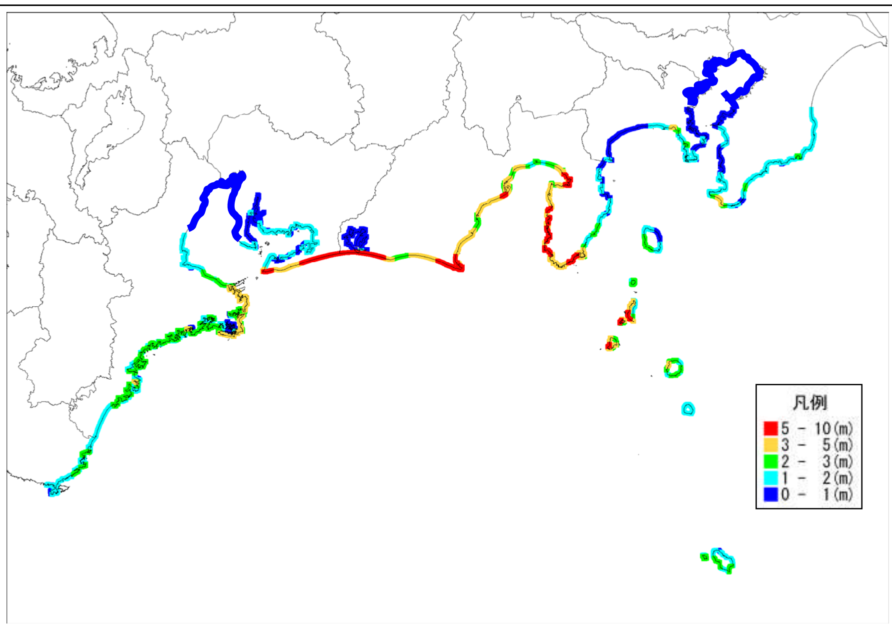
①震度分布図

東海地震の震度分布



②津波高さ想定図

東海地震による海岸での津波の高さ（満潮時）



③都県別の被害状況について

ａ．人的被害

【予知情報なし】　**死者数（Ｓ１モデル）**

	5時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 6,700	約 7,100	約400～約2,200	約 700	約 200	約 600	約7,900～約9,600	約8,300～約10,000
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	約 10	－	約 10	－	－	約10～約20	約10～約20
山梨県	約 100	約 200		約 80	－	－	約 200	約 200
長野県	約 70	約 100		約 50	－	約 20	約 100	約 100
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 6,100	約 6,300	約300～約1,700	約 500	約 200	約 500	約7,100～約8,400	約7,400～約8,800
愛知県	約 300	約 500	0～約20	約 100	約 10	約 40	約 500	約 500
三重県	－	－	約60～約500	－	－	－	約70～約500	約70～約500
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	0～約10	－	－	－	0～約10	0～約10

	12時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 3,400	約 3,600	約200～約1,000	約 400	約 80	約 300	約4,100～約4,900	約4,300～約5,100
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 50	約 80		約 40	－	－	約 90	約 90
長野県	約 20	約 50		約 30	－	－	約 50	約 60
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 3,200	約 3,200	約200～約800	約 300	約 70	約 200	約3,700～約4,400	約3,900～約4,500
愛知県	約 100	約 200	－	約 50	－	約 10	約 200	約 200
三重県	－	－	約20～約200	－	－	－	約20～約200	約20～約200
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	－	－	－	－	－	－

	18時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 3,400	約 3,600	約200～約1,100	約 500	約 600	約 1,400	約4,600～約5,500	約5,400～約6,300
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	0～約10	0～約10
山梨県	約 70	約 100		約 40	－	約 10	約 100	約 100
長野県	約 40	約 70		約 30	－	約 50	約 70	約 100
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 3,000	約 3,100	約200～約800	約 300	約 500	約 1,100	約3,900～約4,500	約4,500～約5,100
愛知県	約 300	約 400	0～約10	約 80	約 100	約 300	約 500	約 600
三重県	－	－	約30～約300	－	－	－	約30～約300	約30～約300
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	－	－	－	－	－	－

ー：わずか

※津波の被害については、避難意識の高低と水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

【予知情報あり】

	5時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 1,700	約 1,900	約50～約300	約 100	約 80	約 200	約2,000～約2,300	約2,100～約2,400
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 40	約 60		約 10	－	－	約 50	約 50
長野県	約 20	約 40		－	－	－	約 30	約 30
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 1,600	約 1,600	約40～約300	約 70	約 80	約 200	約1,800～約2,000	約1,900～約2,100
愛知県	約 90	約 100	－	約 10	－	約 10	約 100	約 100
三重県	－	－	0～約80	－	－	－	約10～約80	約10～約80
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	－	－	－	－	－	－

	12時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 900	約 900	約30～約200	約 70	約 40	約 100	約1,000～約1,100	約1,100～約1,200
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 10	約 20		－	－	－	約 20	約 20
長野県	－	約 10		－	－	－	約 10	約 10
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 800	約 800	約20～約100	約 50	約 40	約 100	約900～約1,000	約1,000～約1,100
愛知県	約 40	約 50	－	－	－	－	約 50	約 50
三重県	－	－	0～約30	－	－	－	0～約30	0～約30
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	－	－	－	－	－	－

	18時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 900	約 900	約30～約200	約 70	約 100	約 400	約1,100～約1,200	約1,400～約1,500
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 20	約 30		－	－	－	約 30	約 30
長野県	－	約 20		－	－	約 10	約 10	約 20
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 800	約 800	約20～約100	約 40	約 100	約 300	約900～約1,000	約1,200～約1,300
愛知県	約 70	約 100	－	約 10	約 20	約 60	約 100	約 100
三重県	－	－	0～約40	－	－	－	0～約40	0～約40
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	－	－	－	－	－	－

ー：わずか

※津波の被害については、避難意識の高低と水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

死者数（Ｄ１モデル）

【予知情報なし】

	5時								12時								18時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計		建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計		建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 6,000	約 6,600	約400～約2,200	約 800	約 100	約 500	約7,300～約9,200	約7,600～約9,500	約 3,100	約 3,300	約200～約1,000	約 500	約 70	約 200	約3,800～約4,700	約4,000～約4,800	約 3,000	約 3,300	約200～約1,100	約 500	約 500	約 1,300	約4,200～約5,100	約5,000～約5,900
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	約 40	約 80	－	約 50	－	－	約90～約100	約90～約100	約 10	約 30	－	約 30	－	－	約 40	約 40	約 20	約 40	－	約 30	－	約 20	約 50	約 70
山梨県	約 300	約 400		約 100	－	－	約 400	約 400	約 100	約 200		約 50	－	－	約 100	約 100	約 100	約 200		約 60	－	約 50	約 200	約 200
長野県	約 70	約 100		約 50	－	約 20	約 100	約 100	約 20	約 50		約 30	－	－	約 50	約 60	約 40	約 70		約 30	－	約 50	約 70	約 100
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 5,500	約 5,700	約300～約1,700	約 500	約 100	約 500	約6,400～約7,800	約6,700～約8,100	約 2,900	約 3,000	約200～約800	約 400	約 70	約 200	約3,400～約4,100	約3,600～約4,300	約 2,700	約 2,800	約200～約800	約 300	約 400	約 1,100	約3,600～約4,200	約4,200～約4,900
愛知県	約 100	約 200	0～約20	約 50	－	約 20	約 200	約 200	約 60	約 100	－	約 30	－	－	約90～約100	約 100	約 100	約 200	0～約10	約 40	約 70	約 200	約 200	約 300
三重県	－	－	約60～約500	－	－	－	約60～約500	約60～約500	－	－	約20～約200	－	－	－	約20～約200	約20～約200	－	－	約30～約300	－	－	－	約30～約300	約30～約300
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	0～約10	－	－	－	0～約10	0～約10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

－：わずか

※津波の被害については、避難意識の高低と水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

【予知情報あり】

	5時								12時								18時							
	建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計		建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計		建物倒壊		津波	斜面崩壊	火災		合計	
		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m		(参考)ばらつきを考慮			風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
全国	約 1,600	約 1,700	約50～約300	約 100	約 70	約 200	約1,800～約2,100	約1,900～約2,200	約 800	約 900	約30～約200	約 70	約 30	約 90	約900～約1,100	約1,000～約1,100	約 800	約 900	約30～約200	約 80	約 100	約 400	約1,000～約1,100	約1,300～約1,400
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	約 10	約 20	－	－	－	－	約 20	約 20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	約 10	－	－	－	－	約 10	約 10
山梨県	約 70	約 100		約 10	－	－	約 90	約 90	約 30	約 40		－	－	－	約 30	約 30	約 40	約 60		－	－	－	約 50	約 50
長野県	約 20	約 40		－	－	－	約 30	約 30	－	約 10		－	－	－	約 10	約 10	－	約 20		－	－	約 10	約 10	約 20
岐阜県	－	－		－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
静岡県	約 1,400	約 1,500	約40～約300	約 80	約 70	約 200	約1,600～約1,800	約1,700～約1,900	約 700	約 800	約20～約100	約 50	約 30	約 90	約900～約1,000	約900～約1,000	約 700	約 700	約20～約100	約 50	約 100	約 300	約900～約1,000	約1,100～約1,200
愛知県	約 40	約 60	－	－	－	－	約 50	約 50	約 20	約 30	－	－	－	－	約 20	約 20	約 30	約 50	－	－	約 20	約 40	約 60	約 80
三重県	－	－	0～約80	－	－	－	0～約80	0～約80	－	－	0～約30	－	－	－	0～約30	0～約30	－	－	0～約40	－	－	－	0～約40	0～約40
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

－：わずか

※津波の被害については、避難意識の高低と水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

ｂ．建物被害

全壊棟数（S1モデル）　（朝５時の場合）

【予知情報なし】

	揺れ		液状化	津波	斜面災害	火災		合計	
		(参考)＊				風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
総計	約 170,000	約 180,000	約 26,000	約 6,800 ～ 約 10,000	約 7,700	約 14,000	約 50,000	約 230,000	約 260,000 ～ 約 270,000
東京都	－	－	－	－	約 20	－	－	約 20	約 20
神奈川県	約 100	約 300	約 900	約 20	約 100	－	－	約 1,100	約 1,100
山梨県	約 2,900	約 4,200	約 1,000		約 800	－	－	約 4,700	約 4,700
長野県	約 1,300	約 2,700	約 900		約 600	－	約 1,500	約 2,800	約 4,200
岐阜県	－	約 10	約 200		約 10	－	－	約 200	約 200
静岡県	約 160,000	約 160,000	約 9,900	約 2,000 ～ 約 4,500	約 5,100	約 13,000	約 45,000	約 190,000	約 220,000
愛知県	約 11,000	約 15,000	約 12,000	約 600 ～ 約 1,400	約 1,100	約 1,000	約 3,300	約 26,000 ～ 約 27,000	約 28,000 ～ 約 29,000
三重県	－	－	約 800	約 3,600	約 70	－	－	約 4,500	約 4,500
千葉県	－	－	－	約 300	－	－	－	約 300	約 300
和歌山県	－	－	－	約 300	－	－	－	約 300	約 300

＊ 震度6弱のばらつきを考慮した場合
－：わずか
※津波の被害については、水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

【予知情報あり】

	揺れ		液状化	津波	斜面災害	火災		合計	
		(参考)＊				風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
総計						約 7,400	約 19,000	約 220,000	約 230,000
東京都	同上					－	－	約 20	約 20
神奈川県						－	－	約 1,100	約 1,100
山梨県						－	－	約 4,700	約 4,700
長野県						－	－	約 2,800	約 2,800
岐阜県						－	－	約 200	約 200
静岡県						約 7,100	約 18,000	約 180,000	約 190,000
愛知県						約 300	約 1,200	約 25,000 ～ 約 26,000	約 26,000 ～ 約 27,000
三重県						－	－	約 4,500	約 4,500
千葉県						－	－	約 300	約 300
和歌山県						－	－	約 300	約 300

＊ 震度6弱のばらつきを考慮した場合
－：わずか
※津波の被害については、水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

全壊棟数（D1モデル）　（朝５時の場合）

【予知情報なし】

	揺れ		液状化	津波	斜面災害	火災		合計	
		(参考)＊				風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
総計	約 150,000	約 170,000	約 23,000	約 6,800 ～ 約 10,000	約 8,500	約 12,000	約 43,000	約 200,000 ～ 約 210,000	約 230,000 ～ 約 240,000
東京都	－	－	－	－	約 80	－	－	約 80	約 80
神奈川県	約 1,000	約 2,000	約 2,500	約 20	約 600	－	－	約 4,000	約 4,000
山梨県	約 5,800	約 8,500	約 1,200		約 1,000	－	－	約 8,000	約 8,000
長野県	約 1,300	約 2,700	約 400		約 600	－	約 1,500	約 2,200	約 3,700
岐阜県	－	－	約 100		－	－	－	約 100	約 100
静岡県	約 140,000	約 140,000	約 9,800	約 2,000 ～ 約 4,500	約 5,700	約 12,000	約 40,000	約 170,000	約 200,000
愛知県	約 4,700	約 7,400	約 9,100	約 600 ～ 約 1,400	約 500	約 700	約 1,600	約 16,000	約 17,000
三重県	－	－	約 400	約 3,600	約 30	－	－	約 3,900	約 3,900
千葉県	－	－	－	約 300	－	－	－	約 300	約 300
和歌山県	－	－	－	約 300	－	－	－	約 300	約 300

＊ 震度6弱のばらつきを考慮した場合
－：わずか

※津波の被害については、水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

【予知情報あり】

	揺れ		液状化	津波	斜面災害	火災		合計	
		(参考)＊				風速3m	風速15m	風速3m	風速15m
総計						約 5,800	約 16,000	約 200,000	約 210,000
東京都						－	－	約 80	約 80
神奈川県						－	－	約 4,000	約 4,000
山梨県						－	－	約 8,000	約 8,000
長野県						－	－	約 2,200	約 2,200
岐阜県						－	－	約 100	約 100
静岡県	同上					約 5,800	約 16,000	約 160,000 ～ 約 170,000	約 170,000 ～ 約 180,000
愛知県						－	約 200	約 15,000 ～ 約 16,000	約 15,000 ～ 約 16,000
三重県						－	－	約 3,900	約 3,900
千葉県						－	－	約 300	約 300
和歌山県						－	－	約 300	約 300

＊ 震度6弱のばらつきを考慮した場合
－：わずか

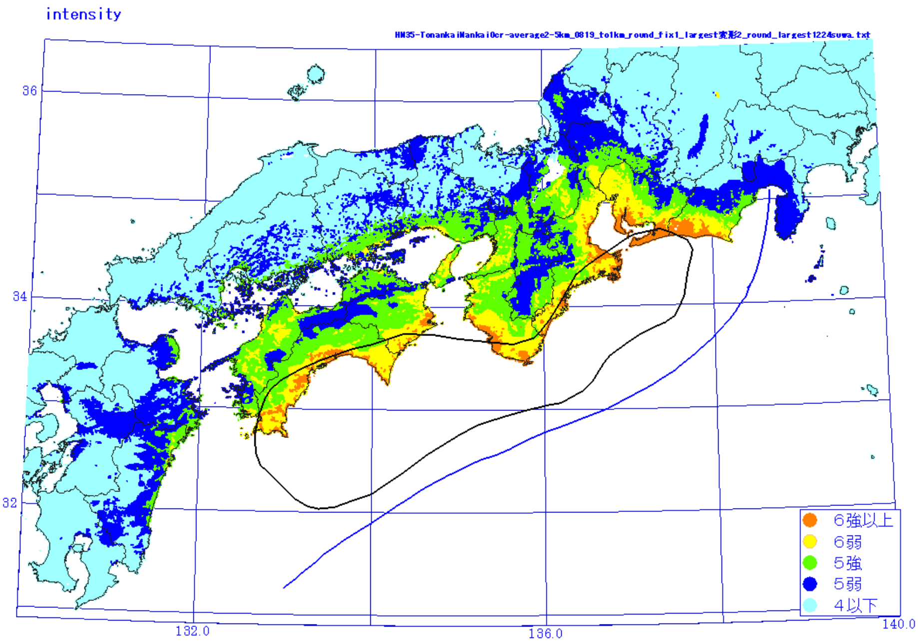
※津波の被害については、水門の閉鎖不可能等を考慮し、幅をもって示している。

(2)　東南海・南海地震

出典：東南海・南海地震対策（http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_nankai/nankai_top.html）

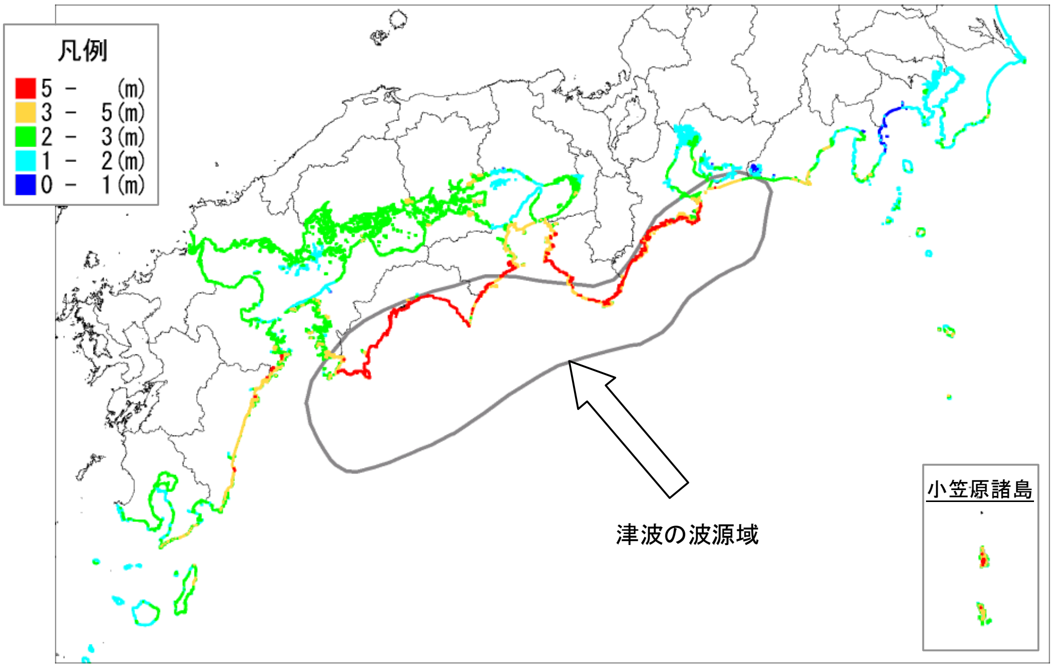
①震度分布図

東南海＋南海地震の震度分布



②津波高さ想定図

東南海＋南海地震による海岸での津波の高さ（満潮時）



③都県別の被害状況について

a．人的被害＜死者数＞

	5時						12時						18時						(参考)水門の閉鎖不能等を考慮した場合の増加分 ＜5時＞	
	建物倒壊	(参考)ばらつきを考慮	津波	斜面崩壊	火災	合計	建物倒壊	(参考)ばらつきを考慮	津波	斜面崩壊	火災	合計	建物倒壊	(参考)ばらつきを考慮	津波	斜面崩壊	火災	合計	避難意識が高い場合	避難意識が低い場合
全国	約 6,600	約 8,000	約 3,300～約8,600	約 2,100	約 100～約 500	約12,100～約17,800	約 2,900	約 3,400	約 2,200～約 4,100	約 1,100	約 60～約 200	約 6,300～約 8,200	約 4,000	約 4,900	約 2,300～約 5,000	約 1,300	約 900～約 2,200	約 8,500～約12,500	約 1,400	約 3,200
埼玉県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東京都	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
新潟県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
富山県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
石川県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
福井県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
山梨県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
長野県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
岐阜県	約 20	約 60		－	－	約 20	－	約 20		－	－	約 10	約 20	約 50		－	0 ～約 20	約30～約40	－	－
静岡県	約 1,300	約 1,400	－	約 100	約 40～約 100	約 1,400～約 1,500	約 700	約 700	－	約 70	約 20～約 60	約 800	約 700	約 700	－	約 70	約 100～約 300	約 800～約 1,000	－	約 20
愛知県	約 1,400	約 1,900	－	約 200	約 60～約 100	約 1,700～約 1,800	約 700	約 800	－	約 100	約 20～約 50	約 800～約 900	約 1,200	約 1,500	－	約 200	約 400～約 1,000	約 1,800～約 2,400	約 100	約 200
三重県	約 1,300	約 1,600	約 400～約 1,000	約 300	約 20～約 70	約 1,900～約 2,600	約 500	約 600	約 200～約 400	約 100	0 ～約 30	約 900～約 1,100	約 700	約 900	約 200～約 600	約 200	約 100～約 300	約 1,200～約 1,700	約 500	約 1,100
滋賀県	－	約 30		－	－	約 10	－	約 10		－	－	－	－	約 20		－	－	－	－	－
京都府	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
大阪府	約 20	約 100	－	約 30	－	約 50	－	約 40	－	約 10	－	約 20	約 20	約 80	－	約 20	約10～約40	約50～約80	－	－
兵庫県	約 40	約 80	－	約 50	－	約 90	約 10	約 30	－	約 30	－	約 50	約 20	約 40	－	約 40	約10～約30	約70～約90	－	－
奈良県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
和歌山県	約 1,000	約 1,200	約 1,400～約 3,300	約 300	約 10～約 40	約 2,700～約 4,600	約 400	約 400	約 900～約 1,500	約 100	0 ～約 20	約 1,400～約 2,100	約 500	約 600	約 1,000～約 1,900	約 200	約 80～約 200	約 1,700～約 2,800	約 200	約 400
鳥取県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
島根県	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
岡山県	－	約 30	－	約 50	－	約 50	－	－	－	約 30	－	約 30	－	約 10	－	約 30	0 ～約 10	約40～約50	－	－
広島県	－	－	－	約 30	－	約 30	－	－	－	約 10	－	約 10	－	－	－	約 20	－	約 20	－	－
山口県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
徳島県	約 300	約 300	約 500～約 900	約 100	0 ～約 20	約 900～約 1,300	約 100	約 100	約 300～約 500	約 80	－	約 500～約 700	約 100	約 200	約 300～約 500	約 90	0 ～約 50	約 600～約 800	約 80	約 200
香川県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
愛媛県	約 40	約 100	0 ～約 20	約 90	－	約 100～約 200	約 10	約 50	0 ～約 10	約 40	－	約 60～約 70	約 20	約 70	0 ～約 10	約 50	0 ～約 10	約 80～約 100	－	－
高知県	約 1,200	約 1,300	約 1,000～約 2,900	約 700	約 20～約 70	約 2,900～約 4,900	約 500	約 500	約 700～約 1,400	約 400	0 ～約 30	約 1,600～約 2,300	約 600	約 700	約 700～約 1,700	約 400	約 90～約 300	約 1,900～約 3,100	約 500	約 1,300
福岡県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
熊本県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大分県	－	－	0 ～約 20	約 10	－	約10～約30	－	－	－	－	－	0 ～約 10	－	－	0 ～約 10	－	－	0 ～約 20	－	－
宮崎県	－	約 10	約 50～約 500	約 20	－	約 70～約 500	－	－	約 30～約 200	－	－	約 40～約 200	－	－	約 30～約 300	約 10	－	約 40～約 300	－	－
鹿児島県	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

－：わずか

※津波の被害については避難意識の高低を、火災の被害については風速の違いを考慮し、幅をもって示している。

b．建物被害＜全壊棟数＞

被害が最大となる夕方 18 時の場合

	揺れ		液状化	津波	斜面災害	火災	合計	(参考)水門の閉鎖不能等を考慮した場合の増加分
		(参考)＊						
総計	約 170,200	約 202,500	約 83,100	約 40,400	約 21,700	約 119,200 ～約 313,200	約 434,700 ～約 628,700	約 16,300
埼玉県	－	－	－		－	－	－	－
千葉県	－	－	－	－	－	－	－	－
東京都	－	－	－	約 30	－	－	約 30	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－	－
新潟県	－	－	－		－	－	－	－
富山県	－	－	－		－	－	－	－
石川県	－	－	－		－	－	－	－
福井県	－	－	－		約 20	－	約 30	－
山梨県	－	－	－		－	－	－	－
長野県	約 20	約 90	約 70		約 30	－	約 100	－
岐阜県	約 400	約 1,200	約 3,400		約 60	約 900 ～約 1,900	約 4,700 ～約 5,700	－
静岡県	約 34,500	約 36,400	約 5,200	約 60	約 1,200	約 22,600 ～約 62,400	約 63,500 ～約 103,300	約 80
愛知県	約 47,400	約 59,400	約 27,100	－	約 2,600	約 41,600 ～約 103,200	約 118,500 ～約 180,200	約 3,100
三重県	約 29,700	約 34,800	約 7,400	約 3,800	約 2,900	約 19,800 ～約 47,200	約 63,600 ～約 91,000	約 4,100
滋賀県	約 100	約 600	約 1,000		約 50	－	約 1,200	－
京都府	約 10	約 90	約 1,200		約 60	－	約 1,200	－
大阪府	約 700	約 2,800	約 12,200	約 100	約 300	約 1,500 ～約 4,600	約 14,800 ～約 17,900	約 40
兵庫県	約 1,000	約 2,100	約 3,900	約 600	約 600	約 1,500 ～約 3,500	約 7,600 ～約 9,600	約 1,300
奈良県	－	約 20	約 1,400		約 70	－	約 1,400	－
和歌山県	約 22,300	約 25,400	約 3,300	約 15,000	約 2,800	約 13,100 ～約 32,500	約 56,500 ～約 75,900	約 1,900
鳥取県	－	－	－		－	－	－	－
島根県	－	－	－		－	－	－	－
岡山県	約 50	約 200	約 4,600	約 800	約 500	約 1,200 ～約 2,300	約 7,100 ～約 8,300	－
広島県	－	－	約 3,100	約 600	約 300	－	約 4,000	－
山口県	－	－	約 400	－	約 80	－	約 500	－
徳島県	約 6,500	約 8,000	約 2,800	約 2,900	約 1,500	約 1,200 ～約 8,800	約 15,000 ～約 22,600	約 600
香川県	約 20	約 100	約 1,600	約 100	約 10	－	約 1,700	－
愛媛県	約 800	約 2,700	約 2,500	約 300	約 900	約 400 ～約 1,900	約 5,000 ～約 6,400	約 200
高知県	約 26,700	約 28,300	約 1,400	約 12,900	約 7,500	約 15,200 ～約 44,800	約 63,700 ～約 93,300	約 4,900
福岡県	－	－	約 20	－	－	－	約 20	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	－	－	－	－	－	－
熊本県	－	－	約 20	－	－	－	約 20	－
大分県	－	－	約 300	約 800	約 100	－	約 1,200	－
宮崎県	約 50	約 200	約 500	約 2,300	約 200	－	約 3,000	約 70
鹿児島県	－	－	－	－	－	－	－	－

＊ 震度6弱のばらつきを考慮した場合

－：わずか

※火災の被害については、風速の違いを考慮し、幅をもって示している。

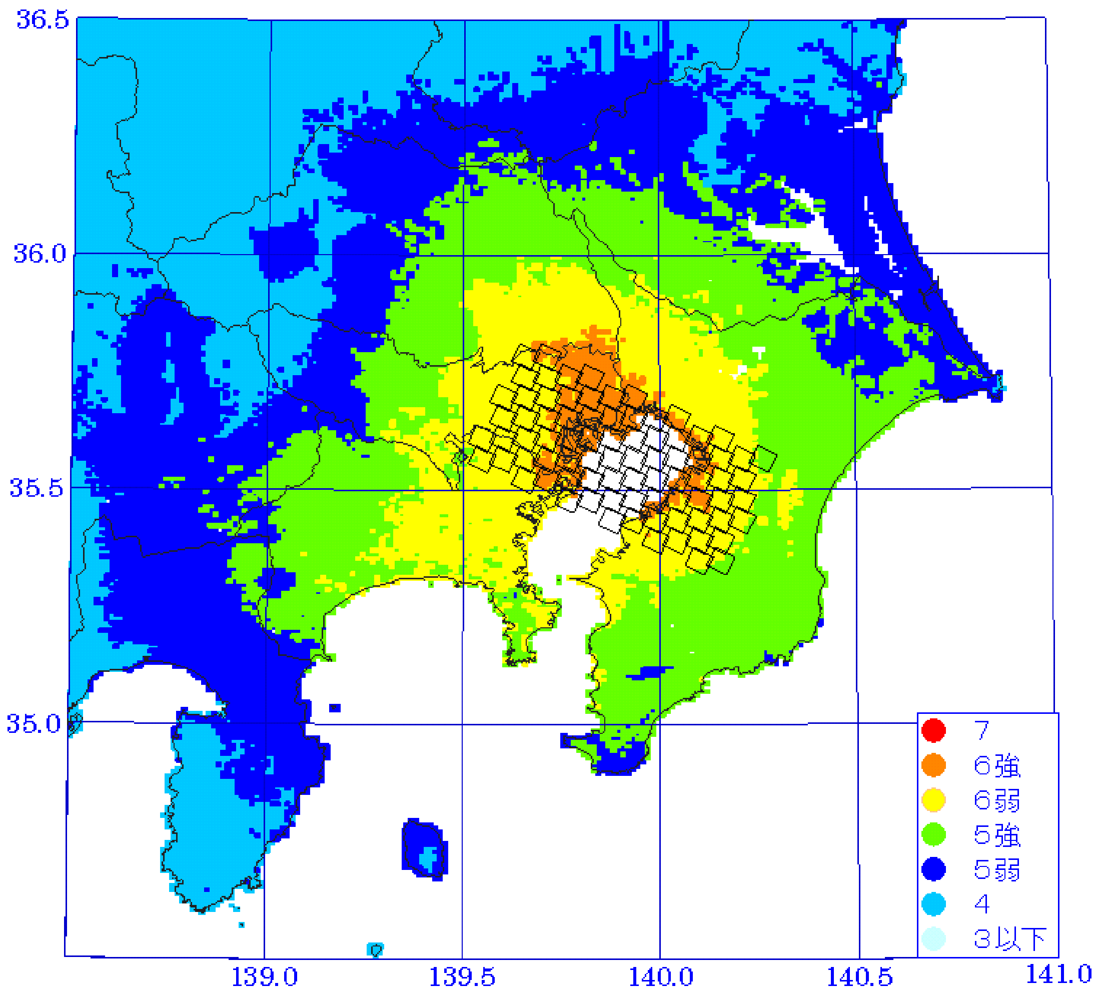
(3)　首都直下地震

出典：首都直下地震対策（http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_syuto/syuto_top.html）

1)東京湾北部地震　M7.3

①震度分布図

東京湾北部地震 M7.3 の震度分布



②都県別の被害状況について

ａ．人的被害＜死者数＞

5 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約400	（約90）	－	約30	－	約400	（約200）
千葉県		約600	（約100）	約70	約50	－	約700	（約300）
東京都		約2,800	（約200）	約300	約300	－	約3,400	（約1,700）
神奈川県		約400	（約100）	約700	約20	－	約1,100	（約400）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約4,200	（約600）	約1,000	約400	－	約5,600	（約2,600）
	構成比	75%	(10%)	18%	7%	－	100%	(46%)

5 時発生、風速 3m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約400	（約90）	－	約10	－	約400	（約200）
千葉県		約600	（約100）	約70	約20	－	約700	（約200）
東京都		約2,800	（約200）	約300	約40	－	約3,100	（約1,300）
神奈川県		約400	（約100）	約700	－	－	約1,100	（約300）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約4,200	（約600）	約1,000	約70	－	約5,300	（約2,000）
	構成比	79%	(10%)	19%	1%	－	100%	(38%)

（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

8 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約300	（約50）	－	約30	約20	約300	（約200）
千葉県		約400	（約60）	約50	約50	約60	約500	（約300）
東京都		約2,200	（約200）	約300	約300	約500	約3,400	（約1,700）
神奈川県		約300	（約80）	約500	約20	約100	約900	（約400）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約3,200	（約400）	約800	約400	約800	約5,100	（約2,600）
	構成比	62%	（7%）	15%	8%	15%	100%	（51%）

8 時発生、風速 3m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約300	（約50）	－	約10	約20	約300	（約200）
千葉県		約400	（約60）	約50	約20	約60	約500	（約200）
東京都		約2,200	（約200）	約300	約40	約500	約3,100	（約1,300）
神奈川県		約300	（約80）	約500	－	約100	約900	（約300）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約3,200	（約400）	約800	約70	約800	約4,800	（約2,000）
	構成比	66%	（8%）	16%	2%	16%	100%	（42%）

（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計欄の値と一致しない。

12 時発生、風速 15m/s の場合

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県	−	−	−	−	−	−	−
栃木県	−	−	−	−	−	−	−
群馬県	−	−	−	−	−	−	−
埼玉県	約100	（約40）	−	約30	約20	約200	（約200）
千葉県	約200	（約50）	約40	約80	約60	約400	（約300）
東京都	約1,800	（約100）	約500	約500	約500	約3,300	（約1,800）
神奈川県	約200	（約60）	約400	約30	約100	約700	（約400）
山梨県	−	−	−	−	−	−	−
静岡県	−	−	−	−	−	−	−
合計 死者数	約2,400	（約300）	約900	約600	約800	約4,600	（約2,700）
合計 構成比	51%	(6%)	19%	14%	16%	100%	(58%)

12 時発生、風速 3m/s の場合

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県	−	−	−	−	−	−	−
栃木県	−	−	−	−	−	−	−
群馬県	−	−	−	−	−	−	−
埼玉県	約100	（約40）	−	約10	約20	約200	（約200）
千葉県	約200	（約50）	約40	約30	約60	約300	（約200）
東京都	約1,800	（約100）	約500	約60	約500	約2,900	（約1,300）
神奈川県	約200	（約60）	約400	−	約100	約700	（約400）
山梨県	−	−	−	−	−	−	−
静岡県	−	−	−	−	−	−	−
合計 死者数	約2,400	（約300）	約900	約100	約800	約4,100	（約2,000）
合計 構成比	58%	(7%)	21%	3%	18%	100%	(49%)

（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計欄の値と一致しない。

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		−	−	−	−	−	−	−
栃木県		−	−	−	−	−	−	−
群馬県		−	−	−	−	−	−	−
埼玉県		約200	（約50）	−	約500	約20	約700	（約300）
千葉県		約400	（約60）	約50	約700	約60	約1,200	（約400）
東京都		約2,200	（約200）	約400	約4,700	約500	約7,800	（約2,900）
神奈川県		約300	（約80）	約400	約300	約100	約1,200	（約500）
山梨県		−	−	−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−	−	−
合計	死者数	約3,100	（約400）	約900	約6,200	約800	約11,000	（約4,100）
	構成比	28%	(3%)	8%	57%	7%	100%	(37%)

18 時発生、風速 3m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		−	−	−	−	−	−	−
栃木県		−	−	−	−	−	−	−
群馬県		−	−	−	−	−	−	−
埼玉県		約200	（約50）	−	約200	約20	約500	（約200）
千葉県		約400	（約60）	約50	約300	約60	約800	（約300）
東京都		約2,200	（約200）	約400	約1,700	約500	約4,800	（約1,900）
神奈川県		約300	（約80）	約400	約100	約100	約1,000	（約400）
山梨県		−	−	−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−	−	−
合計	死者数	約3,100	（約400）	約900	約2,400	約800	約7,100	（約2,900）
	構成比	43%	(5%)	13%	33%	11%	100%	(40%)

（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

5 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約12,000	約28,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約14,000	約39,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約120,000	約240,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約21,000	約51,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約160,000	約360,000
	構成比	42%	9%	3%	46%	100%

5 時発生、風速 3m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約5,300	約21,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約7,100	約32,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約26,000	約150,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約1,600	約32,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約40,000	約230,000
	構成比	63%	14%	5%	17%	100%

（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

8 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約13,000	約29,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約18,000	約44,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約120,000	約250,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約21,000	約52,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約180,000	約370,000
	構成比	40%	9%	3%	48%	100%

8 時発生、風速 3m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約5,800	約22,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約9,600	約35,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約28,000	約150,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約1,600	約32,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約44,000	約240,000
	構成比	62%	14%	5%	19%	100%

（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

12 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約20,000	約36,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約26,000	約51,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約180,000	約300,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約33,000	約63,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約260,000	約460,000
	構成比	33%	7%	3%	58%	100%

12 時発生、風速 3m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約9,500	約25,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約13,000	約39,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約46,000	約170,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約3,000	約33,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約72,000	約270,000
	構成比	56%	12%	5%	27%	100%

（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約69,000	約85,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約86,000	約110,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約410,000	約530,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約86,000	約120,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約650,000	約850,000
	構成比	18%	4%	1%	77%	100%

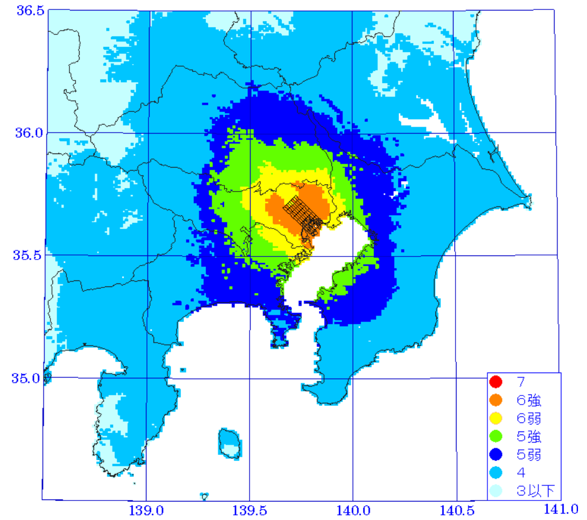
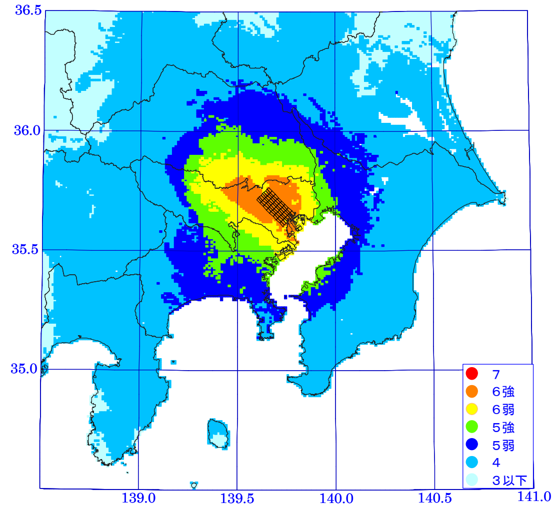
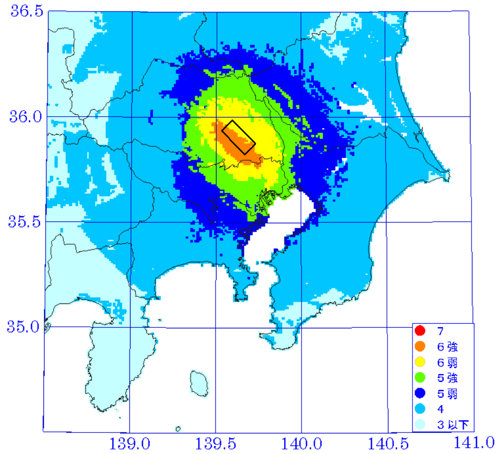
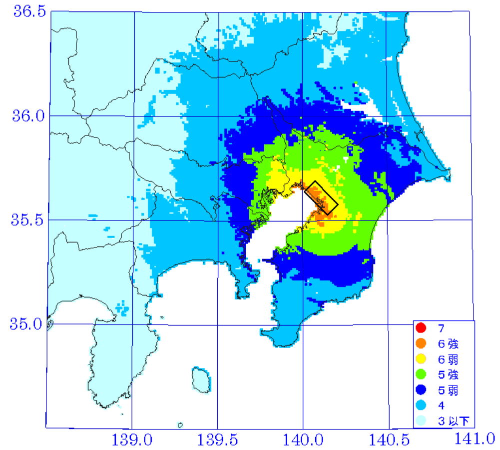
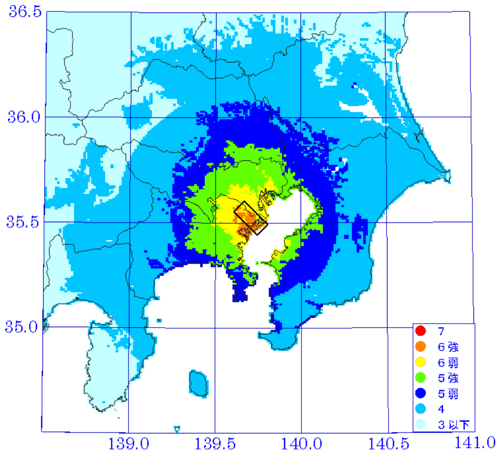
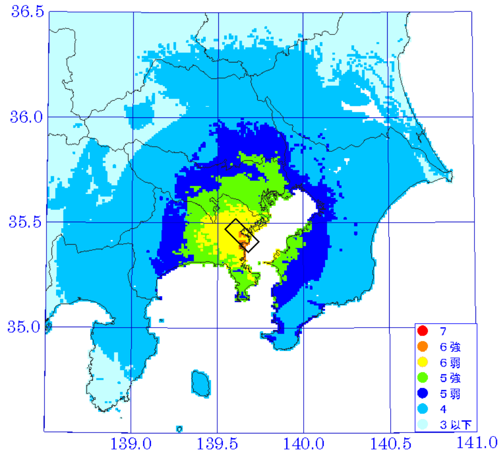
18 時発生、風速 3m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約1,400	約10	−	約1,400
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約40	−	−	約40
埼玉県		約11,000	約5,200	約100	約34,000	約50,000
千葉県		約16,000	約8,900	約800	約44,000	約69,000
東京都		約110,000	約7,800	約4,200	約180,000	約300,000
神奈川県		約14,000	約9,700	約6,900	約36,000	約66,000
山梨県		−	約50	−	−	約50
静岡県		−	−	−	−	約10
合計	建物被害	約150,000	約33,000	約12,000	約290,000	約480,000
	構成比	31%	7%	2%	60%	100%

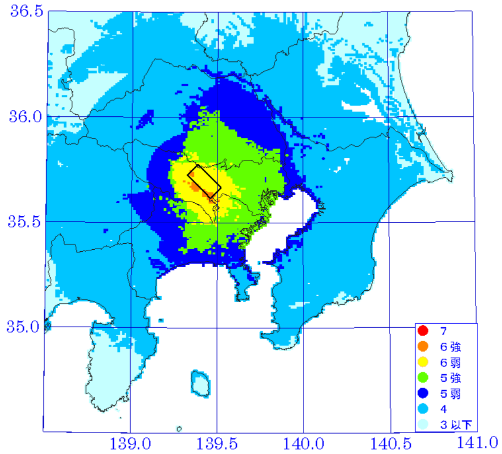
（注）　数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

2) その他の地震

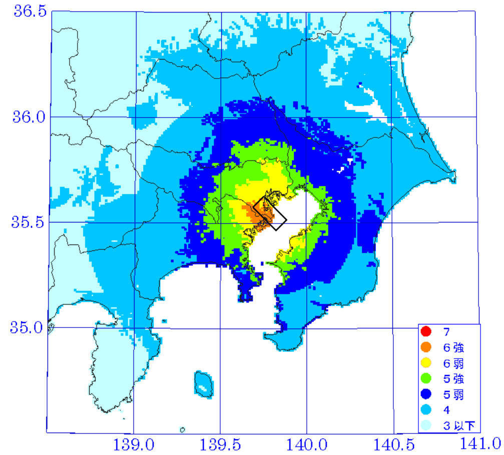
①震度分布図

都心東部直下地震、M6.9	都心西部直下地震、M6.9
	
さいたま市直下地震、M6.9	千葉市直下地震、M6.9
	
川崎市直下地震、M6.9	横浜市直下地震、M6.9
	

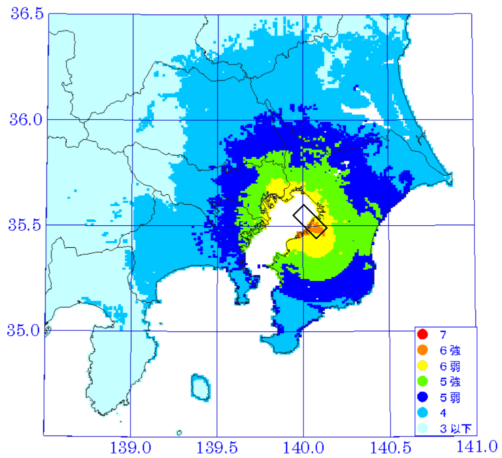
立川市直下地震、M6.9



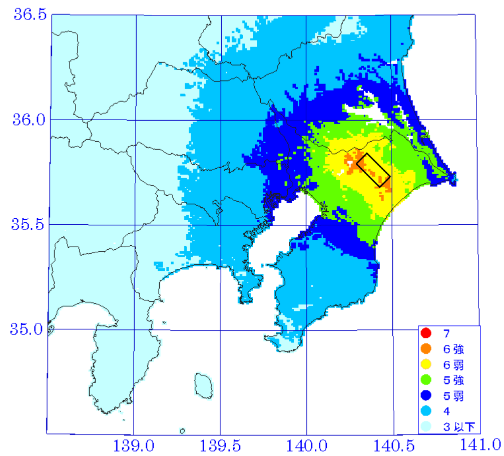
羽田直下地震、M6.9



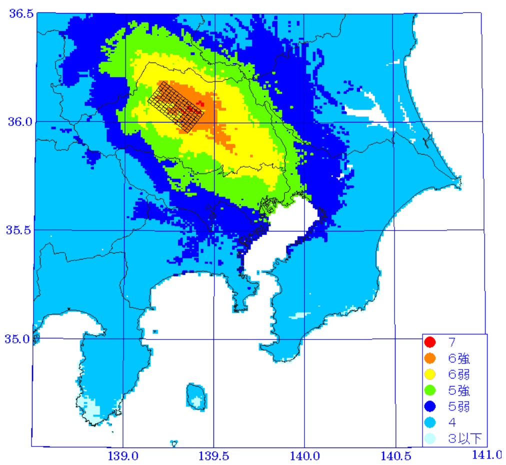
市原市直下地震、M6.9



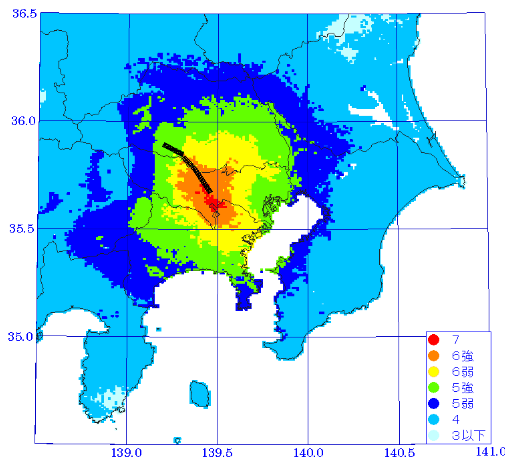
成田直下地震、M6.9



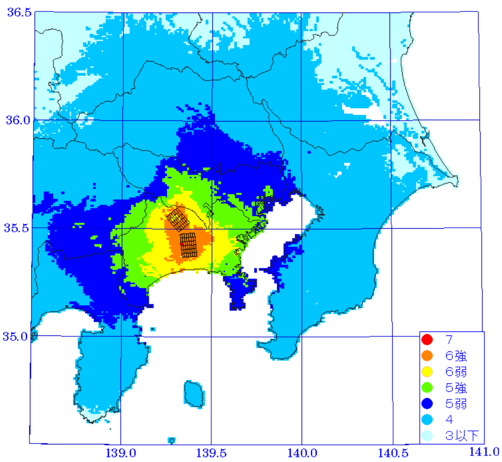
関東平野北西縁断層帯地震、M7.2



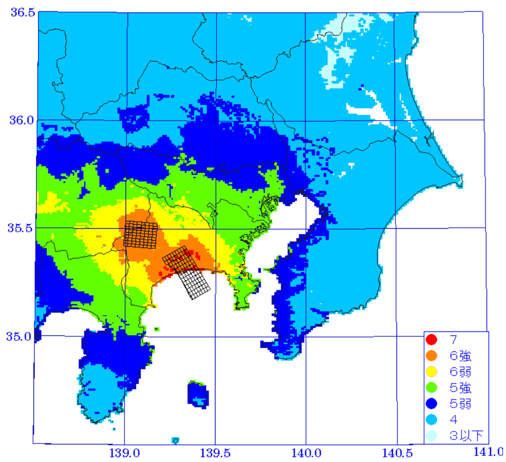
立川断層帯地震、M7.3



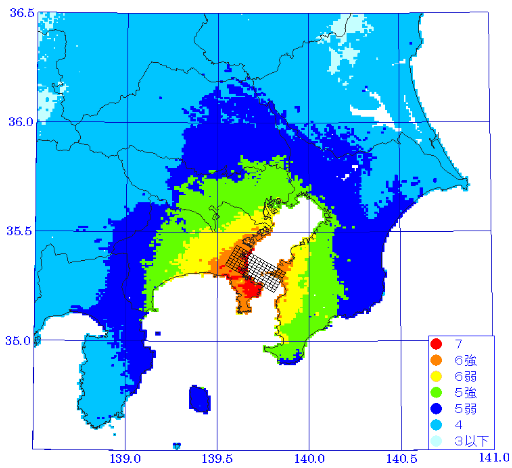
伊勢原断層帯地震、M7.0



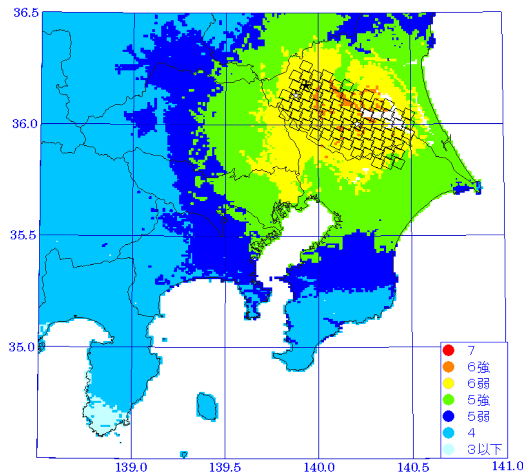
神縄・国府津ー松田断層帯地震、M7.5



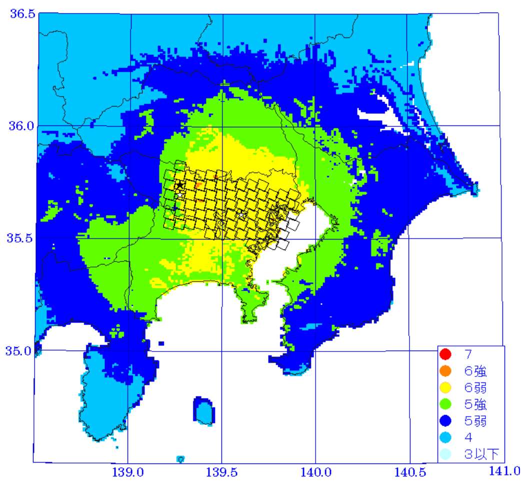
三浦断層群地震、M7.2



プレート境界茨城県南部地震、M7.3



プレート境界多摩地震、M7.3



②都県別の被害状況について

■都心東部直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		–	–	–	–	–	–	–
栃木県		–	–	–	–	–	–	–
群馬県		–	–	–	–	–	–	–
埼玉県		約80	（約40）	–	約100	約10	約200	（約80）
千葉県		–	–	–	–	–	約30	–
東京都		約3,100	（約200）	約400	約6,200	約600	約10,000	（約3,700）
神奈川県		約40	（約40）	約50	約10	約30	約100	（約40）
山梨県		–	–	–	–	–	–	–
静岡県		–	–	–	–	–	–	–
合計	死者数	約3,200	（約300）	約500	約6,300	約600	約11,000	（約3,900）
	構成比	30%	(2%)	5%	59%	6%	100%	(36%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		–	–	–	–	–
栃木県		–	–	–	–	–
群馬県		–	–	–	–	–
埼玉県		約3,400	約3,700	約90	約18,000	約25,000
千葉県		約400	約2,400	約50	約5,800	約8,700
東京都		約140,000	約7,600	約4,600	約450,000	約600,000
神奈川県		約2,400	約3,800	約700	約35,000	約42,000
山梨県		–	–	–	–	–
静岡県		–	–	–	–	–
合計	建物被害	約140,000	約18,000	約5,400	約510,000	約680,000
	構成比	21%	3%	1%	75%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■都心西部直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約300	（約50）	約20	約700	約20	約1,100	（約400）
千葉県		－	－	－	－	－	－	－
東京都		約2,900	（約200）	約500	約7,200	約600	約11,000	（約4,100）
神奈川県		約70	（約40）	約50	約30	約30	約200	（約60）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約3,300	（約300）	約600	約8,000	約600	約12,000	（約4,600）
	構成比	26%	（2%）	4%	64%	5%	100%	（37%）

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		約13,000	約3,700	約300	約62,000	約79,000
千葉県		－	約1,700	約10	－	約1,700
東京都		約140,000	約7,900	約5,100	約500,000	約650,000
神奈川県		約3,800	約4,000	約800	約47,000	約55,000
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約160,000	約17,000	約6,200	約610,000	約790,000
	構成比	20%	2%	1%	77%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■さいたま市直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		−	−	−	−	−	−	−
栃木県		−	−	−	−	−	−	−
群馬県		−	−	−	−	−	−	−
埼玉県		約1,000	（約80）	−	約1,500	約20	約2,500	（約1,300）
千葉県		−	−	−	−	−	−	−
東京都		約200	（約70）	約100	約300	約200	約800	（約400）
神奈川県		−	−	−	−	−	−	−
山梨県		−	−	−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−	−	−
合計	死者数	約1,100	（約200）	約100	約1,900	約200	約3,300	（約1,700）
	構成比	34%	(5%)	4%	55%	7%	100%	(50%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	約90	−	−	約90
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	約70	−	−	約70
埼玉県		約41,000	約5,400	約200	約130,000	約170,000
千葉県		−	約1,300	約10	−	約1,300
東京都		約11,000	約5,600	約1,300	約64,000	約82,000
神奈川県		−	約400	−	−	約400
山梨県		−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−
合計	建物被害	約52,000	約13,000	約1,500	約190,000	約260,000
	構成比	20%	5%	1%	74%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■千葉市直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	
			（うち屋内収容物移動・転倒）					（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－	－	－
千葉県		約200	（約50）	約30	約300	約40	約600	（約300）
東京都		約40	（約40）	約20	約50	約40	約200	（約60）
神奈川県		－	－	－	－	－	－	－
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約300	（約90）	約50	約400	約80	約800	（約400）
	構成比	35%	(11%)	7%	49%	10%	100%	(51%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	約400	－	－	約400
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		－	約1,200	－	－	約1,200
千葉県		約10,000	約6,600	約500	約45,000	約62,000
東京都		約2,300	約5,300	約200	約16,000	約23,000
神奈川県		－	約300	－	－	約300
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約12,000	約14,000	約700	約61,000	約88,000
	構成比	14%	16%	1%	69%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■川崎市直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		−	−	−	−	−	−	−
栃木県		−	−	−	−	−	−	−
群馬県		−	−	−	−	−	−	−
埼玉県		−	−	−	−	−	−	−
千葉県		−	−	−	−	−	−	−
東京都		約80	（約70）	約100	約200	約100	約500	（約200）
神奈川県		約400	（約60）	約200	約700	約100	約1,400	（約700）
山梨県		−	−	−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−	−	−
合計	死者数	約400	（約100）	約300	約900	約200	約1,800	（約900）
	構成比	24%	（7%）	16%	47%	13%	100%	（47%）

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	−	−	−	−
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	−	−	−	−
埼玉県		−	約1,500	−	−	約1,500
千葉県		約10	約1,400	約20	−	約1,400
東京都		約4,400	約6,400	約1,100	約52,000	約64,000
神奈川県		約19,000	約6,300	約2,800	約82,000	約110,000
山梨県		−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−
合計	建物被害	約23,000	約15,000	約4,000	約130,000	約180,000
	構成比	13%	9%	2%	76%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■横浜市直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－	－	－
千葉県		－	－	－	－	－	－	－
東京都		－	－	約20	－	－	約20	－
神奈川県		約100	（約60）	約300	約50	約100	約600	（約400）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約100	（約60）	約400	約50	約100	約700	（約400）
	構成比	21%	(9%)	56%	7%	17%	100%	(62%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		－	約500	－	－	約500
千葉県		－	約500	約10	－	約500
東京都		約70	約4,500	約200	約400	約5,200
神奈川県		約6,500	約8,300	約5,200	約43,000	約63,000
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約6,600	約14,000	約5,500	約43,000	約69,000
	構成比	9%	20%	8%	63%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■立川市直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－	－	－
千葉県		－	－	－	－	－	－	－
東京都		約100	（約80）	約80	約200	約60	約400	（約200）
神奈川県		約30	（約30）	約30	－	約20	約80	（約50）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約200	（約100）	約100	約200	約80	約500	（約300）
	構成比	30%	(21%)	22%	34%	14%	100%	(50%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		約70	約1,700	約50	－	約1,800
千葉県		－	－	－	－	－
東京都		約7,300	約5,500	約1,100	約39,000	約53,000
神奈川県		約1,700	約3,400	約500	約14,000	約20,000
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約9,100	約11,000	約1,600	約53,000	約75,000
	構成比	12%	14%	2%	71%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■羽田直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊		急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	
			（うち屋内収容物移動・転倒）					（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		−	−	−	−	−	−	−
栃木県		−	−	−	−	−	−	−
群馬県		−	−	−	−	−	−	−
埼玉県		−	−	−	−	−	−	−
千葉県		−	−	−	−	−	−	−
東京都		約400	（約90）	約300	約1,200	約200	約2,100	（約1,000）
神奈川県		約300	（約50）	約100	約600	約60	約1,100	（約600）
山梨県		−	−	−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−	−	−
合計	死者数	約800	（約100）	約400	約1,800	約300	約3,200	（約1,500）
	構成比	24%	(4%)	11%	56%	9%	100%	(46%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		−	−	−	−	−
栃木県		−	−	−	−	−
群馬県		−	−	−	−	−
埼玉県		約20	約2,100	−	−	約2,100
千葉県		約100	約2,700	約40	約1,000	約3,800
東京都		約22,000	約6,700	約2,400	約130,000	約160,000
神奈川県		約18,000	約5,600	約1,500	約58,000	約83,000
山梨県		−	−	−	−	−
静岡県		−	−	−	−	−
合計	建物被害	約40,000	約17,000	約4,000	約190,000	約250,000
	構成比	16%	7%	2%	75%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■市原市直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動･転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀･屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		–	–	–	–	–	–	–
栃木県		–	–	–	–	–	–	–
群馬県		–	–	–	–	–	–	–
埼玉県		–	–	–	–	–	–	–
千葉県		約60	（約30）	約10	約50	–	約100	（約70）
東京都		約20	（約20）	約20	–	約30	約80	（約30）
神奈川県		–	–	–	–	–	–	–
山梨県		–	–	–	–	–	–	–
静岡県		–	–	–	–	–	–	–
合計	死者数	約80	（約50）	約40	約60	約40	約200	（約100）
	構成比	38%	(23%)	18%	27%	17%	100%	(45%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		–	約40	–	–	約40
栃木県		–	–	–	–	–
群馬県		–	–	–	–	–
埼玉県		–	約800	–	–	約800
千葉県		約2,600	約5,200	約200	約17,000	約25,000
東京都		約1,100	約5,200	約200	約11,000	約18,000
神奈川県		–	約1,100	約100	–	約1,200
山梨県		–	–	–	–	–
静岡県		–	–	–	–	–
合計	建物被害	約3,700	約12,000	約500	約29,000	約45,000
	構成比	8%	27%	1%	63%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■成田直下地震、M6.9

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－	－	－
千葉県		約100	（約30）	約40	約30	－	約200	（約100）
東京都		－	－	－	－	－	－	－
神奈川県		－	－	－	－	－	－	－
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約100	（約30）	約40	約30	－	約200	（約100）
	構成比	60%	(19%)	24%	16%	1%	100%	(59%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		約200	約1,100	約20	－	約1,300
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		－	約20	－	－	約20
千葉県		約3,600	約3,300	約600	約9,200	約17,000
東京都		－	約200	－	－	約200
神奈川県		－	－	－	－	－
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約3,800	約4,700	約600	約9,200	約18,000
	構成比	21%	26%	3%	50%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■関東平野北西縁断層帯地震、M7.2

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	約10	－
埼玉県		約900	（約80）	約30	約500	約20	約1,500	（約900）
千葉県		－	－	－	－	－	－	－
東京都		約30	（約30）	約60	－	約60	約200	（約70）
神奈川県		－	－	－	－	－	－	－
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約1,000	（約100）	約100	約500	約70	約1,700	（約1,000）
	構成比	58%	（7%）	6%	31%	4%	100%	（59%）

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	約40	－	－	約40
栃木県		－	約200	約10	－	約200
群馬県		約300	約1,100	約40	－	約1,500
埼玉県		約37,000	約6,300	約400	約150,000	約200,000
千葉県		－	約1,400	約10	－	約1,500
東京都		約1,700	約4,900	約800	約15,000	約22,000
神奈川県		－	－	－	－	－
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約39,000	約14,000	約1,200	約170,000	約220,000
	構成比	18%	6%	1%	75%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■立川断層帯地震、M7.3

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約200	（約60）	約20	約300	約20	約600	（約300）
千葉県		－	－	－	－	－	－	－
東京都		約1,200	（約100）	約200	約2,100	約300	約3,700	（約1,900）
神奈川県		約700	（約70）	約200	約1,000	約100	約2,000	（約1,100）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約2,100	（約300）	約400	約3,400	約400	約6,300	（約3,300）
	構成比	33%	(4%)	6%	54%	6%	100%	(52%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		約9,900	約4,400	約300	約57,000	約72,000
千葉県		－	約800	－	－	約800
東京都		約68,000	約6,600	約2,100	約180,000	約260,000
神奈川県		約37,000	約7,800	約3,200	約100,000	約150,000
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約120,000	約20,000	約5,700	約340,000	約480,000
	構成比	24%	4%	1%	71%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■伊勢原断層帯地震、M7.0

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－	－	－
千葉県		－	－	－	－	－	－	－
東京都		約10	（約10）	約10	－	－	約40	（約20）
神奈川県		約900	（約80）	約100	約1,500	約60	約2,600	（約1,100）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約900	（約90）	約200	約1,500	約70	約2,600	（約1,100）
	構成比	33%	(3%)	6%	59%	2%	100%	(42%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－
千葉県		－	－	－	－	－
東京都		約800	約2,000	約200	約2,400	約5,400
神奈川県		約40,000	約8,000	約2,300	約100,000	約150,000
山梨県		－	約10	－	－	約10
静岡県		－	－	－	－	約10
合計	建物被害	約41,000	約10,000	約2,500	約110,000	約160,000
	構成比	26%	6%	2%	66%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■神縄・国府津－松田断層帯地震、M7.5

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－	－	－
千葉県		－	－	－	－	－	－	－
東京都		－	－	約20	－	－	約20	－
神奈川県		約1,600	（約90）	約300	約3,600	約40	約5,500	（約2,600）
山梨県		約30	－	約20	－	－	約50	（約40）
静岡県		－	－	－	－	－	約20	（約10）
合計	死者数	約1,700	（約100）	約300	約3,600	約40	約5,600	（約2,700）
	構成比	30%	(2%)	6%	63%	1%	100%	(48%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		－	約10	－	－	約20
千葉県		－	－	－	－	－
東京都		約30	約3,300	約300	－	約3,600
神奈川県		約76,000	約8,500	約4,400	約130,000	約210,000
山梨県		約1,100	約700	約300	約3,500	約5,600
静岡県		約300	約700	約100	約100	約1,300
合計	建物被害	約77,000	約13,000	約5,200	約130,000	約220,000
	構成比	34%	6%	2%	57%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■三浦断層群地震、M7.2

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		－	－	－	－	－	－	－
千葉県		約100	（約20）	約10	約30	－	約200	（約100）
東京都		約10	（約10）	約40	－	約30	約80	（約30）
神奈川県		約2,300	（約200）	約600	約4,500	約100	約7,600	（約3,300）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約2,400	（約200）	約700	約4,600	約200	約7,800	（約3,500）
	構成比	31%	（3%）	9%	58%	2%	100%	（44%）

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		－	約600	－	－	約600
千葉県		約4,500	約2,500	約200	約7,000	約14,000
東京都		約700	約5,900	約400	約7,200	約14,000
神奈川県		約110,000	約10,000	約9,900	約170,000	約300,000
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	約40	－	－	約40
合計	建物被害	約110,000	約19,000	約11,000	約180,000	約330,000
	構成比	35%	6%	3%	56%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■プレート境界茨城県南部地震、M7.3

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		約200	（約30）	約20	約20	－	約300	（約200）
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約20	（約20）	－	－	－	約40	（約20）
千葉県		約10	（約10）	約30	－	－	約40	（約20）
東京都		約30	（約30）	約30	－	約50	約100	（約40）
神奈川県		－	－	－	－	－	－	－
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約300	（約100）	約80	約30	約60	約500	（約300）
	構成比	64%	(20%)	17%	6%	13%	100%	(56%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		約7,700	約3,600	約200	約19,000	約30,000
栃木県		約10	約300	約10	－	約300
群馬県		－	約200	－	－	約200
埼玉県		約1,000	約5,200	約30	約18,000	約25,000
千葉県		約600	約5,900	約400	約3,000	約9,900
東京都		約1,800	約6,400	約400	約12,000	約20,000
神奈川県		－	約1,300	約100	－	約1,400
山梨県		－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－
合計	建物被害	約11,000	約23,000	約1,100	約52,000	約87,000
	構成比	13%	26%	1%	60%	100%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

■プレート境界多摩地震、M7.3

ａ．人的被害＜死者数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		建物倒壊	（うち屋内収容物移動･転倒）	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀･屋外落下物等	合計	（うち災害時要援護者の死者）
茨城県		－	－	－	－	－	－	－
栃木県		－	－	－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－	－	－
埼玉県		約100	（約60）	約10	約40	約20	約200	（約100）
千葉県		－	－	－	－	－	約20	－
東京都		約800	（約100）	約400	約1,400	約500	約3,100	（約1,400）
神奈川県		約100	（約70）	約200	約30	約100	約500	（約300）
山梨県		－	－	－	－	－	－	－
静岡県		－	－	－	－	－	－	－
合計	死者数	約1,000	（約200）	約700	約1,500	約700	約3,800	（約1,800）
	構成比	26%	(6%)	17%	39%	17%	100%	(47%)

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

18 時発生、風速 15m/s の場合

		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県		－	約500	－	－	約500
栃木県		－	－	－	－	－
群馬県		－	－	－	－	－
埼玉県		約4,200	約5,000	約200	約32,000	約41,000
千葉県		約200	約4,000	約100	約2,900	約7,200
東京都		約38,000	約7,600	約4,200	約370,000	約420,000
神奈川県		約7,400	約9,400	約3,700	約74,000	約94,000
山梨県		－	約200	約20	－	約200
静岡県		－	約60	約10	－	約70
合計	建物被害	約50,000	約27,000	約8,300	約480,000	約560,000
	構成比	9%	5%	1%	85%	100%

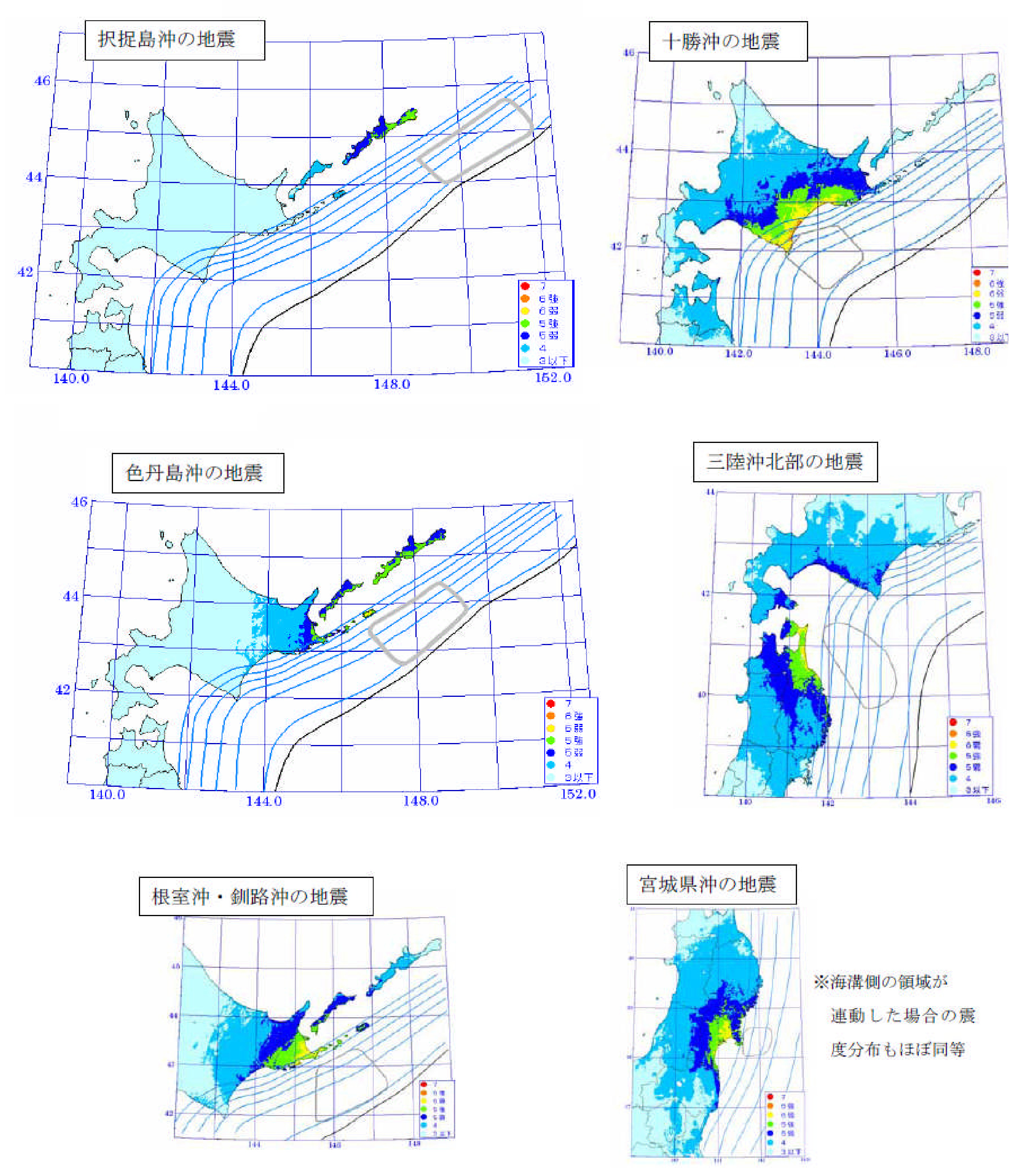
（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない。

(4)　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震

出典：日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策
（http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_kaikou/kaikou_top.html）

①震度分布図

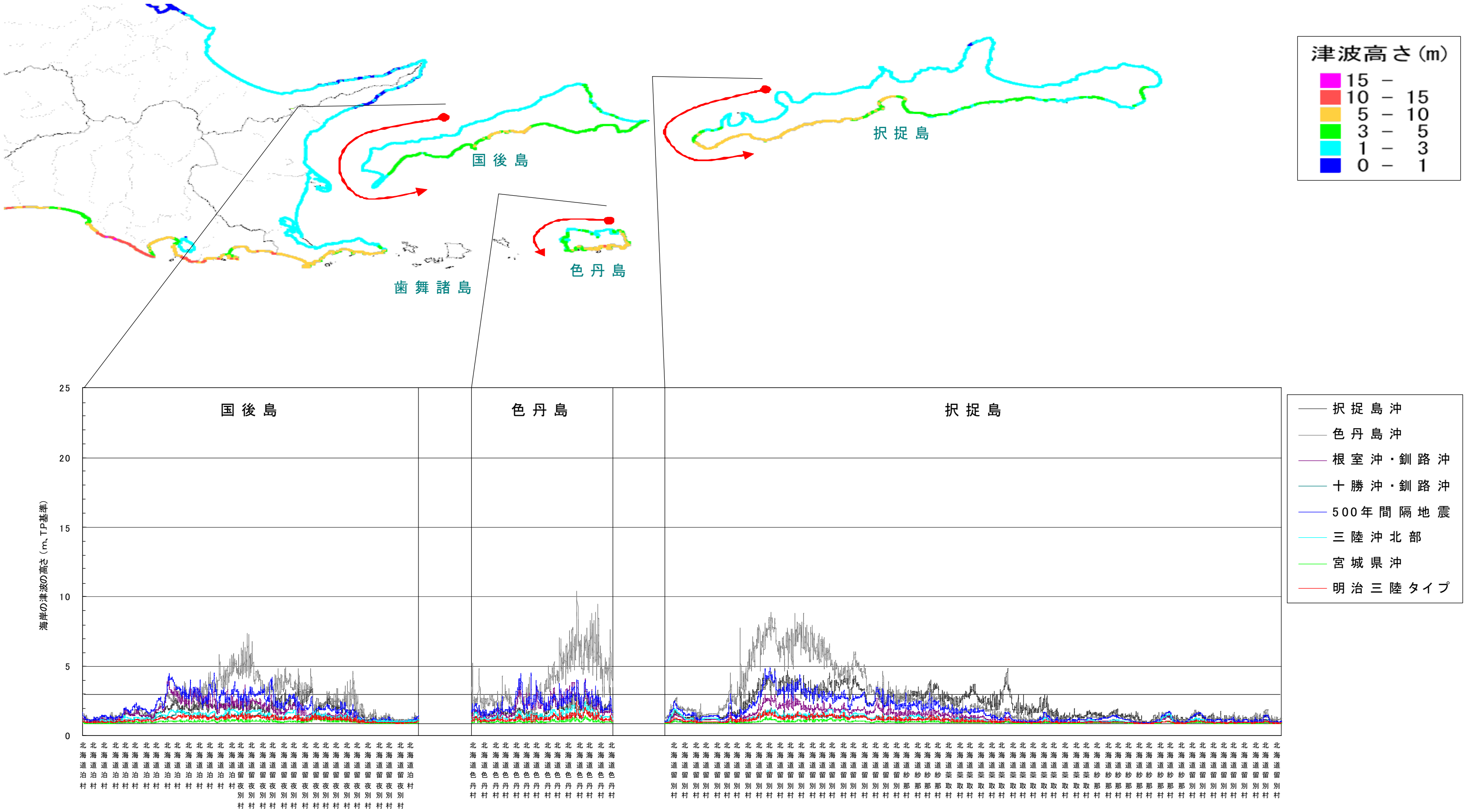
各地震の震度分布



②津波高さ想定図

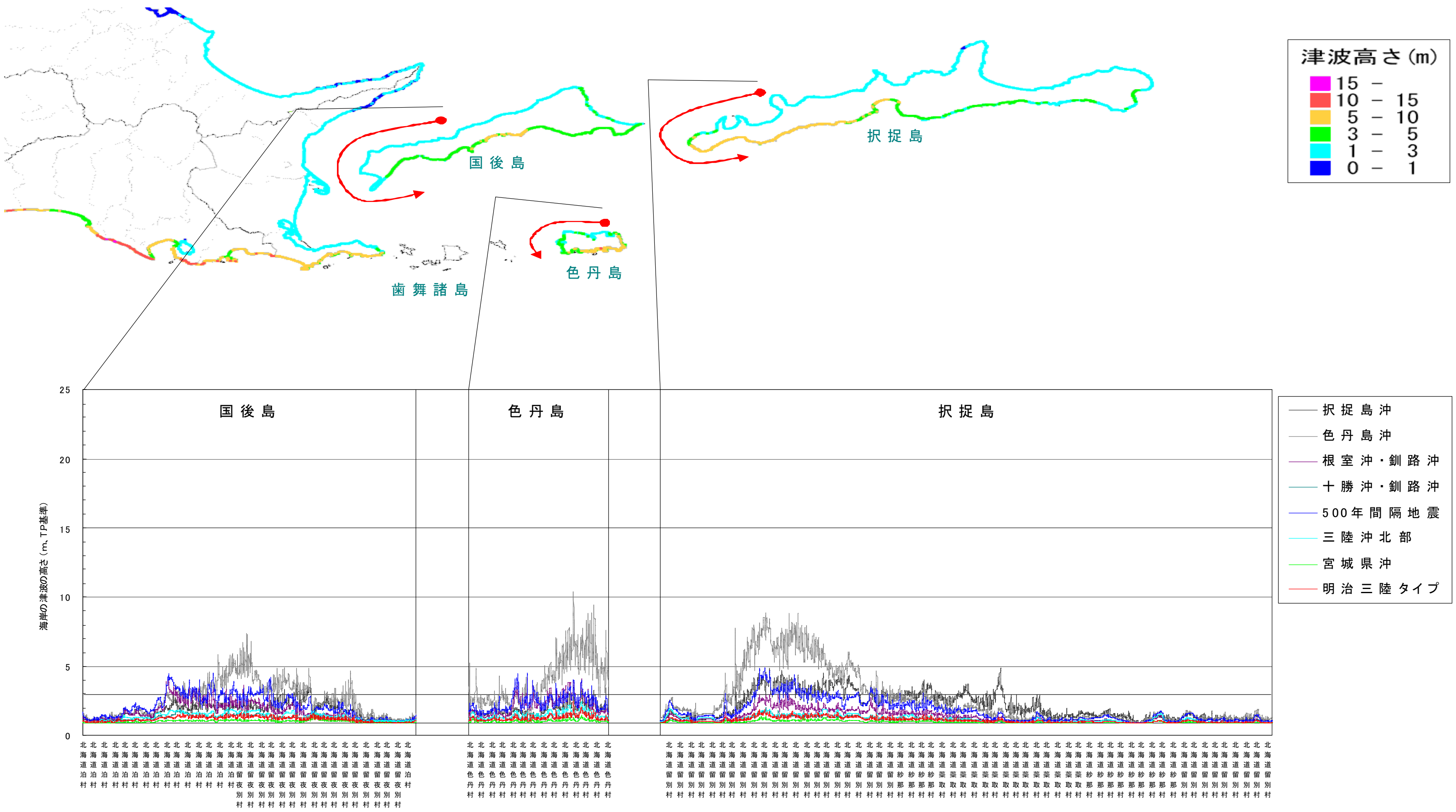
ａ．北海道（北方四島）

海岸での津波の高さ（満潮時）【北海道（北方四島）】



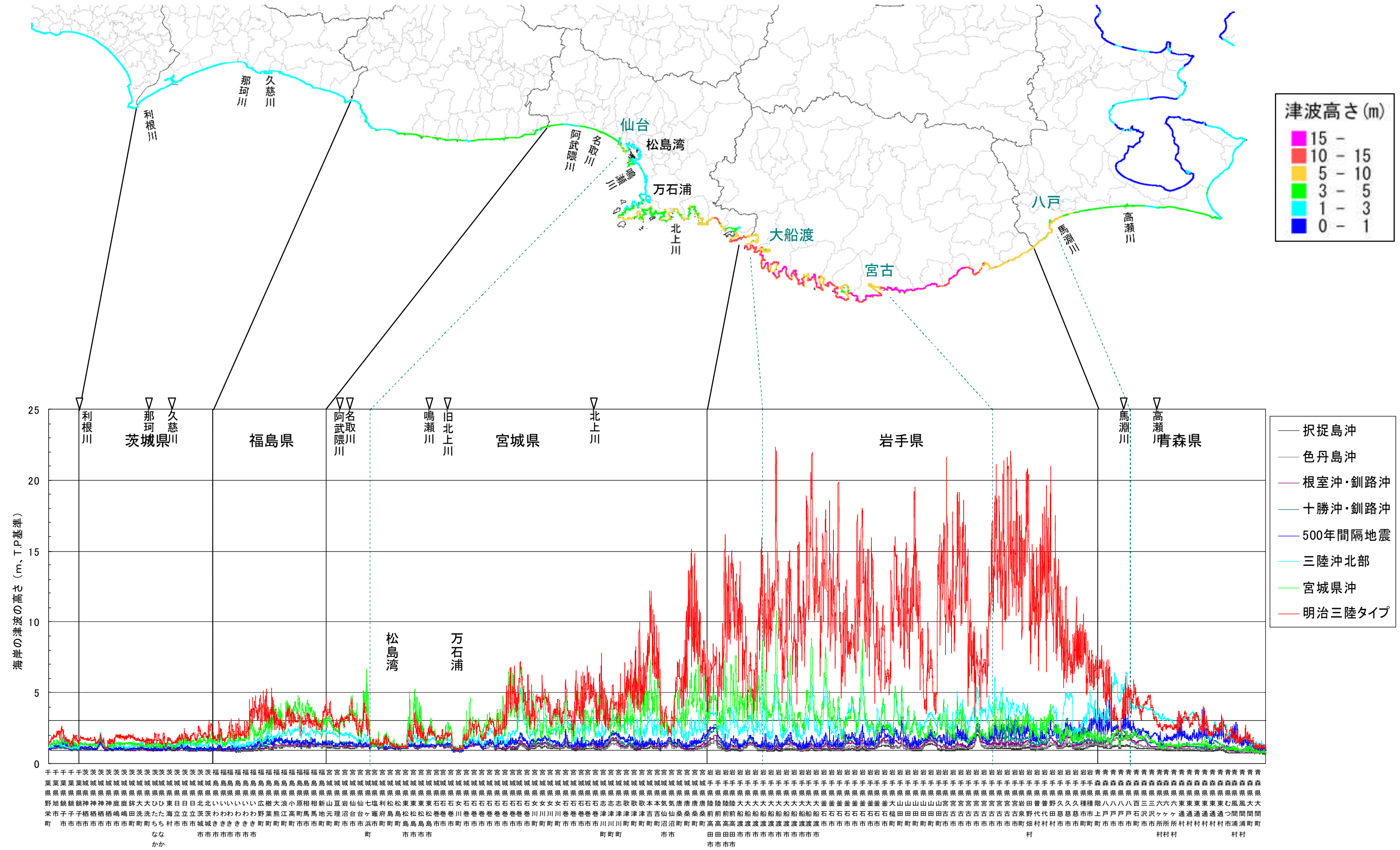
ｂ．北海道

海岸での津波の高さ（満潮時）【北海道】



Ｃ．青森～千葉

海岸での津波の高さ（満潮時）【青森～千葉】



③道県別の被害状況について

■宮城県沖の地震

ａ．人的被害＜死者数（※津波は意識が低いケース）＞

・人的被害の合計は、被害が最大となる冬5時、風速15m/sのケースでは約290人であり、そのうち宮城県の被害が最も大きく、約140人である。

・冬5時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	–	–	–	約 20	–	–	–	約 20	約 20
青森県	–	–	–	約 5	–	–	–	約 5	約 5
岩手県	–	–	約 5	約 110	–	–	–	約 110	約 110
宮城県	約 5	–	約 10	約 130	–	約 5	–	約 130	約 140
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	約 5	約 20	–	–	–	約 20	約 20
合計	約 5	–	約 10	約 280	–	約 5	–	約 290	約 290

（単位：人）

・夏12時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	–	–	–	約 20	–	–	–	約 20	約 20
青森県	–	–	–	約 5	–	–	–	約 5	約 5
岩手県	–	–	約 5	約 110	–	–	約 5	約 110	約 110
宮城県	–	–	約 5	約 120	–	–	–	約 130	約 130
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	約 5	約 5	約 5
福島県	–	–	約 5	約 20	–	–	約 5	約 20	約 20
合計	–	–	約 10	約 270	–	–	約 5	約 280	約 280

（単位：人）

・冬18時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	–	–	–	約 20	–	–	–	約 20	約 20
青森県	–	–	–	約 5	–	–	–	約 5	約 5
岩手県	–	–	約 5	約 100	–	–	約 5	約 110	約 110
宮城県	–	–	約 5	約 120	約 10	約 10	–	約 130	約 130
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	約 5	約 5	約 5
福島県	–	–	約 5	約 20	–	–	約 5	約 20	約 20
合計	–	–	約 10	約 260	約 10	約 10	約 5	約 280	約 290

（単位：人）

b．建物被害＜全壊棟数＞

・建物被害（全壊棟数及び焼失棟数）の合計は、被害が最大となる冬18時、風速15m/sのケースでは約21,000棟であり、そのうち宮城県の被害が最も大きく、約19,000棟である。

・冬5時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	–	–	–	約 100	–	–	約 100	約 100
青森県	–	–	–	約 20	–	–	約 20	約 20
岩手県	約 5	約 80	約 20	約 1,100	–	–	約 1,200	約 1,200
宮城県	約 500	約 3,400	約 70	約 1,400	約 500	約 1,000	約 5,800	約 6,300
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	約 100	–	約 200	–	–	約 300	約 300
合計	約 500	約 3,600	約 80	約 2,900	約 500	約 1,000	約 7,500	約 8,000

（単位：棟）

・夏12時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	–	–	–	約 50	–	–	約 50	約 50
青森県	–	–	–	約 20	–	–	約 20	約 20
岩手県	–	約 80	約 20	約 1,100	–	–	約 1,200	約 1,200
宮城県	約 500	約 3,400	約 70	約 1,400	–	–	約 5,300	約 5,300
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	約 100	–	約 200	–	–	約 300	約 300
合計	約 500	約 3,600	約 80	約 2,800	–	–	約 6,900	約 6,900

（単位：棟）

・冬18時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	–	–	–	約 100	–	–	約 100	約 100
青森県	–	–	–	約 20	–	–	約 20	約 20
岩手県	約 5	約 80	約 20	約 1,100	–	–	約 1,200	約 1,200
宮城県	約 500	約 3,400	約 70	約 1,400	約 6,900	約 14,000	約 12,000	約 19,000
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	約 100	–	約 200	–	–	約 300	約 300
合計	約 500	約 3,600	約 80	約 2,900	約 6,900	約 14,000	約 14,000	約 21,000

（単位：棟）

■三陸沖北部の地震

ａ．人的被害＜死者数（※津波は意識が低いケース）＞

・人的被害の合計は、被害が最大となる夏12時、風速15m/sのケースでは約420人であり、そのうち岩手県の被害が最も大きく、約140人である。

・冬5時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道	–	–	–	約 100	–	–	–	約 100	約 100
青森県	約 5	–	約 5	約 90	–	–	–	約 100	約 100
岩手県	–	–	約 5	約 140	–	–	–	約 150	約 150
宮城県	–	–	–	約 60	–	–	–	約 60	約 60
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
合計	約 5	–	約 5	約 410	–	–	–	約 420	約 420

（単位：人）

・夏12時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道	–	–	–	約 100	–	–	約 5	約 100	約 100
青森県	–	–	約 5	約 100	–	–	約 5	約 110	約 110
岩手県	–	–	約 5	約 140	–	–	–	約 140	約 140
宮城県	–	–	–	約 60	–	–	–	約 60	約 60
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
合計	–	–	約 5	約 420	–	–	約 5	約 420	約 420

（単位：人）

・冬18時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道	–	–	–	約 100	–	–	約 5	約 100	約 100
青森県	–	–	約 5	約 100	約 5	約 5	約 5	約 110	約 110
岩手県	–	–	約 5	約 140	–	–	–	約 140	約 140
宮城県	–	–	–	約 60	–	–	–	約 60	約 60
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
合計	–	–	約 5	約 410	約 5	約 5	約 5	約 420	約 420

（単位：人）

b．建物被害＜全壊棟数＞

・建物被害（全壊棟数及び焼失棟数）の合計は、被害が最大となる冬18時、風速15m/sのケースでは約8,900棟であり、そのうち岩手県の被害が最も大きく、約5,600棟である。

・冬5時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	–	約 60	約 5	約 800	–	–	約 900	約 900
青森県	約 100	約 800	約 10	約 500	–	–	約 1,400	約 1,400
岩手県	約 20	約 50	約 40	約 1,300	–	–	約 1,400	約 1,400
宮城県	–	–	–	約 900	–	–	約 900	約 900
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 70	–	–	約 70	約 70
合計	約 100	約 900	約 60	約 3,600	–	–	約 4,700	約 4,700

（単位：棟）

・夏12時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	–	約 60	約 5	約 700	–	–	約 800	約 800
青森県	約 60	約 800	約 10	約 500	–	–	約 1,400	約 1,400
岩手県	約 10	約 50	約 40	約 1,300	–	–	約 1,400	約 1,400
宮城県	–	–	–	約 900	–	–	約 900	約 900
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 70	–	–	約 70	約 70
合計	約 70	約 900	約 60	約 3,500	–	–	約 4,500	約 4,500

（単位：棟）

・冬18時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	–	約 60	約 5	約 800	–	–	約 900	約 900
青森県	約 100	約 800	約 10	約 500	約 2,100	約 4,200	約 3,500	約 5,600
岩手県	約 20	約 50	約 40	約 1,300	–	–	約 1,400	約 1,400
宮城県	–	–	–	約 900	–	–	約 900	約 900
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 70	–	–	約 70	約 70
合計	約 100	約 900	約 60	約 3,600	約 2,100	約 4,200	約 6,800	約 8,900

（単位：棟）

■十勝沖・釧路沖の地震

ａ．人的被害＜死者数（※津波は意識が低いケース）＞

・人的被害の合計は、被害が最大となる冬18時、風速15m/sのケースでは約300人であり、そのうち北海道の被害が最も大きく、約230人である。

・冬5時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	約 10	–	約 5	約 200	約 5	約 5	–	約 210	約 210
青森県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
岩手県	–	–	–	約 30	–	–	–	約 30	約 30
宮城県	–	–	–	約 30	–	–	–	約 30	約 30
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
合計	約 10	–	約 5	約 270	約 5	約 5	–	約 290	約 290

（単位：人）

・夏12時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	約 5	–	約 5	約 210	–	–	約 5	約 220	約 220
青森県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
岩手県	–	–	–	約 30	–	–	–	約 30	約 30
宮城県	–	–	–	約 30	–	–	–	約 30	約 30
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
合計	約 5	–	約 5	約 280	–	–	約 5	約 290	約 290

（単位：人）

・冬18時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	約 5	–	約 5	約 200	約 10	約 20	約 5	約 220	約 230
青森県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
岩手県	–	–	–	約 30	–	–	–	約 30	約 30
宮城県	–	–	–	約 30	–	–	–	約 30	約 30
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 10	–	–	–	約 10	約 10
合計	約 5	–	約 5	約 270	約 10	約 20	約 5	約 290	約 300

（単位：人）

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

・建物被害（全壊棟数及び焼失棟数）の合計は、被害が最大となる冬18時、風速15m/sのケースでは約19,000棟であり、そのうち北海道の被害が最も大きく、約18,000棟である。

・冬5時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	約 1,900	約 1,300	約 30	約 1,000	約 1,200	約 2,400	約 5,400	約 6,500
青森県	–	–	–	約 30	–	–	約 30	約 30
岩手県	–	–	–	約 400	–	–	約 400	約 400
宮城県	–	–	–	約 200	–	–	約 200	約 200
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 5	–	–	約 5	約 5
合計	約 1,900	約 1,300	約 30	約 1,700	約 1,200	約 2,400	約 6,100	約 7,200

（単位：棟）

・夏12時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	約 1,200	約 1,300	約 30	約 900	約 300	約 700	約 3,700	約 4,100
青森県	–	–	–	約 30	–	–	約 30	約 30
岩手県	–	–	–	約 400	–	–	約 400	約 400
宮城県	–	–	–	約 200	–	–	約 200	約 200
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 5	–	–	約 5	約 5
合計	約 1,200	約 1,300	約 30	約 1,600	約 300	約 700	約 4,400	約 4,800

（単位：棟）

・冬18時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	約 1,900	約 1,300	約 30	約 1,000	約 6,900	約 14,000	約 11,000	約 18,000
青森県	–	–	–	約 30	–	–	約 30	約 30
岩手県	–	–	–	約 400	–	–	約 400	約 400
宮城県	–	–	–	約 200	–	–	約 200	約 200
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 5	–	–	約 5	約 5
合計	約 1,900	約 1,300	約 30	約 1,700	約 6,900	約 14,000	約 12,000	約 19,000

（単位：棟）

■根室沖・釧路沖の地震

ａ．人的被害＜死者数（※津波は意識が低いケース）＞

・人的被害の合計は、被害が最大となる夏12時、風速15m/sのケースでは約130人であり、そのうち北海道の被害が最も大きく、約70人である。

・冬5時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	－	－	約 5	約 70	－	－	－	約 70	約 70
青森県	－	－	－	約 5	－	－	－	約 5	約 5
岩手県	－	－	－	約 20	－	－	－	約 20	約 20
宮城県	－	－	－	約 30	－	－	－	約 30	約 30
秋田県	－	－	－	－	－	－	－	－	－
山形県	－	－	－	－	－	－	－	－	－
福島県	－	－	－	約 5	－	－	－	約 5	約 5
合計	－	－	約 5	約 120	－	－	－	約 130	約 130

（単位：人）

・夏12時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	－	－	約 5	約 70	－	－	－	約 70	約 70
青森県	－	－	－	約 5	－	－	－	約 5	約 5
岩手県	－	－	－	約 20	－	－	－	約 20	約 20
宮城県	－	－	－	約 30	－	－	－	約 30	約 30
秋田県	－	－	－	－	－	－	－	－	－
山形県	－	－	－	－	－	－	－	－	－
福島県	－	－	－	約 5	－	－	－	約 5	約 5
合計	－	－	約 5	約 130	－	－	－	約 130	約 130

（単位：人）

・冬18時

	建物倒壊		急傾斜地崩壊	津波	火災		ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計	
		うち屋内収容物移動・転倒			3m/s	15m/s		3m/s	15m/s
北海道	－	－	約 5	約 70	約 5	約 5	－	約 70	約 70
青森県	－	－	－	約 5	－	－	－	約 5	約 5
岩手県	－	－	－	約 20	－	－	－	約 20	約 20
宮城県	－	－	－	約 30	－	－	－	約 30	約 30
秋田県	－	－	－	－	－	－	－	－	－
山形県	－	－	－	－	－	－	－	－	－
福島県	－	－	－	約 5	－	－	－	約 5	約 5
合計	－	－	約 5	約 120	約 5	約 5	－	約 120	約 130

（単位：人）

b．建物被害＜全壊棟数＞

・建物被害（全壊棟数及び焼失棟数）の合計は、被害が最大となる冬18時、風速15m/sのケースでは約5,000棟であり、そのうち北海道の被害が最も大きく、約4,700棟である。

・冬5時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	約 10	約 700	約 5	約 800	–	–	約 1,500	約 1,500
青森県	–	–	–	約 20	–	–	約 20	約 20
岩手県	–	–	–	約 200	–	–	約 200	約 200
宮城県	–	–	–	約 100	–	–	約 100	約 100
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 5	–	–	約 5	約 5
合計	約 10	約 700	約 5	約 1,200	–	–	約 1,900	約 1,900

（単位：棟）

・夏12時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	約 10	約 700	約 5	約 500	–	–	約 1,200	約 1,200
青森県	–	–	–	約 20	–	–	約 20	約 20
岩手県	–	–	–	約 200	–	–	約 200	約 200
宮城県	–	–	–	約 100	–	–	約 100	約 100
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 5	–	–	約 5	約 5
合計	約 10	約 700	約 5	約 900	–	–	約 1,500	約 1,500

（単位：棟）

・冬18時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道	約 10	約 700	約 5	約 800	約 1,600	約 3,200	約 3,100	約 4,700
青森県	–	–	–	約 20	–	–	約 20	約 20
岩手県	–	–	–	約 200	–	–	約 200	約 200
宮城県	–	–	–	約 100	–	–	約 100	約 100
秋田県	–	–	–	–	–	–	–	–
山形県	–	–	–	–	–	–	–	–
福島県	–	–	–	約 5	–	–	約 5	約 5
合計	約 10	約 700	約 5	約 1,200	約 1,600	約 3,200	約 3,400	約 5,000

（単位：棟）

■明治三陸タイプ地震

ａ．人的被害＜死者数（※津波は意識が低いケース）＞

・冬5時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道				約 90				約 90	約 90
青森県				約 30				約 30	約 30
岩手県				約 2,100				約 2,100	約 2,100
宮城県				約 360				約 360	約 360
秋田県				–				–	–
山形県				–				–	–
福島県				約 60				約 60	約 60
合計				約 2,700				約 2,700	約 2,700

（単位：人）

・夏12時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道				約 90				約 90	約 90
青森県				約 40				約 40	約 40
岩手県				約 2,000				約 2,000	約 2,000
宮城県				約 340				約 340	約 340
秋田県				–				–	–
山形県				–				–	–
福島県				約 50				約 50	約 50
合計				約 2,600				約 2,600	約 2,600

（単位：人）

・冬18時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道				約 90				約 90	約 90
青森県				約 30				約 30	約 30
岩手県				約 1,900				約 1,900	約 1,900
宮城県				約 320				約 320	約 320
秋田県				–				–	–
山形県				–				–	–
福島県				約 50				約 50	約 50
合計				約 2,400				約 2,400	約 2,400

（単位：人）

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

・冬5時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道				約 500			約 500	約 500
青森県				約 100			約 100	約 100
岩手県				約 6,400			約 6,400	約 6,400
宮城県				約 2,000			約 2,000	約 2,000
秋田県				–			–	–
山形県				–			–	–
福島県				約 300			約 300	約 300
合計				約 9,400			約 9,400	約 9,400

（単位：棟）

・夏12時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道				約 500			約 500	約 500
青森県				約 100			約 100	約 100
岩手県				約 6,400			約 6,400	約 6,400
宮城県				約 2,000			約 2,000	約 2,000
秋田県				–			–	–
山形県				–			–	–
福島県				約 300			約 300	約 300
合計				約 9,400			約 9,400	約 9,400

（単位：棟）

・冬18時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道				約 500			約 500	約 500
青森県				約 100			約 100	約 100
岩手県				約 6,400			約 6,400	約 6,400
宮城県				約 2,000			約 2,000	約 2,000
秋田県				–			–	–
山形県				–			–	–
福島県				約 300			約 300	約 300
合計				約 9,400			約 9,400	約 9,400

（単位：棟）

■500 年間隔地震

ａ．人的被害＜死者数（※津波は意識が低いケース）＞

・冬5時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道				約 690				約 690	約 690
青森県				約 20				約 20	約 20
岩手県				約 70				約 70	約 70
宮城県				約 80				約 80	約 80
秋田県				–				–	–
山形県				–				–	–
福島県				約 20				約 20	約 20
合計				約 870				約 870	約 870

（単位：人）

・夏12時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道				約 700				約 700	約 700
青森県				約 20				約 20	約 20
岩手県				約 70				約 70	約 70
宮城県				約 80				約 80	約 80
秋田県				–				–	–
山形県				–				–	–
福島県				約 20				約 20	約 20
合計				約 880				約 880	約 880

（単位：人）

・冬18時

	建物倒壊	うち屋内収容物移動・転倒	急傾斜地崩壊	津波	火災 3m/s	火災 15m/s	ブロック塀等の転倒・屋外落下物	合計 3m/s	合計 15m/s
北海道				約 680				約 680	約 680
青森県				約 20				約 20	約 20
岩手県				約 60				約 60	約 60
宮城県				約 70				約 70	約 70
秋田県				–				–	–
山形県				–				–	–
福島県				約 20				約 20	約 20
合計				約 850				約 850	約 850

（単位：人）

b．建物被害＜全壊棟数＞

・冬5時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道				約 4,400			約 4,400	約 4,400
青森県				約 70			約 70	約 70
岩手県				約 500			約 500	約 500
宮城県				約 500			約 500	約 500
秋田県				–			–	–
山形県				–			–	–
福島県				約 60			約 60	約 60
合計				約 5,600			約 5,600	約 5,600

（単位：棟）

・夏12時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道				約 3,500			約 3,500	約 3,500
青森県				約 70			約 70	約 70
岩手県				約 500			約 500	約 500
宮城県				約 500			約 500	約 500
秋田県				–			–	–
山形県				–			–	–
福島県				約 60			約 60	約 60
合計				約 4,600			約 4,600	約 4,600

（単位：棟）

・冬18時

	揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	津波	火災		合計	
					3m/s	15m/s	3m/s	15m/s
北海道				約 4,400			約 4,400	約 4,400
青森県				約 70			約 70	約 70
岩手県				約 500			約 500	約 500
宮城県				約 500			約 500	約 500
秋田県				–			–	–
山形県				–			–	–
福島県				約 60			約 60	約 60
合計				約 5,600			約 5,600	約 5,600

（単位：棟）

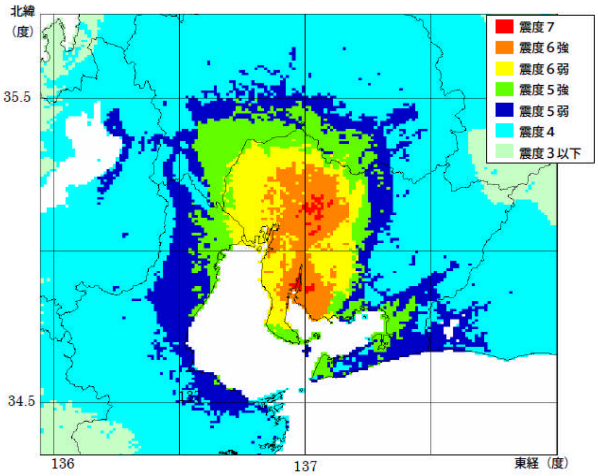
（5）　中部圏・近畿圏直下地震

出典：中部圏・近畿圏直下地震対策（http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_chukin/chukin_top.html）

1)猿投－高浜断層帯の地震（M7.6）

①震度分布図

猿投―高浜断層帯の地震（M7.6）の震度分布



②府県別の被害状況について

a．人的被害＜死者数＞

冬5時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者：風速3m/s				火災による死者：風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	約 30	約 20	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	約 30	約 30
愛知県 23	約 9,300	約 9,000	約 300	約 400	約 300	約 80	約 400	約 10	約 400	約 10	約 1,400	約 10	約 1,300	約 20	約 10,000	約 11,000
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 10	約 10
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 9,300	約 9,000	約 300	約 400	約 300	約 90	約 400	約 10	約 400	約 10	約 1,400	約 10	約 1,300	約 20	約 10,000	約 11,000

b．建物被害＜全壊棟数＞

冬12時

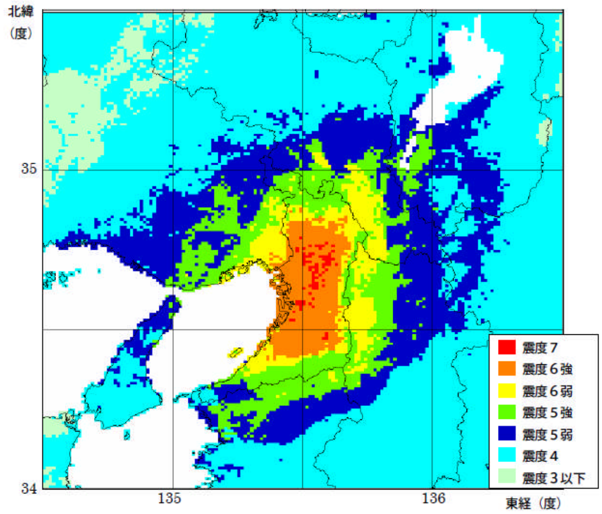
	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	約 30	約 20	約 10	約 1,700	約 1,200	約 500	約 300	約 200	約 80	-	-	約 2,000	約 2,000
愛知県 23	約 150,000	約 130,000	約 17,000	約 17,000	約 13,000	約 3,600	約 3,700	約 2,700	約 1,000	約 43,000	約 120,000	約 210,000	約 290,000
三重県 24	約 40	約 30	約 10	約 2,000	約 1,300	約 600	約 50	約 40	約 10	-	-	約 2,000	約 2,000
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 150,000	約 130,000	約 17,000	約 20,000	約 15,000	約 4,700	約 4,000	約 3,000	約 1,000	約 43,000	約 120,000	約 220,000	約 300,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

2)上町断層帯の地震（M7.6）

①震度分布図

上町断層帯の地震（M7.6）の震度分布



②府県別の被害状況について

a． 人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者：風速3m/s				火災による死者：風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	約 200	約 200	約 10	約 20	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 200	約 200
大阪府 27	約 33,000	約 32,000	約 1,500	約 200	約 100	約 40	約 2,500	約 40	約 2,400	約 30	約 7,400	約 40	約 6,800	約 500	約 36,000	約 41,000
兵庫県 28	約 600	約 600	約 20	約 100	約 100	約 40	-	-	-	-	約 100	-	約 90	-	約 800	約 900
奈良県 29	約 80	約 70	-	約 40	約 30	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	約 100	約 100
和歌山県 30	-	-	-	約 20	約 20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 20	約 20
計	約 34,000	約 33,000	約 1,500	約 400	約 300	約 100	約 2,500	約 50	約 2,400	約 30	約 7,500	約 50	約 6,900	約 500	約 37,000	約 42,000

b． 建物被害＜全壊棟数＞

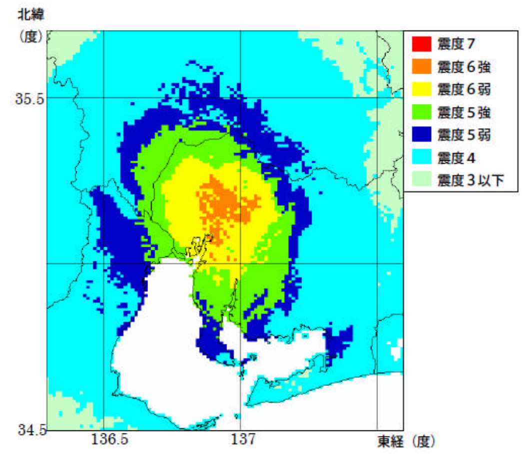
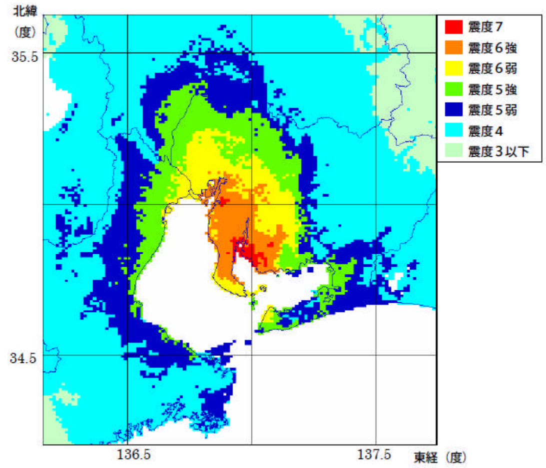
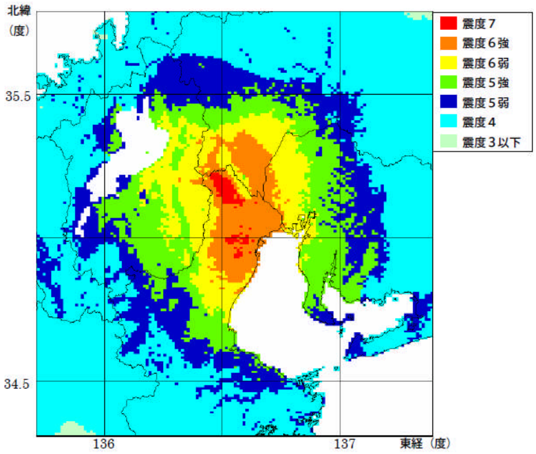
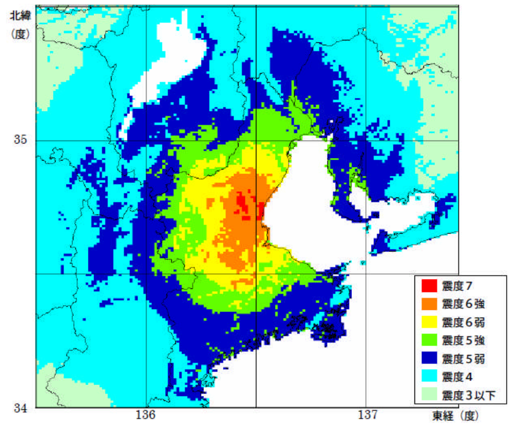
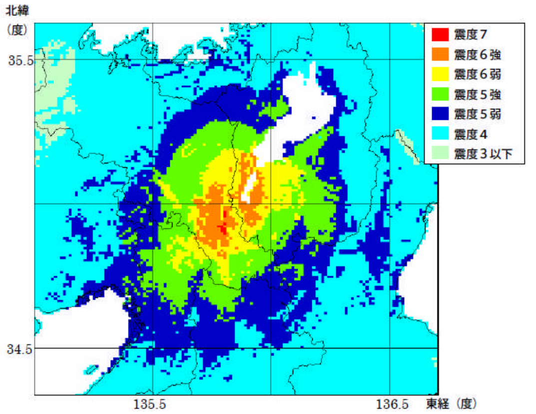
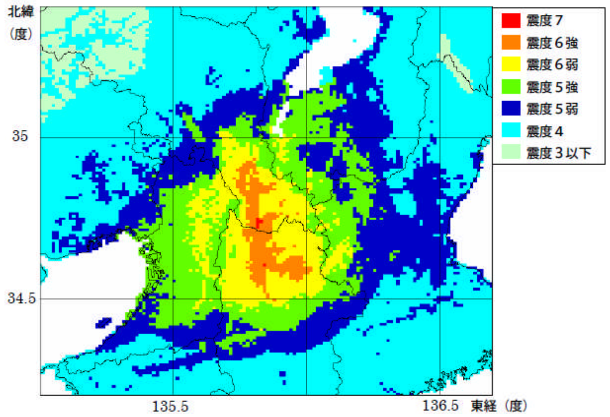
冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	約 10	-	-	-	-	約 10	約 10
滋賀県 25	-	-	-	約 70	約 60	約 10	約 50	約 40	約 10	-	-	約 100	約 100
京都府 26	約 3,200	約 2,800	約 400	約 1,100	約 1,000	約 100	約 200	約 100	約 40	約 3,100	約 8,100	約 7,600	約 13,000
大阪府 27	約 540,000	約 470,000	約 73,000	約 18,000	約 16,000	約 2,100	約 1,900	約 1,500	約 500	約 150,000	約 350,000	約 710,000	約 920,000
兵庫県 28	約 10,000	約 9,000	約 1,400	約 1,300	約 1,100	約 200	約 1,500	約 1,000	約 400	約 1,600	約 26,000	約 15,000	約 39,000
奈良県 29	約 1,300	約 1,100	約 200	約 600	約 500	約 100	約 400	約 300	約 100	約 2,400	約 3,800	約 4,700	約 6,100
和歌山県 30	約 20	約 20	-	約 200	約 100	約 50	約 300	約 200	約 50	-	-	約 400	約 400
計	約 560,000	約 480,000	約 75,000	約 22,000	約 19,000	約 2,600	約 4,300	約 3,200	約 1,100	約 160,000	約 390,000	約 740,000	約 970,000

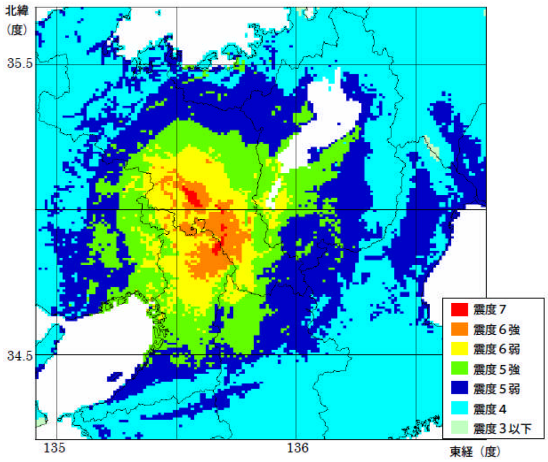
（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

3)その他の地震

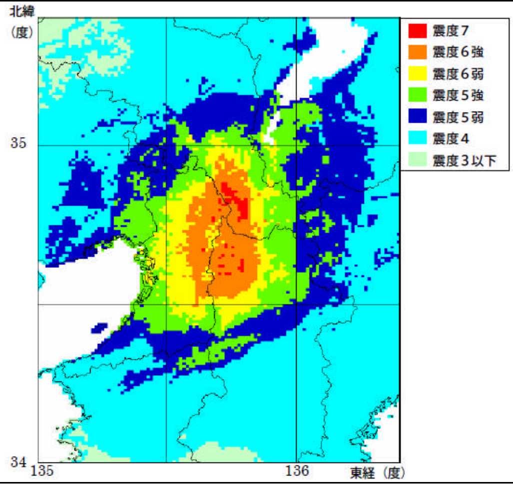
①震度分布図

名古屋市直下 M6.9 の地震	加木屋断層帯の地震（M7.4）
	
養老－桑名－四日市断層帯の地震（M7.7）	布引山地東縁断層帯東部の地震（M7.6）
	
花折断層帯の地震（M7.4）	奈良盆地東縁断層帯の地震（M7.4）
	

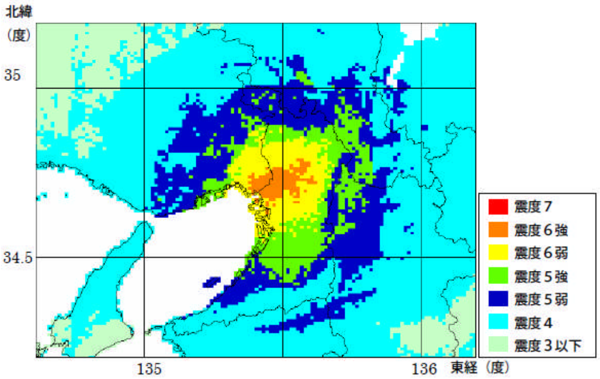
京都西山断層帯の地震（M7.5）



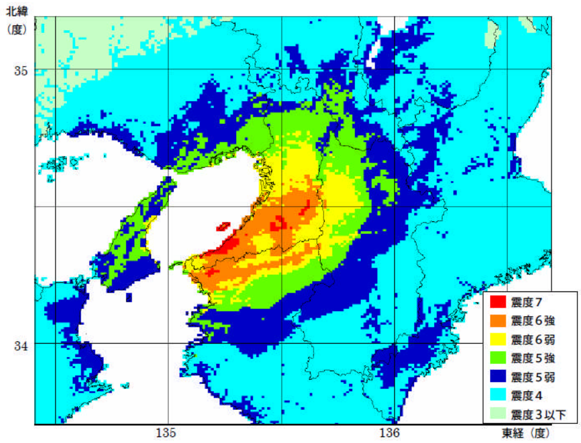
生駒断層帯の地震（M7.5）



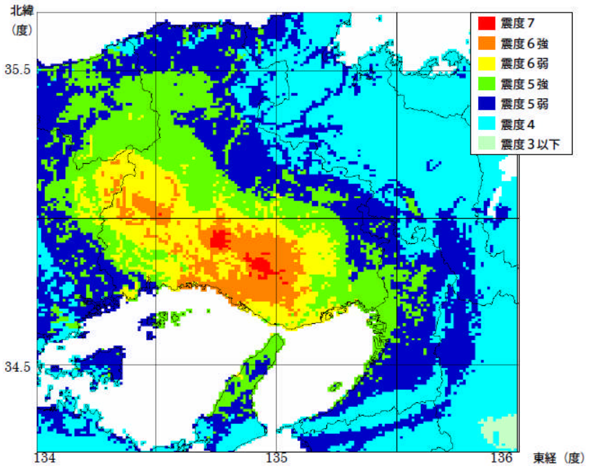
阪神地域直下 M6.9 の地震



中央構造線断層帯の地震
（金剛山地東縁－和泉山脈南縁）（M7.8）



山崎断層帯主部の地震（M8.0）



②府県別の被害状況について

■名古屋市直下 M6.9 の地震

a．人的被害＜死者数＞

冬5時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	約 3,500	約 3,400	約 200	約 200	約 100	約 40	約 50	約 10	約 40	-	約 500	約 10	約 500	約 10	約 3,800	約 4,200
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 3,500	約 3,400	約 200	約 200	約 100	約 40	約 50	約 10	約 40	-	約 500	約 10	約 500	約 10	約 3,800	約 4,200

b．建物被害＜全壊棟数＞

冬12時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	約 1,100	約 800	約 300	約 50	約 30	約 10	-	-	約 1,100	約 1,100
愛知県 23	約 56,000	約 50,000	約 6,300	約 14,000	約 11,000	約 2,700	約 1,700	約 1,200	約 400	約 17,000	約 66,000	約 89,000	約 140,000
三重県 24	-	-	-	約 500	約 400	約 100	約 10	約 10	-	-	-	約 500	約 500
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 56,000	約 50,000	約 6,300	約 15,000	約 12,000	約 3,200	約 1,700	約 1,300	約 400	約 17,000	約 66,000	約 90,000	約 140,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■加木屋断層帯の地震（M7.4）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	約 3,500	約 3,400	約 90	約 200	約 200	約 40	約 100	約 10	約 100	-	約 400	約 10	約 300	約 10	約 3,800	約 4,100
三重県 24	約 10	約 10	-	約 20	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 20	約 20
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 3,500	約 3,400	約 90	約 200	約 200	約 50	約 100	約 10	約 100	-	約 400	約 10	約 300	約 10	約 3,800	約 4,100

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	約 700	約 500	約 200	約 10	約 10	-	-	-	約 800	約 800
愛知県 23	約 58,000	約 50,000	約 8,200	約 15,000	約 11,000	約 3,300	約 2,400	約 1,900	約 500	約 15,000	約 38,000	約 90,000	約 110,000
三重県 24	約 100	約 80	約 30	約 2,900	約 2,000	約 900	約 200	約 100	約 70	-	-	約 3,200	約 3,200
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 58,000	約 50,000	約 8,200	約 18,000	約 14,000	約 4,400	約 2,600	約 2,000	約 600	約 15,000	約 38,000	約 94,000	約 120,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■養老－桑名－四日市断層帯の地震（M7.7）

a．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	約 900	約 900	約 10	約 20	約 20	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-	約 30	-	約 900	約 900
愛知県 23	約 500	約 500	約 10	約 30	約 20	約 10	約 10	-	-	-	約 20	-	約 20	-	約 500	約 500
三重県 24	約 3,900	約 3,900	約 50	約 80	約 60	約 20	約 100	約 10	約 100	-	約 400	約 10	約 400	約 10	約 4,100	約 4,400
滋賀県 25	約 100	約 100	-	約 40	約 30	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	約 100	約 100
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 5,300	約 5,300	約 70	約 200	約 100	約 40	約 100	約 10	約 100	-	約 400	約 10	約 400	約 10	約 5,600	約 5,900

b．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	約 14,000	約 13,000	約 1,500	約 2,500	約 1,700	約 800	約 300	約 200	約 70	約 1,600	約 11,000	約 18,000	約 28,000
愛知県 23	約 7,400	約 6,700	約 600	約 12,000	約 9,800	約 2,500	約 300	約 200	約 60	約 6,800	約 14,000	約 27,000	約 34,000
三重県 24	約 66,000	約 57,000	約 8,500	約 3,700	約 2,500	約 1,200	約 900	約 700	約 200	約 19,000	約 51,000	約 89,000	約 120,000
滋賀県 25	約 1,700	約 1,400	約 200	約 400	約 300	約 100	約 500	約 300	約 100	約 2,100	約 4,200	約 4,600	約 6,700
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 89,000	約 78,000	約 11,000	約 19,000	約 14,000	約 4,600	約 1,900	約 1,400	約 500	約 29,000	約 81,000	約 140,000	約 190,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■布引山地東縁断層帯東部の地震（M7.6）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者：風速3m/s				火災による死者：風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	約 2,300	約 2,300	約 40	約 200	約 200	約 60	約 90	-	約 90	-	約 300	-	約 300	-	約 2,700	約 2,800
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 10	約 10
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 2,300	約 2,300	約 40	約 300	約 200	約 60	約 90	-	約 90	-	約 300	-	約 300	-	約 2,700	約 2,800

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	約 20	約 20	約 10	-	-	-	-	-	約 20	約 20
愛知県 23	-	-	-	約 500	約 400	約 200	約 30	約 20	-	-	-	約 600	約 600
三重県 24	約 39,000	約 34,000	約 5,000	約 3,800	約 2,500	約 1,300	約 2,800	約 1,900	約 800	約 18,000	約 38,000	約 63,000	約 83,000
滋賀県 25	約 30	約 30	-	約 40	約 30	約 10	約 50	約 40	約 10	-	-	約 100	約 100
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県 29	-	-	-	約 10	約 10	-	約 40	約 30	約 10	-	-	約 50	約 50
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 39,000	約 34,000	約 5,000	約 4,400	約 2,900	約 1,500	約 2,900	約 2,000	約 900	約 18,000	約 38,000	約 64,000	約 83,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■花折断層帯の地震（M7.4）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	約 1,000	約 1,000	約 20	約 80	約 60	約 10	約 40	-	約 40	-	約 90	-	約 80	-	約 1,200	約 1,200
京都府 26	約 7,300	約 7,100	約 100	約 100	約 80	約 20	約 800	約 10	約 800	約 20	約 2,000	約 10	約 1,700	約 300	約 8,200	約 9,400
大阪府 27	約 90	約 80	-	約 20	約 20	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	約 100	約 100
兵庫県 28	-	-	-	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 10	約 10
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 8,400	約 8,200	約 200	約 200	約 200	約 40	約 800	約 10	約 800	約 20	約 2,100	約 10	約 1,800	約 300	約 9,500	約 11,000

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	約 90	約 70	約 20	約 40	約 30	約 10	-	-	約 100	約 100
滋賀県 25	約 16,000	約 15,000	約 1,400	約 900	約 700	約 200	約 800	約 700	約 200	約 7,900	約 19,000	約 26,000	約 37,000
京都府 26	約 110,000	約 110,000	約 8,500	約 1,500	約 1,300	約 200	約 1,100	約 900	約 200	約 120,000	約 210,000	約 230,000	約 330,000
大阪府 27	約 1,400	約 1,200	約 200	約 3,800	約 3,400	約 400	約 300	約 200	約 60	約 300	約 3,800	約 5,700	約 9,300
兵庫県 28	-	-	-	約 50	約 50	約 10	約 70	約 40	約 20	-	-	約 100	約 100
奈良県 29	-	-	-	約 40	約 30	約 10	約 20	約 10	-	-	-	約 60	約 60
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 130,000	約 120,000	約 10,000	約 6,300	約 5,500	約 800	約 2,300	約 1,800	約 500	約 130,000	約 240,000	約 270,000	約 380,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■奈良盆地東縁断層帯の地震（M7.4）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	約 10	約 10	-	約 30	約 20	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	約 40	約 40
滋賀県 25	約 10	約 10	-	約 20	約 20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 30	約 30
京都府 26	約 1,500	約 1,500	約 30	約 40	約 30	約 10	約 80	-	約 70	-	約 200	-	約 200	約 10	約 1,600	約 1,800
大阪府 27	約 100	約 100	約 10	約 50	約 40	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	約 200	約 200
兵庫県 28	-	-	-	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 10	約 10
奈良県 29	約 1,400	約 1,400	約 30	約 90	約 70	約 20	約 80	-	約 80	-	約 200	-	約 200	-	約 1,600	約 1,700
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 3,100	約 3,000	約 60	約 200	約 200	約 50	約 200	約 10	約 200	約 10	約 400	約 10	約 300	約 10	約 3,500	約 3,700

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	約 200	約 100	約 20	約 50	約 40	約 20	約 300	約 200	約 90	-	-	約 600	約 600
滋賀県 25	約 100	約 100	約 20	約 200	約 200	約 40	約 200	約 200	約 40	-	-	約 600	約 600
京都府 26	約 24,000	約 22,000	約 2,000	約 1,500	約 1,300	約 200	約 500	約 300	約 100	約 23,000	約 57,000	約 49,000	約 83,000
大阪府 27	約 2,100	約 1,800	約 400	約 6,700	約 6,000	約 800	約 500	約 400	約 100	約 1,000	約 2,500	約 10,000	約 12,000
兵庫県 28	-	-	-	約 100	約 100	約 20	約 70	約 50	約 20	-	-	約 200	約 200
奈良県 29	約 22,000	約 21,000	約 1,800	約 1,000	約 800	約 200	約 900	約 700	約 200	約 11,000	約 21,000	約 35,000	約 46,000
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	約 20	約 20	-	-	-	約 20	約 20
計	約 49,000	約 45,000	約 4,100	約 9,700	約 8,500	約 1,200	約 2,600	約 2,000	約 600	約 35,000	約 81,000	約 96,000	約 140,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■京都西山断層帯の地震（M7.5）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者：風速3m/s				火災による死者：風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	約 30	約 30	-	約 30	約 30	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	約 70	約 70
京都府 26	約 7,000	約 6,800	約 100	約 90	約 70	約 20	約 700	約 10	約 700	約 10	約 1,900	約 10	約 1,600	約 300	約 7,700	約 9,000
大阪府 27	約 3,100	約 3,000	約 100	約 100	約 80	約 20	約 100	約 10	約 90	-	約 400	約 10	約 400	約 20	約 3,300	約 3,600
兵庫県 28	約 30	約 30	-	約 80	約 60	約 20	-	-	-	-	-	-	-	-	約 100	約 100
奈良県 29	約 10	約 10	-	約 20	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 30	約 30
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 10,000	約 9,900	約 200	約 300	約 300	約 70	約 800	約 10	約 800	約 10	約 2,300	約 10	約 2,000	約 300	約 11,000	約 13,000

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	約 20	約 10	約 10	約 30	約 20	約 10	-	-	約 50	約 50
滋賀県 25	約 600	約 500	約 80	約 400	約 300	約 90	約 400	約 300	約 60	約 80	約 200	約 1,400	約 1,500
京都府 26	約 110,000	約 100,000	約 8,100	約 1,500	約 1,300	約 200	約 1,000	約 700	約 200	約 80,000	約 160,000	約 190,000	約 270,000
大阪府 27	約 50,000	約 44,000	約 5,400	約 10,000	約 9,300	約 1,100	約 1,100	約 800	約 300	約 12,000	約 58,000	約 73,000	約 120,000
兵庫県 28	約 500	約 400	約 80	約 500	約 500	約 70	約 900	約 600	約 200	-	約 300	約 1,900	約 2,200
奈良県 29	約 200	約 100	約 30	約 200	約 200	約 50	約 200	約 100	約 40	-	-	約 600	約 600
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 160,000	約 150,000	約 14,000	約 13,000	約 12,000	約 1,500	約 3,500	約 2,700	約 900	約 92,000	約 220,000	約 270,000	約 400,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■生駒断層帯の地震（M7.5）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
愛知県 23	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
三重県 24	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
滋賀県 25	–	–	–	約 20	約 20	–	–	–	–	–	–	–	–	–	約 30	約 30
京都府 26	約 3,400	約 3,300	約 60	約 40	約 30	約 10	約 200	約 10	約 200	約 10	約 600	約 10	約 500	約 40	約 3,600	約 4,000
大阪府 27	約 8,300	約 8,100	約 200	約 100	約 90	約 20	約 200	約 10	約 200	約 10	約 1,400	約 10	約 1,200	約 300	約 8,600	約 9,800
兵庫県 28	–	–	–	約 10	約 10	–	–	–	–	–	–	–	–	–	約 10	約 10
奈良県 29	約 4,100	約 4,000	約 60	約 60	約 50	約 10	約 300	約 10	約 300	–	約 600	約 10	約 600	約 10	約 4,400	約 4,800
和歌山県 30	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
計	約 16,000	約 15,000	約 300	約 300	約 200	約 50	約 700	約 20	約 700	約 20	約 2,600	約 20	約 2,300	約 300	約 17,000	約 19,000

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
愛知県 23	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
三重県 24	–	–	–	約 90	約 70	約 20	約 50	約 40	約 10	–	–	約 100	約 100
滋賀県 25	約 80	約 60	約 20	約 200	約 200	約 40	約 200	約 200	約 40	–	–	約 500	約 500
京都府 26	約 53,000	約 49,000	約 4,600	約 1,700	約 1,500	約 200	約 500	約 300	約 100	約 44,000	約 94,000	約 100,000	約 150,000
大阪府 27	約 130,000	約 120,000	約 12,000	約 13,000	約 12,000	約 1,500	約 1,200	約 900	約 300	約 36,000	約 150,000	約 180,000	約 300,000
兵庫県 28	約 20	約 20	約 10	約 300	約 300	約 40	約 100	約 100	約 40	–	–	約 500	約 500
奈良県 29	約 65,000	約 60,000	約 5,100	約 1,200	約 900	約 200	約 700	約 500	約 200	約 21,000	約 45,000	約 87,000	約 110,000
和歌山県 30	–	–	–	–	–	–	約 40	約 30	約 10	–	–	約 40	約 40
計	約 250,000	約 230,000	約 22,000	約 17,000	約 15,000	約 2,100	約 2,800	約 2,200	約 600	約 100,000	約 290,000	約 370,000	約 560,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「–」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■阪神地域直下M6.9 の地震

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	約 5,100	約 4,800	約 300	約 40	約 30	約 10	約 100	約 10	約 100	-	約 800	約 10	約 800	約 20	約 5,300	約 6,000
兵庫県 28	約 700	約 700	約 20	約 90	約 70	約 20	-	-	-	-	約 100	-	約 100	-	約 800	約 900
奈良県 29	-	-	-	約 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約 10	約 10
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 5,800	約 5,500	約 300	約 100	約 100	約 30	約 100	約 10	約 100	-	約 1,000	約 10	約 900	約 30	約 6,100	約 6,900

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	約 200	約 200	約 40	約 10	約 10	-	-	-	約 300	約 300
大阪府 27	約 84,000	約 72,000	約 12,000	約 13,000	約 12,000	約 1,500	約 500	約 400	約 100	約 30,000	約 150,000	約 130,000	約 250,000
兵庫県 28	約 12,000	約 10,000	約 1,600	約 1,400	約 1,200	約 200	約 900	約 700	約 200	約 200	約 31,000	約 14,000	約 45,000
奈良県 29	-	-	-	約 40	約 30	約 10	約 60	約 40	約 10	-	-	約 90	約 90
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 96,000	約 82,000	約 14,000	約 15,000	約 13,000	約 1,800	約 1,500	約 1,100	約 300	約 30,000	約 180,000	約 140,000	約 290,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■中央構造線断層帯の地震（M7.8）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者：風速3m/s				火災による死者：風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
愛知県 23	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
三重県 24	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
滋賀県 25	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
京都府 26	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
大阪府 27	約 7,300	約 7,200	約 200	約 100	約 100	約 30	約 200	約 10	約 200	約 10	約 600	約 10	約 600	約 20	約 7,700	約 8,100
兵庫県 28	−	−	−	約 40	約 20	約 10	−	−	−	−	−	−	−	−	約 40	約 40
奈良県 29	約 300	約 300	−	約 50	約 50	約 10	−	−	−	−	−	−	−	−	約 300	約 300
和歌山県 30	約 2,000	約 2,000	約 30	約 200	約 100	約 30	約 90	−	約 90	−	約 200	−	約 200	−	約 2,300	約 2,400
計	約 9,600	約 9,400	約 200	約 400	約 300	約 90	約 300	約 10	約 300	約 10	約 800	約 10	約 800	約 30	約 10,000	約 11,000

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬12時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
愛知県 23	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
三重県 24	−	−	−	−	−	−	約 20	約 10	−	−	−	約 20	約 20
滋賀県 25	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
京都府 26	−	−	−	約 200	約 200	約 40	約 10	約 10	−	−	−	約 300	約 300
大阪府 27	約 120,000	約 110,000	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,300	約 1,500	約 1,100	約 400	約 19,000	約 79,000	約 150,000	約 210,000
兵庫県 28	約 50	約 40	約 20	約 500	約 400	約 90	約 400	約 300	約 100	−	−	約 900	約 900
奈良県 29	約 4,100	約 3,800	約 300	約 800	約 700	約 100	約 600	約 500	約 100	約 2,200	約 4,000	約 7,700	約 9,500
和歌山県 30	約 33,000	約 30,000	約 3,300	約 2,300	約 1,600	約 600	約 1,700	約 1,300	約 500	約 12,000	約 26,000	約 49,000	約 63,000
計	約 150,000	約 140,000	約 15,000	約 15,000	約 13,000	約 2,200	約 4,300	約 3,200	約 1,100	約 33,000	約 110,000	約 210,000	約 280,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「−」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

■山崎断層帯主部の地震（M8.0）

ａ．人的被害＜死者数＞

冬５時

	揺れによる死者			急傾斜地崩壊による死者			火災による死者:風速3m/s				火災による死者:風速15m/s				死者数合計	
	小計	木造	非木造	小計	木造	非木造	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	小計	逃げ遅れ	閉じ込め	延焼拡大	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府 27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県 28	約 6,200	約 6,100	約 80	約 700	約 500	約 200	約 300	約 10	約 300	約 10	約 600	約 10	約 600	約 10	約 7,200	約 7,500
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	約 6,200	約 6,100	約 80	約 700	約 500	約 200	約 300	約 10	約 300	約 10	約 600	約 10	約 600	約 10	約 7,200	約 7,500

ｂ．建物被害＜全壊棟数＞

冬 12 時

	揺れによる全壊棟数			液状化による全壊棟数			急傾斜地崩壊による全壊棟数			焼失棟数		建物被害合計	
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	風速3m/s	風速15m/s	風速3m/s	風速15m/s
岐阜県 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 26	-	-	-	約 10	約 10	-	約 10	約 10	約 10	-	-	約 20	約 20
大阪府 27	-	-	-	約 2,600	約 2,300	約 300	約 30	約 30	約 10	-	-	約 2,600	約 2,600
兵庫県 28	約 100,000	約 90,000	約 9,800	約 2,200	約 1,900	約 400	約 7,800	約 5,400	約 2,500	約 32,000	約 68,000	約 140,000	約 180,000
奈良県 29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県 30	-	-	-	-	-	-	約 10	-	-	-	-	約 10	約 10
計	約 100,000	約 90,000	約 9,800	約 4,800	約 4,200	約 600	約 7,900	約 5,400	約 2,500	約 32,000	約 68,000	約 140,000	約 180,000

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の値と一致しない場合がある。
（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

3　都道府県による地震被害想定調査結果（概要）

(1)　北海道

（北海道においては道全体及び中核市の被害を表現するのに適切な被害想定がなかったため、札幌市地震被害想定をもとに札幌市の被害を整理した。）

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
札幌市	苫小牧沖	7.5	6弱	2	1	1	127	96	104
	石狩低地東縁断層帯（主部）	8	6弱	9	5	6	727	507	558
	野幌丘陵断層帯	7.5	7	543	253	397	11,384	7,313	8,207
	月寒背斜に関する断層	7.3	7	2,637	1,318	2,038	33,809	23,297	26,009
	西札幌背斜に関する断層	6.7	7	1,535	772	1,193	20,571	14,398	16,142

（注）冬の人的被害者数（死者）は、発災後 24 時間以内に救出されない場合に凍死すると仮定した場合の数値

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
札幌市	苫小牧沖	427	1,210	0	−	−	−	−
	石狩低地東縁断層帯（主部）	1,002	4,301	0	−	−	−	−
	野幌丘陵断層帯	8,026	37,366	382	−	−	−	−
	月寒背斜に関する断層	33,611	78,850	1,405	−	−	−	−
	西札幌背斜に関する断層	20,336	54,300	957	−	−	−	−

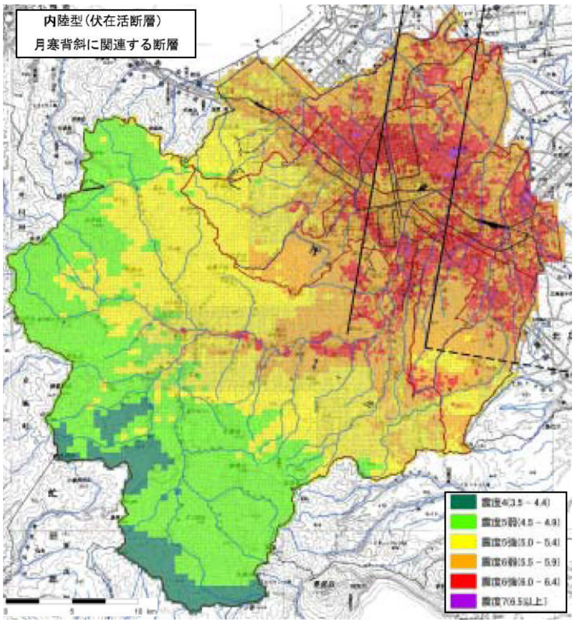
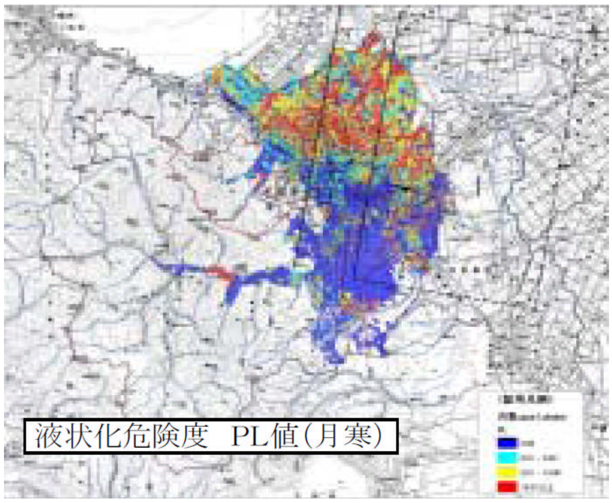
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

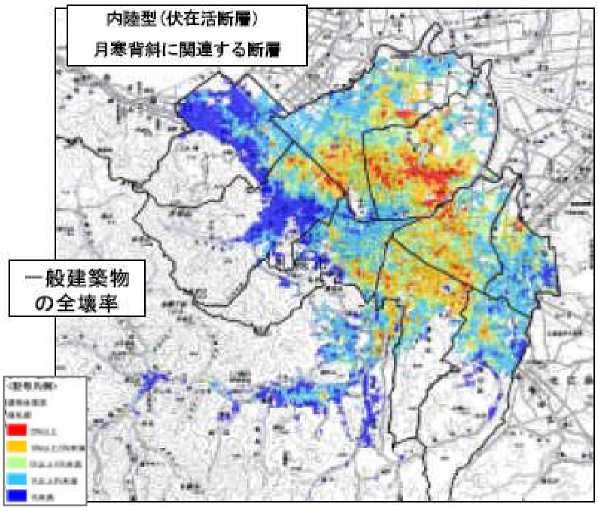
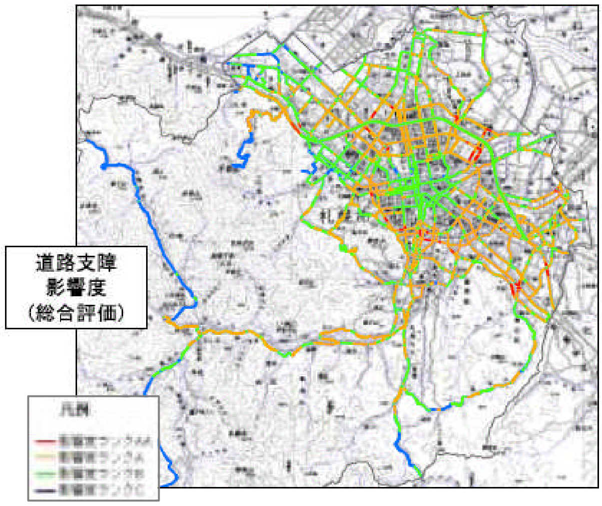
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電率	断水率	通話機能支障率
札幌市	苫小牧沖	−	−	−
	石狩低地東縁断層帯（主部）	−	−	−
	野幌丘陵断層帯	−	−	−
	月寒背斜に関する断層	17.8%	67.3%	9.2%
	西札幌背斜に関する断層	−	−	−

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：第３次地震被害想定について　平成 20 年度札幌市防災会議　平成 20 年 9 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て月寒背斜に関する断層の地震）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

一般建築物の全壊率	道路支障影響度
	

（出典：第３次地震被害想定について　平成 20 年度札幌市防災会議　平成 20 年 9 月）

(2) 青森県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害	
				死者数	負傷者数
				冬18時	冬18時
青森県全体	想定太平洋側海溝型地震	8.2	6弱※	396	4,938
	想定日本海側海溝型地震	7.3	－	84	605
	想定内陸型地震	7.2	－	7	214
うち青森市	想定太平洋側海溝型地震	8.2	6弱※	133	1,212
	想定日本海側海溝型地震	7.3	－	0	0
	想定内陸型地震	7.2	－	0	0

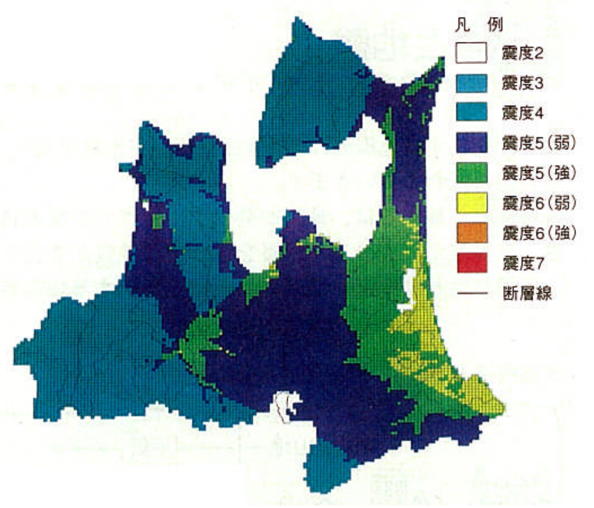
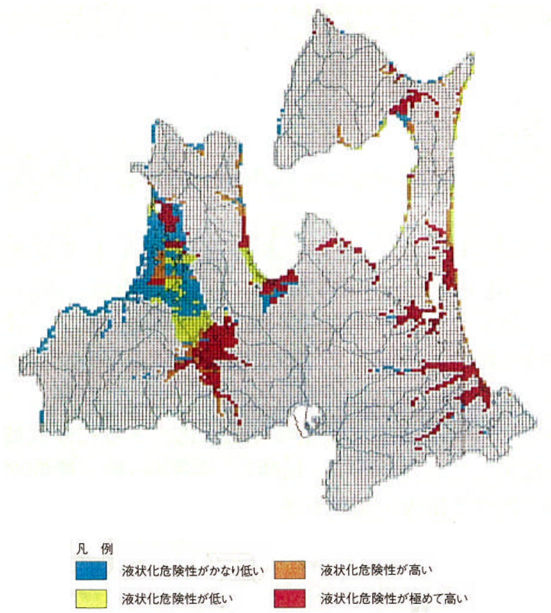
※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害									
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
青森県全体	想定太平洋側海溝型地震	6,462	38,196	18,180	24,253	5,119	797	2,464	－	－
	想定日本海側海溝型地震	50	7,224	1,311	1,829	0	1,171	662	－	－
	想定内陸型地震	386	4,080	1,621	2,309	0	－	－	－	－
うち青森市	想定太平洋側海溝型地震	1,561	4,226	4,976	6,677	3,056	0	0	－	－
	想定日本海側海溝型地震	0	87	49	68	0	0	0	－	－
	想定内陸型地震	4	437	275	389	0	－	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：平成８年度青森県地震・津波被害想定調査 報告書　平成９年３月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て想定太平洋側海溝型地震）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

（出典：青森県地震・津波被害想定調査　平成９年３月）

(3)　岩手県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 夏昼	死者数 冬夕刻	死者数 冬夜間	負傷者数 夏昼	負傷者数 冬夕刻	負傷者数 冬夜間
岩手県全体	想定宮城県沖連動地震（津波防災施設効果なし・避難所要時間40分）【津波のみ】	8.0	6弱※	1,014	－	400	2,156	－	624
岩手県全体	想定宮城県沖連動地震【地震のみ】	8.0	6弱※	－	10	7	－	2,237	2,713
うち盛岡市	想定宮城県沖連動地震【地震のみ】	8.0	5弱※	－	0	0	－	61	72

※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）人的被害のうち夏昼は津波によるもののみ、冬夕刻は建物倒壊によるもののみ、冬夜間は建物倒壊＋津波によるもの
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数	揺れ＋液状化 半壊数	火災［最大］ 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
岩手県全体	想定宮城県沖連動地震（津波防災施設効果なし・避難所要時間40分）【津波のみ】	－	－	－	4,334	5,550	－	－
岩手県全体	想定宮城県沖連動地震【地震のみ】	289	643	0	－	－	－	－
うち盛岡市	想定宮城県沖連動地震【地震のみ】	1	2	0	－	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

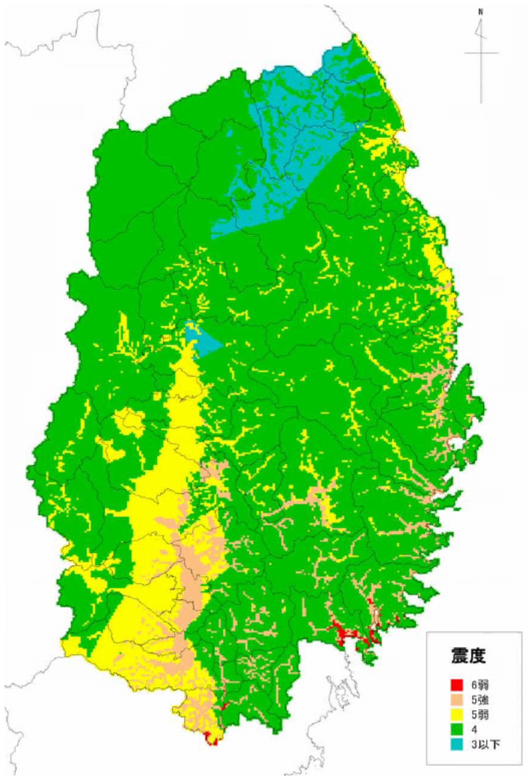
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数	上水道 断水人口（断水率）	電話・通信 通話機能支障件数
岩手県全体	想定宮城県沖連動地震（津波防災施設効果なし・避難所要時間40分）【津波のみ】	－	－	－
岩手県全体	想定宮城県沖連動地震【地震のみ】	－	22,433(0.463%)	－
うち盛岡市	想定宮城県沖連動地震【地震のみ】	－	2(0.001%)	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

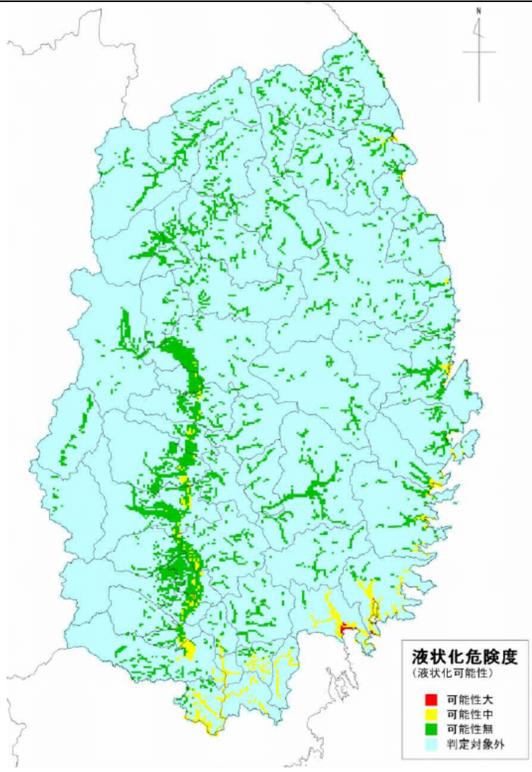
（出典：岩手県地震・津波シミュレーション及び被害想定調査に関する報告書（概要版）　平成16年11月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て想定宮城県沖連動地震）（その１）

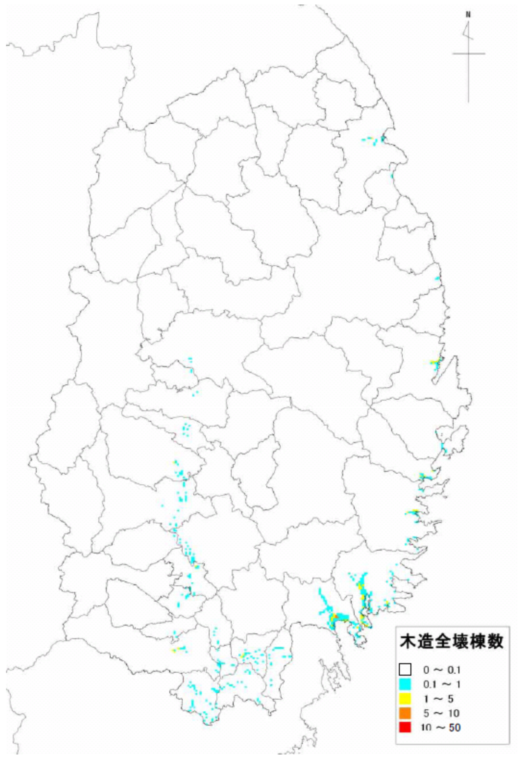
震度の予測結果図



液状化可能性の予測結果図

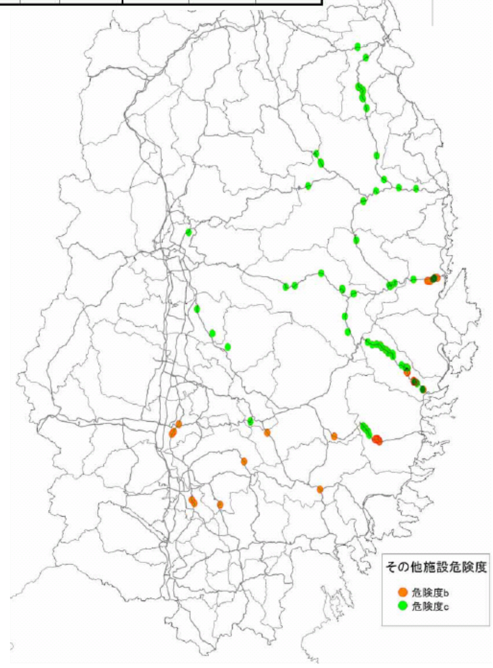


木造建物全壊棟数（メッシュ別）（単位：棟）



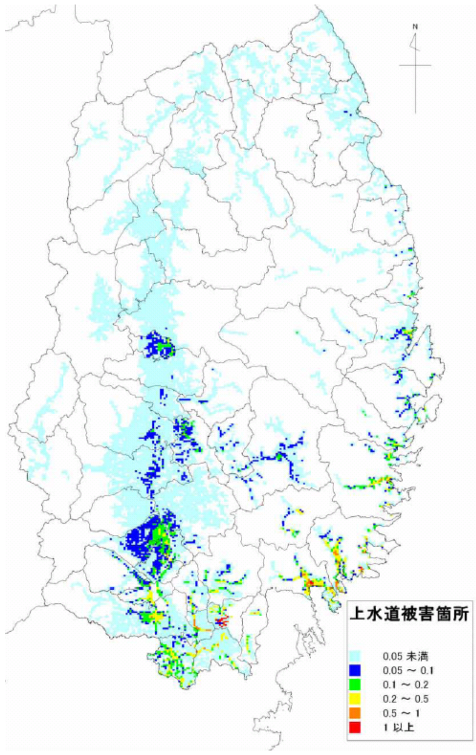
道路その他被災施設被災ポテンシャル

評価ランク または 安定度評価	地震	豪雨豪雪	震度６弱	震度５強	震度５弱
	C	0	a	b	c
	B	1	b	c	d



②主な被害想定結果図面（以下は全て想定宮城県沖連動地震）（その２）

上水道管被害箇所（単位：箇所）



（出典：岩手県地震・津波シミュレーション及び被害想定調査に関する報告書（概要版）　平成 16 年 11 月）

(4)　宮城県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬4時	死者数 夏12時	死者数 冬18時	負傷者数 冬4時	負傷者数 夏12時	負傷者数 冬18時
宮城県全体	宮城県沖地震(単独)	7.6Mw	7※	127	75	96	4,351	3,851	4,014
	宮城県沖地震(連動)	7.8Mw	6強※	227	126	164	6,811	6,147	6,170
	長町－利府線断層帯の地震	7.14Mw	7※	865	511	620	11,983	11,243	11,003
うち仙台市	宮城県沖地震(単独)	7.6Mw	6強※	13	10	15	1,142	930	1,248
	宮城県沖地震(連動)	7.8Mw	6強※	19	15	24	2,146	1,885	2,114
	長町－利府線断層帯の地震	7.14Mw	7※	857	505	611	11,729	11,028	10,722

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

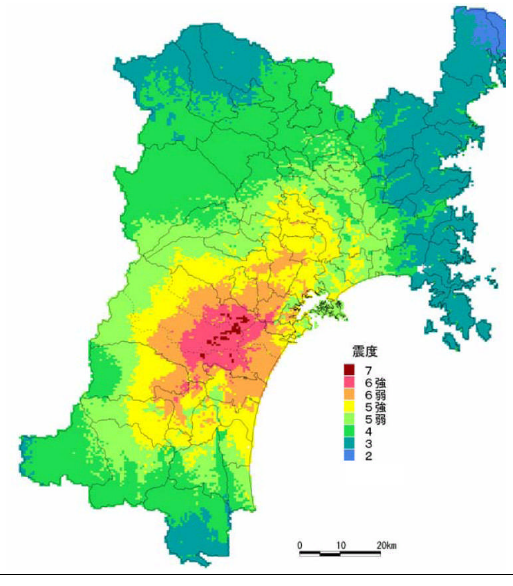
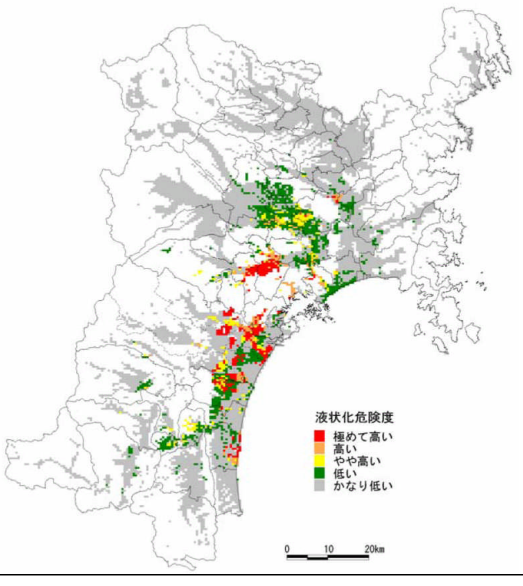
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数（全壊率）	揺れ＋液状化 半壊数（半壊率）	火災[最大] 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
宮城県全体	宮城県沖地震(単独)	5,496(0.55%)	38,701(3.89%)	2,482	－	－	－	－
	宮城県沖地震(連動)	7,595(0.76%)	50,896(5.12%)	2,874	－	－	－	－
	長町－利府線断層帯の地震	15,251(1.53%)	40,537(4.08%)	4,509	－	－	－	－
うち仙台市	宮城県沖地震(単独)	1,027(0.35%)	7,324(2.47%)	1,908	－	－	－	－
	宮城県沖地震(連動)	1,263(0.43%)	11,536(3.89%)	2,061	－	－	－	－
	長町－利府線断層帯の地震	14,774(4.98%)	38,533(12.98%)	4,340	－	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数(支障率)	上水道 断水世帯数(断水率)	電話・通信 通話機能支障世帯数（支障率）
宮城県全体	宮城県沖地震(単独)	92,738(11.16%)	148,536(9.0%)	11,424(1.4%)
	宮城県沖地震(連動)	100,318(12.08%)	186,215(10.0%)	14,330(1.7%)
	長町－利府線断層帯の地震	94,900(11.42%)	136,762(4.0%)	26,086(3.1%)
うち仙台市	宮城県沖地震(単独)	53,765(12.82%)	33,379(6.0%)	8,441(2.0%)
	宮城県沖地震(連動)	60,208(14.35%)	53,083(8.0%)	10,573(2.5%)
	長町－利府線断層帯の地震	80,488(19.19%)	118,983(21.0%)	25,139(6.0%)

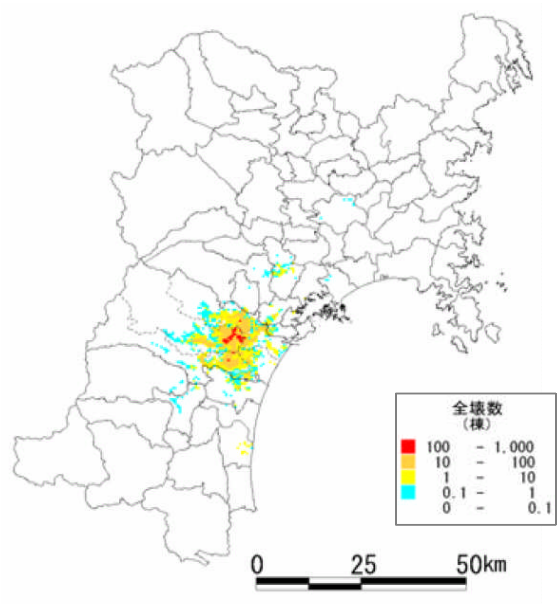
（出典：宮城県地震被害想定調査に関する報告書 宮城県防災会議地震対策等専門部会　平成 16 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て長町－利府線断層帯の地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度判定結果
	

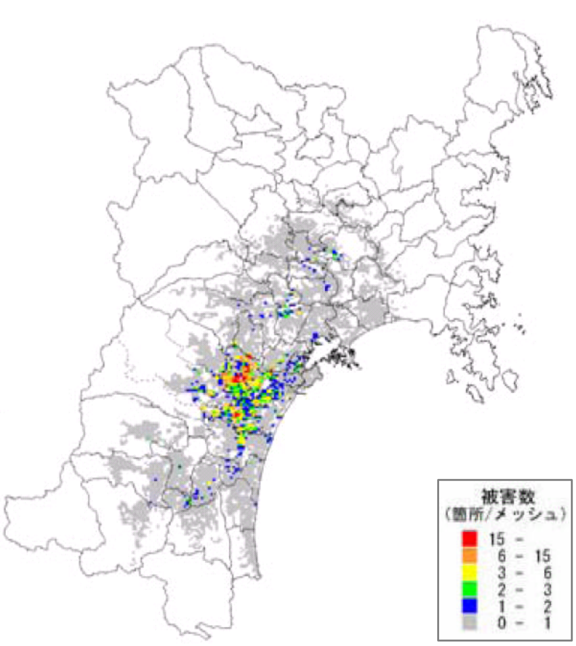
②主な被害想定結果図面（以下は全て長町－利府線断層帯の地震）（その２）

揺れと液状化による全建物の全壊数分布図

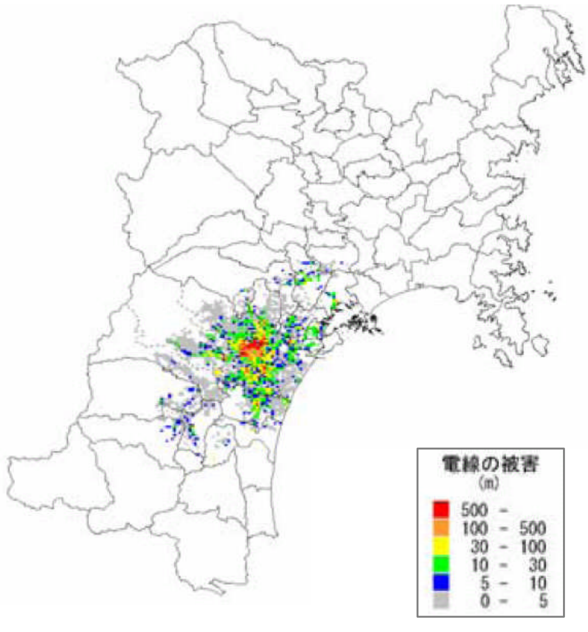


道路現況と被害分布

上水道現況と被害分布



電線の被害分布－冬



（出典：宮城県地震被害想定調査に関する報告書 宮城県防災会議地震対策等専門部会　平成 16 年 3 月）

(5)　秋田県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害	
				死者数	負傷者数
				朝10時	朝10時
被害想定対象地区全体	地震A　天長地震モデル	7.2	6強※	1,195	20,628
うち秋田市	地震A　天長地震モデル	7.2	6強※	1,136	17,020

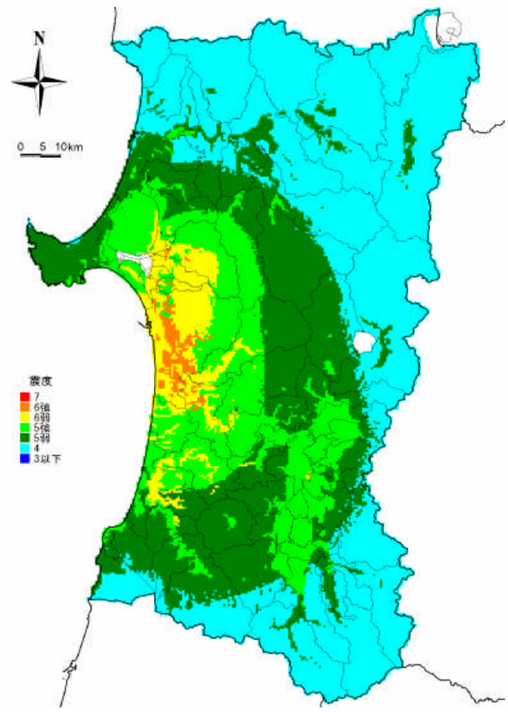
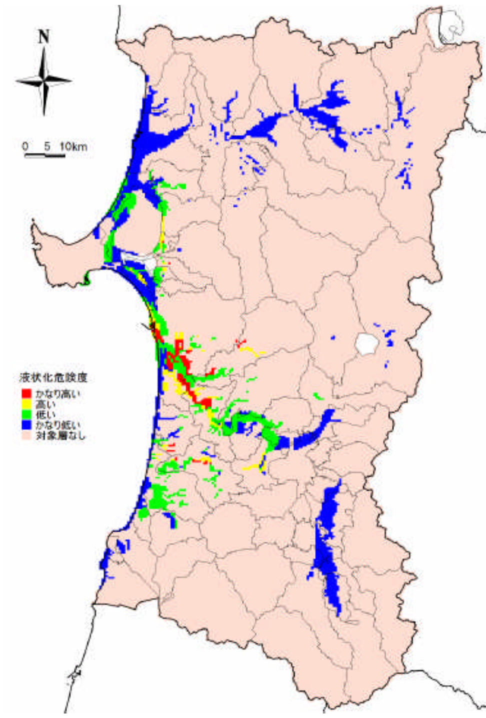
（注）被害想定対象地区：秋田市、五城目町、昭和町、八郎潟町、飯田川町、天王町、井川町、河辺町、雄和町
※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
被害想定対象地区全体	地震A　天長地震モデル	13,496	22,906	－	－	－	－	－
うち秋田市	地震A　天長地震モデル	11,298	18,156	2,557	－	－	－	－

（注）被害想定対象地区：秋田市、五城目町、昭和町、八郎潟町、飯田川町、天王町、井川町、河辺町、雄和町
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：秋田県地震被害想定調査報告書　平成9年3月）

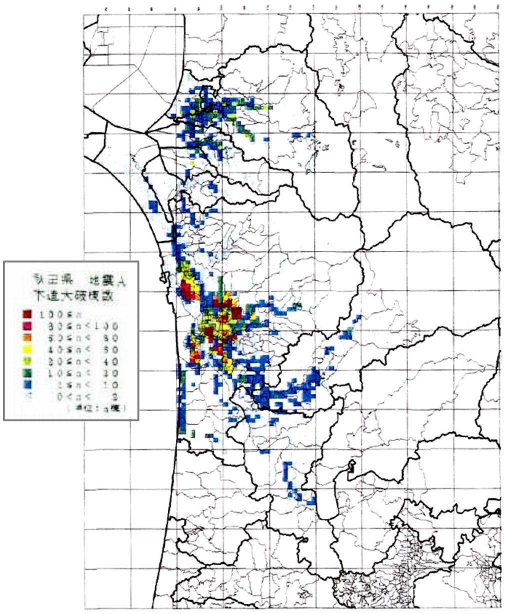
②主な被害想定結果図面（以下は全て地震A　天長地震モデル）（その１）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

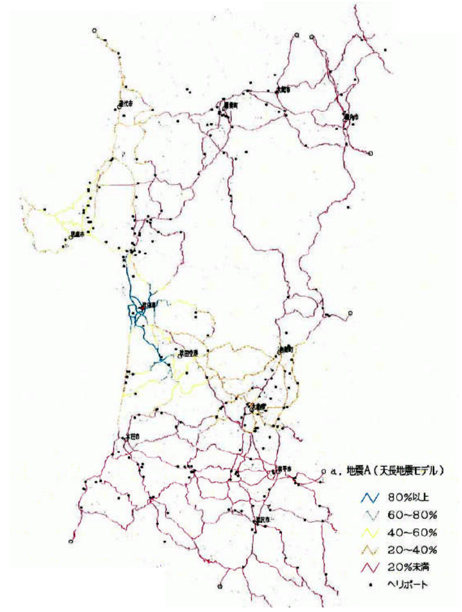
（出典：秋田県地域防災計画　震災編　平成20年2月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て地震Ａ　天長地震モデル）（その２）

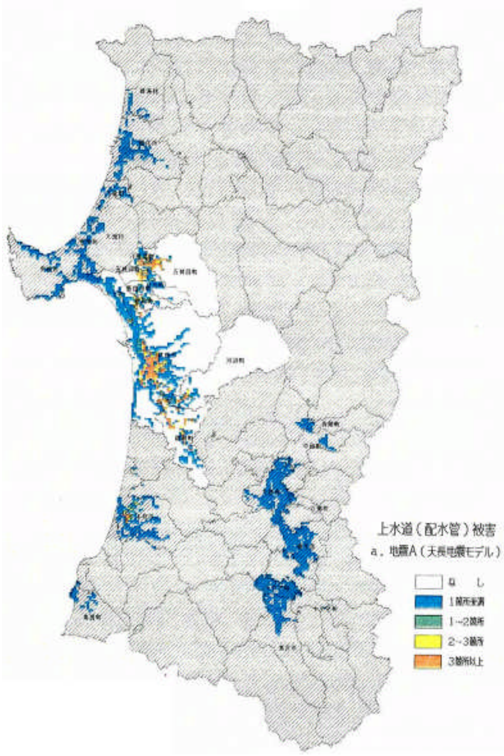
木造大破棟数分布図



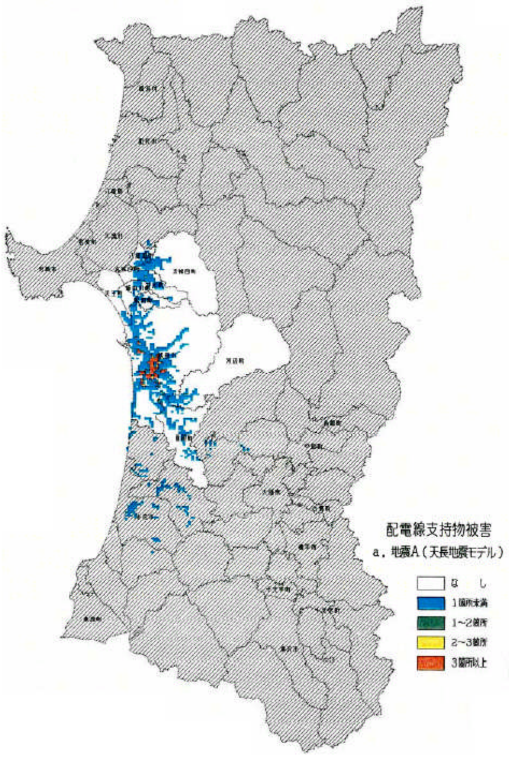
被災中心地までのアクセス性評価図（秋田市まで）



上水道（配水管）被害分布図



配電線支持物被害分布図



（出典：秋田県地震被害想定調査報告書　平成９年３月）

(6)　山形県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度（計測震度）	人的被害 死者数 早朝	人的被害 死者数 昼間	人的被害 死者数 夕方	人的被害 負傷者数 早朝	人的被害 負傷者数 昼間	人的被害 負傷者数 夕方
山形県全体	山形盆地断層帯地震	7.8	7(6.6)	2,114	1,277	1,828	21,887	15,512	19,723
うち山形市	山形盆地断層帯地震	7.8	7(6.6)	596	368	545	3,296	2,392	3,106

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数（全壊率）	建物被害 揺れ＋液状化 半壊数（半壊率）	建物被害 火災[最大] 焼失数(焼失率)	建物被害 津波 全壊数	建物被害 津波 半壊数	建物被害 崖崩れ 全壊数	建物被害 崖崩れ 半壊数
山形県全体	山形盆地断層帯地震	34,792 (6.5%)	54,397 (10.2%)	840 (0.16%)	－	－	－	－
うち山形市	山形盆地断層帯地震	11,707 (10.7%)	14,097 (12.9%)	397 (0.36%)	－	－	－	－

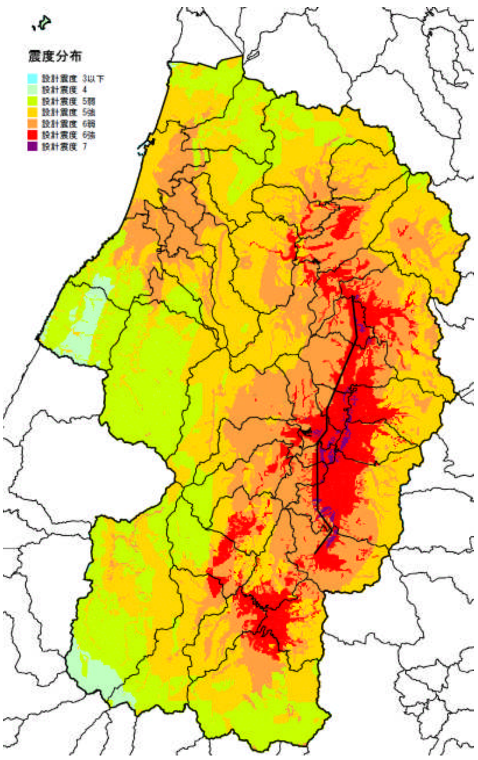
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数(支障率)	ライフライン 上水道 断水率	ライフライン 電話・通信 通話機能支障人口（支障率）
山形県全体	山形盆地断層帯地震	114,823 (31.9%)	58.1%	98,042 (20.2%)
うち山形市	山形盆地断層帯地震	27,735 (32.6%)	40.4%	31,684 (26.1%)

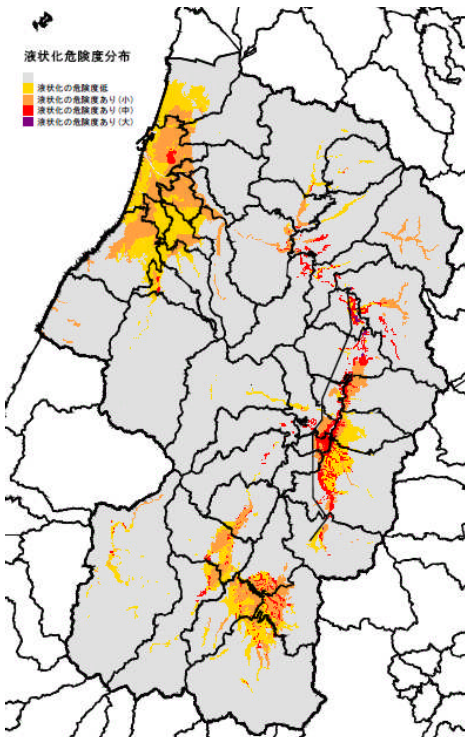
（出典：山形盆地断層帯被害想定調査報告書　平成 14 年 12 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て山形盆地断層帯地震）（その１）

震度分布図

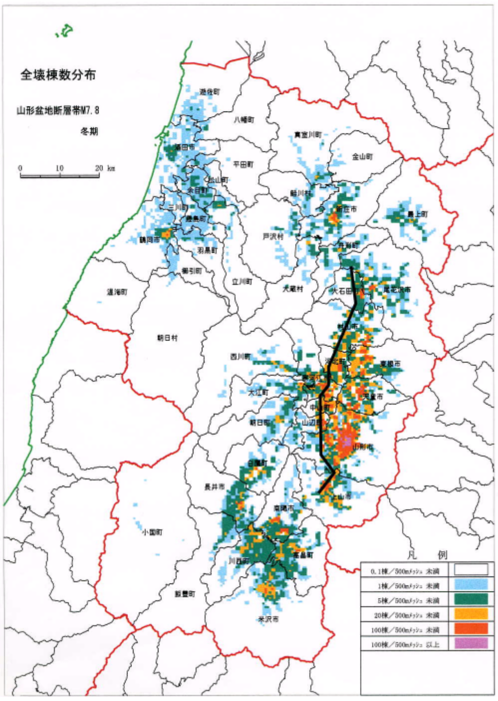


液状化危険度分布図

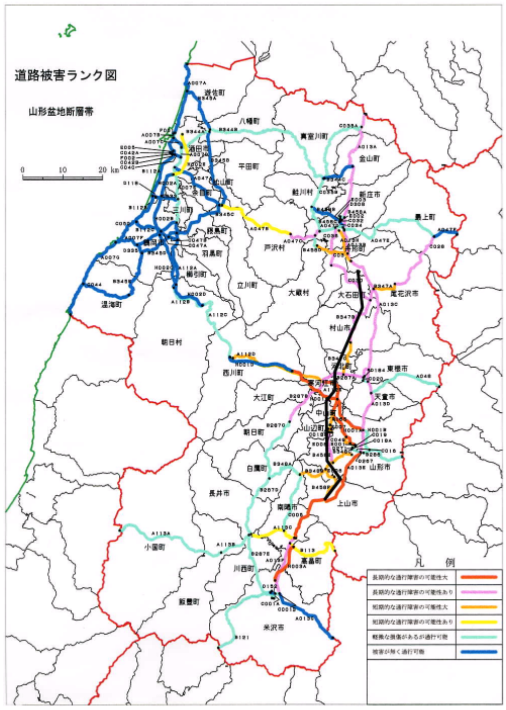


②主な被害想定結果図面（以下は全て山形盆地断層帯地震）（その２）

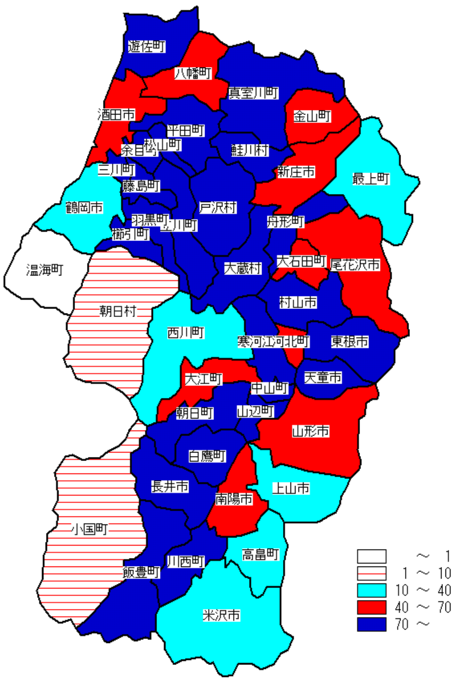
全壊棟数分布



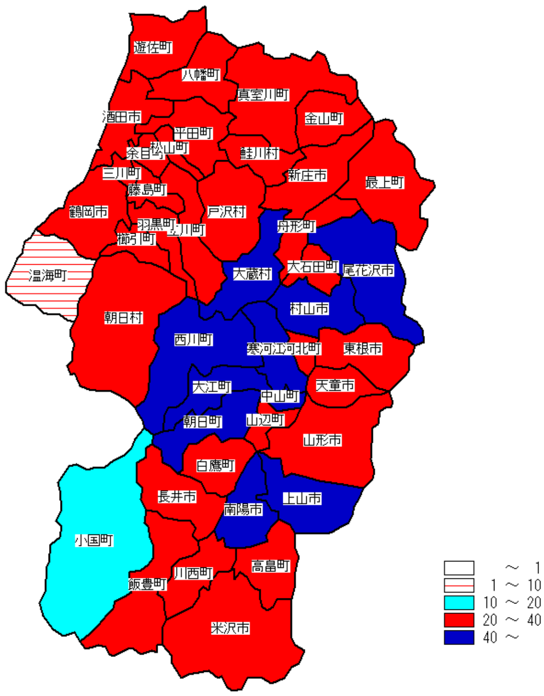
道路被害ランク図



断水（冬期）



停電



（出典：山形盆地断層帯被害想定調査報告書　平成 14 年 12 月）

(7)　福島県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				夜間	昼間	夜間	昼間
福島県全体	福島盆地西縁断層帯地震	7.0	6強※	840	327	4,324	4,343
	会津盆地西縁断層帯地震	7.0	6強※	749	278	4,604	4,476
	双葉断層地震	7.0	6強※	553	203	2,908	2,948
	福島県沖地震	7.7	6弱※	346	131	1,632	1,661
うち福島市	福島盆地西縁断層帯地震	7.0	6強※	579	227	3,513	3,598
	会津盆地西縁断層帯地震	7.0	5強※	0	0	2	2
	双葉断層地震	7.0	5強※	0	0	12	14
	福島県沖地震	7.7	5弱※	0	0	3	3
うち郡山市	福島盆地西縁断層帯地震	7.0	5強※	2	3	18	21
	会津盆地西縁断層帯地震	7.0	5強※	1	1	5	5
	双葉断層地震	7.0	5強※	0	0	3	4
	福島県沖地震	7.7	5強※	0	0	5	5
うちいわき市	福島盆地西縁断層帯地震	7.0	4※	0	0	1	1
	会津盆地西縁断層帯地震	7.0	4※	0	0	1	1
	双葉断層地震	7.0	5弱※	0	0	2	2
	福島県沖地震	7.7	6弱※	280	105	1,465	1,495

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
福島県全体	福島盆地西縁断層帯地震	11,803	−	−	−	−	−	−
	会津盆地西縁断層帯地震	11,373	−	−	−	−	−	−
	双葉断層地震	7,940	−	−	−	−	−	−
	福島県沖地震	4,891	−	−	−	−	−	−
うち福島市	福島盆地西縁断層帯地震	8,127	−	−	−	−	−	−
	会津盆地西縁断層帯地震	0	−	−	−	−	−	−
	双葉断層地震	5	−	−	−	−	−	−
	福島県沖地震	0	−	−	−	−	−	−
うち郡山市	福島盆地西縁断層帯地震	33	−	−	−	−	−	−
	会津盆地西縁断層帯地震	12	−	−	−	−	−	−
	双葉断層地震	1	−	−	−	−	−	−
	福島県沖地震	4	−	−	−	−	−	−
うちいわき市	福島盆地西縁断層帯地震	0	−	−	−	−	−	−
	会津盆地西縁断層帯地震	0	−	−	−	−	−	−
	双葉断層地震	0	−	−	−	−	−	−
	福島県沖地震	3,951	−	−	−	−	−	−

（注）全壊数＝木造建物大破＋非木造倒壊
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

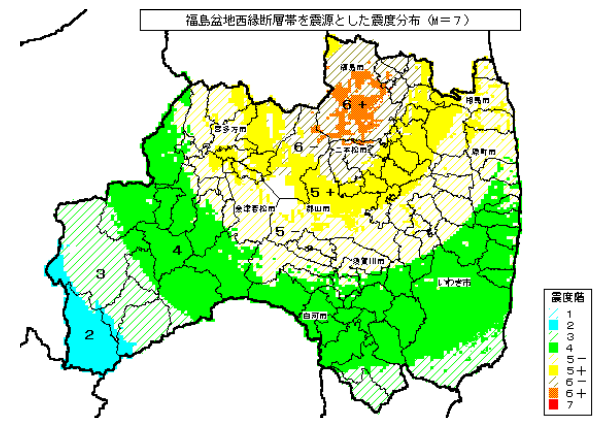
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電件数(支障率)	断水世帯数(断水率)	通話機能支障軒数（支障率）
福島県全体	福島盆地西縁断層帯地震	9,526(1.0%)	118,907(16.5%)	9,297(1.0%)
	会津盆地西縁断層帯地震	7,698(0.8%)	85,530(11.6%)	29,198(3.1%)
	双葉断層地震	7,657(0.8%)	59,966(8.3%)	19,409(2.1%)
	福島県沖地震	12,151(1.2%)	104,770(14.5%)	34,315(3.6%)
うち福島市	福島盆地西縁断層帯地震	3,299(2.4%)	72,362(68.4%)	4,109(3.2%)
	会津盆地西縁断層帯地震	60(0.0%)	−	0(0.0%)
	双葉断層地震	1,574(1.1%)	62(5.9%)	461(0.4%)
	福島県沖地震	14(0.0%)	−	1(0.0%)
うち郡山市	福島盆地西縁断層帯地震	2,284(1.4%)	313(0.3%)	1,224(0.7%)
	会津盆地西縁断層帯地震	1,169(0.7%)	89(0.1%)	180(0.1%)
	双葉断層地震	874(0.5%)	−	79(0.0%)
	福島県沖地震	1,135(0.7%)	0(0.0%)	166(0.1%)
うちいわき市	福島盆地西縁断層帯地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	会津盆地西縁断層帯地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	双葉断層地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	福島県沖地震	7,127(4.1%)	78,050(61.2%)	25,722(14.9%)

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

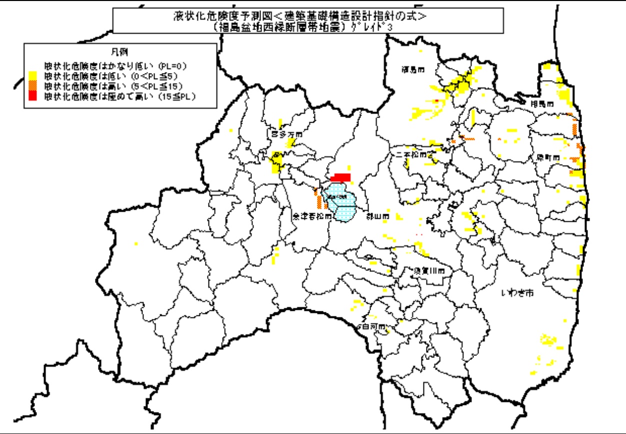
（出典：福島県地震・津波被害想定調査　平成 10 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て福島盆地西縁断層帯地震）

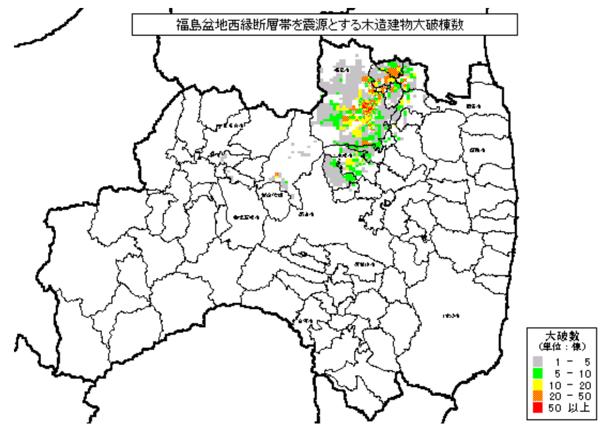
震度分布図



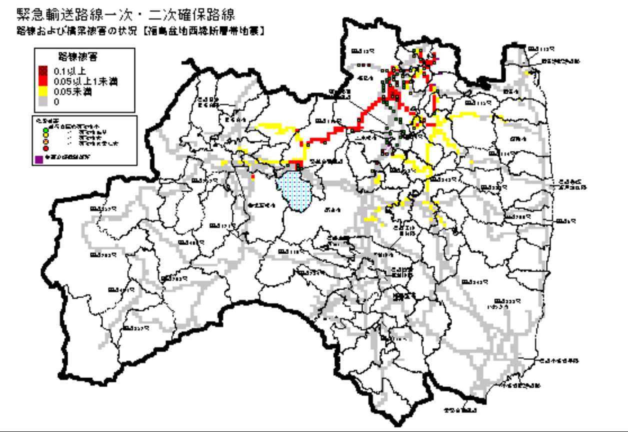
液状化危険度分布図



木造建物大破棟数



路線及び橋梁被害の状況



（出典：福島県地震・津波被害想定調査　平成10年3月）

(8)　茨城県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				夏昼	冬夕	夏昼	冬夕
茨城県全体	茨城県南西部西側(想定地震B)	7.0	6弱※	105	114	2,700	2,850
	茨城県南西部東側(想定地震C)	7.0	6弱※	89	94	2,280	2,350
	塩野崎沖地震	7.8	6弱※	1	1	70	70
うち水戸市	茨城県南西部西側(想定地震B)	7.0	5強※	0	0	0	0
	茨城県南西部東側(想定地震C)	7.0	5強※	0	0	0	0
	塩野崎沖地震	7.8	5強※	0	0	0	0

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		大破数	中破数	焼失数(焼失率)	大破数	中破数	大破数	中破数
茨城県全体	茨城県南西部西側(想定地震B)	18,768	59,628	8,516 (0.59%)	－	－	－	－
	茨城県南西部東側(想定地震C)	13,200	48,067	3,461 (0.24%)	－	－	－	－
	塩野崎沖地震	3,781	13,762	733 (0.05%)	－	－	－	－
うち水戸市	茨城県南西部西側(想定地震B)	51	357	3 (0.00%)	－	－	－	－
	茨城県南西部東側(想定地震C)	40	441	3 (0.00%)	－	－	－	－
	塩野崎沖地震	213	657	3 (0.00%)	－	－	－	－

（注）揺れ＋液状化の建物被害数＝大破数＋中破数
（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

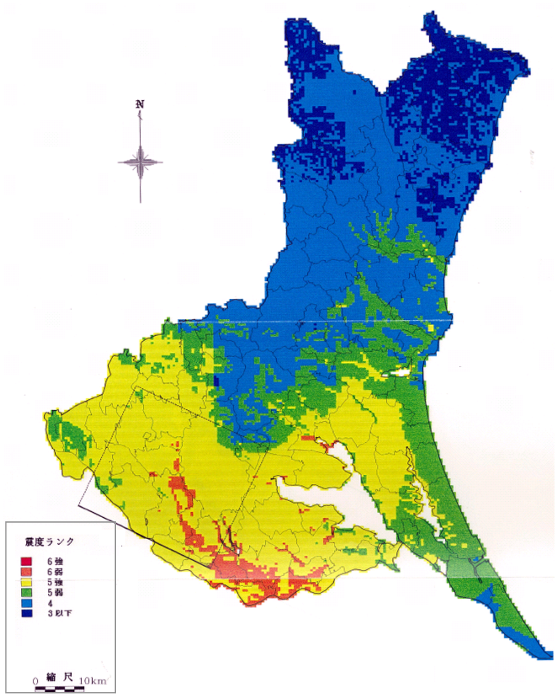
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電世帯数(支障率)	断水世帯数(断水率)	通話機能支障件数
茨城県全体	茨城県南西部西側(想定地震B)	123,210 (13.4%)	53,970 (5.9%)	－
	茨城県南西部東側(想定地震C)	97,560 (10.6%)	24,190 (2.6%)	－
	塩野崎沖地震	86,960 (9.4%)	2,970 (0.3%)	－
うち水戸市	茨城県南西部西側(想定地震B)	10,160 (11.0%)	0 (0.0%)	－
	茨城県南西部東側(想定地震C)	10,340 (11.2%)	0 (0.0%)	－
	塩野崎沖地震	14,790 (16.0%)	20 (0.0%)	－

（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

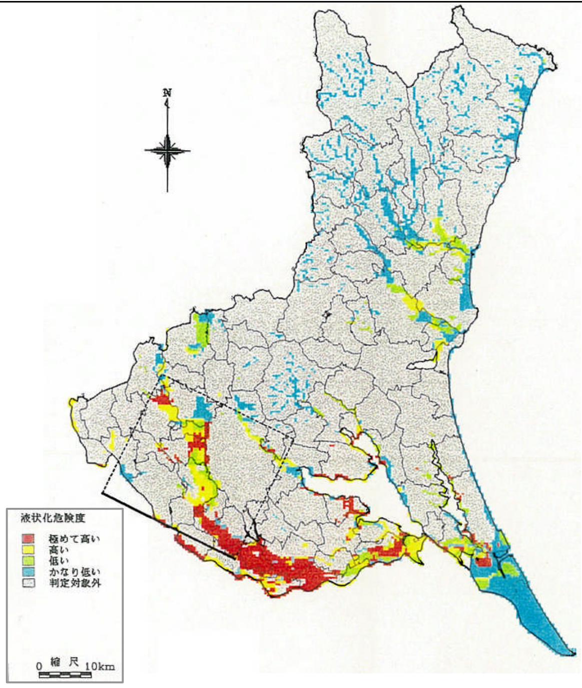
（出典：平成 9 年度茨城県地震被害想定調査事業報告書　平成 10 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て茨城県南西部西側（想定地震Ｂ）の地震）（その１）

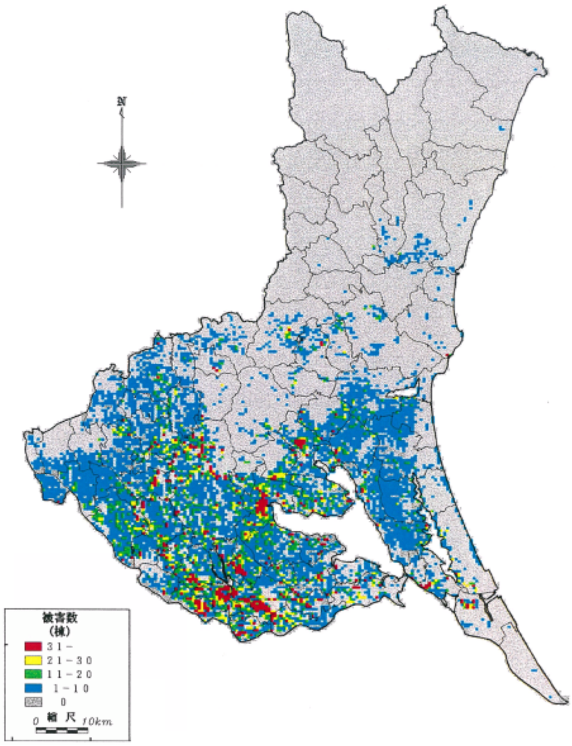
震度分布図



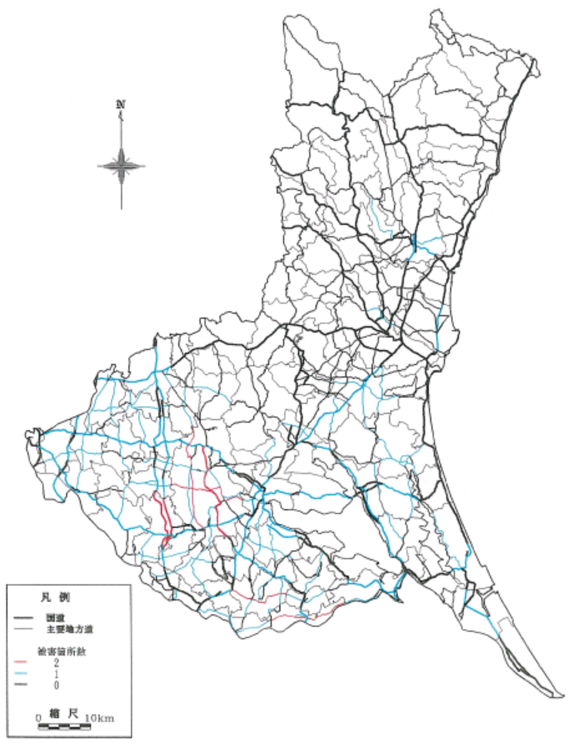
液状化危険度分布図



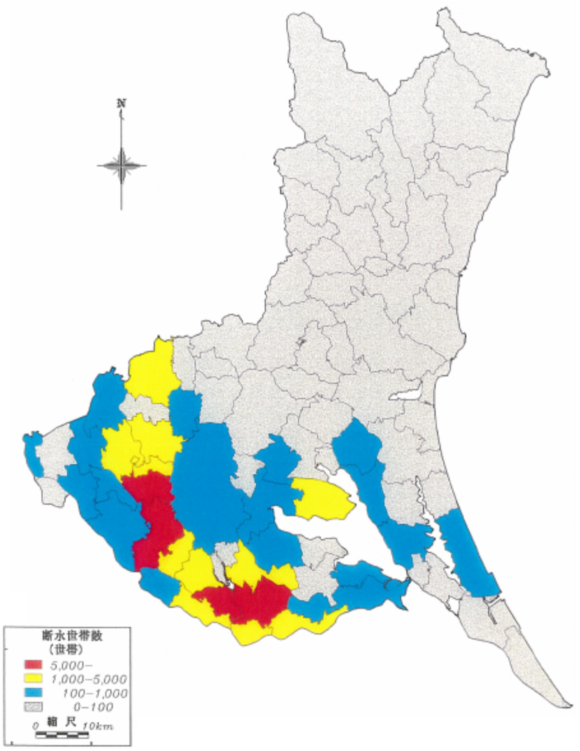
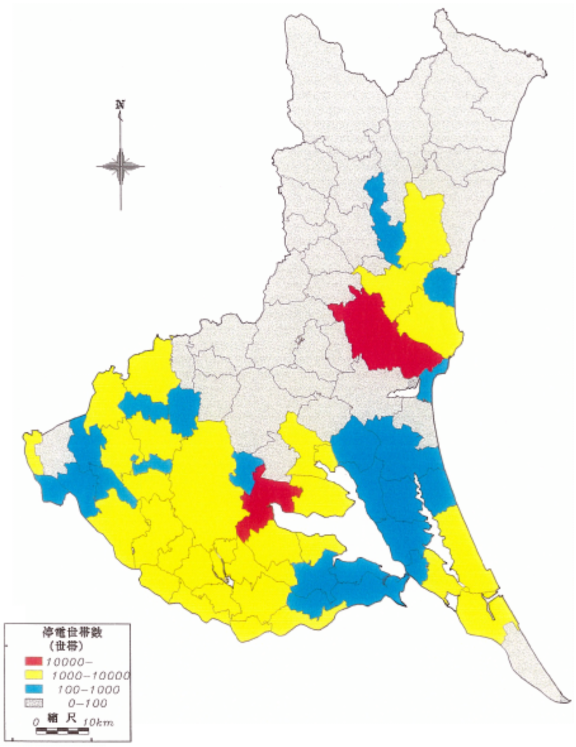
木造建物の中破以上棟数



道路の被害予測結果



②主な被害想定結果図面（以下は全て茨城県南西部西側（想定地震Ｂ）の地震）（その２）

<table>
<tr><th>断水世帯数</th><th>停電世帯数（冬・夕）</th></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
</table>

（出典：平成 9 年度茨城県地震被害想定調査事業報告書　平成 10 年 3 月、ただし震度分布図については、平成 8 年度茨城県地震被害想定調査報告書　平成 9 年 3 月、建物被害棟数については、平成 9 年度茨城県地震被害想定調査事業報告書 別冊資料集　平成 10 年 3 月）

(9)　栃木県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度（計測震度）	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
栃木県全体	想定今市地震	6.4	6強（6.1）	30	18	17	917	675	632
	想定宇都宮市直下地震	7.3	6強（6.4）	1,253	797	758	28,491	21,763	20,367
うち宇都宮市	想定今市地震	6.4	5強（5.4）	0	0	0	7	6	6
	想定宇都宮市直下地震	7.3	6強（6.2）	586	378	362	12,864	9,852	9,227

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
栃木県全体	想定今市地震	1,167 (0.2%)	3,947 (0.5%)	3 (0.0%)	5 (0.0%)	22	－	－	－	－
	想定宇都宮市直下地震	38,315 (5.0%)	96,365 (12.5%)	195 (0.0%)	333 (0.0%)	5,337	－	－	－	－
うち宇都宮市	想定今市地震	0 (0.0%)	45 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	－	－	－	－
	想定宇都宮市直下地震	17,162 (12.1%)	33,843(24.0%)	21 (0.0%)	36 (0.0%)	4,789	－	－	－	－

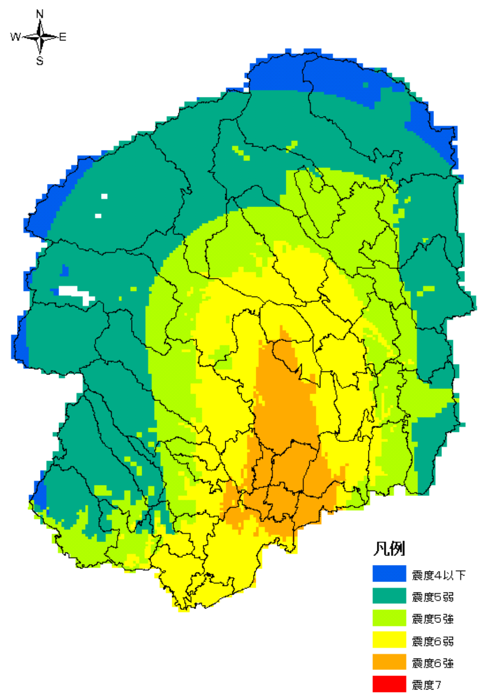
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電需要家契約口数（支障率）	断水戸数(断水率)	通話機能支障件数（支障率）
栃木県全体	想定今市地震	7,536 (0.6%)	16,532 (2.4%)	1,309 (0.0%)
	想定宇都宮市直下地震	139,318 (10.9%)	342,021(50.6%)	32,091 (4.4%)
うち宇都宮市	想定今市地震	0 (0.0%)	1(0.0%)	0 (0.0%)
	想定宇都宮市直下地震	46,250 (15.9%)	117,510(63.6%)	12,454 (6.7%)

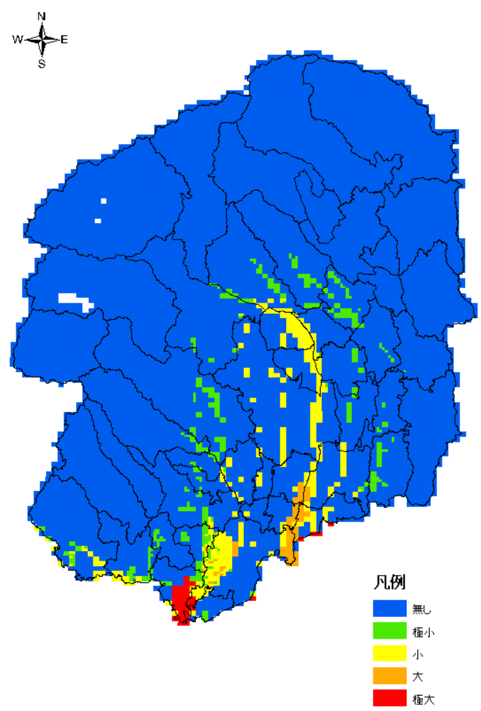
（出典：地震被害予測・対策予測システム設計（被害想定）成果報告書　平成 16 年）

②主な被害想定結果図面（以下は全て想定宇都宮市直下型地震）（その１）

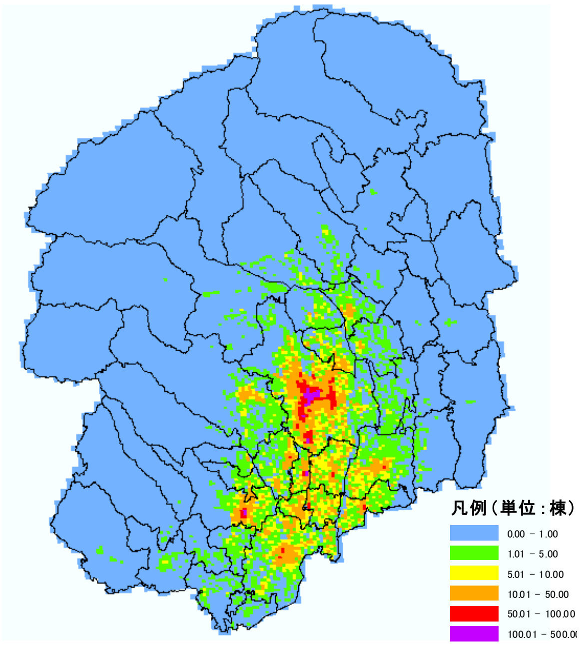
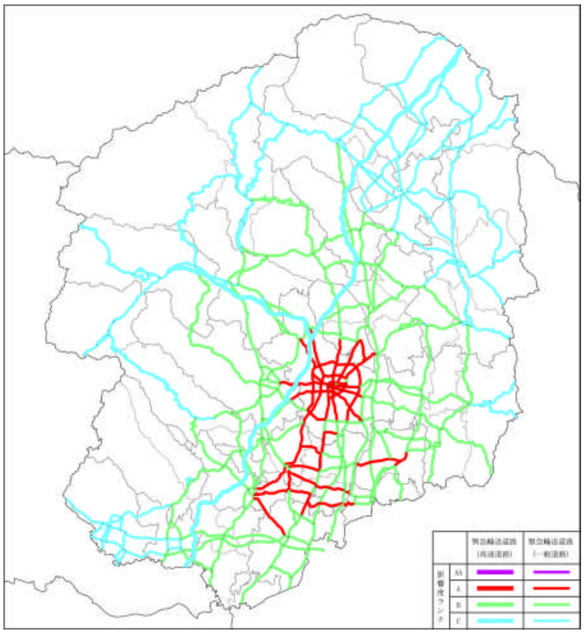
震度分布図

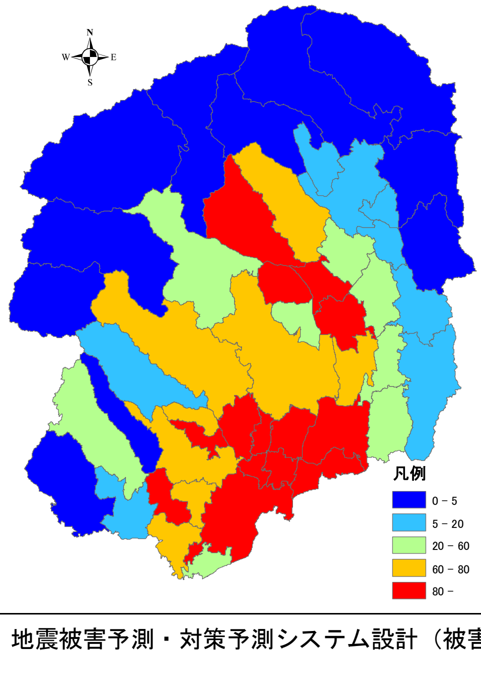
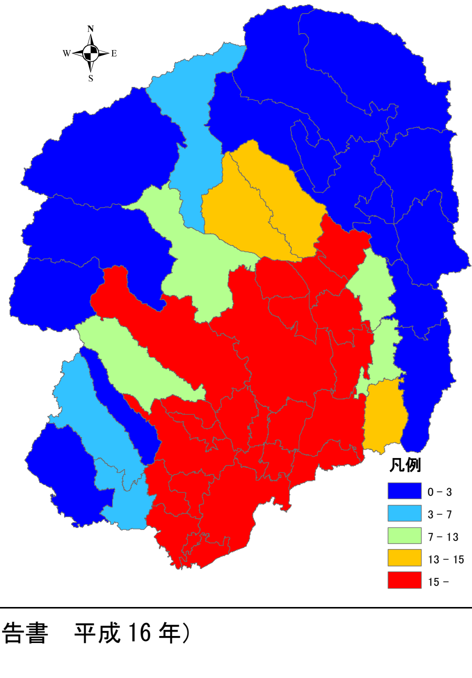


液状化危険度分布



②主な被害想定結果図面（以下は全て想定宇都宮市直下型地震）（その２）

全壊棟数分布図	道路の利用可能性予測結果
	

断水率（発災直後）（%）	停電率（%）
	

（出典：地震被害予測・対策予測システム設計（被害想定）成果報告書　平成 16 年）

（10）　群馬県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				夜間	昼間	夜間	昼間
群馬県全体	群馬県南西部地震	7.0	6強※	492	356	1,225	1,248
	群馬県北部地震	7.0	6弱※	276	199	964	982
	群馬県南東部地震	7.0	7※	1,066	777	2,093	2,120
うち前橋市	群馬県南西部地震	7.0	6弱※	41	30	249	275
	群馬県北部地震	7.0	6弱※	50	36	288	317
	群馬県南東部地震	7.0	6弱※	51	37	291	321

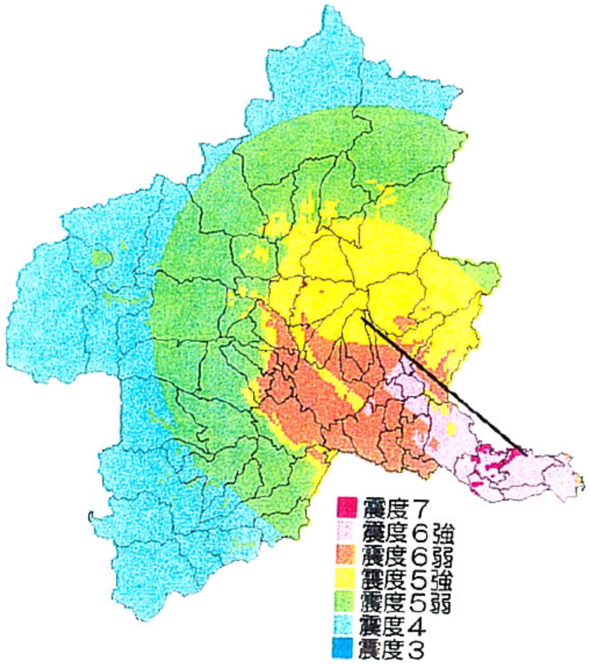
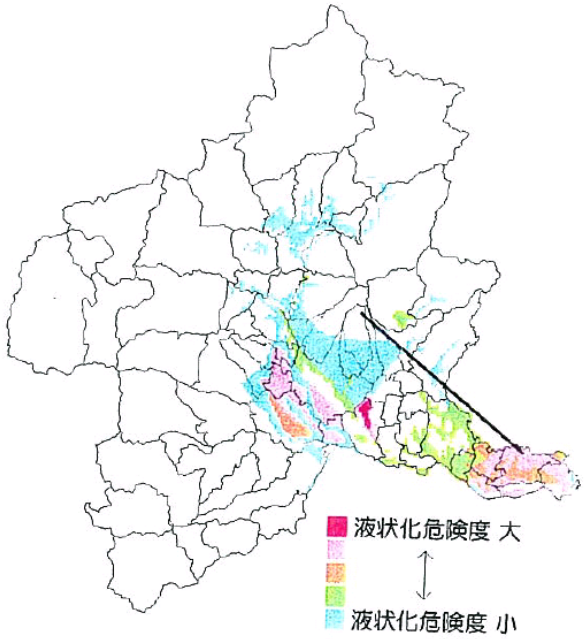
※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）負傷者数は重傷者の数値を記入

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
群馬県全体	群馬県南西部地震	29,046	－	－	－	1,549	－	－	－	－
	群馬県北部地震	20,137	－	－	－	1,145	－	－	－	－
	群馬県南東部地震	71,016	－	－	－	3,042	－	－	－	－
うち前橋市	群馬県南西部地震	5,420	－	－	－	19	－	－	－	－
	群馬県北部地震	6,692	－	－	－	218	－	－	－	－
	群馬県南東部地震	6,810	－	－	－	211	－	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

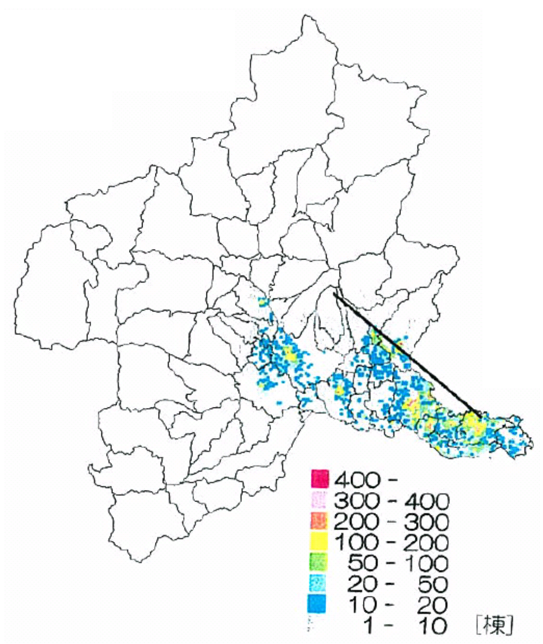
（出典：群馬県地震被害想定調査概要版報告書　平成 10 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て群馬県南東部地震）（その１）

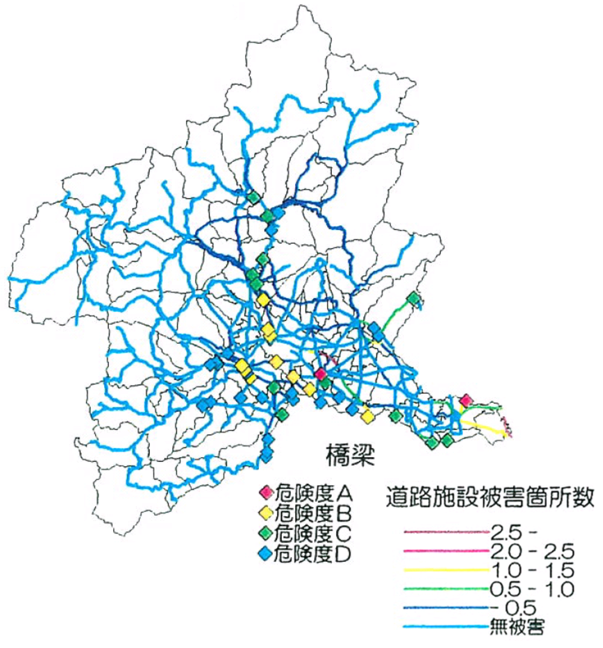
震度分布図	液状化危険度分布図
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て群馬県南東部地震）（その２）

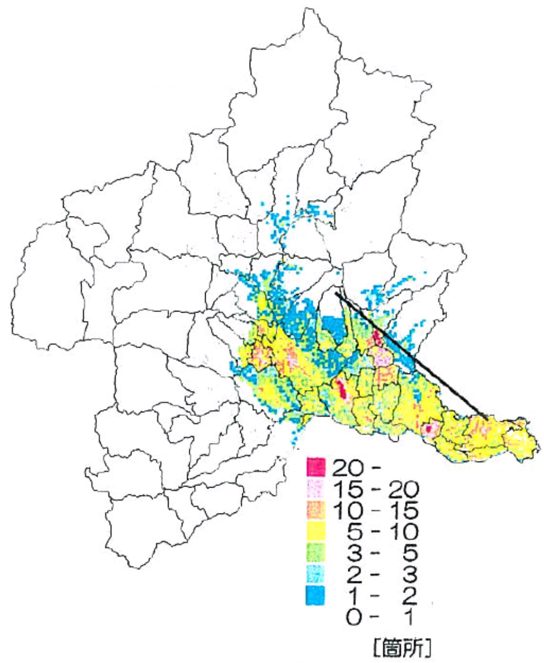
建物大破棟数



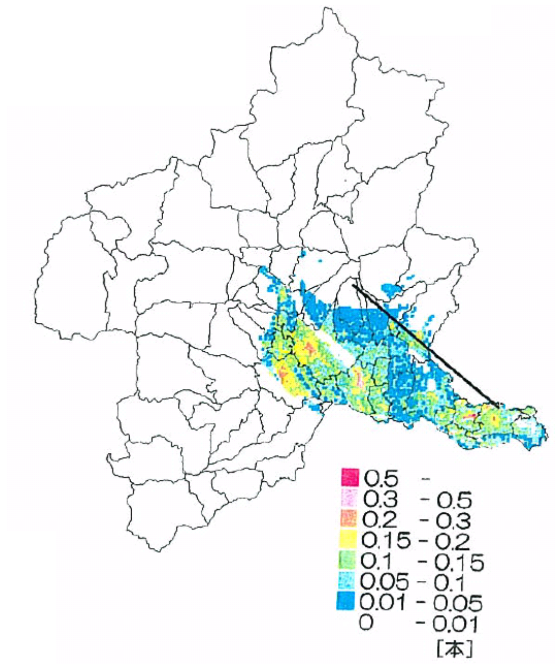
基幹交通施設被災危険性評価



上水道埋設管被害箇所数



電力柱被害本数



（出典：群馬県地震被害想定調査概要版報告書　平成 10 年 3 月）

（11）　埼玉県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度（計測震度）	人的被害 死者数 冬5時	夏12時	冬18時	負傷者数 冬5時	夏12時	冬18時
埼玉県全体	東京湾北部地震	7.3	6強(6.4)	555	246	1,099	14,110	7,860	14,331
	茨城県南部地震	7.3	6強(6.2)	130	69	140	5,422	3,181	5,587
	立川断層帯による地震	7.4	6強(6.4)	147	76	361	3,966	2,570	4,653
	深谷断層による地震	7.5	7(6.7)	678	332	686	8,967	5,332	9,534
	綾瀬川断層による地震	6.9	6強(6.2)	111	70	133	3,551	2,578	4,307
うちさいたま市	東京湾北部地震	7.3	6強(6.2)	75	33	76	2,561	1,404	2,638
	茨城県南部地震	7.3	6強(6.0)	14	10	17	896	574	811
	立川断層帯による地震	7.4	6弱(5.8)	2	4	6	310	259	349
	深谷断層による地震	7.5	6弱(5.8)	1	4	6	170	205	282
	綾瀬川断層による地震	6.9	6強(6.0)	18	13	26	756	597	950
うち川越市	東京湾北部地震	7.3	6強(6.0)	9	5	9	356	216	313
	茨城県南部地震	7.3	6弱(5.8)	1	1	2	98	68	103
	立川断層帯による地震	7.4	6弱(5.8)	2	2	4	151	126	184
	深谷断層による地震	7.5	6強(6.0)	5	4	9	306	222	335
	綾瀬川断層による地震	6.9	6強(6.0)	31	14	28	815	480	788

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 全壊数（全壊率）	揺れ 半壊数（半壊率）	液状化 全壊数（全壊率）	液状化 半壊数（半壊率）	揺れ＋液状化 全壊数（全壊率）	揺れ＋液状化 半壊数（半壊率）
埼玉県全体	東京湾北部地震	8,498(0.36%)	63,174(2.64%)	4,747(0.20%)	7,946(0.33%)	13,245(0.55%)	71,121(2.98%)
	茨城県南部地震	1,996(0.08%)	29,557(1.24%)	4,195(0.18%)	7,025(0.29%)	6,191(0.26%)	36,582(1.53%)
	立川断層帯による地震	2,154(0.09%)	19,351(0.81%)	1,994(0.08%)	3,321(0.14%)	4,148(0.17%)	22,672(0.95%)
	深谷断層による地震	10,232(0.43%)	54,177(2.27%)	2,325(0.10%)	3,849(0.16%)	12,557(0.53%)	58,025(2.43%)
	綾瀬川断層による地震	1,697(0.07%)	18,707(0.79%)	2,434(0.10%)	4,047(0.17%)	4,131(0.17%)	22,754(0.96%)
うちさいたま市	東京湾北部地震	1,164(0.39%)	11,679(3.87%)	466(0.15%)	762(0.25%)	1,631(0.54%)	12,241(4.12%)
	茨城県南部地震	219(0.07%)	4,636(1.54%)	377(0.12%)	615(0.20%)	377(0.12%)	615(0.20%)
	立川断層帯による地震	31(0.01%)	1,544(0.51%)	305(0.10%)	499(0.17%)	336(0.11%)	2,043(0.68%)
	深谷断層による地震	15(0.00%)	907(0.30%)	244(0.08%)	398(0.13%)	259(0.09%)	1,305(0.43%)
	綾瀬川断層による地震	276(0.09%)	3,704(1.23%)	276(0.09%)	451(0.15%)	553(0.18%)	4,155(1.38%)
うち川越市	東京湾北部地震	139(0.13%)	1,872(1.71%)	114(0.10%)	190(0.17%)	253(0.23%)	2,062(1.89%)
	茨城県南部地震	21(0.02%)	544(0.50%)	82(0.08%)	138(0.13%)	82(0.08%)	138(0.13%)
	立川断層帯による地震	23(0.02%)	857(0.79%)	83(0.08%)	138(0.13%)	105(0.10%)	995(0.91%)
	深谷断層による地震	79(0.07%)	1,683(1.54%)	114(0.25%)	190(0.17%)	192(0.18%)	1,873(1.72%)
	綾瀬川断層による地震	472(0.43%)	3,986(3.65%)	136(0.12%)	228(0.21%)	608(0.56%)	4,213(3.86%)

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 火災[最大] 焼失数(焼失率)	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
埼玉県全体	東京湾北部地震	59,662(2.50%)	－	－	85	184
	茨城県南部地震	19,556(0.82%)	－	－	14	33
	立川断層帯による地震	15,450(0.65%)	－	－	66	143
	深谷断層による地震	23,406(0.98%)	－	－	72	152
	綾瀬川断層による地震	10,430(0.44%)	－	－	10	23
うちさいたま市	東京湾北部地震	13,027(4.32%)	－	－	4	9
	茨城県南部地震	707(0.23%)	－	－	3	6
	立川断層帯による地震	0(0.00%)	－	－	0	1
	深谷断層による地震	0(0.00%)	－	－	1	1
	綾瀬川断層による地震	2,690(0.89%)	－	－	2	4
うち川越市	東京湾北部地震	273(0.25%)	－	－	0	1
	茨城県南部地震	272(0.25%)	－	－	0	0
	立川断層帯による地震	1(0.00%)	－	－	0	1
	深谷断層による地震	634(0.58%)	－	－	0	1
	綾瀬川断層による地震	1,798(1.65%)	－	－	0	1

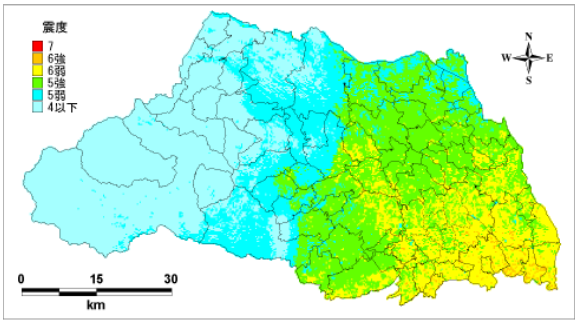
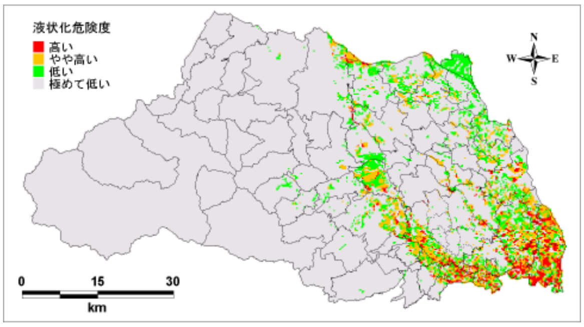
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

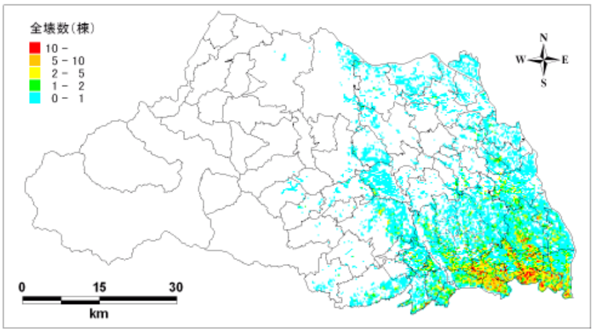
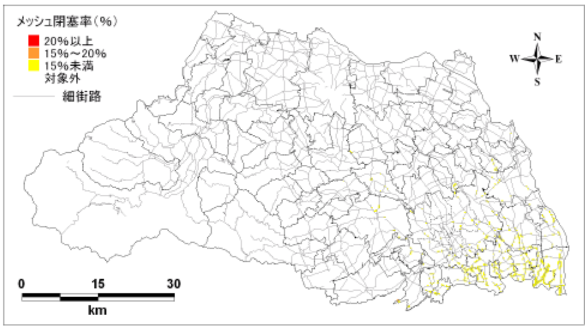
①主な被害想定結果整理表（その２）

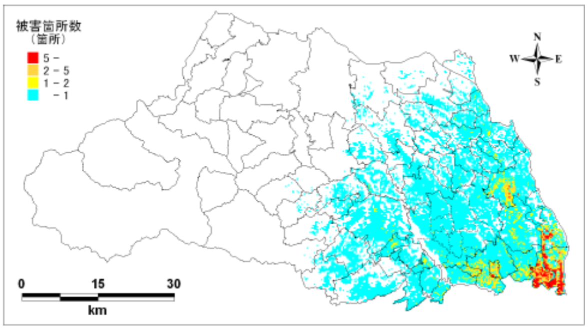
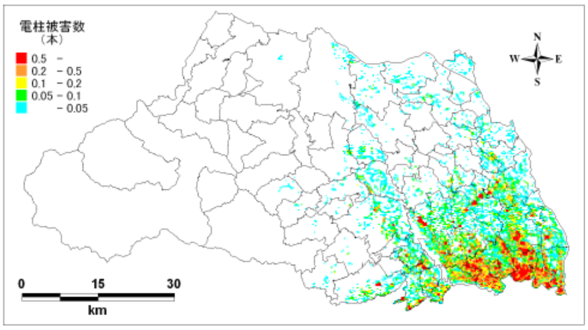
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数(支障率)	ライフライン 上水道 断水人口(断水率)	ライフライン 電話・通信 通話機能支障回線数(支障率)
埼玉県全体	東京湾北部地震	330,105 (12.46%)	2,419,969 (35.32%)	80,146 (3.00%)
	茨城県南部地震	153,785 (5.80%)	1,972,984 (28.20%)	22,448 (0.84%)
	立川断層帯による地震	103,705 (3.91%)	771,739 (11.49%)	19,030 (0.71%)
	深谷断層による地震	253,482 (9.56%)	1,367,117 (19.00%)	19,629 (0.73%)
	綾瀬川断層による地震	102,123 (3.85%)	575,272 (8.00%)	12,525 (0.47%)
うちさいたま市	東京湾北部地震	40,065 (8.7%)	417,252 (35.82%)	16,722 (3.76%)
	茨城県南部地震	14,080 (3.06%)	299,251 (25.53%)	1,192 (0.27%)
	立川断層帯による地震	8,403 (1.82%)	135,943 (11.89%)	30 (0.01%)
	深谷断層による地震	5,903 (1.28%)	130,844 (11.19%)	20 (0.00%)
	綾瀬川断層による地震	13,310 (2.89%)	134,503 (11.25%)	4,172 (0.94%)
うち川越市	東京湾北部地震	6,288 (5.03%)	110,583 (33.64%)	362 (0.27%)
	茨城県南部地震	2,568 (2.05%)	53,302 (16.21%)	343 (0.25%)
	立川断層帯による地震	2,633 (2.10%)	31,222 (9.50%)	12 (0.01%)
	深谷断層による地震	4,783 (3.82%)	94,955 (28.89%)	773 (0.57%)
	綾瀬川断層による地震	14,773 (11.81%)	99,550 (30.28%)	2,282 (1.69%)

（出典：埼玉県地震被害想定調査報告書　平成 19 年 9 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て東京湾北部地震）

地表震度分布図	液状化危険度分布図
	

揺れ＋液状化による全建物全壊数予測分布図	細街路閉塞率分布図
	

上水道被害箇所数分布図	電力電柱被害予測分布図（冬 18 時・風速 8m/s）
	

（出典：埼玉県地震被害想定調査報告書　平成 19 年 9 月）

（12） 千葉県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
千葉県全体	東京湾北部地震	7.3	6強	1,394	861	1,391	48,004	43,034	41,581
	千葉県東方沖地震	6.8	5強	17	29	37	1,151	1,548	1,698
	三浦半島断層群主部の地震	6.9	6弱	100	75	88	3,227	3,065	2,901
うち千葉市	東京湾北部地震	7.3	6強	363	235	297	13,028	13,585	12,075
	千葉県東方沖地震	6.8	5強	2	6	8	310	501	502
	三浦半島断層群主部の地震	6.9	5強	1	1	1	205	261	208
うち船橋市	東京湾北部地震	7.3	6強	105	61	159	5,648	4,708	4,540
	千葉県東方沖地震	6.8	5強	0	1	1	30	57	54
	三浦半島断層群主部の地震	6.9	5強	0	0	0	32	42	29
うち柏市	東京湾北部地震	7.3	6弱	0	1	2	197	199	209
	千葉県東方沖地震	6.8	5弱以下	0	0	0	3	4	3
	三浦半島断層群主部の地震	6.9	5弱以下	0	0	0	1	1	1

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
千葉県全体	東京湾北部地震	41,330	142,185	2085	7,177	24,410	－	－	867	2022
	千葉県東方沖地震	47	2614	433	1396	0	－	－	250	584
	三浦半島断層群主部の地震	4839	16229	424	1408	1,210	－	－	160	374
うち千葉市	東京湾北部地震	10,356	31,387	379	1,323	2,602	－	－	105	245
	千葉県東方沖地震	1	215	81	299	0	－	－	36	84
	三浦半島断層群主部の地震	1	112	57	231	0	－	－	8	18
うち船橋市	東京湾北部地震	3,181	12,844	157	390	3,945	－	－	15	35
	千葉県東方沖地震	0	1	18	46	0	－	－	0	1
	三浦半島断層群主部の地震	0	20	17	42	0	－	－	0	1
うち柏市	東京湾北部地震	16	754	6	22	0	－	－	3	6
	千葉県東方沖地震	0	0	1	5	0	－	－	0	0
	三浦半島断層群主部の地震	0	0	1	3	0	－	－	0	0

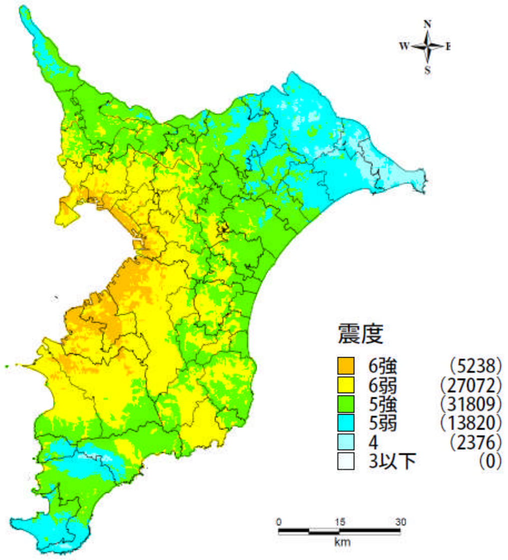
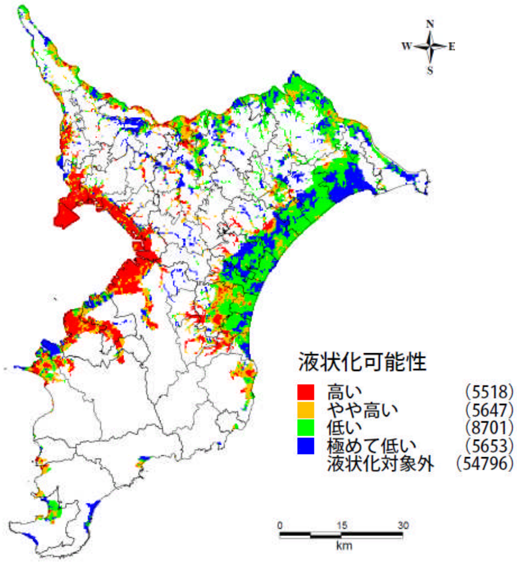
（注）焼失棟数は倒壊棟数を含まない
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

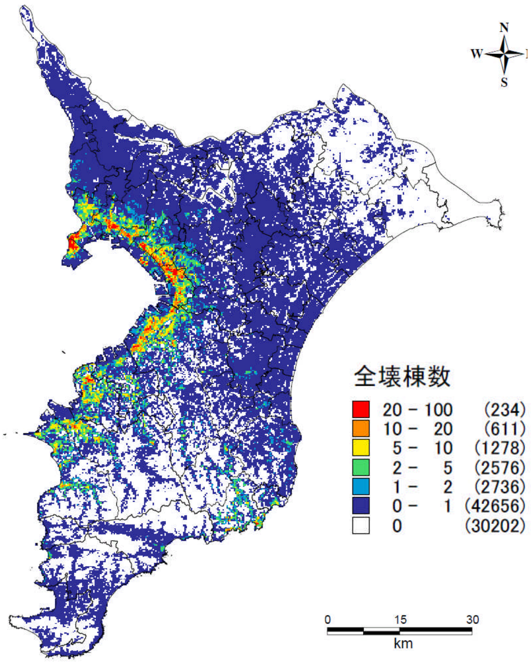
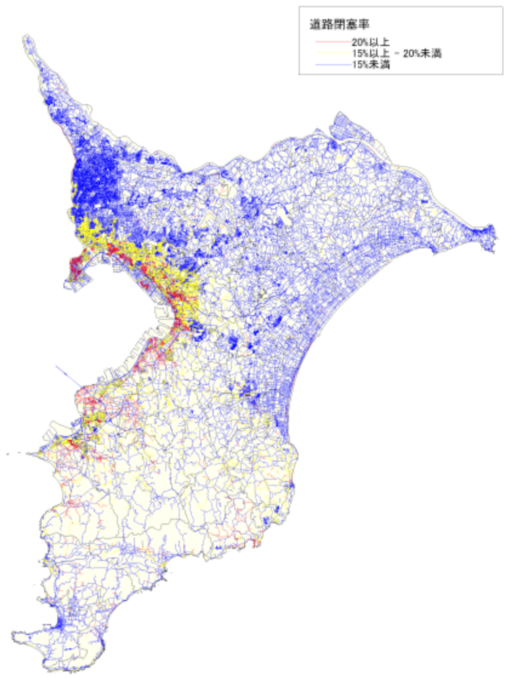
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電軒数	断水世帯数	通話機能支障件数
千葉県全体	東京湾北部地震	203,999	1,471,675	－
	千葉県東方沖地震	286	26,450	－
	三浦半島断層群主部の地震	19,767	113,956	－
うち千葉市	東京湾北部地震	－	－	－
	千葉県東方沖地震	－	－	－
	三浦半島断層群主部の地震	－	－	－
うち船橋市	東京湾北部地震	－	－	－
	千葉県東方沖地震	－	－	－
	三浦半島断層群主部の地震	－	－	－
うち柏市	東京湾北部地震	－	－	－
	千葉県東方沖地震	－	－	－
	三浦半島断層群主部の地震	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

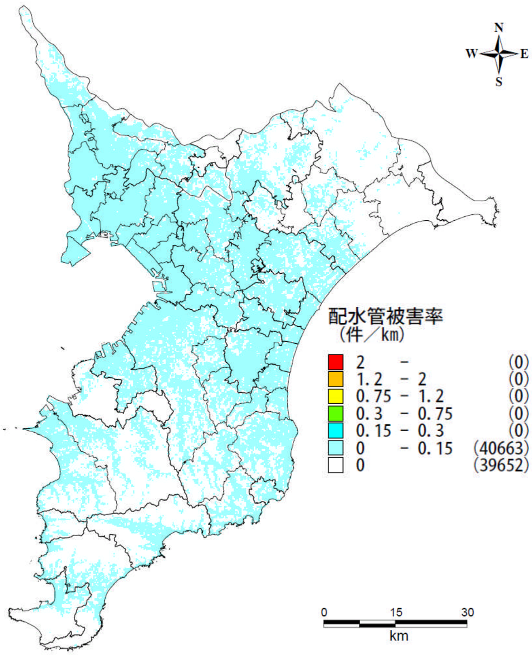
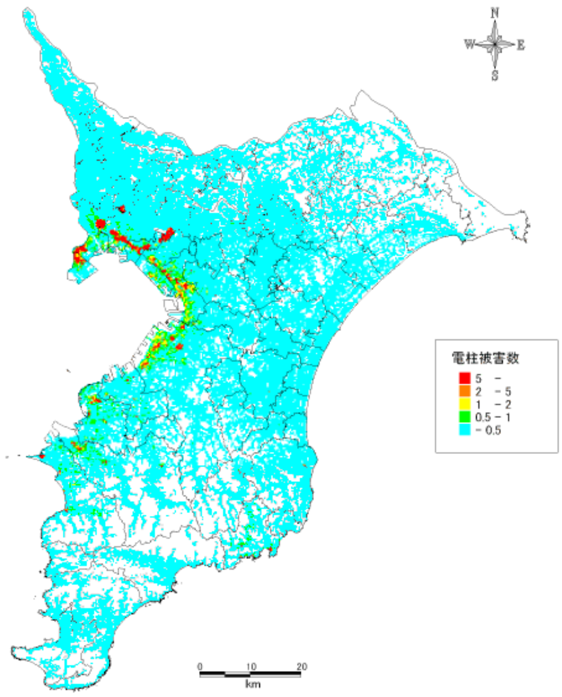
（出典：平成 19 年度千葉県地震被害想定調査報告書　平成 20 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て東京湾北部地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

揺れによる建物全壊棟数分布図	細街路の閉塞率予測結果
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て東京湾北部地震）（その２）

上水道配水管被害率	250m メッシュ別電力電柱被害予測結果図 （冬 18 時 風速 9m/s）
	

（出典：平成 19 年度千葉県地震被害想定調査報告書　平成 20 年 3 月）

（13）　東京都

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				冬5時	冬18時	冬5時	冬18時
東京都全体	東京湾北部地震	6.9	6強	1,656	3,095	86,613	73,579
		7.3	6強	4,524	6,023	163,183	154,039
	多摩直下地震	6.9	6強	716	1,805	54,094	51,928
		7.3	6強	1,690	4,120	104,991	86,802
うち新宿区	東京湾北部地震	6.9	6弱	27	36	1,969	2,666
		7.3	6弱	66	90	5,496	7,061
	多摩直下地震	6.9	6弱	25	33	1,500	2,041
		7.3	6弱	34	52	2,588	3,469

（注）人的被害は冬の 5 時　風速 6m/s および冬の 18 時　風速 15m/s における想定数値を記入

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
東京都全体	東京湾北部地震	45,761	－	12,085	－	203,638	－	－	1,978	－
		110,372	－	13,356	－	345,063	－	－	2,795	－
	多摩直下地震	12,530	－	6,009	－	115,977	－	－	2,636	－
		37,980	－	10,098	－	322,903	－	－	3,591	－
うち新宿区	東京湾北部地震	410	－	15	－	3,943	－	－	212	－
		1,934	－	15	－	5,835	－	－	224	－
	多摩直下地震	237	－	15	－	1,694	－	－	213	－
		591	－	15	－	4,930	－	－	217	－

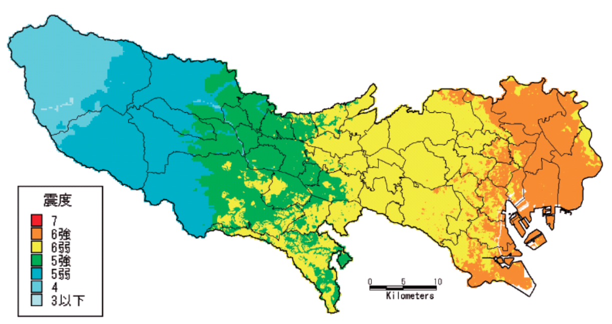
（注）焼失棟数には倒壊棟数を含まない
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電率	断水率	通話機能支障率
東京都全体	東京湾北部地震	9.2%	24.5%	6.0%
		16.9%	34.8%	10.1%
	多摩直下地震	4.8%	17.7%	3.3%
		11.7%	29.1%	8.5%
うち新宿区	東京湾北部地震	6.6%	17.8%	6.1%
		13.2%	30.4%	7.7%
	多摩直下地震	3.6%	14.6%	3.0%
		7.4%	20.5%	6.0%

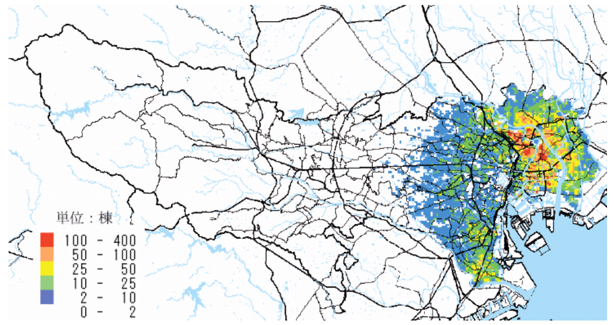
（出典：首都直下地震による東京の被害想定報告書　平成 18 年 5 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て東京湾北部地震　M7.3）

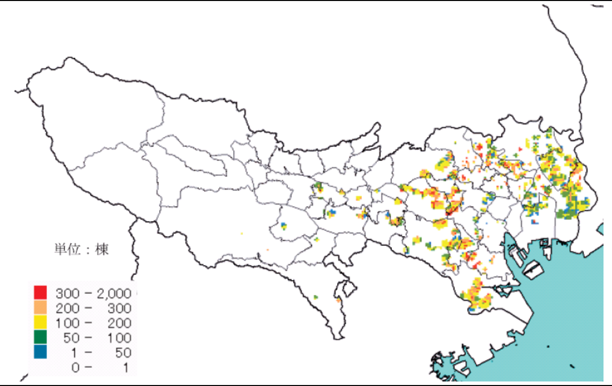
震度分布図



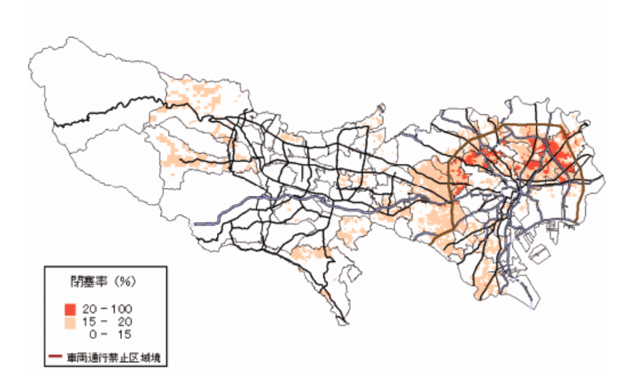
ゆれ・液状化による全壊建物棟数分布



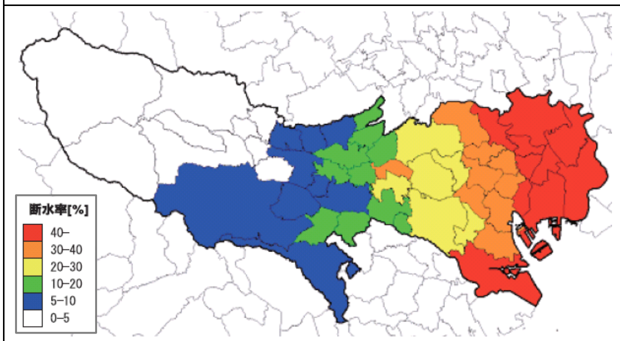
火災による焼失棟数分布（冬 18 時・風速 15m/s）



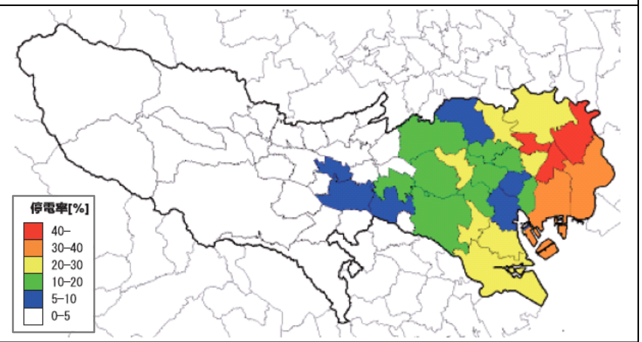
細街路の閉塞率分布



断水率（%）



停電率（%）



（出典：首都直下地震による東京の被害想定報告書　平成 18 年 5 月）

（14）　神奈川県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
神奈川県全体	東海地震	8.0	6強	120	100	130	9,980	10,710	9,450
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	7.9	7	9,730	11,080	8,460	309,780	182,090	259,430
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	7.5	7	1,660	2,610	1,500	67,270	46,210	57,120
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	7.9	7	13,510	14,590	11,380	385,720	214,630	316,740
	三浦半島断層群の地震	7.2	7	5,760	2,850	4,350	201,550	110,690	151,180
	東京湾北部地震	7.3	6強	390	290	440	21,950	23,160	22,950
	神奈川県西部地震	7.0	7	500	2,610	430	10,360	7,750	9,290
	神奈川県東部地震	7.0	6強	280	250	390	13,310	16,190	17,020
うち横浜市	東海地震	8.0	5強	－	－	40	－	－	3,730
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	7.9	7	－	－	1,240	－	－	52,370
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	7.5	6強	－	－	110	－	－	4,400
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	7.9	7	－	－	1,470	－	－	61,550
	三浦半島断層群の地震	7.2	7	－	－	1,670	－	－	71,060
	東京湾北部地震	7.3	6強	－	－	180	－	－	8,860
	神奈川県西部地震	7.0	6弱	－	－	＊	－	－	150
	神奈川県東部地震	7.0	6強	－	－	210	－	－	8,940
うち川崎市	東海地震	8.0	5強	－	－	20	－	－	1,130
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	7.9	6強	－	－	160	－	－	8,770
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	7.5	6弱	－	－	20	－	－	650
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	7.9	6強	－	－	120	－	－	7,370
	三浦半島断層群の地震	7.2	6強	－	－	80	－	－	4,420
	東京湾北部地震	7.3	6強	－	－	130	－	－	7,410
	神奈川県西部地震	7.0	5弱	－	－	0	－	－	10
	神奈川県東部地震	7.0	6強	－	－	100	－	－	5,690
うち横須賀市	東海地震	8.0	5強	－	－	＊	－	－	170
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	7.9	7	－	－	1,730	－	－	44,900
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	7.5	6弱	－	－	20	－	－	330
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	7.9	7	－	－	1,270	－	－	34,070
	三浦半島断層群の地震	7.2	7	－	－	1,980	－	－	50,060
	東京湾北部地震	7.3	6弱	－	－	30	－	－	1,430
	神奈川県西部地震	7.0	5強	－	－	30	－	－	20
	神奈川県東部地震	7.0	6弱	－	－	＊	－	－	350
うち相模原市	東海地震	8.0	5強	－	－	＊	－	－	320
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	7.9	7	－	－	110	－	－	4,960
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	7.5	6強	－	－	40	－	－	2,020
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	7.9	7	－	－	350	－	－	14,400
	三浦半島断層群の地震	7.2	6弱	－	－	10	－	－	660
	東京湾北部地震	7.3	6強	－	－	20	－	－	740
	神奈川県西部地震	7.0	5強	－	－	＊	－	－	70
	神奈川県東部地震	7.0	6弱	－	－	10	－	－	360

（注）＊: わずかな数（計算上 0.5 以上 10 未満）、計算上 0.5 未満は 0 とした
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

①主な被害想定結果整理表（その２）

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害(単位:棟)										
		揺れ		液状化		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
神奈川県全体	東海地震	12,220	99,430	220	510	12,430	99,940	4,270	40	310	280	650
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	450,900	416,400	1,690	3,880	452,590	420,280	161,750	410	780	8,220	19,170
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	122,900	223,340	220	570	123,110	223,920	39,810	180	340	2,200	5,120
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	532,110	456,690	1,700	3,970	533,810	460,660	207,040	870	1,720	8,450	19,730
	三浦半島断層群の地震	272,950	275,790	800	1,740	273,750	277,530	77,030	0	0	5,630	13,130
	東京湾北部地震	31,320	144,910	1,200	2,610	32,530	147,510	13,130	0	0	1,950	4,560
	神奈川県西部地震	21,980	35,260	70	180	22,050	35,450	3,490	190	450	430	1,010
	神奈川県東部地震	14,610	77,130	1,240	2,660	15,850	79,790	10,440	0	0	1,350	3,160
うち横浜市	東海地震	－	－	－	－	3,850	36,500	1,380	－	－	50	110
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	－	－	－	－	74,900	135,030	53,910	－	－	2,960	6,910
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	－	－	－	－	4,940	32,290	3,050	－	－	690	1,610
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	－	－	－	－	89,980	147,780	65,630	－	－	3,050	7,110
	三浦半島断層群の地震	－	－	－	－	124,090	139,900	41,160	－	－	2,320	5,420
	東京湾北部地震	－	－	－	－	10,100	52,710	4,790	－	－	1,100	2,560
	神奈川県西部地震	－	－	－	－	＊	350	290	－	－	＊	20
	神奈川県東部地震	－	－	－	－	7,720	41,620	5,250	－	－	1,010	2,360
うち川崎市	東海地震	－	－	－	－	960	10,050	1,190	－	－	0	＊
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	－	－	－	－	14,990	37,430	5,560	－	－	80	190
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	－	－	－	－	130	3,330	1,240	－	－	＊	10
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	－	－	－	－	12,100	39,310	4,090	－	－	130	310
	三浦半島断層群の地震	－	－	－	－	5,790	21,110	3,280	－	－	20	50
	東京湾北部地震	－	－	－	－	12,090	31,700	5,070	－	－	70	170
	神奈川県西部地震	－	－	－	－	0	＊	＊	－	－	0	0
	神奈川県東部地震	－	－	－	－	7,480	26,610	3,560	－	－	60	150
うち横須賀市	東海地震	－	－	－	－	100	2,090	160	－	－	＊	10
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	－	－	－	－	82,760	30,650	24,680	－	－	2,230	5,210
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	－	－	－	－	400	3,970	290	－	－	60	130
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	－	－	－	－	68,010	35,290	23,510	－	－	2,200	5,130
	三浦半島断層群の地震	－	－	－	－	88,900	26,430	18,380	－	－	1,940	4,540
	東京湾北部地震	－	－	－	－	2,810	13,490	800	－	－	230	540
	神奈川県西部地震	－	－	－	－	＊	60	20	－	－	＊	＊
	神奈川県東部地震	－	－	－	－	170	2,280	270	－	－	50	120
うち相模原市	東海地震	－	－	－	－	160	2,780	190	－	－	30	70
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	－	－	－	－	7,650	25,590	4,920	－	－	230	540
	神縄・国府津－松田断層帯の地震	－	－	－	－	3,390	16,740	1,150	－	－	150	350
	(参考)南関東地震と神縄・国府津－松田断層帯の連動地震	－	－	－	－	25,460	41,300	15,840	－	－	380	890
	三浦半島断層群の地震	－	－	－	－	740	6,270	380	－	－	10	30
	東京湾北部地震	－	－	－	－	570	6,310	450	－	－	80	180
	神奈川県西部地震	－	－	－	－	0	80	80	－	－	＊	20
	神奈川県東部地震	－	－	－	－	30	1,020	200	－	－	20	60

（注）建物被害数は全てにおいての合計値
（注）＊：わずかな数（計算上 0.5 以上 10 未満）、計算上 0.5 未満は 0 とした
（注）各欄の数値は 1 の位を四捨五入している。このため、総計は合わないことがある
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する
（注）「揺れ＋液状化」による被害棟数と「火災」による焼失棟数は、別々に計算しており、ダブルカウントとなる分が含まれるため、建物被害の合計棟数とは一致しない

①主な被害想定結果整理表（その３）

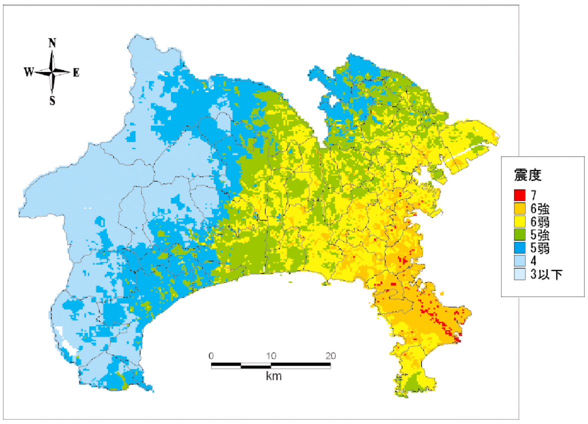
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電軒数	ライフライン 上水道 断水世帯数	ライフライン 電話･通信 通話機能支障回線数
神奈川県全体	東海地震	68,550	283,590	53,640
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	2,207,930	1,692,110	2,488,470
	神縄･国府津ー松田断層帯の地震	676,500	642,860	620,050
	(参考)南関東地震と神縄･国府津ー松田断層帯の連動地震	2,614,420	1,918,460	3,148,760
	三浦半島断層群の地震	1,335,850	1,219,510	1,362,440
	東京湾北部地震	317,190	496,340	236,530
	神奈川県西部地震	90,540	69,180	74,430
	神奈川県東部地震	197,180	348,470	148,710
うち横浜市	東海地震	22,510	248,870	19,220
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	694,130	752,720	661,870
	神縄･国府津ー松田断層帯の地震	46,910	174,620	37,780
	(参考)南関東地震と神縄･国府津ー松田断層帯の連動地震	802,330	832,130	779,380
	三浦半島断層群の地震	764,930	862,510	781,020
	東京湾北部地震	122,040	375,770	96,420
	神奈川県西部地震	30	460	20
	神奈川県東部地震	103,650	302,860	79,440
うち川崎市	東海地震	8,260	2,650	5,800
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	141,440	88,980	96,880
	神縄･国府津ー松田断層帯の地震	2,920	100	1,800
	(参考)南関東地震と神縄･国府津ー松田断層帯の連動地震	125,270	70,780	89,860
	三浦半島断層群の地震	60,270	29,010	37,780
	東京湾北部地震	121,110	67,450	81,570
	神奈川県西部地震	*	0	*
	神奈川県東部地震	85,560	43,500	62,700
うち横須賀市	東海地震	380	730	440
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	225,910	138,250	370,130
	神縄･国府津ー松田断層帯の地震	1,590	2,290	1,320
	(参考)南関東地震と神縄･国府津ー松田断層帯の連動地震	216,680	116,980	319,490
	三浦半島断層群の地震	216,410	147,180	304,430
	東京湾北部地震	13,530	22,950	11,550
	神奈川県西部地震	20	0	30
	神奈川県東部地震	650	1,300	780
うち相模原市	東海地震	900	70	860
	南関東地震(大正関東地震の再来型)	74,990	14,060	60,160
	神縄･国府津ー松田断層帯の地震	28,450	3,900	23,580
	(参考)南関東地震と神縄･国府津ー松田断層帯の連動地震	178,210	69,000	177,510
	三浦半島断層群の地震	7,240	560	6,690
	東京湾北部地震	8,850	410	7,810
	神奈川県西部地震	*	0	*
	神奈川県東部地震	830	*	790

（注）*：わずかな数（計算上 0.5 以上 10 未満）、計算上 0.5 未満は 0 とした

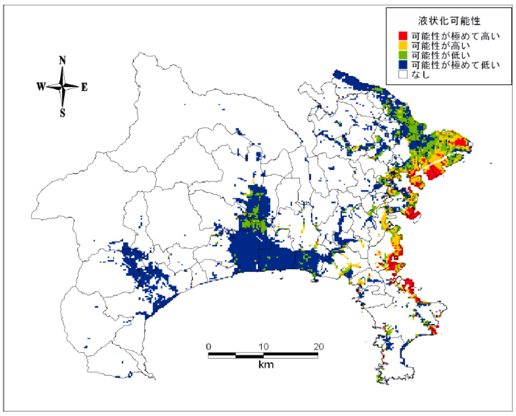
（出典：神奈川県地震被害想定調査報告書　平成 21 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て三浦半島断層郡の地震）

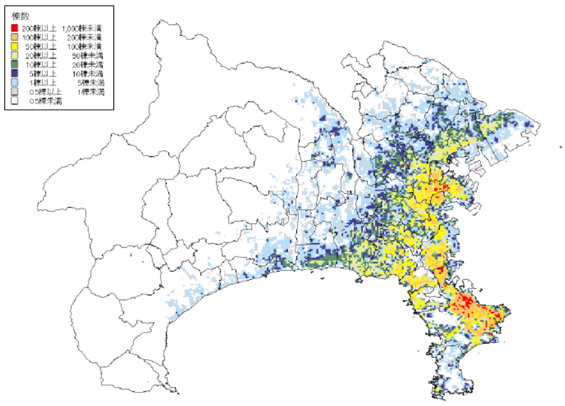
震度分布図



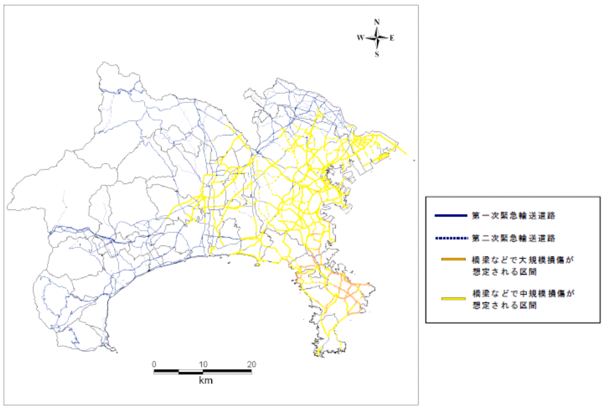
液状化想定図



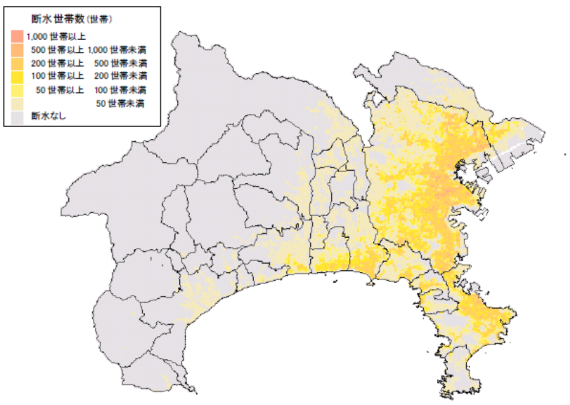
建物の全壊棟数想定図



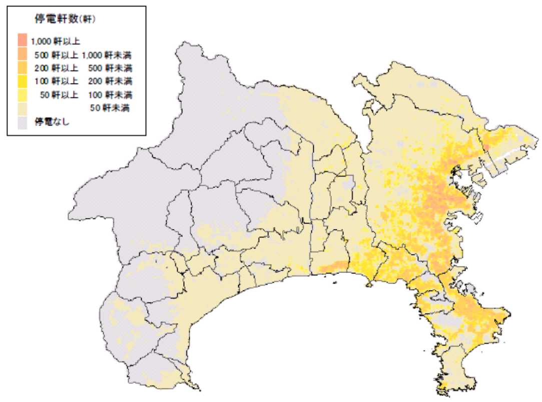
道路の通行支障想定図



上水道被害想定図（地震発生直後の断水世帯数）



電力被害想定図（冬 18 時）



（出典：神奈川県地震被害想定調査報告書　平成 21 年 3 月）

（15）　新潟県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害							
				死者数				負傷者数			
				夏昼間	夏夜間	冬昼間	冬夜間	夏昼間	夏夜間	冬昼間	冬夜間
新潟県全体	秋田沖の地震	7.6	5強	0	0	0	0	22	22	22	22
	新潟県南西沖の地震	7.7	6弱	14	19	14	19	2,785	2,785	2,785	2,785
	粟島付近の地震	7.5	6弱	83	117	83	117	14,014	14,014	14,014	14,014
	下越地域の地震	7.0	7	569	779	569	1,232	48,363	48,363	49,012	52,487
	中越地域の地震	7.0	7	253	346	253	346	19,851	19,851	20,023	20,292
	上越地域の地震	7.0	7	158	217	158	585	9,079	9,079	9,139	9,759
うち新潟市	秋田沖の地震	7.6	5強	0	0	0	0	5	5	5	5
	新潟県南西沖の地震	7.7	5強	0	0	0	0	27	27	27	27
	粟島付近の地震	7.5	6弱	23	32	23	32	5,584	5,584	5,584	5,584
	下越地域の地震	7.0	6強	181	248	181	701	23,746	23,746	24,279	27,220
	中越地域の地震	7.0	5強	0	0	0	0	0	0	0	0
	上越地域の地震	7.0	3	0	0	0	0	0	0	0	0

（注）新潟市の被害想定データは、市町村合併前の旧新潟市（平成 10 年 3 月当時）の数値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
新潟県全体	秋田沖の地震	0(0.00%)	5(0.00%)	0	0	721	－	－
	新潟県南西沖の地震	703(0.05%)	4,024(0.26%)	5	242	2,514	－	－
	粟島付近の地震	4,727(0.31%)	15,699(1.03%)	47	1,894	2,259	－	－
	下越地域の地震	35,896(2.36%)	72,365(4.76%)	25,132	0	0	－	－
	中越地域の地震	16,224(1.07%)	27,278(1.79%)	7,408	0	0	－	－
	上越地域の地震	10,613(0.70%)	20,855(1.37%)	9,671	0	0	－	－
うち新潟市	秋田沖の地震	0(0.00%)	0(0.00%)	0	0	53	－	－
	新潟県南西沖の地震	0(0.00%)	2(0.00%)	0	0	156	－	－
	粟島付近の地震	1,391(0.75%)	2,828(1.53%)	26	86	246	－	－
	下越地域の地震	12,515(6.76%)	25,135(13.58%)	16,625	0	0	－	－
	中越地域の地震	0(0.00%)	0(0.00%)	0	0	0	－	－
	上越地域の地震	0(0.00%)	0(0.00%)	0	0	0	－	－

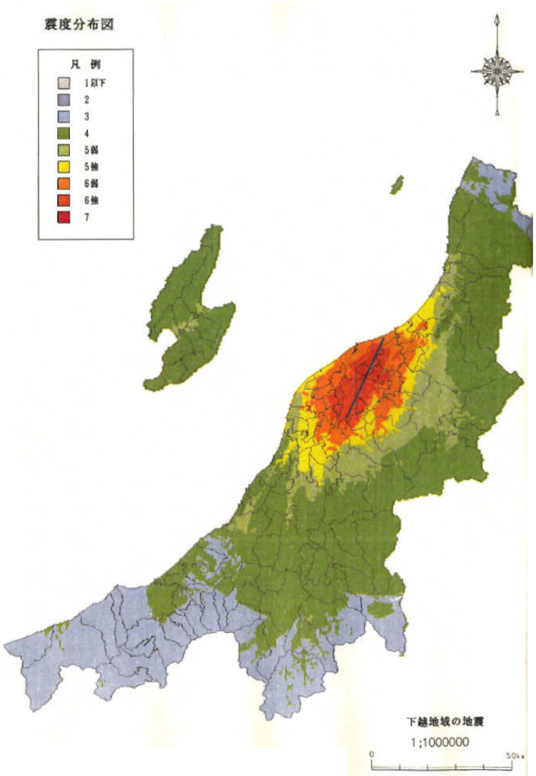
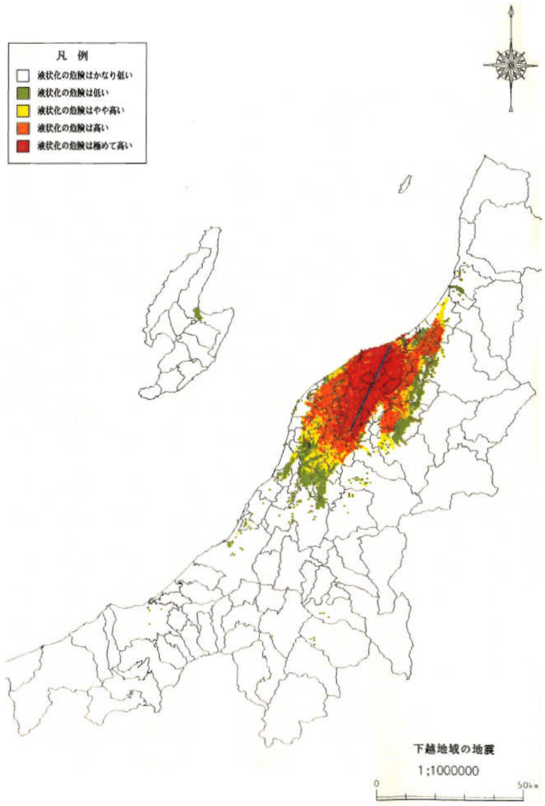
（注）新潟市の被害想定データは、市町村合併前の旧新潟市（平成 10 年 3 月当時）の数値である
（注）全壊数＝木造全壊＋非木造大破、半壊数＝木造半壊＋非木造中破
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

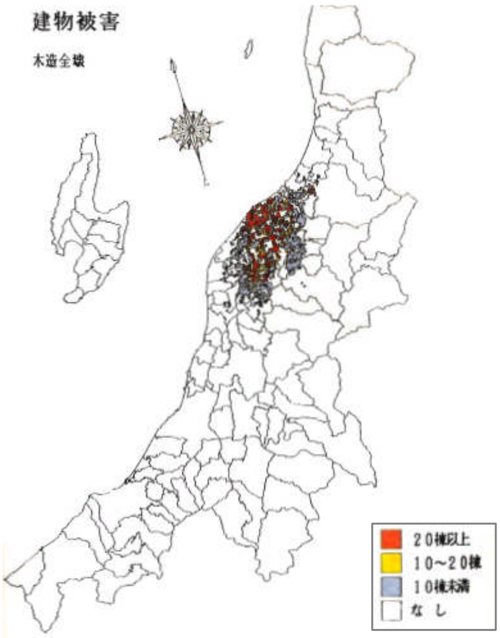
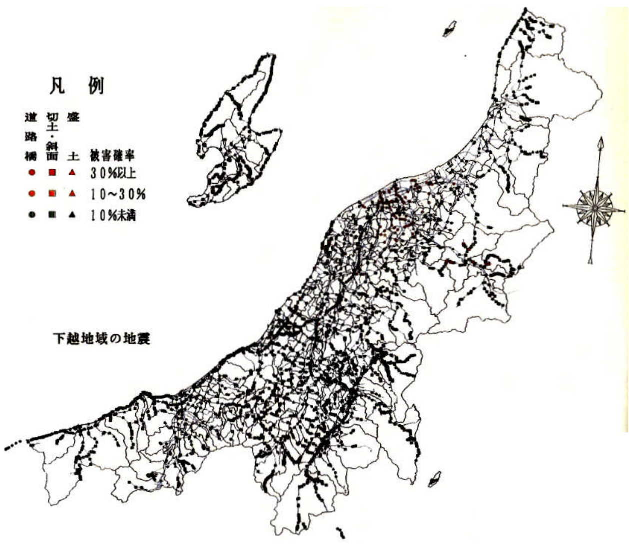
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電世帯数	断水世帯数	通話機能支障回線数
新潟県全体	秋田沖の地震	0	4,656	0
	新潟県南西沖の地震	13,095	68,801	5,349
	粟島付近の地震	43,440	148,684	22,168
	下越地域の地震	93,483	311,657	185,039
	中越地域の地震	35,356	126,788	34,059
	上越地域の地震	18,814	55,125	34,036
うち新潟市	秋田沖の地震	0	4,656	0
	新潟県南西沖の地震	0	6,785	0
	粟島付近の地震	22,729	73,646	14,632
	下越地域の地震	54,148	167,529	142,803
	中越地域の地震	0	4,280	0
	上越地域の地震	0	0	0

（注）新潟市の被害想定データは、市町村合併前の旧新潟市（平成 10 年 3 月当時）の数値である

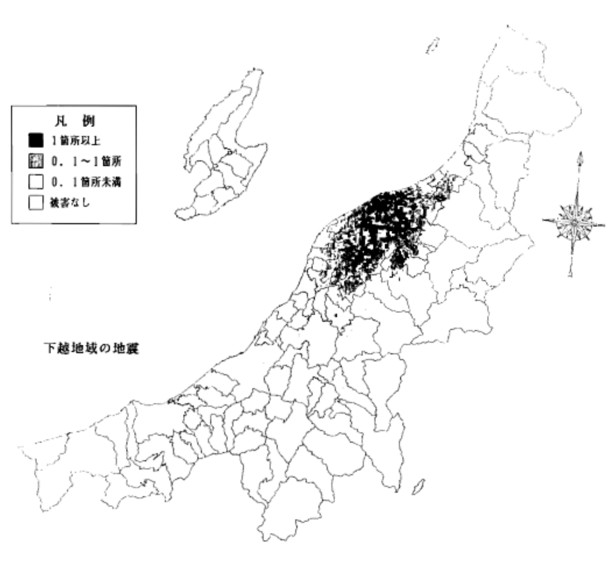
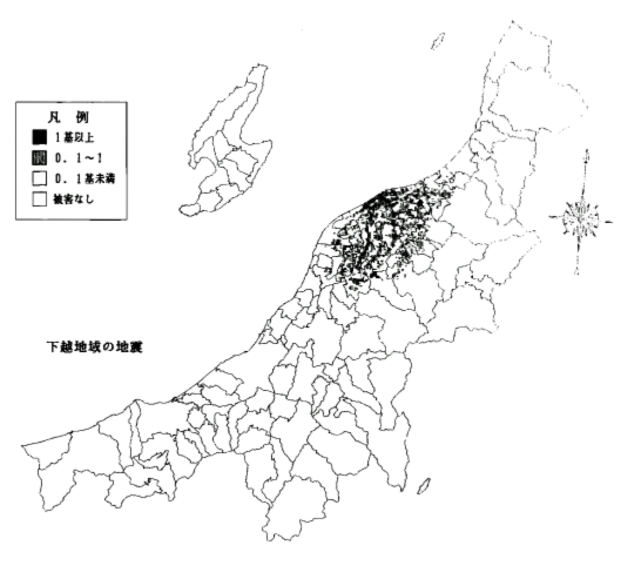
（出典：新潟県地震被害想定調査報告書　平成 10 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て下越地域の地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

建物被害分布図（木造全壊）	道路施設被害確率分布図
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て下越地域の地震）（その２）

水道管被害想定図	配電線支持物被害想定図
	

（出典：新潟県地震被害想定調査報告書　平成 10 年 3 月）

（16）　富山県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害	
				死者数	負傷者数
				春朝6時	春朝6時
富山県全体	呉羽山断層地震	6.5	7※	1,471	24,385
	跡津川断層地震	7.1	7※	865	15,872
	法林寺断層地震	7.0	6強※	1,246	19,800
うち富山市	呉羽山断層地震	6.5	6強※	346	9,507
	跡津川断層地震	7.1	6※	235	6,150
	法林寺断層地震	7.0	6弱※	42	2,754

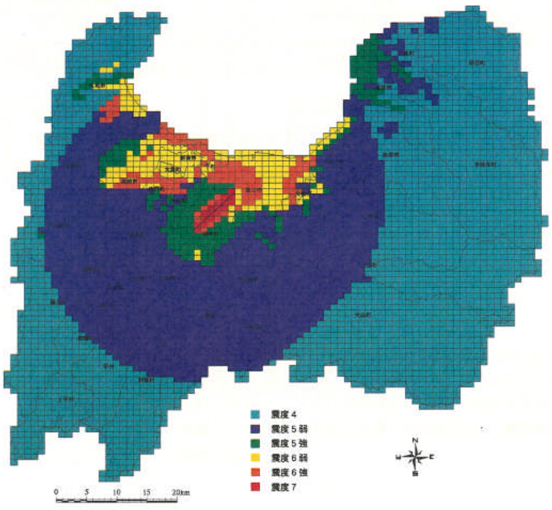
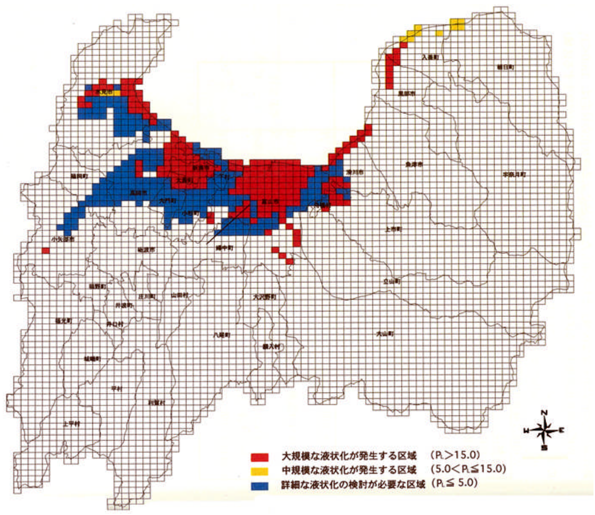
※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）富山市の被害想定データは、旧富山市、大山町、大沢野町、婦中町、八尾町、山田村、細入村の合計値

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
富山県全体	呉羽山断層地震	35,431	57,651	5,545	−	−	−	−
	跡津川断層地震	31,370	82,023	3,794	−	−	−	−
	法林寺断層地震	31,201	50,587	5,118	−	−	−	−
うち富山市	呉羽山断層地震	15,643	21,776	993	−	−	−	−
	跡津川断層地震	14,188	35,790	1,010	−	−	−	−
	法林寺断層地震	12,814	16,626	133	−	−	−	−

（注）表内の「−」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する
（注）富山市の被害想定データは、旧富山市、大山町、大沢野町、婦中町、八尾町、山田村、細入村の合計値

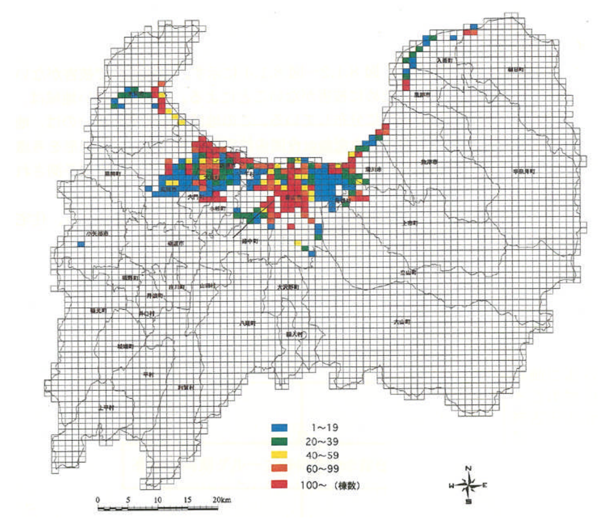
（出典：地震調査報告書（富山県）　平成 8 年 3 月、平成 10 年 3 月、平成 13 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て呉羽山断層地震）（その１）

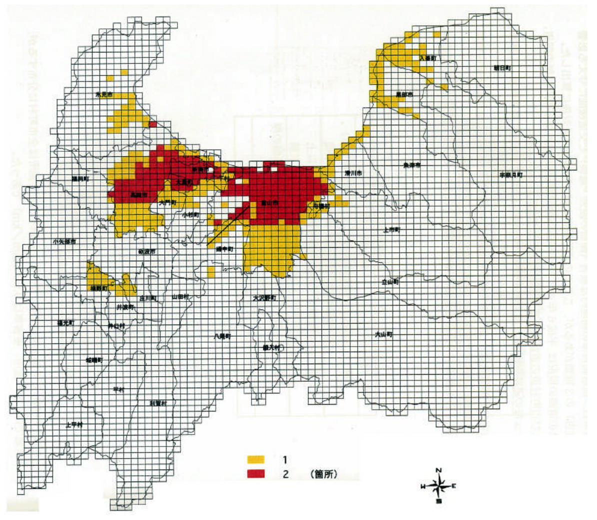
震度分布図	液状化危険度分布図
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て呉羽山断層地震）（その２）

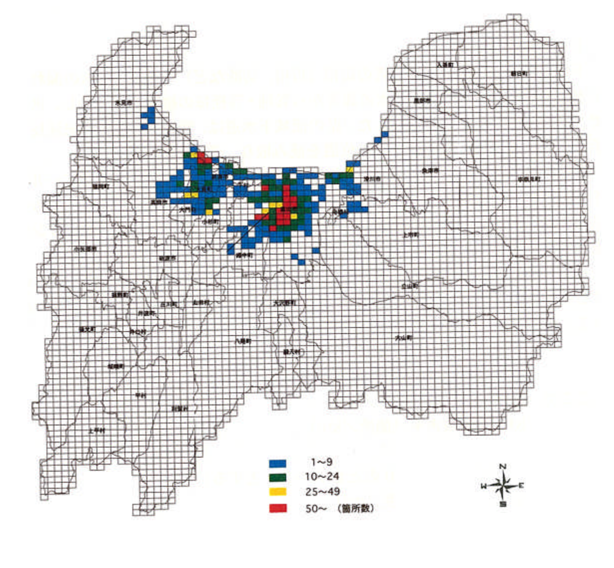
木造建物の全壊棟数分布



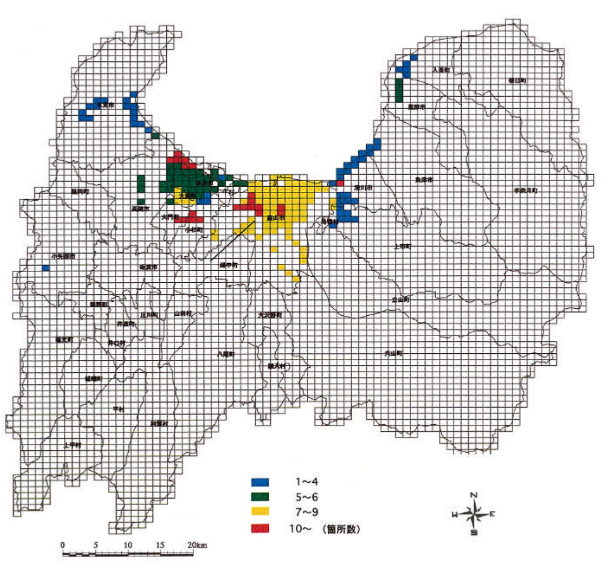
道路被害分布



上水道被害箇所数分布



電柱被害箇所数分布



（出典：地震調査報告書（富山県）　平成 10 年 3 月）

（17）　石川県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬夕方	人的被害 負傷者数 冬夕方
石川県全体	大聖寺の地震	7.0	6強※	253	1,869
	加賀平野の地震	7.0	6強※	2,182	7,829
	邑知潟の地震	7.0	7※	700	3663
	能登半島北方沖の地震	7.0	6強※	7	211
	能登半島東方沖の地震	7.8	－	－	－
うち金沢市	大聖寺の地震	7.0	6弱※	9	264
	加賀平野の地震	7.0	6強※	1,630	5,052
	邑知潟の地震	7.0	6弱※	17	409
	能登半島北方沖の地震	7.0	5弱※	0	0
	能登半島東方沖の地震	7.8	－	－	－

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数	揺れ＋液状化 半壊数	火災[最大] 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
石川県全体	大聖寺の地震	2,340	6,939	56	－	－	－	－
	加賀平野の地震	16,843	37,002	3,854	－	－	－	－
	邑知潟の地震	6,092	11,294	488	－	－	－	－
	能登半島北方沖の地震	120	1,689	0	－	－	－	－
	能登半島東方沖の地震	－	－	－	3,028	－	－	－
うち金沢市	大聖寺の地震	47	1,078	0	－	－	－	－
	加賀平野の地震	11,679	20,508	2,732	－	－	－	－
	邑知潟の地震	105	2,005	0	－	－	－	－
	能登半島北方沖の地震	0	1	0	－	－	－	－
	能登半島東方沖の地震	－	－	－	0	－	－	－

（注）半壊数＝半壊以上棟数－全壊棟数
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

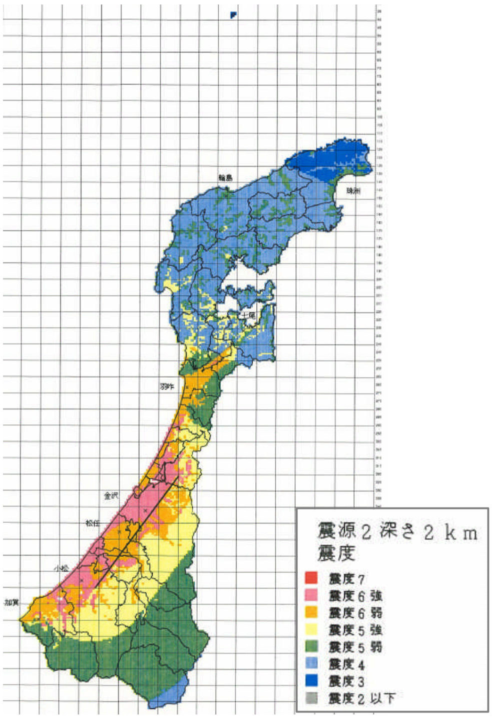
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数	上水道 断水人口	電話･通信 通話機能支障件数
石川県全体	大聖寺の地震	－	1,015,052	－
	加賀平野の地震	－	748,895	－
	邑知潟の地震	－	791,484	－
	能登半島北方沖の地震	－	202,656	－
	能登半島東方沖の地震	－	－	－
うち金沢市	大聖寺の地震	－	445,909	－
	加賀平野の地震	－	350,913	－
	邑知潟の地震	－	394,374	－
	能登半島北方沖の地震	－	0	－
	能登半島東方沖の地震	－	－	－

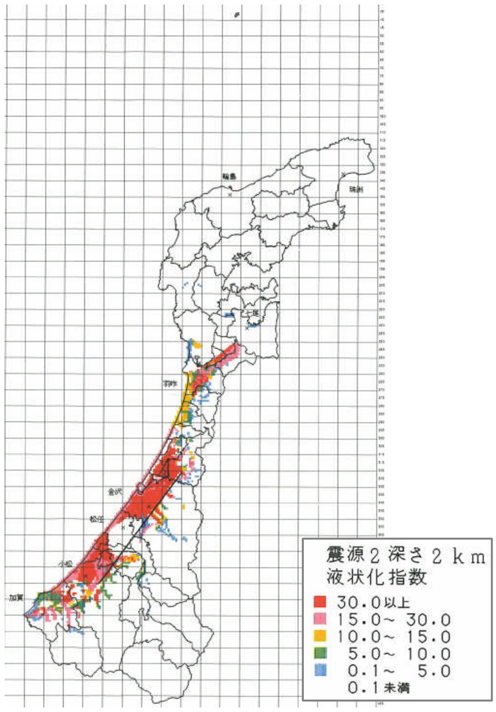
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：平成７年度石川県地震被害想定調査報告書　平成８年３月、平成８年度石川県地震被害想定調査報告書　平成９年３月、平成９年度石川県地震被害想定調査報告書　平成 10 年３月）

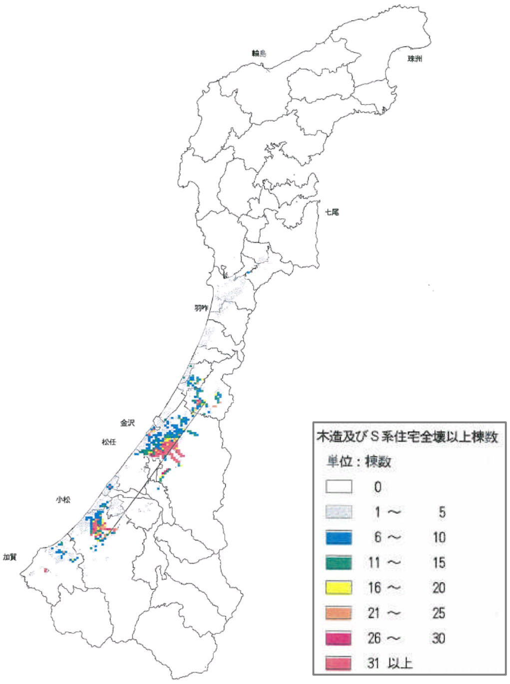
②主な被害想定結果図面（以下は全て加賀平野の地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度分布図

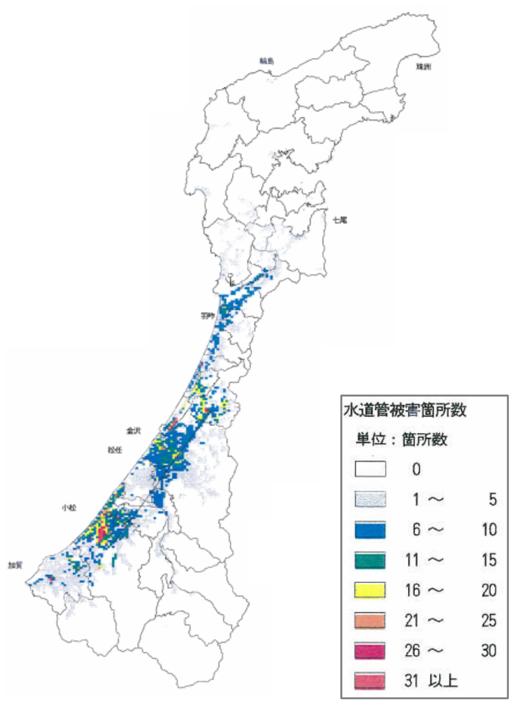
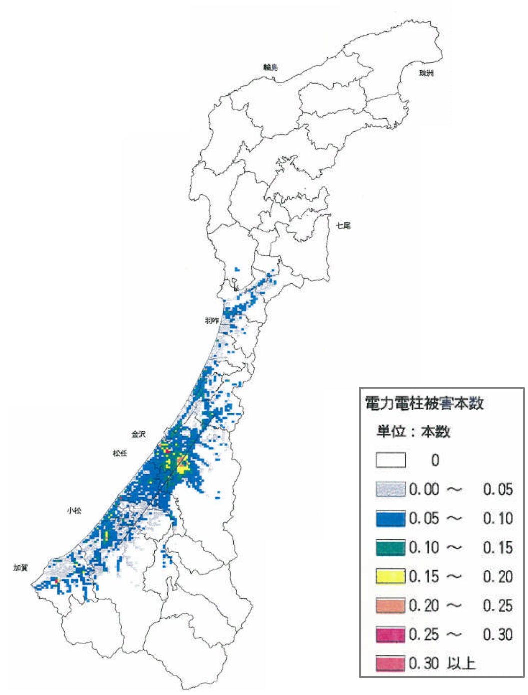




木造及びＳ系住宅全壊以上棟数	救命消火期の被災地域区分と道路災害の可能性



②主な被害想定結果図面（以下は全て加賀平野の地震）（その２）

<table>
<tr><th>水道管被害箇所数</th><th>電柱被害予測結果</th></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
</table>

（出典：平成７年度石川県地震被害想定調査報告書　平成８年３月、平成８年度石川県地震被害想定調査報告書　平成９年３月、平成９年度石川県地震被害想定調査報告書　平成 10 年３月）

（18）　福井県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				春・秋	冬	春・秋	冬
福井県全体	福井地震	7.1	7※	3,785	4,286	22,809	25,110
	敦賀断層地震	7.2	7※	902	1,120	6,996	8,449
うち福井市	福井地震	7.1	7※	2,000	2,223	7,391	7,932
	敦賀断層地震	7.2	5強※	11	11	235	235

※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

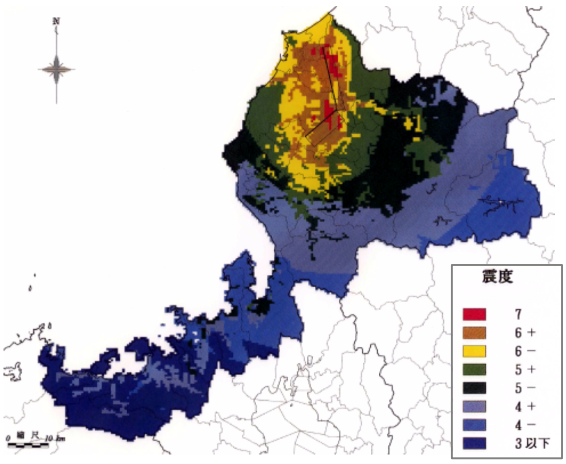
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
福井県全体	福井地震	85,944 (142,575)	68,251 (71,655)	17,030	－	－	－	－
	敦賀断層地震	28,306 (51,155)	51,721 (84,398)	5,107	－	－	－	－
うち福井市	福井地震	35,504 (58,663)	21,830 (18,993)	9,151	－	－	－	－
	敦賀断層地震	3,004 (7,669)	9,468 (22,840)	1	－	－	－	－

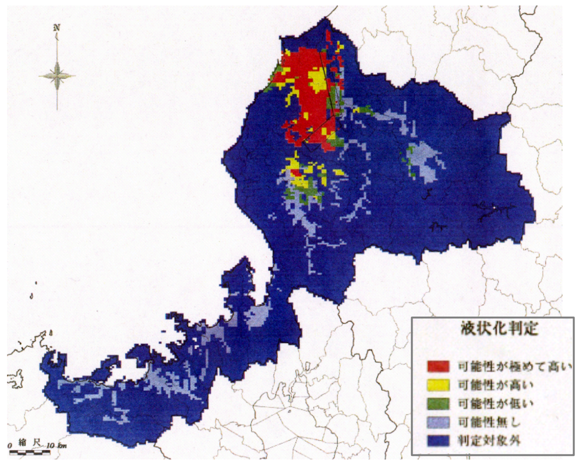
（注）揺れ＋液状化による建物被害の（　）内の数値は、積雪時における被害想定値
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：福井県地震被害予測調査報告書　平成９年３月）

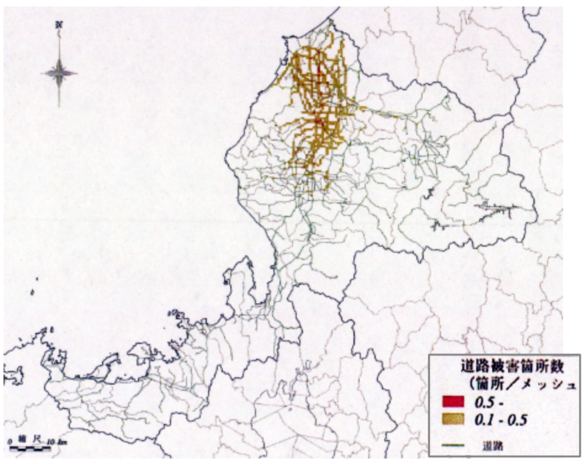
②主な被害想定結果図面（以下は全て福井地震）

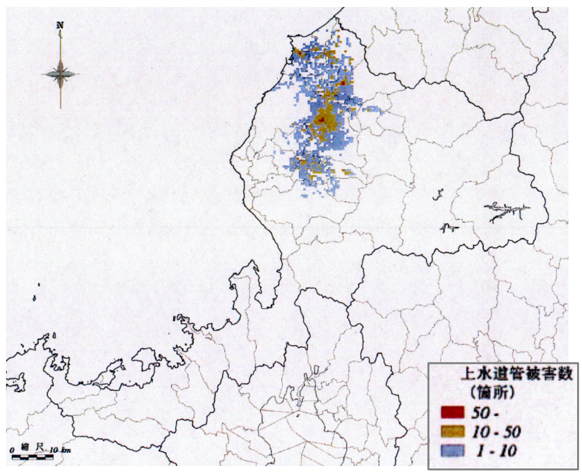
震度分布図	液状化危険度分布図



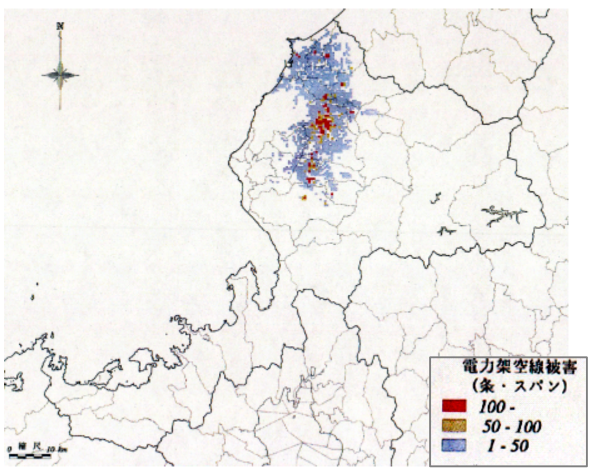


道路被害箇所数	上水道管被害数





電力架空線被害



（出典：福井県地震被害予測調査図面集（平成９年３月））

（19）　山梨県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
山梨県全体	東海地震*予知無し	8.0	7※	371	204	209	6,073	4,627	4,452
うち甲府市	東海地震*予知無し	8.0	6強※	14	8	7	838	759	724

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

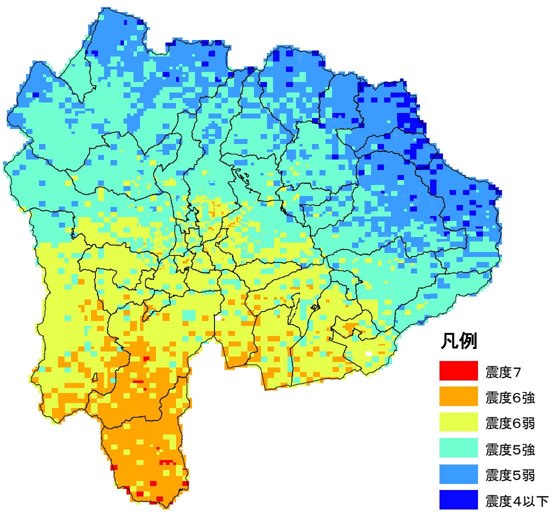
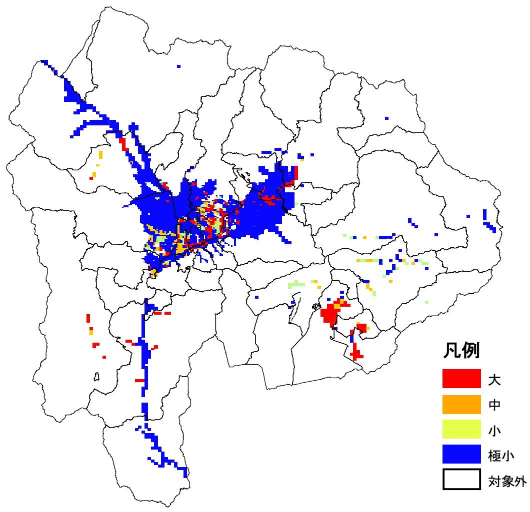
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
山梨県全体	東海地震*予知無し	5,907（1.7%）	28,988（8.2%）	1,005（0.3%）	1,940（0.5%）	244	－	－	549	1,320
うち甲府市	東海地震*予知無し	370（0.5%）	4,080（6.0%）	281（0.4%）	531（0.8%）	17	－	－	0	1

（注）全壊数＝木造全壊＋非木造大破、半壊数＝木造半壊＋非木造中破
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

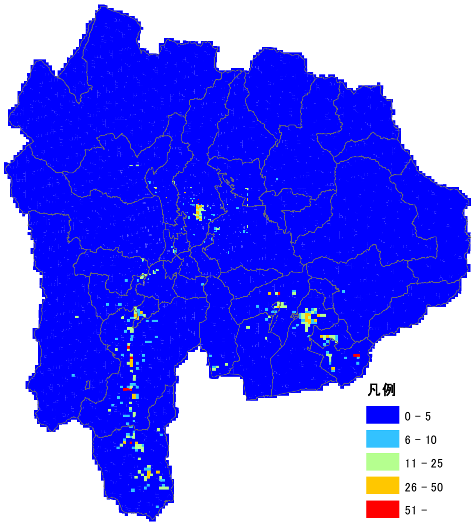
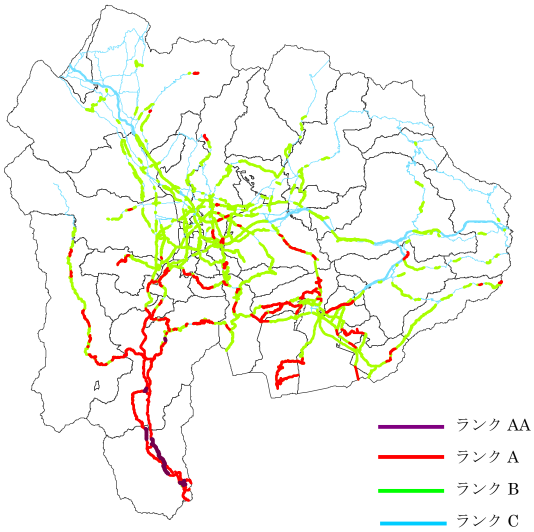
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電需要家契約口数（支障率）	断水戸数(断水率)	通話機能支障件数（支障率）
山梨県全体	東海地震*予知無し	145,907(35.3%)	145,504(46.7%)	17,387(4.2%)
うち甲府市	東海地震*予知無し	36,359(38.0%)	34,915(44.7%)	4,161(3.9%)

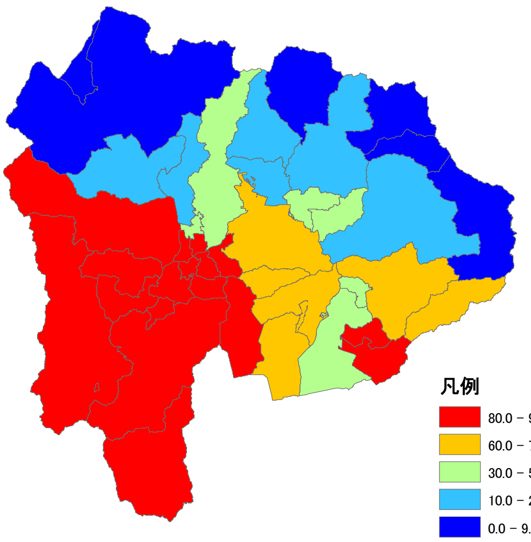
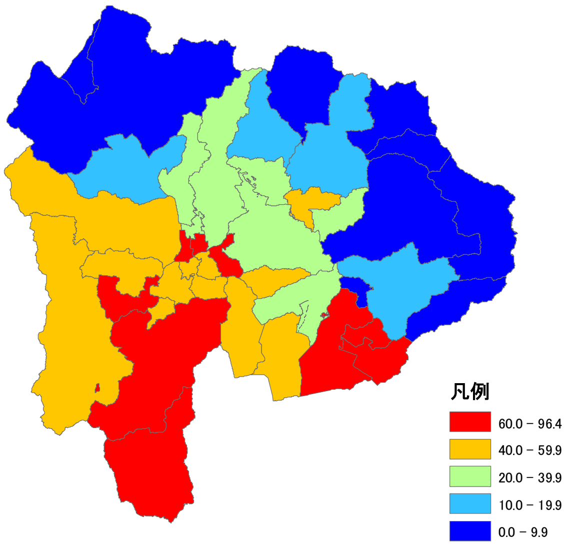
（出典：山梨県東海地震被害想定調査報告書　平成17年）

②主な被害想定結果図面（以下は全て東海地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て東海地震）（その２）

揺れ・液状化による全壊棟数 (250m ﾒｯｼｭ部は、500m ﾒｯｼｭあたりの棟数に換算)	道路の利用可能性想定結果
 	

断水率（%）［発災直後］	停電率（%）
 	

（出典：山梨県東海地震被害想定調査報告書　平成 17 年）

（20） 長野県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害							
				死者数				負傷者数			
				夏14-15時	夏18-19時	冬14-15時	冬18-19時	夏14-15時	夏18-19時	冬14-15時	冬18-19時
長野県全体	糸魚川ー静岡構造線(北部)の地震	8.0	7	2,117	2,900	2,523	3,457	91,639	90,673	92,525	91,646
	糸魚川ー静岡構造線(中部)の地震	8.0	7	2,059	2,820	2,059	2,820	88,195	87,423	88,918	88,274
	信濃川断層帯の地震	7.5	6強	753	496	753	1,031	34,356	33,868	34,784	34,548
	伊那谷断層帯の地震	7.9	7	835	1,144	835	1,144	49,323	48,832	50,271	49,345
	東海地震	8.0	6弱	1	2	1	2	943	943	945	943
	阿寺断層系の地震	7.9	6強	121	166	121	166	12,992	12,833	13,060	13,014
うち長野市	糸魚川ー静岡構造線(北部)の地震	8.0	6強	222	304	628	860	18,204	18,068	18,972	18,783
	糸魚川ー静岡構造線(中部)の地震	8.0	6弱	63	87	63	87	7,691	7,956	7,971	7,691
	信濃川断層帯の地震	7.5	6強	603	292	603	827	19,574	19,096	19,947	19,767
	伊那谷断層帯の地震	7.9	5強	0	0	0	0	967	967	969	967
	東海地震	8.0	5弱	0	0	0	0	0	0	0	0
	阿寺断層系の地震	7.9	5強	0	0	0	0	35	35	35	35

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
長野県全体	糸魚川ー静岡構造線(北部)の地震	106,255	148,624	15,278	－	－	－	－
	糸魚川ー静岡構造線(中部)の地震	105,925	137,075	14,299	－	－	－	－
	信濃川断層帯の地震	28,804	63,838	5,501	－	－	－	－
	伊那谷断層帯の地震	61,955	94,116	5,982	－	－	－	－
	東海地震	102	727	2	－	－	－	－
	阿寺断層系の地震	8,674	21,488	833	－	－	－	－
うち長野市	糸魚川ー静岡構造線(北部)の地震	17,001	28,138	4,115	－	－	－	－
	糸魚川ー静岡構造線(中部)の地震	4,159	10,217	41	－	－	－	－
	信濃川断層帯の地震	17,232	32,379	4,613	－	－	－	－
	伊那谷断層帯の地震	9	748	1	－	－	－	－
	東海地震	0	0	0	－	－	－	－
	阿寺断層系の地震	0	5	0	－	－	－	－

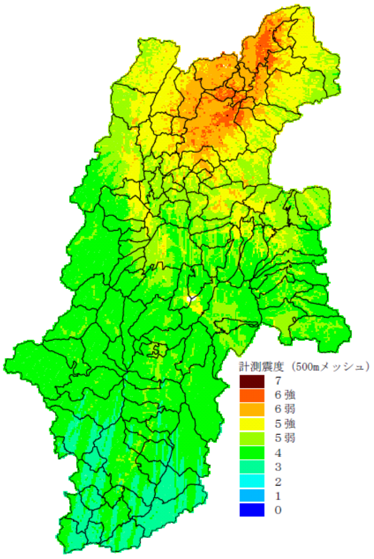
（注）全壊数＝木造全壊＋非木造大破、半壊数＝木造半壊＋非木造中破
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電世帯数(支障率)	断水世帯数(断水率)	通話機能支障回線数(支障率)
長野県全体	糸魚川ー静岡構造線(北部)の地震	211,020(27.3%)	432,128(56.1%)	262,090(24.1%)
	糸魚川ー静岡構造線(中部)の地震	217,726(28.1%)	514,292(66.8%)	302,307(27.8%)
	信濃川断層帯の地震	116,952(15.1%)	152,649(19.8%)	75,026(6.9%)
	伊那谷断層帯の地震	149,200(19.3%)	162,181(21.1%)	83,746(7.7%)
	東海地震	18,989(2.5%)	3,408(0.4%)	51(0.0%)
	阿寺断層系の地震	92,318(11.9%)	57,178(7.4%)	12,591(1.2%)
うち長野市	糸魚川ー静岡構造線(北部)の地震	42,906(32.5%)	117,617(89.6%)	56,233(29.8%)
	糸魚川ー静岡構造線(中部)の地震	32,212(24.4%)	108,855(82.9%)	9,058(4.8%)
	信濃川断層帯の地震	43,830(33.2%)	112,295(85.6%)	62,460(33.1%)
	伊那谷断層帯の地震	18,879(14.3%)	0(0.0%)	189(0.1%)
	東海地震	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
	阿寺断層系の地震	13,598(10.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)

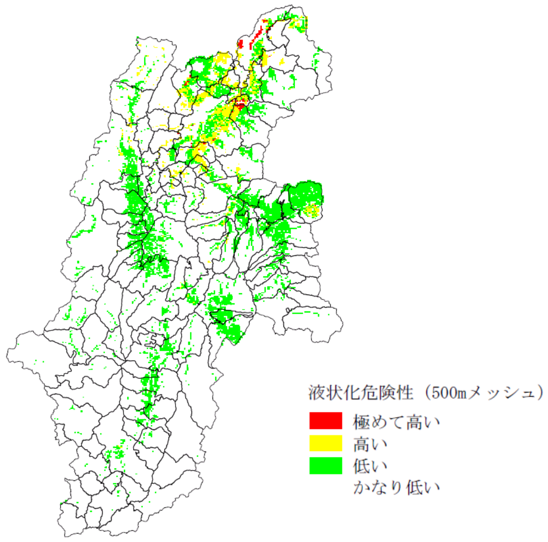
（出典：長野県地震対策基礎調査報告書　平成 14 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て信濃川断層帯の地震）（その１）

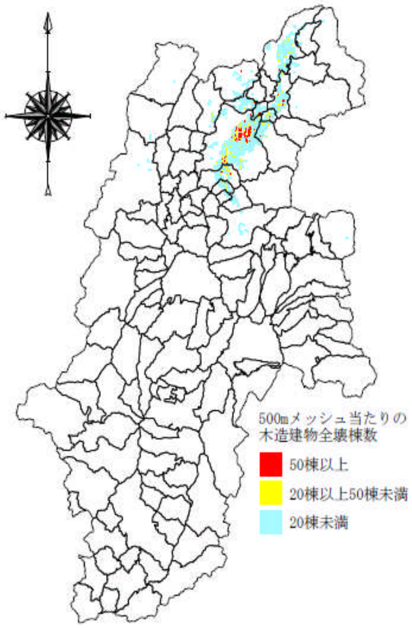
震度分布図



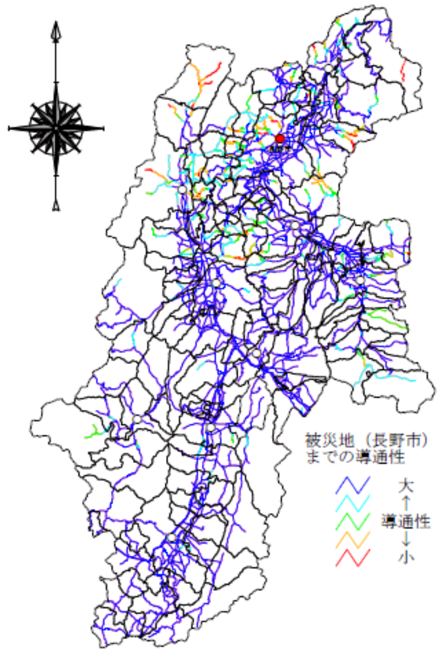
液状化危険度分布図



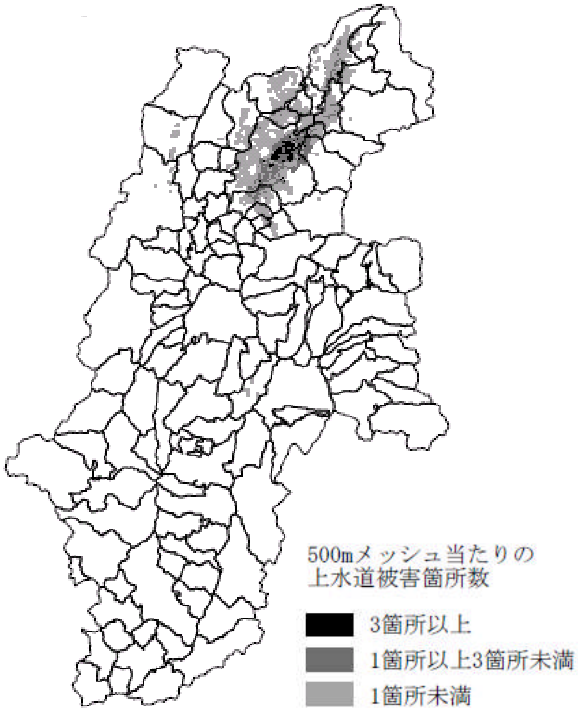
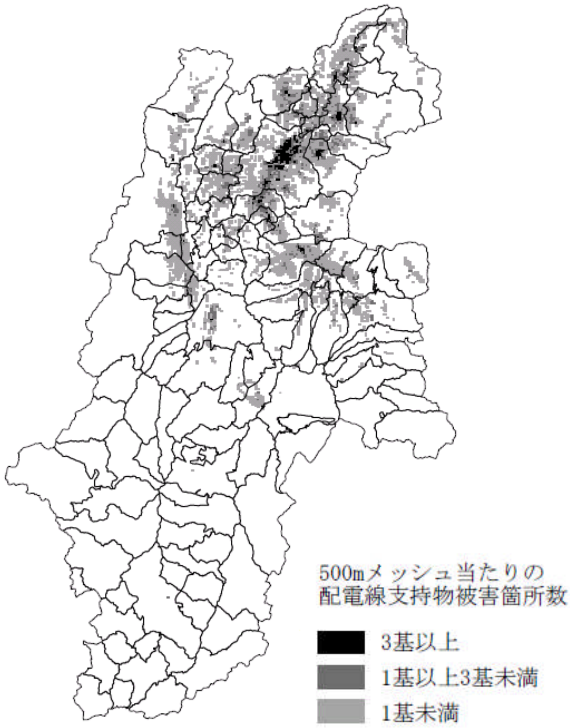
木造建物全壊数



道路交通機能支障評価図



②主な被害想定結果図面（以下は全て信濃川断層帯の地震）（その２）

上水道被害想定図	配電線支持物被害箇所数
	

（出典：長野県地震対策基礎調査報告書　平成 14 年 3 月）

(21)　岐阜県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				午前3時	午前11時	午後6時	午前3時	午前11時	午後6時
岐阜県全体	東海地震	8.0	6弱※	22	13	15	6,724	4,979	5,315
	東南海地震	8.2	6弱※	36	18	24	9,051	6,684	7,124
	複合型東海地震	8.3	6弱※	47	25	28	9,869	7,297	7,769
うち岐阜市	東海地震	8.0	5強※	1	0	1	1,403	1,103	1,161
	東南海地震	8.2	6弱※	6	3	4	1,941	1,526	1,606
	複合型東海地震	8.3	6弱※	8	4	5	2,059	1,618	1,702

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
岐阜県全体	東海地震	669	2,635	0	－	－	－	－
	東南海地震	977	3,510	0	－	－	－	－
	複合型東海地震	1,173	3,915	0	－	－	－	－
うち岐阜市	東海地震	89	348	0	－	－	－	－
	東南海地震	161	539	0	－	－	－	－
	複合型東海地震	183	575	0	－	－	－	－

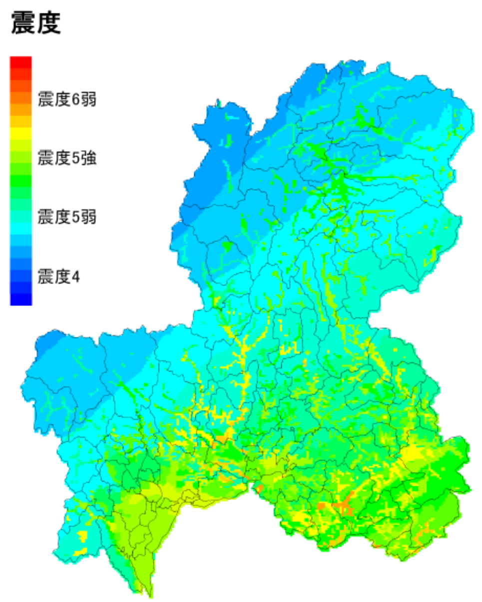
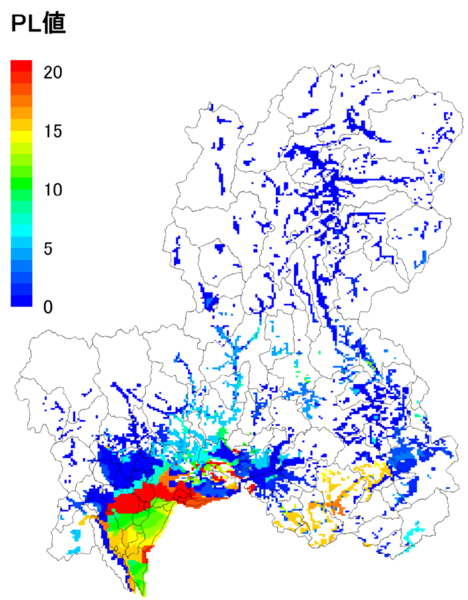
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電人口[単位:万人]	断水人口	通話機能支障件数
岐阜県全体	東海地震	69	117,208	－
	東南海地震	88	177,750	－
	複合型東海地震	93	199,789	－
うち岐阜市	東海地震	－	15,456	－
	東南海地震	－	31,805	－
	複合型東海地震	－	35,207	－

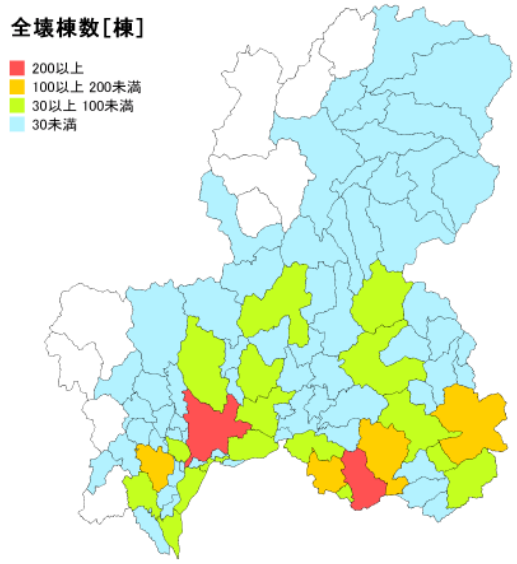
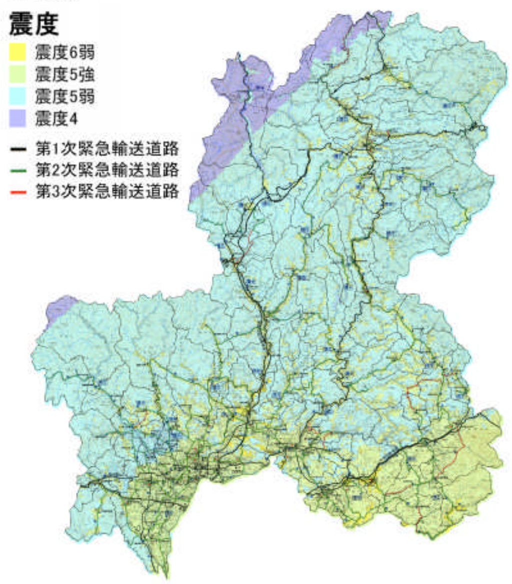
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

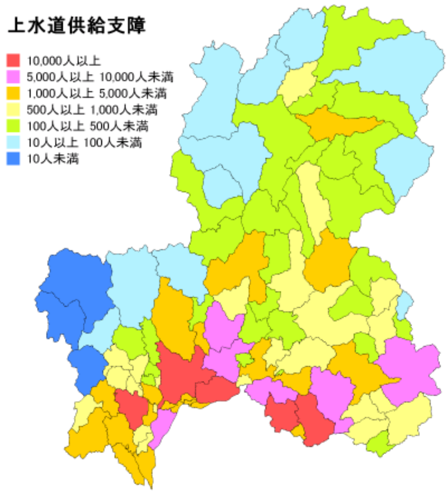
（出典：岐阜県東海地震等被害想定調査報告書　平成 15 年 7 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て複合型東海地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て複合型東海地震）（その２）

全壊棟数被害（揺れの強さの幅を見込んだ場合）	緊急輸送道路分布状況
	

上水道供給支障


（出典：岐阜県東海地震等被害想定調査報告書　平成 15 年 7 月）

（22）　静岡県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	春・秋12時	冬18時	冬5時	春・秋12時	冬18時
静岡県全体	東海地震*地震対策・予知無し	8.0	7	5,851	3,695	4,016	104,305	91,143	89,381
うち静岡市	東海地震*地震対策・予知無し	8.0	7	1,403	966	1,223	24,473	21,900	22,158
うち浜松市	東海地震*地震対策・予知無し	8.0	7	808	477	510	17,949	16,031	15,646

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害					
		揺れ		液状化		揺れ＋液状化	
		全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）
静岡県全体	東海地震*地震対策・予知無し	80,310 (5.8%)	207,641 (14.9%)	50,873 (3.3%)	84,475 (5.5%)	131,183 (8.6%)	292,116 (19.1%)
うち静岡市	東海地震*地震対策・予知無し	18,190 (8.1%)	43,497 (19.4%)	13,634 (5.2%)	22,749 (8.7%)	31,824 (12.2%)	66,246 (25.4%)
うち浜松市	東海地震*地震対策・予知無し	11,011(3.9%)	34,254 (12.2%)	7,137 (2.4%)	11,834 (4.0%)	18,148 (6.1%)	46,088 (15.4%)

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害				
		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		焼失数（焼失率）	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
静岡県全体	東海地震*地震対策・予知無し	78,538 (6.15%)	2,240	3,666	3,546	8,762
うち静岡市	東海地震*地震対策・予知無し	38,756 (9.23%)	0	108	1073	2,605
うち浜松市	東海地震*地震対策・予知無し	13,690 (0.77%)	0	0	562	1,422

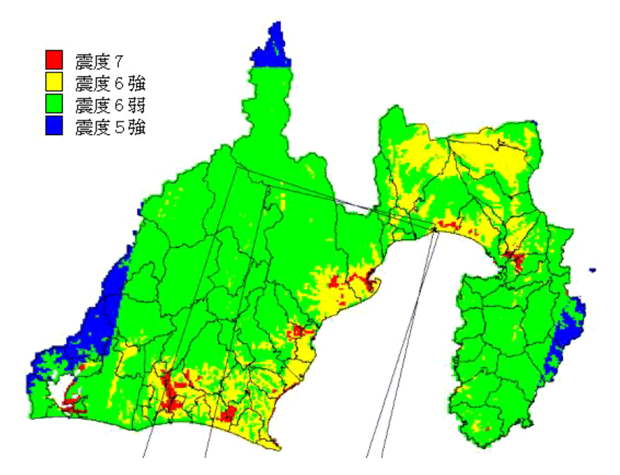
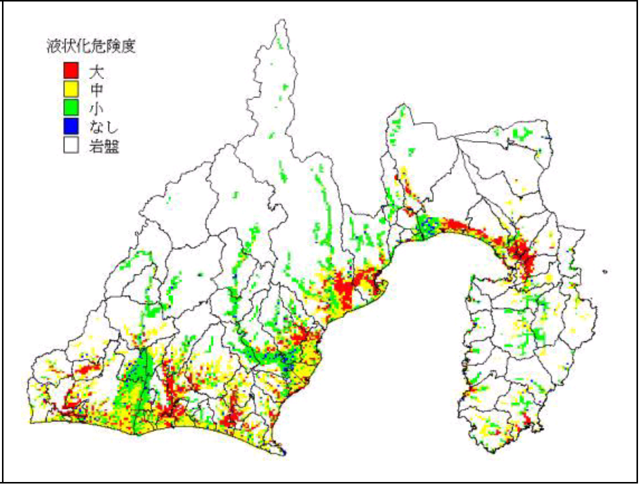
（注）津波、崖崩れ被害の数値は大破および中破棟数を記入

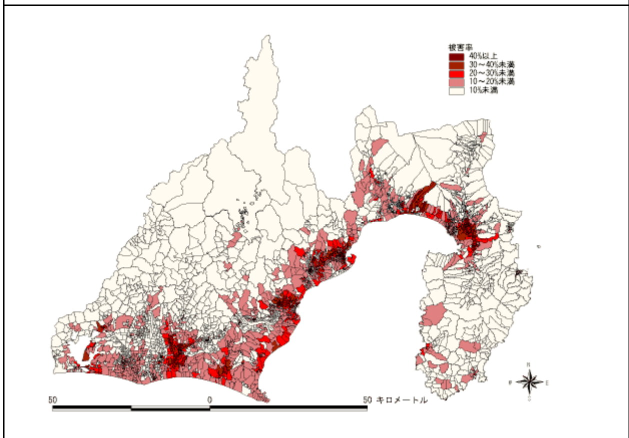
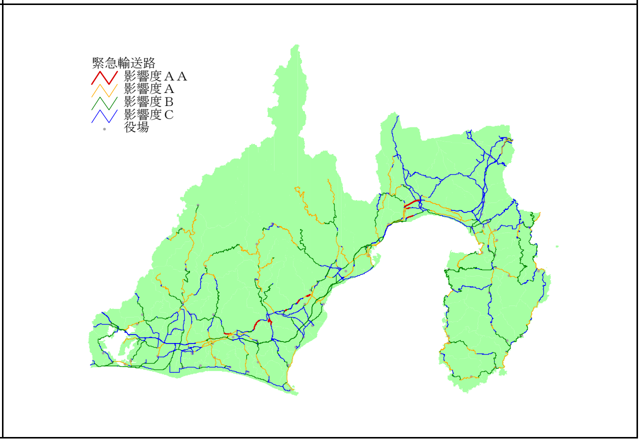
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電件数(支障率)	断水世帯数(断水率)	通話機能支障件数
静岡県全体	東海地震*地震対策・予知無し	582,667 (33.7%)	1,123,204 (90.9%)	−
うち静岡市	東海地震*地震対策・予知無し	109,901 (35.0%)	247,579 (96.9%)	−
うち浜松市	東海地震*地震対策・予知無し	86,456 (26.0%)	207,492 (80.5%)	−

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：第 3 次被害想定調査報告書　平成 11 年 3 月～平成 13 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て東海地震）

<table>
<tr><th>震度分布図</th><th>液状化危険度分布図</th></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>建物被害分布図</th><th>道路危険度</th></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
</table>

（出典：第３次被害想定調査報告書　平成 11 年３月～平成 13 年３月）

（23） 愛知県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬5時	死者数 春秋12時	死者数 冬18時	負傷者数 冬5時	負傷者数 春秋12時	負傷者数 冬18時
愛知県全体	想定東海地震	7.96Mw	6強	273	138	230	12,760	9,258	9,258
	想定東南海地震	8.15Mw	7	1,288	599	1,048	46,903	35,967	35,337
	想定東海・東南海地震連動	8.27Mw	7	2,433	1,049	2,033	65,506	49,372	50,225
	養老―桑名―四日市断層帯	7.00Mw	7	73	44	65	3,997	2,823	2,839
うち名古屋市	想定東海地震	7.96Mw	6弱	24	18	26	3,811	3,050	2,802
	想定東南海地震	8.15Mw	6強	310	165	265	17,158	15,312	13,531
	想定東海・東南海地震連動	8.27Mw	6強	415	211	357	20,862	18,152	16,345
	養老―桑名―四日市断層帯	7.00Mw	6弱	11	8	10	1,385	1,141	1,033
うち豊田市	想定東海地震	7.96Mw	6弱	1	1	1	29	22	21
	想定東南海地震	8.15Mw	6弱	3	4	4	430	328	313
	想定東海・東南海地震連動	8.27Mw	6強	11	5	7	741	561	539
	養老―桑名―四日市断層帯	7.00Mw	5強	0	0	0	1	1	1
うち豊橋市	想定東海地震	7.96Mw	6強	83	38	67	3,575	2,639	2,656
	想定東南海地震	8.15Mw	6強	70	31	49	2,951	2,153	2,133
	想定東海・東南海地震連動	8.27Mw	7	355	151	313	7,512	5,568	5,933
	養老―桑名―四日市断層帯	7.00Mw	5弱以下	0	0	0	0	0	0
うち岡崎市	想定東海地震	7.96Mw	6弱	1	1	1	22	15	16
	想定東南海地震	8.15Mw	6弱	8	4	6	477	319	331
	想定東海・東南海地震連動	8.27Mw	6強	15	7	10	687	457	474
	養老―桑名―四日市断層帯	7.00Mw	5弱以下	0	0	0	0	0	0

（注）想定東海地震の死傷者数は地震予知が無い場合の想定結果

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 全壊数（全壊率）	揺れ 半壊数（半壊率）	液状化 全壊数（全壊率）	液状化 半壊数（半壊率）	揺れ＋液状化 全壊数（全壊率）	揺れ＋液状化 半壊数（半壊率）
愛知県全体	想定東海地震	7,208(0.3%)	52,126(2.2%)	4,851(0.2%)	7,415(0.3%)	12,059(0.5%)	59,541(2.5%)
	想定東南海地震	47,177(2.0%)	162,359(6.8%)	12,597(0.5%)	19,254(0.8%)	59,774(2.5%)	181,613(7.6%)
	想定東海・東南海地震連動	81,129(3.4%)	209,498(8.8%)	16,496(0.7%)	25,168(1.1%)	97,625(4.1%)	234,666(9.9%)
	養老―桑名―四日市断層帯	2,387(0.1%)	17,628(0.7%)	7,066(0.3%)	10,782(0.5%)	9,453(0.4%)	28,410(1.2%)
うち名古屋市	想定東海地震	1,182(0.2%)	12,534(2.4%)	1,512(0.3%)	2,187(0.4%)	2,694(0.5%)	14,721(2.8%)
	想定東南海地震	12,008(2.3%)	43,891(8.3%)	4,080(0.8%)	5,898(1.1%)	16,088(3.0%)	49,789(9.4%)
	想定東海・東南海地震連動	15,587(2.9%)	51,024(9.6%)	5,492(1.0%)	7,936(1.5%)	21,079(4.0%)	58,960(11.2%)
	養老―桑名―四日市断層帯	170(0.0%)	4,884(0.9%)	2,988(0.6%)	4,308(0.8%)	3,158(0.6%)	9,192(1.7%)
うち豊田市	想定東海地震	2(0.0%)	127(0.1%)	67(0.1%)	112(0.1%)	69(0.1%)	239(0.2%)
	想定東南海地震	138(0.1%)	1,877(1.6%)	100(0.1%)	166(0.1%)	238(0.2%)	2,043(1.7%)
	想定東海・東南海地震連動	395(0.3%)	2,906(2.5%)	201(0.2%)	336(0.3%)	596(0.5%)	3,242(2.8%)
	養老―桑名―四日市断層帯	0(0.0%)	4(0.0%)	9(0.0%)	16(0.0%)	9(0.0%)	20(0.0%)
うち豊橋市	想定東海地震	3,641(2.7%)	13,768(10.1%)	579(0.4%)	890(0.7%)	4,220(3.1%)	14,658(10.7%)
	想定東南海地震	2,852(2.1%)	11,452(8.4%)	570(0.4%)	875(0.6%)	3,422(2.5%)	12,327(9.0%)
	想定東海・東南海地震連動	11,187(8.2%)	21,853(16.0%)	669(0.5%)	1,034(0.8%)	11,856(8.7%)	22,887(16.7%)
	養老―桑名―四日市断層帯	0(0.0%)	0(0.0%)	3(0.0%)	5(0.0%)	3(0.0%)	5(0.0%)
うち岡崎市	想定東海地震	1(0.0%)	90(0.1%)	194(0.2%)	324(0.3%)	195(0.2%)	414(0.4%)
	想定東南海地震	207(0.2%)	2,013(1.7%)	452(0.4%)	752(0.6%)	659(0.6%)	2,765(2.4%)
	想定東海・東南海地震連動	418(0.4%)	2,674(2.3%)	537(0.5%)	895(0.8%)	955(0.8%)	3,569(3.0%)
	養老―桑名―四日市断層帯	0(0.0%)	0(0.0%)	32(0.0%)	52(0.0%)	32(0.0%)	52(0.0%)

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 火災[最大] 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
愛知県全体	想定東海地震	2,427	5	34	991	2,319
	想定東南海地震	14,974	10	54	1,977	4,615
	想定東海・東南海地震連動	49,392	55	68	2,990	6,978
	養老―桑名―四日市断層帯	70	－	－	184	433
うち名古屋市	想定東海地震	35	0	0	34	81
	想定東南海地震	2,200	0	0	121	284
	想定東海・東南海地震連動	6,244	0	0	166	385
	養老―桑名―四日市断層帯	6	－	－	77	180
うち豊田市	想定東海地震	0	0	0	4	9
	想定東南海地震	6	0	0	14	33
	想定東海・東南海地震連動	17	0	0	40	94
	養老―桑名―四日市断層帯	0	－	－	0	0
うち豊橋市	想定東海地震	2,316	0	0	90	209
	想定東南海地震	414	0	0	86	201
	想定東海・東南海地震連動	10,069	0	0	122	284
	養老―桑名―四日市断層帯	0	－	－	0	0
うち岡崎市	想定東海地震	0	0	0	7	17
	想定東南海地震	11	0	0	44	103
	想定東海・東南海地震連動	16	0	0	59	138
	養老―桑名―四日市断層帯	0	－	－	0	1

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

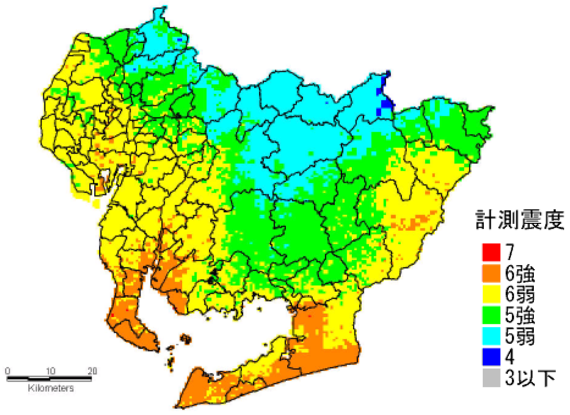
①主な被害想定結果整理表（その２）

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電需要家契約口数（支障率）	ライフライン 上水道 断水戸数(断水率）	ライフライン 電話・通信 通話機能支障件数（支障率）
愛知県全体	想定東海地震	144,417(3.3%)	341,695(12.3%)	23,240(0.7%)
	想定東南海地震	533,203(12.1%)	1,089,828(39.2%)	153,400(4.6%)
	想定東海・東南海地震連動	640,102(14.5%)	1,483,126(53.3%)	218,455(6.5%)
	養老—桑名—四日市断層帯	184,004(4.2%)	262,678(9.4%)	33,057(1.0%)
うち名古屋市	想定東海地震	32,499(2.1%)	51,099(4.7%)	3,593(0.3%)
	想定東南海地震	195,518(12.9%)	311,195(28.9%)	66,215(5.2%)
	想定東海・東南海地震連動	244,317(16.1%)	474,996(44.1%)	98,384(7.7%)
	養老—桑名—四日市断層帯	105,495(7.0%)	106,124(9.8%)	14,964(1.2%)
うち豊田市	想定東海地震	2,204(1.1%)	148(0.1%)	5(0.0%)
	想定東南海地震	18,910(9.4%)	9,532(7.4%)	2,222(1.5%)
	想定東海・東南海地震連動	23,371(11.7%)	29,682(23.0%)	4,070(2.8%)
	養老—桑名—四日市断層帯	0(0.0%)	25(0.0%)	0(0.0%)
うち豊橋市	想定東海地震	36,512(16.6%)	96,730(76.1%)	12,230(7.5%)
	想定東南海地震	35,190(16.0%)	94,583(74.4%)	11,007(6.8%)
	想定東海・東南海地震連動	38,007(17.2%)	117,524(92.5%)	13,717(8.5%)
	養老—桑名—四日市断層帯	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
うち岡崎市	想定東海地震	3,710(1.8%)	30(0.0%)	21(0.0%)
	想定東南海地震	22,432(11.1%)	26,785(22.8%)	3,508(2.4%)
	想定東海・東南海地震連動	24,001(11.8%)	63,125(53.7%)	4,256(2.9%)
	養老—桑名—四日市断層帯	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

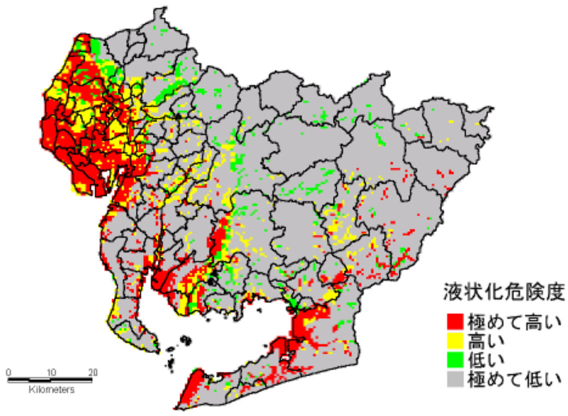
（出典：愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査報告書－平成 14 年度版－愛知県防災会議地震部会　平成 15 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て想定東海・東南海地震連動）

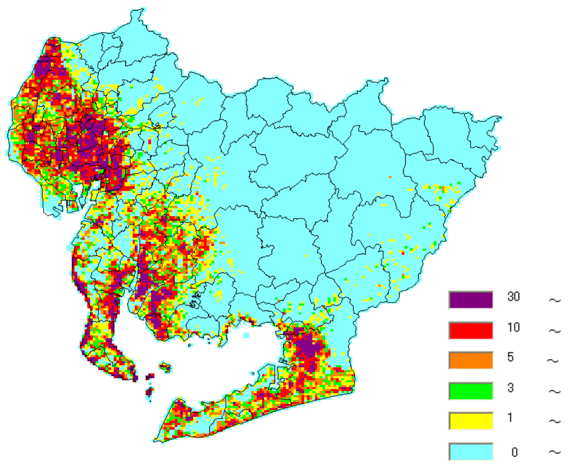
震度分布図



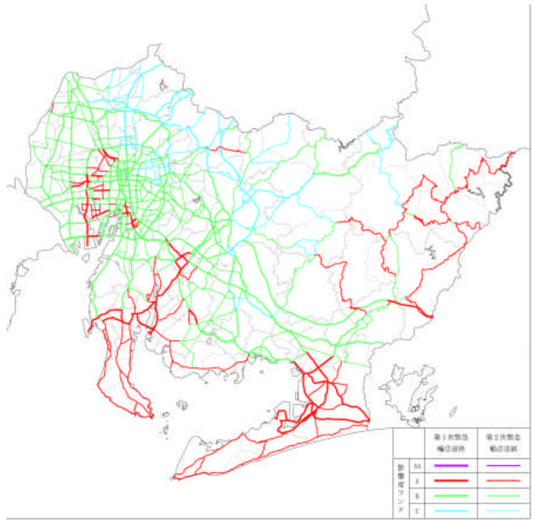
液状化危険度分布図



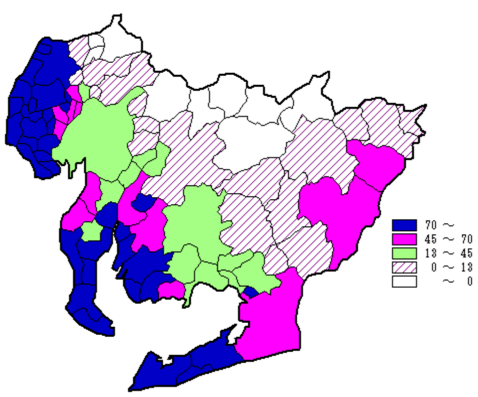
揺れ・液状化による全壊棟数（単位：棟）



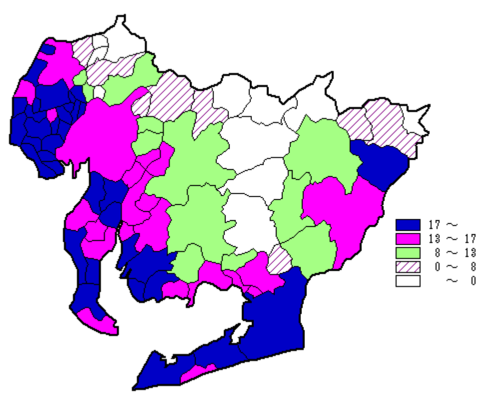
道路施設の利用可能性に関する評価結果



断水率（発災１日後）[%]



停電率[%]



（出典：愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査報告書－平成 14 年度版－愛知県防災会議地震部会　平成 15 年 3 月）

（24） 三重県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
三重県全体	東海・東南海・南海地震	8.7	7	1,687	649	1,000	11,678	4,359	6,450
	東海地震	8	6弱	98	35	60	967	332	528
	東南海→南海地震　時間差	8.1、8.4	7	2,250	853	1,305	11,746	4,449	6,562
	養老—桑名—四日市断層帯	7.8	7	235	93	143	2,392	862	1,301
	養老—桑名断層帯	7.4	7	238	94	142	2,376	871	1,277
	鈴鹿東縁断層帯	7.5	7	106	38	61	160	261	112
	伊勢湾断層帯(伊勢湾断層帯主部)	7.5	6弱	99	36	65	476	176	283
	伊勢湾断層帯(白子ー野間断層)	7.0	6弱	39	14	24	182	64	106
	伊勢湾断層帯(鈴鹿沖断層)	6.7	6強	44	15	28	240	83	137
	布引山地東縁断層帯西部	7.4	6強	112	44	67	711	278	391
	布引山地東縁断層帯東部	7.6	6強	271	108	166	2,153	825	1,198
	頓宮断層	7.3	6強	61	22	34	158	58	84
	木津川断層帯	7.3	7	68	26	37	319	127	171
	名張断層	7.3	7	86	33	46	545	204	284
うち津市	東海・東南海・南海地震	8.7	6強	331	138	190	2,522	998	1,359
	東海地震	8	5強	6	3	7	77	34	54
	東南海→南海地震　時間差	8.1、8.4	6強	468	195	265	2,449	976	1,341
	養老—桑名—四日市断層帯	7.8	6弱	17	7	11	39	17	32
	養老—桑名断層帯	7.4	6弱	14	5	9	57	21	34
	鈴鹿東縁断層帯	7.5	6弱	20	6	11	28	23	17
	伊勢湾断層帯(伊勢湾断層帯主部)	7.5	6弱	17	7	16	63	36	56
	伊勢湾断層帯(白子ー野間断層)	7.0	6弱	14	6	10	83	32	49
	伊勢湾断層帯(鈴鹿沖断層)	6.7	6弱	12	4	8	47	17	29
	布引山地東縁断層帯西部	7.4	6強	54	23	31	436	180	233
	布引山地東縁断層帯東部	7.6	6強	124	55	75	1,119	467	610
	頓宮断層	7.3	5強	19	7	11	37	16	22
	木津川断層帯	7.3	5強	12	4	6	20	6	10
	名張断層	7.3	5強	18	6	10	30	9	20

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
三重県全体	東海・東南海・南海地震	39,008	84,303	10,791	－	26,930	30,112	29,518	3,421	7,974
	東海地震	1,992	6,873	3,139	－	1,840	－	－	553	1,292
	東南海→南海地震　時間差	48,078	75,155	10,654	－	30,870	－	－	3,415	7,967
	養老—桑名—四日市断層帯	5,717	16,011	6,957	－	4,440	－	－	664	1,560
	養老—桑名断層帯	5,727	15,923	5,486	－	4,760	－	－	601	1,404
	鈴鹿東縁断層帯	1,616	5,579	3,828	－	1,550	－	－	762	1,780
	伊勢湾断層帯(伊勢湾断層帯主部)	651	2,842	5,985	－	2,040	－	－	921	2,154
	伊勢湾断層帯(白子ー野間断層)	232	1,043	2,797	－	720	－	－	378	888
	伊勢湾断層帯(鈴鹿沖断層)	308	1,400	4,639	－	810	－	－	416	975
	布引山地東縁断層帯西部	1,317	4,891	4,524	－	1,560	－	－	884	2,060
	布引山地東縁断層帯東部	5,557	15,424	6,240	－	5,390	－	－	1,227	2,863
	頓宮断層	192	839	1,574	－	230	－	－	613	1,439
	木津川断層帯	888	2,774	507	－	510	－	－	547	1,279
	名張断層	1,234	3,836	845	－	460	－	－	587	1,379
うち津市	東海・東南海・南海地震	7,568	15,793	1,913	－	4,750	484	364	300	696
	東海地震	125	557	716	－	610	－	－	46	109
	東南海→南海地震　時間差	9,809	14,004	1,894	－	5,490	－	－	298	693
	養老—桑名—四日市断層帯	30	144	1,165	－	460	－	－	161	380
	養老—桑名断層帯	68	322	631	－	250	－	－	136	315
	鈴鹿東縁断層帯	76	335	712	－	170	－	－	190	445
	伊勢湾断層帯(伊勢湾断層帯主部)	69	319	1,295	－	980	－	－	161	381
	伊勢湾断層帯(白子ー野間断層)	106	465	887	－	390	－	－	136	318
	伊勢湾断層帯(鈴鹿沖断層)	50	230	800	－	250	－	－	129	302
	布引山地東縁断層帯西部	847	2,958	1,759	－	660	－	－	342	798
	布引山地東縁断層帯東部	2,972	7,760	2,048	－	2,230	－	－	380	886
	頓宮断層	18	101	739	－	170	－	－	193	454
	木津川断層帯	5	34	270	－	20	－	－	131	305
	名張断層	11	66	427	－	200	－	－	183	431

（注）津波被害は施設無しの場合
（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

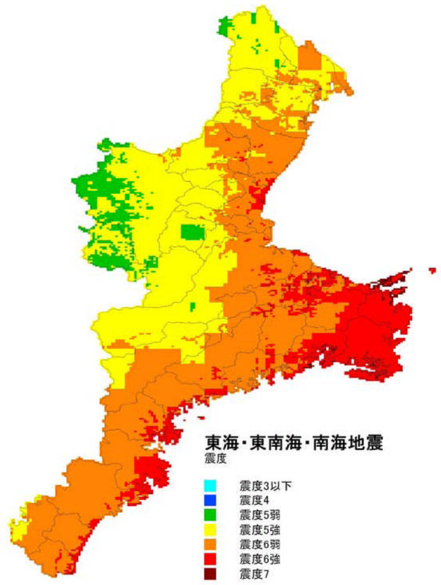
①主な被害想定結果整理表（その２）

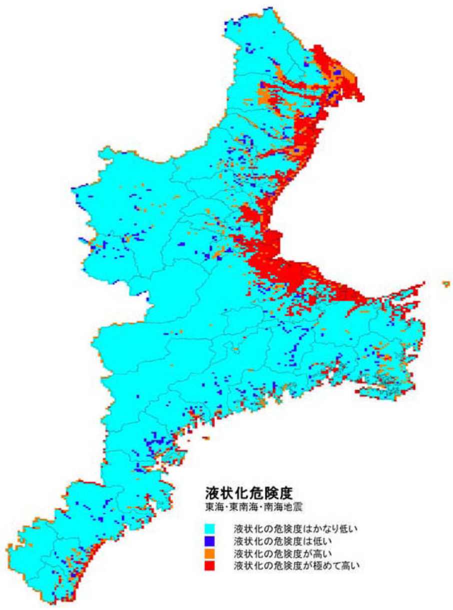
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		電力機能支障率	断水世帯数(断水率)	通話機能支障率
三重県全体	東海･東南海･南海地震	16.026%	624,000 (98%)	6.889%
	東海地震	1.59%	461,000 (72%)	0.009%
	東南海→南海地震　時間差	15.94%	624,000 (98%)	6.81%
	養老―桑名―四日市断層帯	11.29%	611,000 (96%)	2.20%
	養老―桑名断層帯	11.28%	609,000 (96%)	2.17%
	鈴鹿東縁断層帯	–	–	–
	伊勢湾断層帯(伊勢湾断層帯主部)	–	–	–
	伊勢湾断層帯(白子ー野間断層)	–	–	–
	伊勢湾断層帯(鈴鹿沖断層)	–	–	–
	布引山地東縁断層帯西部	9.73%	597,000 (94%)	1.91%
	布引山地東縁断層帯東部	11.76%	610,000 (96%)	2.99%
	頓宮断層	5.14%	532,000 (84%)	0.30%
	木津川断層帯	–	–	–
	名張断層	–	–	–
うち津市	東海･東南海･南海地震	–	–	–
	東海地震	–	–	–
	東南海→南海地震　時間差	–	–	–
	養老―桑名―四日市断層帯	–	–	–
	養老―桑名断層帯	–	–	–
	鈴鹿東縁断層帯	–	–	–
	伊勢湾断層帯(伊勢湾断層帯主部)	–	–	–
	伊勢湾断層帯(白子ー野間断層)	–	–	–
	伊勢湾断層帯(鈴鹿沖断層)	–	–	–
	布引山地東縁断層帯西部	–	–	–
	布引山地東縁断層帯東部	–	–	–
	頓宮断層	–	–	–
	木津川断層帯	–	–	–
	名張断層	–	–	–

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

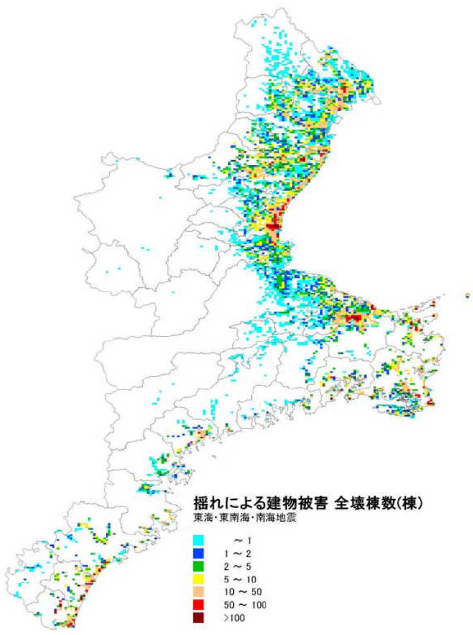
（出典：三重県地域防災計画被害想定調査報告書　平成 17 年 3 月、三重県地域防災計画被害想定調査データブック　平成 18 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て東海・東南海・南海地震）

<table>
<tr><th>震度分布図</th><th>液状化危険度分布図</th></tr>
<tr><td>


</td><td>


</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>揺れによる建物被害　全壊棟数</th><th>道路の被害率</th></tr>
<tr><td>


</td><td>


</td></tr>
</table>

（出典：三重県地域防災計画被害想定調査報告書　平成 17 年 3 月、三重県地域防災計画被害想定調査データブック 平成 18 年 3 月）

（25） 滋賀県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				早朝5時	昼15時	夜18時	早朝5時	昼15時	夜18時
滋賀県全体	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース1）	7.8	7※	1,274	857	898	10,166	7,941	7,635
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース2）	7.8	7※	1,173	851	848	9,907	7,389	7,352
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース3）	7.8	7※	885	676	653	9,947	7,604	7,402
	花折断層地震	7.6	6強※	126	94	89	4,475	3,416	3,289
	東南海・南海地震	－	6弱※	50	41	43	702	500	531
うち大津市	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース1）	7.8	7※	716	480	501	4,026	3,321	3,071
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース2）	7.8	7※	814	589	587	3,797	2,965	2,863
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース3）	7.8	7※	408	314	304	4,531	3,520	3,386
	花折断層地震	7.6	6強※	78	53	52	2,915	2,282	2,159
	東南海・南海地震	－	5強※	2	2	2	41	40	33

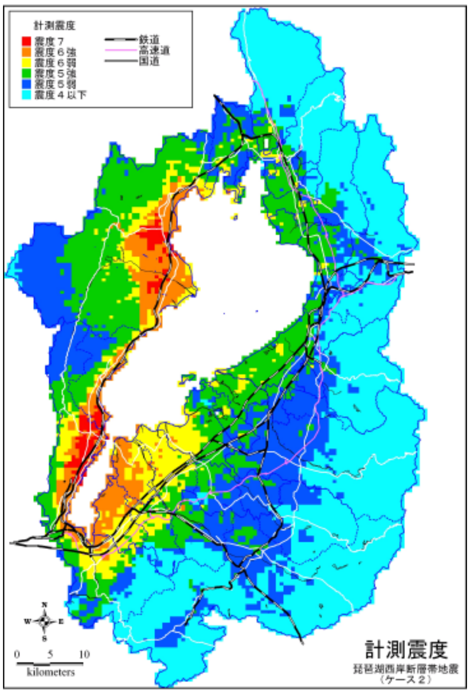
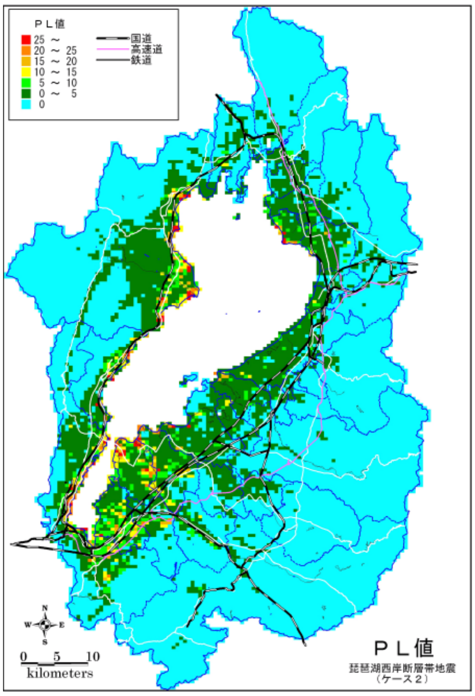
※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）大津市の被害想定データは、旧大津市と志賀町の合計値

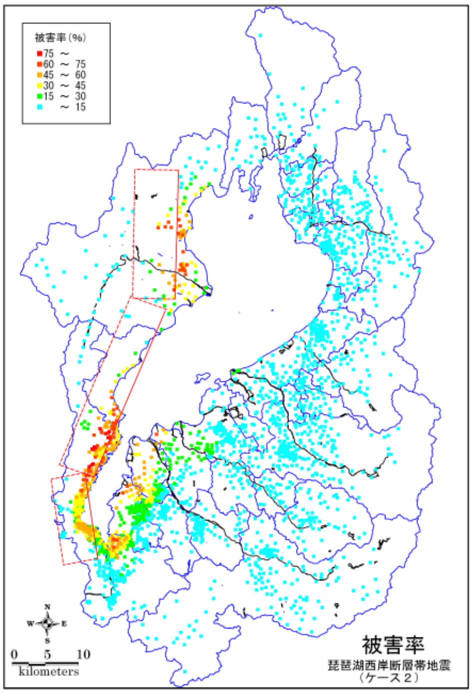
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
滋賀県全体	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース1）	45,994	54,078	－	－	－	－	－
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース2）	43,463	53,711	－	－	－	－	－
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース3）	37,976	51,689	－	－	－	－	－
	花折断層地震	6,665	23,392	－	－	－	－	－
	東南海・南海地震	1,427	5,848	－	－	－	－	－
うち大津市	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース1）	24,854	22,815	－	－	－	－	－
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース2）	27,694	23,078	－	－	－	－	－
	琵琶湖西岸断層帯地震（ケース3）	18,597	23,839	－	－	－	－	－
	花折断層地震	4,026	14,323	－	－	－	－	－
	東南海・南海地震	214	578	－	－	－	－	－

（注）大津市の被害想定データは、旧大津市と志賀町の合計値
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：第２次琵琶湖西岸断層帯等による地震被害予測調査報告書　平成 17 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て琵琶湖西岸断層帯地震（ケース 2)）

震度分布図	液状化発生地域
	

建物被害分布図


（出典：第２次琵琶湖西岸断層帯等による地震被害予測調査報告書　平成 17 年 3 月）

（26） 京都府

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬5時	人的被害 負傷者数 冬5時
京都府全体	花折断層	7.5	7	6,940	74,370
	桃山-鹿ヶ谷断層	6.6	6強	2,330	23,600
	黄檗断層	6.5	6強	800	13,180
	奈良盆地東縁断層帯	7.5	7	1,890	19,700
	亀岡断層	6.7	7	410	6,940
	樫原-水尾断層	6.6	7	1,340	17,790
	殿田-神吉-越畑断層	7.2	7	3,410	34,930
	光明寺-金ヶ原断層	6.8	7	830	14,180
	三峠断層	7.2	7	1,150	7,920
	上林川断層	7.2	7	1,160	8,290
	若狭湾内断層	6.9	5強	0	60
	山田断層帯	7.4	7	1,650	9,030
	郷村断層帯	7.4	7	2,180	12,670
	上町断層帯	7.5	6弱	90	3,740
	生駒断層帯	7.5	7	3,380	30,350
	琵琶湖西岸断層帯	7.7	6強	1,140	36,510
	有馬-高槻断層	7.2	7	2,890	43,910
	宇治川断層	6.5	7	1,160	22,810
	木津川断層帯	7.3	7	1,560	18,430
	埴生断層	6.9	7	1,510	19,970
	養父断層	7.4	7	730	7,180
	和束谷断層	6.7	6強	410	5,480
	東南海・南海地震	8.5	6弱	130	6,240
うち京都市	花折断層	7.5	7	5,410	59,600
	桃山-鹿ヶ谷断層	6.6	6強	2,200	20,990
	黄檗断層	6.5	6強	500	9,270
	奈良盆地東縁断層帯	7.5	6強	130	5,280
	亀岡断層	6.7	6強	120	3,960
	樫原-水尾断層	6.6	6強	700	11,110
	殿田-神吉-越畑断層	7.2	7	2,390	25,130
	光明寺-金ヶ原断層	6.8	6強	100	6,230
	三峠断層	7.2	5強	0	0
	上林川断層	7.2	5強	0	0
	若狭湾内断層	6.9	5強	0	0
	山田断層帯	7.4	5弱	0	0
	郷村断層帯	7.4	5強	0	70
	上町断層帯	7.5	6弱	10	1,160
	生駒断層帯	7.5	6強	490	9,410
	琵琶湖西岸断層帯	7.7	6強	810	30,720
	有馬-高槻断層	7.2	7	500	24,470
	宇治川断層	6.5	7	700	17,390
	木津川断層帯	7.3	6強	140	5,550
	埴生断層	6.9	6強	710	11,840
	養父断層	7.4	6弱	0	180
	和束谷断層	6.7	6弱	10	400
	東南海・南海地震	8.5	6弱	20	3,020

①主な被害想定結果整理表（その２）

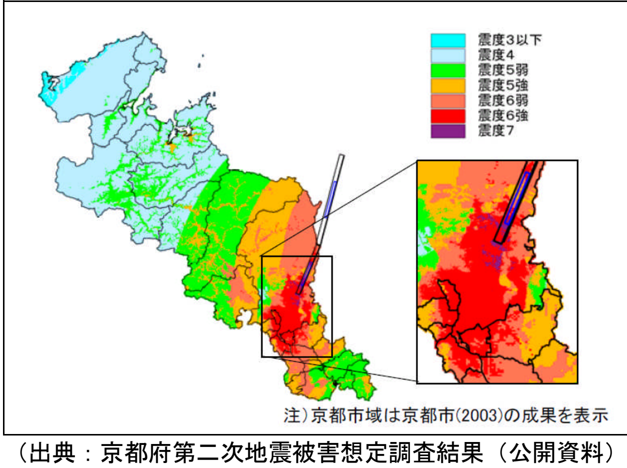
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害				
		揺れ＋液状化＋崖崩れ		火災[最大]	津波	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数
京都府全体	花折断層	148,440	114,210	18,560	−	−
	桃山−鹿ヶ谷断層	52,810	38,160	2,110	−	−
	黄檗断層	17,310	25,440	1,140	−	−
	奈良盆地東縁断層帯	46,010	89,530	7,090	−	−
	亀岡断層	13,470	42,870	1,340	−	−
	樫原−水尾断層	24,920	37,950	2,030	−	−
	殿田−神吉−越畑断層	77,560	155,490	8,570	−	−
	光明寺−金ヶ原断層	15,570	37,460	2,570	−	−
	三峠断層	38,340	44,650	7,580	−	−
	上林川断層	39,490	47,600	7,690	−	−
	若狭湾内断層	570	2,610	0	−	−
	山田断層帯	54,980	49,350	13,250	−	−
	郷村断層帯	76,610	60,610	16,330	−	−
	上町断層帯	4,970	28,730	350	−	−
	生駒断層帯	65,230	123,760	7,550	−	−
	琵琶湖西岸断層帯	39,300	63,570	4,020	−	−
	有馬−高槻断層	50,850	80,600	7,380	−	−
	宇治川断層	21,180	35,530	1,960	−	−
	木津川断層帯	40,660	88,950	6,050	−	−
	埴生断層	38,050	101,920	3,490	−	−
	養父断層	29,030	58,820	4,890	−	−
	和束谷断層	12,250	32,500	2,300	−	−
	東南海・南海地震	10,440	51,880	410	−	−
うち京都市	花折断層	118,490	46,800	15,290	−	−
	桃山−鹿ヶ谷断層	49,110	23,020	1,930	−	−
	黄檗断層	10,800	5,100	550	−	−
	奈良盆地東縁断層帯	7,250	35,230	100	−	−
	亀岡断層	5,490	27,620	0	−	−
	樫原−水尾断層	13,510	8,340	870	−	−
	殿田−神吉−越畑断層	50,640	108,870	2,980	−	−
	光明寺−金ヶ原断層	1,810	1,130	1,250	−	−
	三峠断層	60	250	0	−	−
	上林川断層	120	740	0	−	−
	若狭湾内断層	150	570	0	−	−
	山田断層帯	10	30	0	−	−
	郷村断層帯	360	2,860	0	−	−
	上町断層帯	1,400	11,010	20	−	−
	生駒断層帯	14,720	53,330	440	−	−
	琵琶湖西岸断層帯	29,290	25,100	3,390	−	−
	有馬−高槻断層	8,380	8,010	2,540	−	−
	宇治川断層	12,100	9,720	1,310	−	−
	木津川断層帯	7,580	36,620	100	−	−
	埴生断層	18,760	65,460	490	−	−
	養父断層	500	4,750	0	−	−
	和束谷断層	640	5,060	0	−	−
	東南海・南海地震	4,080	23,940	0	−	−

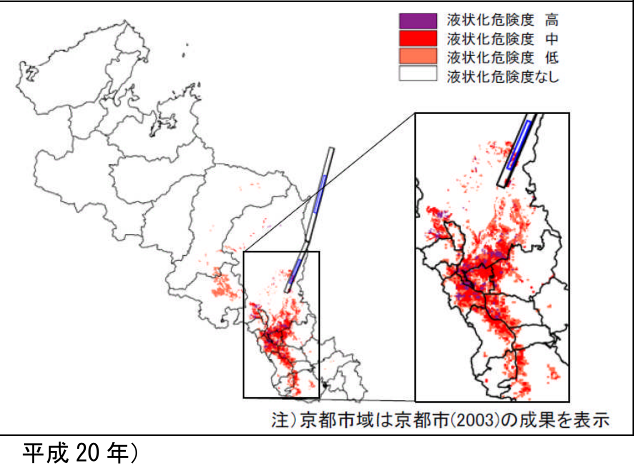
（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：京都府第二次地震被害想定調査結果（公開資料）　平成 20 年）

②主な被害想定結果図面（以下は全て花折断層地震）

震度分布図	液状化危険度分布図





（出典：京都府第二次地震被害想定調査結果（公開資料）　平成 20 年）

（27）　大阪府

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 早朝5時	人的被害 死者数 昼間2時	人的被害 死者数 夕刻6時	人的被害 負傷者数 早朝5時	人的被害 負傷者数 昼間2時	人的被害 負傷者数 夕刻6時
大阪府全体	上町断層帯地震Ａ	7.5～7.8	7※	10,831	10,812	11,233 (11,290)	124,976	101,078	105,491 (105,804)
	上町断層帯地震Ｂ	7.5～7.8	7※	5,654	3,788	4,349 (4,426)	81,536	64,796	67,057 (67,475)
	生駒断層帯地震	7.3～7.7	7※	7,559	5,624	7,562 (7,647)	84,932	70,328	80,076 (80,535)
	有馬高槻断層帯地震	7.3～7.7	7※	2,129	1,384	1,680 (1,684)	42,004	29,372	31,586 (31,602)
	中央構造線断層帯地震	7.7～8.1	7※	321	223	233 (233)	15,409	10,466	11,060 (11,060)
	東南海・南海地震	7.9～8.6	6弱※	99	84	85 (85)	22,027	18,473	18,413 (18,413)
うち大阪市	上町断層帯地震Ａ	7.5～7.8	7※	7,216	8,180	7,657 (7,660)	37,198	39,429	37,246 (37,265)
	上町断層帯地震Ｂ	7.5～7.8	6強※	740	570	589 (589)	36,165	32,686	32,248 (32,249)
	生駒断層帯地震	7.3～7.7	6強※	1,351	1,057	1,090 (1,090)	37,757	36,857	35,623 (35,623)
	有馬高槻断層帯地震	7.3～7.7	6弱※	33	25	26 (26)	6,128	5,216	5,222 (5,222)
	中央構造線断層帯地震	7.7～8.1	5強※	0	0	0 (0)	940	741	761 (761)
	東南海・南海地震	7.9～8.6	6弱※	57	52	52 (52)	10,332	9,997	9,745 (9,745)
うち堺市	上町断層帯地震Ａ	7.5～7.8	6強※	441	315	322 (322)	15,307	11,069	11,180 (11,182)
	上町断層帯地震Ｂ	7.5～7.8	7※	2,683	1,758	2,065 (2,106)	12,290	8,963	10,049 (10,272)
	生駒断層帯地震	7.3～7.7	6弱※	3	3	2 (2)	1,107	935	884 (884)
	有馬高槻断層帯地震	7.3～7.7	5強※	0	0	0 (0)	4	5	4 (4)
	中央構造線断層帯地震	7.7～8.1	6強※	1	1	1 (1)	777	506	528 (528)
	東南海・南海地震	7.9～8.6	6弱※	3	2	2 (2)	1,559	1,150	1,150 (1,150)
うち高槻市	上町断層帯地震Ａ	7.5～7.8	6強※	50	31	33 (33)	4,646	2,891	3,123 (3,123)
	上町断層帯地震Ｂ	7.5～7.8	5強※	0	0	0 (0)	69	41	46 (46)
	生駒断層帯地震	7.3～7.7	6強※	235	140	156 (156)	4,217	2,832	2,970 (2,970)
	有馬高槻断層帯地震	7.3～7.7	7※	1,269	819	1,078 (1,081)	4,523	2,809	4,152 (4,166)
	中央構造線断層帯地震	7.7～8.1	5弱※	0	0	0 (0)	5	3	3 (3)
	東南海・南海地震	7.9～8.6	6弱※	0	0	0 (0)	278	202	207 (207)
うち東大阪市	上町断層帯地震Ａ	7.5～7.8	6強※	450	391	574 (577)	9,077	7,333	8,154 (8,169)
	上町断層帯地震Ｂ	7.5～7.8	6強※	32	27	25 (25)	3,739	3,124	2,940 (2,940)
	生駒断層帯地震	7.3～7.7	7※	2,291	1,899	2,346 (2,364)	6,269	5,200	7,906 (7,999)
	有馬高槻断層帯地震	7.3～7.7	6弱※	0	0	0 (0)	534	427	408 (408)
	中央構造線断層帯地震	7.7～8.1	6弱※	0	0	0 (0)	466	350	336 (336)
	東南海・南海地震	7.9～8.6	6弱※	12	10	10 (10)	1,983	1,663	1,566 (1,566)

※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）人的被害者数の「早朝５時」と「昼間２時」は建物倒壊によるもの、夕刻６時は建物倒壊＋火災によるもの
（注）人的被害者数の「夕刻６時」の（　）内数値は超過確率 1%風速の場合の想定値

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数	建物被害 揺れ＋液状化 半壊数	建物被害 火災[最大] 焼失数	建物被害 津波 全壊数	建物被害 津波 半壊数	建物被害 崖崩れ 全壊数	建物被害 崖崩れ 半壊数
大阪府全体	上町断層帯地震Ａ	362,576	329,455	37,387 (39,933)	－	－	－	－
	上町断層帯地震Ｂ	219,222	212,859	17,018 (20,650)	－	－	－	－
	生駒断層帯地震	275,316	244,221	85,277 (89,236)	－	－	－	－
	有馬高槻断層帯地震	85,700	93,222	9,352 (9,433)	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	28,142	41,852	7 (8)	－	－	－	－
	東南海・南海地震	22,341	47,838	5 (5)	－	－	－	－
うち大阪市	上町断層帯地震Ａ	166,802	109,852	243 (316)	－	－	－	－
	上町断層帯地震Ｂ	47,022	63,383	37 (38)	－	－	－	－
	生駒断層帯地震	62,838	72,274	59 (68)	－	－	－	－
	有馬高槻断層帯地震	4,698	9,679	2 (2)	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	718	1,720	0 (0)	－	－	－	－
	東南海・南海地震	8,528	17,682	4 (4)	－	－	－	－
うち堺市	上町断層帯地震Ａ	30,531	35,721	24 (34)	－	－	－	－
	上町断層帯地震Ｂ	71,939	46,127	10,425 (12,373)	－	－	－	－
	生駒断層帯地震	1,261	2,880	0 (0)	－	－	－	－
	有馬高槻断層帯地震	4	11	0 (0)	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	793	1,899	0 (0)	－	－	－	－
	東南海・南海地震	1,706	3,916	0 (0)	－	－	－	－
うち高槻市	上町断層帯地震Ａ	5,851	8,965	2 (2)	－	－	－	－
	上町断層帯地震Ｂ	65	188	0 (0)	－	－	－	－
	生駒断層帯地震	11,036	12,032	10 (12)	－	－	－	－
	有馬高槻断層帯地震	32,009	19,848	9,212 (9,284)	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	4	15	0 (0)	－	－	－	－
	東南海・南海地震	279	667	0 (0)	－	－	－	－
うち東大阪市	上町断層帯地震Ａ	29,919	30,856	12,677 (12,828)	－	－	－	－
	上町断層帯地震Ｂ	5,559	10,624	7 (11)	－	－	－	－
	生駒断層帯地震	64,328	34,924	30,296 (31,139)	－	－	－	－
	有馬高槻断層帯地震	660	1,570	0 (0)	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	649	1,506	0 (0)	－	－	－	－
	東南海・南海地震	2,706	5,538	1 (1)	－	－	－	－

（注）焼失数の（　）内数値は超過確率 1%風速の場合の想定値
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

①主な被害想定結果整理表（その２）

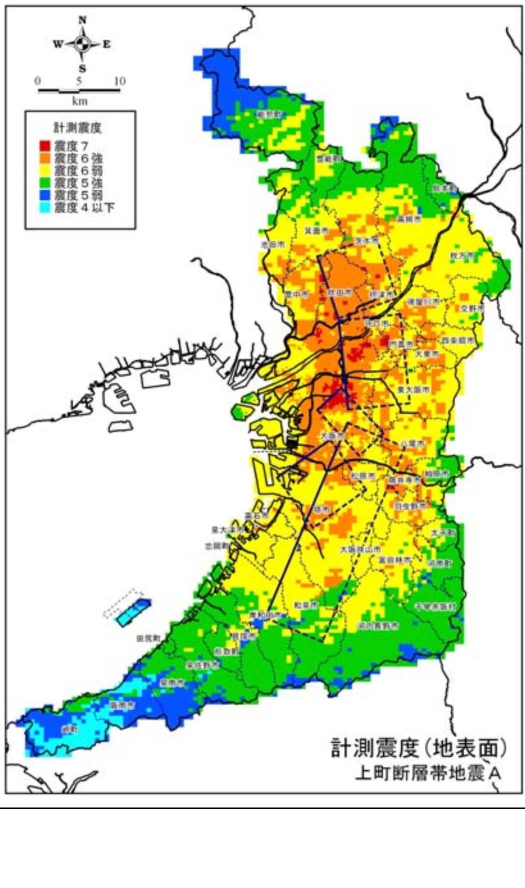
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電軒数(支障率)	断水人口[単位:万人]（断水率）	通話機能支障回線数（支障率）
大阪府全体	上町断層帯地震 A	2,003,019 (44.7%)	544.6 (61.8%)	913031(－)
	上町断層帯地震 B	601,271 (13.4%)	372.0 (42.2%)	417047(－)
	生駒断層帯地震	886,814 (19.8%)	489.6 (55.6%)	447174(－)
	有馬高槻断層帯地震	408,322 (9.1%)	230.0 (26.1%)	171112(－)
	中央構造線断層帯地震	147,911 (3.3%)	110.5 (12.6%)	78889(－)
	東南海･南海地震	78,606 (1.8%)	78.5 (8.9%)	183(－)
うち大阪市	上町断層帯地震 A	982,567 (64.1%)	219.4 (83.5%)	525125(－)
	上町断層帯地震 B	79,336 (5.2%)	129.6 (49.3%)	67462(－)
	生駒断層帯地震	104,613 (6.8%)	181.2 (69.0%)	64038(－)
	有馬高槻断層帯地震	10,338 (0.7%)	56.2 (21.4%)	34520(－)
	中央構造線断層帯地震	1,172 (0.1%)	12.2 (4.6%)	9352(－)
	東南海･南海地震	25,802 (1.7%)	27.7 (10.5%)	0(－)
うち堺市	上町断層帯地震 A	144,080 (36.2%)	49.7 (60.0%)	17,410 (1.8%)
	上町断層帯地震 B	278,290 (69.8%)	60.5 (73.1%)	130,572 (13.5%)
	生駒断層帯地震	4,652 (1.2%)	26.2 (31.6%)	9,672 (1.0%)
	有馬高槻断層帯地震	101 (0.0%)	0.6 (0.7%)	967 (0.1%)
	中央構造線断層帯地震	4,652 (1.2%)	21.1 (25.4%)	9,672 (1.0%)
	東南海･南海地震	6,515 (1.6%)	5.7 (6.9%)	0 (0.0%)
うち高槻市	上町断層帯地震 A	18,988 (11.2%)	15.9 (45.3%)	7,070 (1.8%)
	上町断層帯地震 B	297 (0.2%)	2.3 (6.7%)	393 (0.1%)
	生駒断層帯地震	41,140 (24.2%)	26.5 (75.7%)	7,070 (1.8%)
	有馬高槻断層帯地震	97,275 (57.2%)	28.2 (80.6%)	53,028 (13.5%)
	中央構造線断層帯地震	0 (0.0%)	0.0 (0.1%)	393 (0.1%)
	東南海･南海地震	989 (0.6%)	1.8 (5.1%)	0 (0.0%)
うち東大阪市	上町断層帯地震 A	102,827 (41.6%)	30.3 (61.1%)	12,551 (1.8%)
	上町断層帯地震 B	16,917 (6.8%)	15.6 (31.4%)	12,551 (1.8%)
	生駒断層帯地震	216,740 (87.7%)	44.6 (89.9%)	94,136 (13.5%)
	有馬高槻断層帯地震	2,772 (1.1%)	8.3 (16.8%)	6,973 (1.0%)
	中央構造線断層帯地震	2,630 (1.1%)	3.5 (7.2%)	6,973 (1.0%)
	東南海･南海地震	5,118 (2.1%)	4.9 (10.0%)	0 (0.0%)

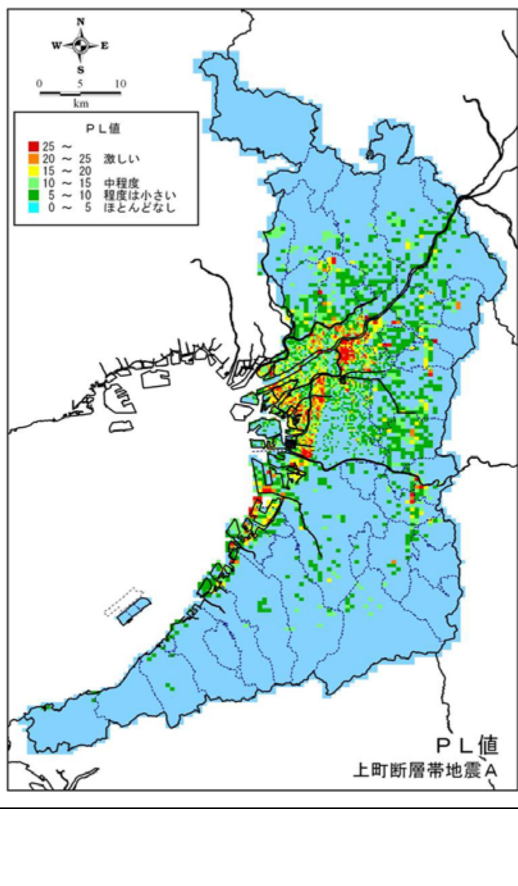
（注）大阪府全体および大阪市の通話機能支障率は算出されていない

（出典：大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書　平成 19 年 3 月）

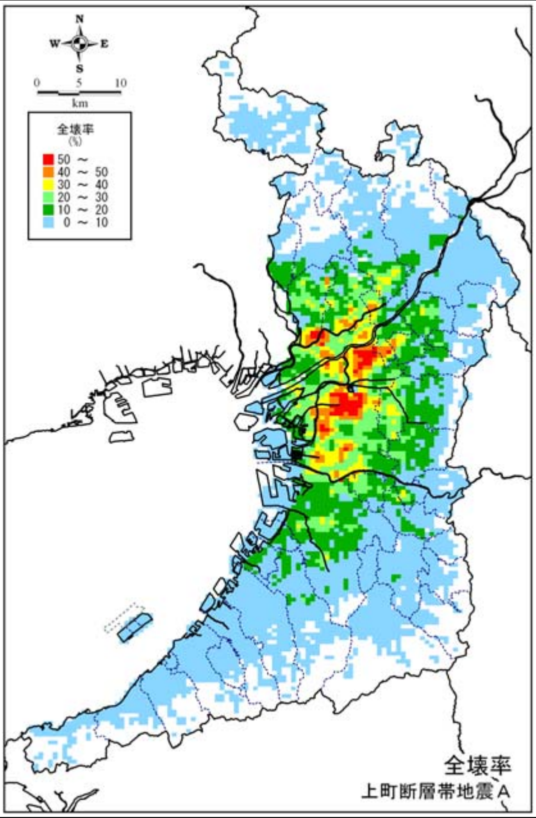
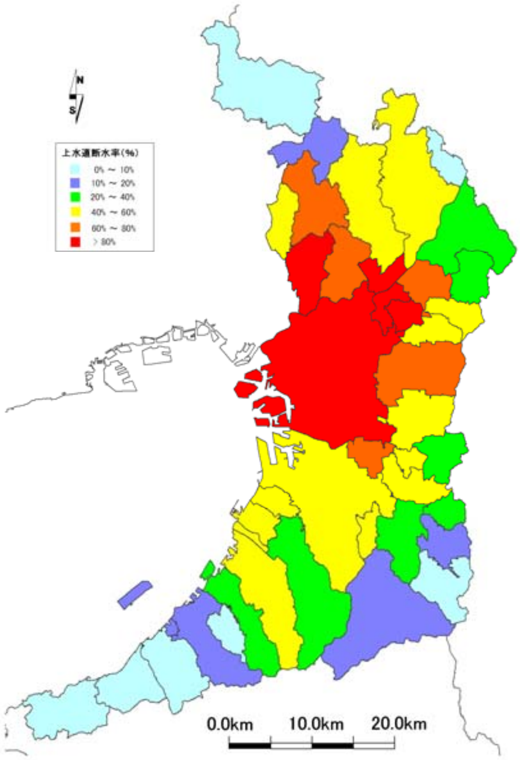
②主な被害想定結果図面（以下は全て上町断層帯地震Ａ）（その１）

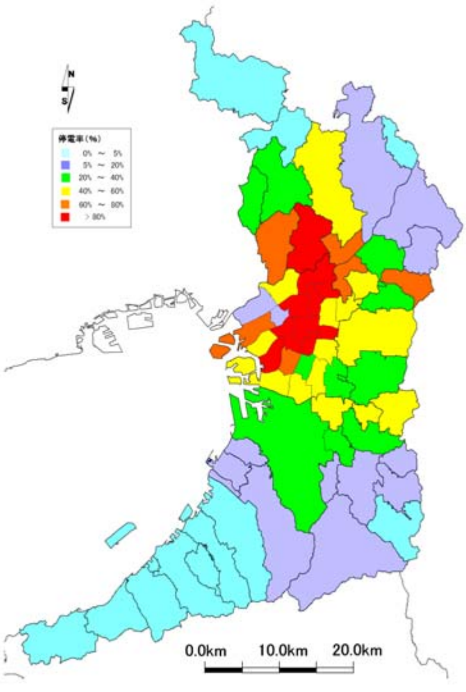
震度分布図	液状化の分布図





②主な被害想定結果図面（以下は全て上町断層帯地震Ａ）（その２）

揺れによる建物全壊率	水道断水率
	

停電率


（出典：大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書　平成 19 年 3 月）

(28)　兵庫県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬3-4時	死者数 夏12-13時	死者数 冬18-19時	負傷者数 冬3-4時	負傷者数 夏12-13時	負傷者数 冬18-19時
兵庫県全体	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	7.7	7※	9,728	8,557	12,073	48,692	43,573	62,011
	山崎断層帯地震	7.7	6強※	3,063	2,691	3,057	21,948	19,752	21,919
	中央構造線断層帯地震	8.0	6強※	480	542	769	3,065	3,643	5,543
	日本海沿岸地震	7.3	6強※	91	84	108	561	513	599
	南海地震	8.4	6弱※	127	161	605	968	1,297	3,639
うち神戸市	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	7.7	7※	3,277	4,240	6,006	14,584	18,687	27,842
	山崎断層帯地震	7.7	6弱※	0	35	104	11	299	922
	中央構造線断層帯地震	8.0	6強※	0	64	205	5	534	1,821
	日本海沿岸地震	7.3	5弱※	0	0	0	0	0	0
	南海地震	8.4	6弱※	73	95	416	342	562	2,145
うち姫路市	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	7.7	6弱※	0	4	7	0	22	48
	山崎断層帯地震	7.7	6強※	988	918	1,033	8,610	8,094	8,390
	中央構造線断層帯地震	8.0	6弱※	0	2	4	0	16	32
	日本海沿岸地震	7.3	5強※	0	0	0	0	0	0
	南海地震	8.4	5強※	0	0	0	12	11	11
うち西宮市	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	7.7	7※	1,478	1,151	1,524	7,672	6,238	8,454
	山崎断層帯地震	7.7	6弱※	0	9	30	0	80	270
	中央構造線断層帯地震	8.0	6強※	0	12	35	0	95	300
	日本海沿岸地震	7.3	5弱※	0	0	0	0	0	0
	南海地震	8.4	6弱※	2	10	66	39	111	448
うち尼崎市	有馬-高槻断層～六甲・淡路島断層帯地震	7.7	7※	1,543	1,206	1,783	9,782	8,083	11,091
	山崎断層帯地震	7.7	6弱※	0	8	28	0	73	250
	中央構造線断層帯地震	8.0	6強※	0	13	35	0	104	290
	日本海沿岸地震	7.3	5弱※	0	0	0	0	0	0
	南海地震	8.4	6弱※	4	12	32	75	151	338

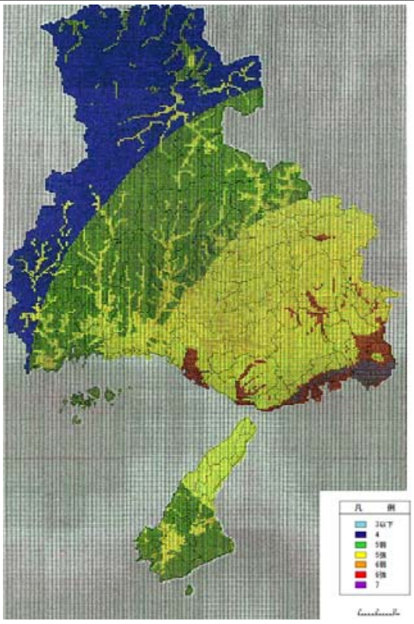
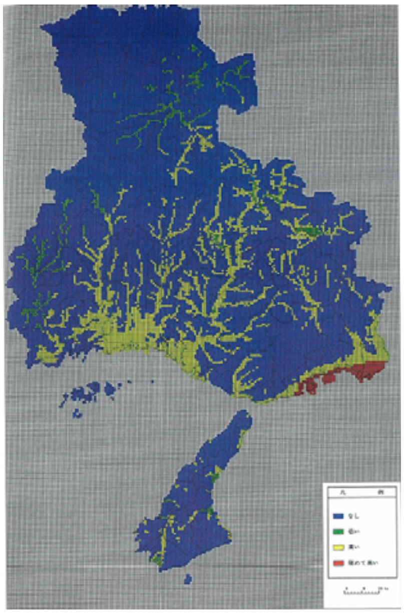
※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数	揺れ＋液状化 半壊数	火災[最大] 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
兵庫県全体	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	165,086	144,066	67,542	－	－	－	－
	山崎断層帯地震	58,205	93,817	4,416	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	9,213	12,147	782	－	－	－	－
	日本海沿岸地震	1,723	2,162	561	－	－	－	－
	南海地震	642	3,275	8,720	－	－	－	－
うち神戸市	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	60,322	37,530	42,924	－	－	－	－
	山崎断層帯地震	0	64	0	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	0	35	0	－	－	－	－
	日本海沿岸地震	0	0	0	－	－	－	－
	南海地震	33	387	6,746	－	－	－	－
うち姫路市	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	0	0	0	－	－	－	－
	山崎断層帯地震	18,608	40,981	2,915	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	0	0	0	－	－	－	－
	日本海沿岸地震	0	0	0	－	－	－	－
	南海地震	0	48	0	－	－	－	－
うち西宮市	有馬-高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯	26,831	24,484	4,552	－	－	－	－
	山崎断層帯地震	0	0	0	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	0	0	0	－	－	－	－
	日本海沿岸地震	0	0	0	－	－	－	－
	南海地震	24	222	767	－	－	－	－
うち尼崎市	有馬-高槻断層～六甲・淡路島断層帯地震	26,127	37,268	9,629	－	－	－	－
	山崎断層帯地震	0	0	0	－	－	－	－
	中央構造線断層帯地震	0	0	0	－	－	－	－
	日本海沿岸地震	0	0	0	－	－	－	－
	南海地震	78	438	8	－	－	－	－

（注）全壊数＝木造全壊＋非木造大破、半壊数＝木造半壊＋非木造中破
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：兵庫県地震被害想定調査報告書　平成 11 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て有馬高槻断層帯～六甲・淡路島断層帯）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

（出典：兵庫県地震被害想定調査報告書　平成 11 年 3 月）

(29)　奈良県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数(死者率) 冬5時	人的被害 負傷者数(負傷者率) 冬5時
奈良県全体	奈良盆地東縁断層帯	7.5	7	5,153 (0.4%)	19,045 (1.3%)
	中央構造線断層帯	8.0	7	4,319 (0.3%)	18,817 (1.3%)
	生駒断層帯	7.5	7	4,257 (0.3%)	17,578 (1.2%)
	木津川断層帯	7.3	7	1,800 (0.1%)	15,864 (1.1%)
	あやめ池撓曲－松尾山断層	7.0	7	3,675 (0.3%)	16,579 (1.1%)
	大和川断層帯	7.1	7	3,996 (0.3%)	16,935 (1.2%)
	千股断層	7.1	6強	2,673 (0.2%)	14,296 (1.0%)
	名張断層	6.9	6強	2,643 (0.2%)	14,261 (1.0%)
	東南海･南海地震同時発生	8.6	6弱	4 (0.0%)	414 (0.0%)
	東南海地震	8.2	6弱	3 (0.0%)	163 (0.0%)
	南海地震	8.6	6弱	2 (0.0%)	232 (0.0%)
	東海･東南海地震同時発生	8.3	6弱	3 (0.0%)	163 (0.0%)
	東海･東南海･南海地震同時発生	8.7	6弱	4 (0.0%)	414 (0.0%)
うち奈良市	奈良盆地東縁断層帯	7.5	7	1,118	4,410
	中央構造線断層帯	8.0	6強	487	5,524
	生駒断層帯	7.5	6強	839	3,941
	木津川断層帯	7.3	7	499	5,434
	あやめ池撓曲－松尾山断層	7.0	6強	874	4,014
	大和川断層帯	7.1	7	876	3,949
	千股断層	7.1	6強	85	2,250
	名張断層	6.9	6強	126	2,878
	東南海･南海地震同時発生	8.6	5強	0	32
	東南海地震	8.2	5強	0	20
	南海地震	8.6	5強	0	1
	東海･東南海地震同時発生	8.3	5強	0	20
	東海･東南海･南海地震同時発生	8.7	5強	0	32

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 全壊数(全壊率)	建物被害 揺れ 半壊数(半壊率)	建物被害 液状化 全壊数(全壊率)	建物被害 液状化 半壊数(半壊率)	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数(全壊率)	建物被害 揺れ＋液状化 半壊数(半壊率)
奈良県全体	奈良盆地東縁断層帯	114,209 (25.0%)	77,547 (17.0%)	3,206 (0.7%)	2,947 (0.6%)	11,7415 (25.7%)	80,494 (17.6%)
	中央構造線断層帯	93,041 (20.4%)	79,329 (17.4%)	2,871 (0.6%)	2,610 (0.6%)	95,912 (21.0%)	81,939 (17.9%)
	生駒断層帯	93,543 (20.5%)	82,741 (18.1%)	2,723 (0.6%)	2,497 (0.5%)	96,266 (21.1%)	85,238 (18.6%)
	木津川断層帯	35,730 (7.8%)	71,011 (15.5%)	1,527 (0.3%)	1,378 (0.3%)	37,257 (8.1%)	72,389 (15.8%)
	あやめ池撓曲－松尾山断層	80,912 (17.7%)	80,397 (17.6%)	2,452 (0.5%)	2,260 (0.5%)	83,364 (18.2%)	82,657 (18.1%)
	大和川断層帯	87,827 (19.2%)	80,937 (17.7%)	2,748 (0.6%)	2,525 (0.6%)	90,575 (19.8%)	83,462 (18.3%)
	千股断層	52,687 (11.5%)	72,207 (15.8%)	1,957 (0.4%)	1,767 (0.4%)	54,644 (12.0%)	73,974 (16.2%)
	名張断層	52,338 (11.4%)	73,628 (16.1%)	1,874 (0.4%)	1,681 (0.4%)	54,212 (11.9%)	75,309 (16.5%)
	東南海･南海地震同時発生	1 (0.0%)	34 (0.0%)	1,172 (0.3%)	1,036 (0.2%)	1,173 (0.3%)	1,070 (0.2%)
	東南海地震	0 (0.0%)	12 (0.0%)	465 (0.1%)	406 (0.1%)	465 (0.1%)	418 (0.1%)
	南海地震	0 (0.0%)	1 (0.0%)	673 (0.1%)	591 (0.1%)	673 (0.1%)	592 (0.1%)
	東海･東南海地震同時発生	0 (0.0%)	12 (0.0%)	465 (0.1%)	406 (0.1%)	465 (0.1%)	418 (0.1%)
	東海･東南海･南海地震同時発生	1 (0.0%)	34 (0.0%)	1,172 (0.3%)	1,036 (0.2%)	1173 (0.3%)	1,070 (0.2%)
うち奈良市	奈良盆地東縁断層帯	－	－	－	－	28,670	16,844
	中央構造線断層帯	－	－	－	－	12,293	17,264
	生駒断層帯	－	－	－	－	21,506	18,098
	木津川断層帯	－	－	－	－	12,594	16,547
	あやめ池撓曲－松尾山断層	－	－	－	－	22,472	18,000
	大和川断層帯	－	－	－	－	22,495	17,551
	千股断層	－	－	－	－	1,562	9,757
	名張断層	－	－	－	－	2,715	11,233
	東南海･南海地震同時発生	－	－	－	－	68	67
	東南海地震	－	－	－	－	46	44
	南海地震	－	－	－	－	4	3
	東海･東南海地震同時発生	－	－	－	－	46	44
	東海･東南海･南海地震同時発生	－	－	－	－	68	67

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する
（注）奈良市の建物被害は、「揺れ＋液状化＋斜面崩壊」の数値である

①主な被害想定結果整理表（その２）

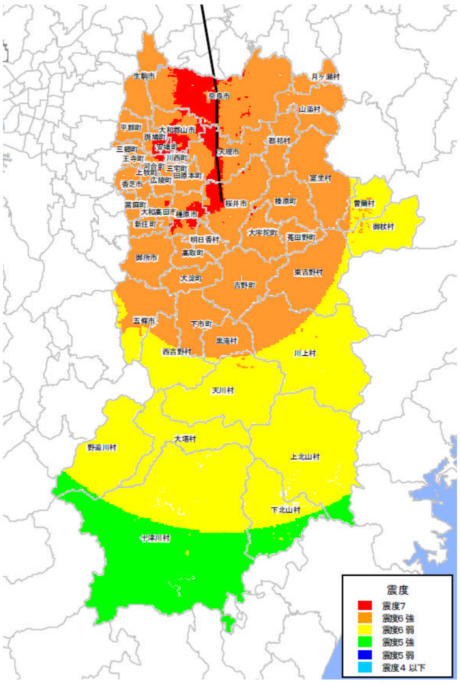
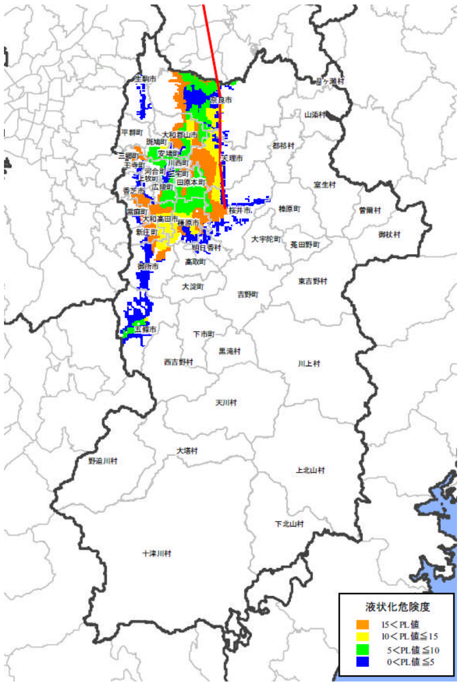
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害				
		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		焼失数（焼失率）	全壊数	半壊数	全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）
奈良県全体	奈良盆地東縁断層帯	16,284 (3.6%)	－	－	2,120 (0.5%)	2,948 (0.6%)
	中央構造線断層帯	15,207 (3.3%)	－	－	2,174 (0.5%)	3,034 (0.7%)
	生駒断層帯	15,528 (3.4%)	－	－	1,857 (0.4%)	2,453 (0.5%)
	木津川断層帯	10,868 (2.4%)	－	－	1,457 (0.3%)	1,945 (0.4%)
	あやめ池撓曲－松尾山断層	14,468 (3.2%)	－	－	1,510 (0.3%)	2,035 (0.4%)
	大和川断層帯	14,942 (3.3%)	－	－	1,659 (0.4%)	2,198 (0.5%)
	千股断層	12,013 (2.6%)	－	－	2,032 (0.4%)	2,826 (0.6%)
	名張断層	11,835 (2.6%)	－	－	1,955 (0.4%)	2,606 (0.6%)
	東南海・南海地震同時発生	0 (0.0%)	－	－	80 (0.0%)	114 (0.0%)
	東南海地震	0 (0.0%)	－	－	55 (0.0%)	80 (0.0%)
	南海地震	0 (0.0%)	－	－	40 (0.0%)	56 (0.0%)
	東海・東南海地震同時発生	0 (0.0%)	－	－	55 (0.0%)	80 (0.0%)
	東海・東南海・南海地震同時発生	0 (0.0%)	－	－	80 (0.0%)	114 (0.0%)
うち奈良市	奈良盆地東縁断層帯	3,559	－	－	－	－
	中央構造線断層帯	2,730	－	－	－	－
	生駒断層帯	3,316	－	－	－	－
	木津川断層帯	2,513	－	－	－	－
	あやめ池撓曲－松尾山断層	3,300	－	－	－	－
	大和川断層帯	3,167	－	－	－	－
	千股断層	942	－	－	－	－
	名張断層	1,052	－	－	－	－
	東南海・南海地震同時発生	0	－	－	－	－
	東南海地震	0	－	－	－	－
	南海地震	0	－	－	－	－
	東海・東南海地震同時発生	0	－	－	－	－
	東海・東南海・南海地震同時発生	0	－	－	－	－

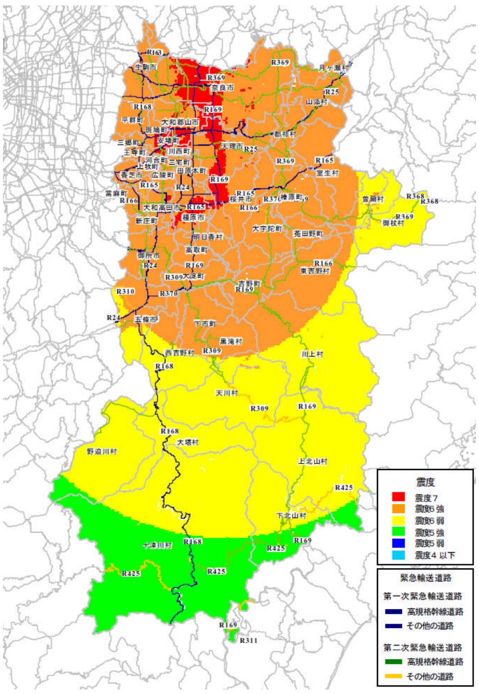
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電世帯数(支障率)	断水世帯数(断水率)	通話機能支障世帯数（支障率）
奈良県全体	奈良盆地東縁断層帯	486,436(99.9%)	433,526(89.0%)	67,339 (13.8%)
	中央構造線断層帯	485,013(99.6%)	385,855(79.2%)	65,613 (13.5%)
	生駒断層帯	480,844(98.8%)	437,286(89.8%)	63,267 (13.0%)
	木津川断層帯	409,270(84.1%)	213,266(43.8%)	37,392 (7.7%)
	あやめ池撓曲－松尾山断層	467,562(96.0%)	399,232(82.0%)	59,731(12.3%)
	大和川断層帯	478,002(98.2%)	410,494(84.3%)	61,989 (12.7%)
	千股断層	340,863(70.0%)	238,538(49.0%)	34,573 (7.1%)
	名張断層	363,056(74.6%)	239,409(49.2%)	35,306(7.3%)
	東南海・南海地震同時発生	31,325(6.4%)	49,995(10.3%)	0 (0.0%)
	東南海地震	13,000(2.7%)	908(0.2%)	0 (0.0%)
	南海地震	17,825(3.7%)	11,981(2.5%)	0 (0.0%)
	東海・東南海地震同時発生	13,000(2.7%)	919(0.2%)	0 (0.0%)
	東海・東南海・南海地震同時発生	31,325(6.4%)	50,108(10.3%)	0 (0.0%)
うち奈良市	奈良盆地東縁断層帯	133,774(100.0%)	133,142(100.0%)	18,944(14.2%)
	中央構造線断層帯	133,774(100.0%)	85,430(64.2%)	18,621(14.0%)
	生駒断層帯	133,774(100.0%)	133,142(100.0%)	18,726(14.0%)
	木津川断層帯	133,774(100.0%)	87,913(66.0%)	17,108(12.8%)
	あやめ池撓曲－松尾山断層	133,774(100.0%)	133,142(100.0%)	18,766(14.1%)
	大和川断層帯	133,774(100.0%)	133,142(100.0%)	18,888(14.2%)
	千股断層	39,050(29.2%)	11,278(8.5%)	108(0.1%)
	名張断層	67,875(50.7%)	19,256(14.5%)	2,103(1.6%)
	東南海・南海地震同時発生	1,700(1.3%)	7,971(6.0%)	0 (0.0%)
	東南海地震	1,150(0.9%)	111(0.1%)	0 (0.0%)
	南海地震	100(0.1%)	249(0.2%)	0 (0.0%)
	東海・東南海地震同時発生	1,150(0.9%)	111(0.1%)	0 (0.0%)
	東海・東南海・南海地震同時発生	1,700(1.3%)	7,972(6.0%)	0 (0.0%)

（出典：第２次奈良県地震被害想定調査　平成 16 年 10 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て奈良盆地東縁断層帯の地震）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

緊急輸送道路


（出典：第２次奈良県地震被害想定調査　平成 16 年 10 月）

（30）　和歌山県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数			人的被害 負傷者数		
				冬5時	夏12時	冬18時	冬5時	夏12時	冬18時
和歌山県全体	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	8.6	7	5,008	4,847	4,700	8,348	6,889	8,225
	中央構造線による地震	8.0	7	4,556	2,632	3,520	12,506	10,690	11,728
	田辺市内陸直下の地震	6.9	6強	57	49	52	412	345	360
うち和歌山市	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	8.6	6強※	277	306	229	2,005	1,476	1,626
	中央構造線による地震	8.0	7	2,248	1,240	1,739	6,560	6,148	6,640
	田辺市内陸直下の地震	6.9	5弱※	0	0	0	15	15	14

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 全壊数（全壊率）	建物被害 揺れ 半壊数（半壊率）	建物被害 液状化 全壊数（全壊率）	建物被害 液状化 半壊数（半壊率）	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数（全壊率）	建物被害 揺れ＋液状化 半壊数（半壊率）
和歌山県全体	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	61,443 (8.9%)	70,869 (10.3%)	4,058 (0.6%)	6,243 (0.9%)	65,501 (9.5%)	77,111 (11.2%)
	中央構造線による地震	70,942 (10.3%)	86,347 (12.6%)	3,444 (0.5%)	5,350 (0.8%)	74,386 (10.8%)	91,697 (13.3%)
	田辺市内陸直下の地震	859 (0.1%)	4,266 (0.6%)	71 (0.0%)	105 (0.0%)	930 (0.1%)	4,371 (0.6%)
うち和歌山市	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	3,156 (1.8%)	10,568 (6.0%)	1,522 (0.9%)	2,454 (1.4%)	4,678 (2.6%)	13,023 (7.4%)
	中央構造線による地震	34,229 (19.4%)	37,193 (21.0%)	2,142 (1.2%)	3,455 (2.0%)	36,371 (20.6%)	40,648 (23.0%)
	田辺市内陸直下の地震	10 (0.0%)	91 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.0%)	91 (0.1%)

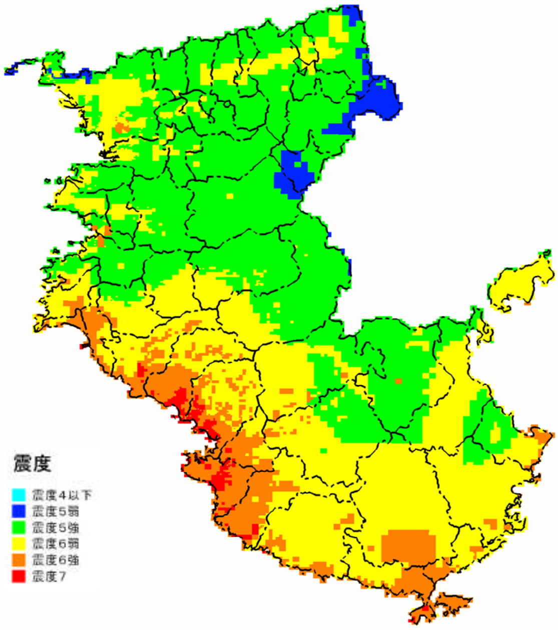
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 火災[最大] 焼失数	建物被害 津波 全壊数（全壊率）	建物被害 津波 半壊数（半壊率）	建物被害 崖崩れ 全壊数（全壊率）	建物被害 崖崩れ 半壊数（半壊率）
和歌山県全体	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	42,063	24,395 (3.5%)	12,612 (1.8%)	465 (0.1%)	549 (0.1%)
	中央構造線による地震	81,593	－	－	414 (0.1%)	490 (0.1%)
	田辺市内陸直下の地震	100	－	－	49 (0.0%)	58 (0.0%)
うち和歌山市	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	371	1,205 (0.7%)	3,392 (1.9%)	54 (0.0%)	64 (0.0%)
	中央構造線による地震	63,781	－	－	88 (0.0%)	104 (0.1%)
	田辺市内陸直下の地震	0	－	－	0 (0.0%)	0 (0.0%)

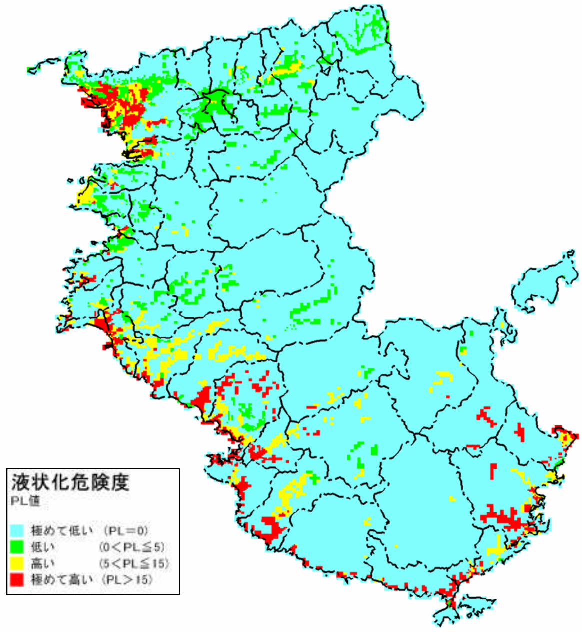
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電人口	ライフライン 上水道 断水人口(断水率)	ライフライン 電話・通信 通話機能支障人口
和歌山県全体	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	920,527	549,177 (53.7%)	411,960
	中央構造線による地震	886,302	704,828 (69.0%)	546,683
	田辺市内陸直下の地震	73,569	11,648 (1.1%)	5,435
うち和歌山市	東海・東南海・南海地震（対策工効果なしケース）	386,551	165,499 (44.1%)	62,192
	中央構造線による地震	386,551	361,311 (96.2%)	386,551
	田辺市内陸直下の地震	696	0 (0.0%)	0

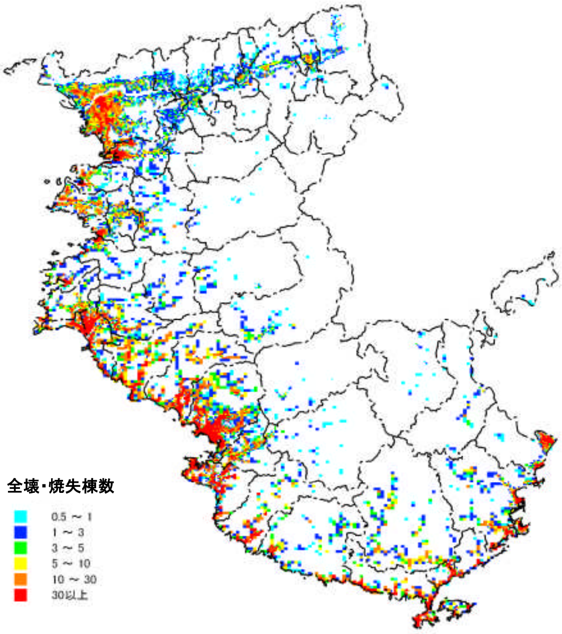
（出典：和歌山県地震被害想定調査報告書　平成 18 年 3 月）

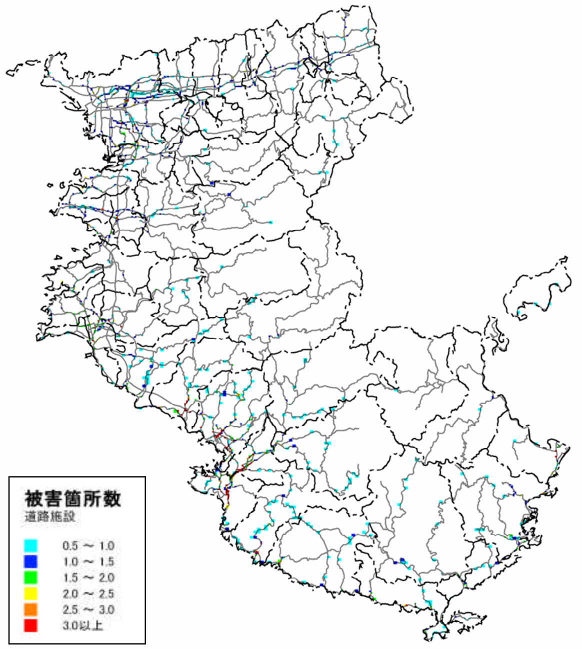
②主な被害想定結果図面（以下は全て東海・東南海・南海地震）（その１）

<table>
<tr><th>震度分布図</th><th>液状化危険度分布図</th></tr>
<tr><td>


</td><td>


</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>建物全壊･焼失予測結果（冬 18 時、対策工効果なし）
（単位：棟／500mメッシュ）</th><th>地震動･液状化による道路施設の被害箇所数予測結果（単位：箇所／500mメッシュ）</th></tr>
<tr><td>


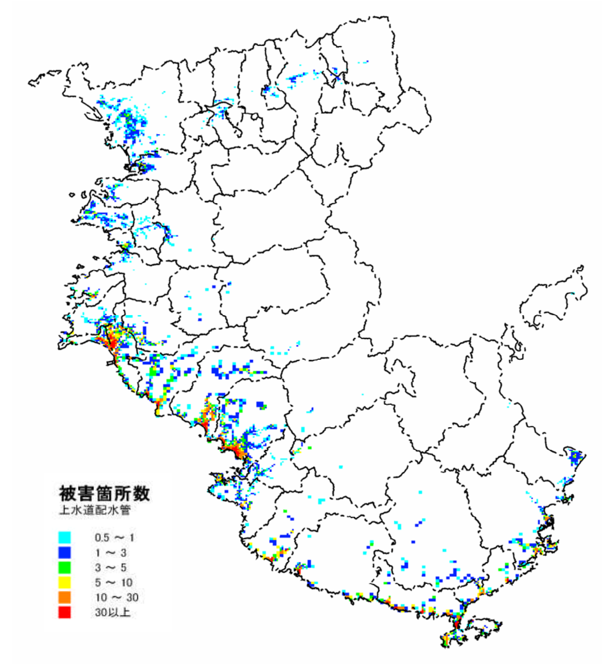
</td><td>


</td></tr>
</table>

②主な被害想定結果図面（以下は全て東海・東南海・南海地震）（その２）

上水道配水管の被害箇所数予測結果

（単位：箇所／500mメッシュ）



（出典：和歌山県地震被害想定調査報告書　平成 18 年 3 月）

（31） 鳥取県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬4時	夏12時	冬18時	冬4時	夏12時	冬18時
鳥取県全体	鹿野・吉岡断層（1943年鳥取地震）	7.2	7	212	179	285	1,494	1,969	1,984
	倉吉南方の推定断層	7.2	6強	51	38	44	1,106	1,228	1,170
	鳥取県西部地震断層	7.3	7	25	30	36	581	904	908
うち鳥取市	鹿野・吉岡断層（1943年鳥取地震）	7.2	7	211	178	285	1,456	1,936	1,954
	倉吉南方の推定断層	7.2	6弱	42	31	37	811	959	918
	鳥取県西部地震断層	7.3	5強	0	0	0	1	2	1

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		大破数	中破数	焼失数	大破数	中破数	大破数	中破数
鳥取県全体	鹿野・吉岡断層（1943年鳥取地震）	2,959	3,463	2,108	−	−	−	−
	倉吉南方の推定断層	887	2,677	447	−	−	−	−
	鳥取県西部地震断層	515	1,583	788	−	−	−	−
うち鳥取市	鹿野・吉岡断層（1943年鳥取地震）	2,939	3,328	2,108	−	−	−	−
	倉吉南方の推定断層	644	1,640	422	−	−	−	−
	鳥取県西部地震断層	1	1	0	−	−	−	−

（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

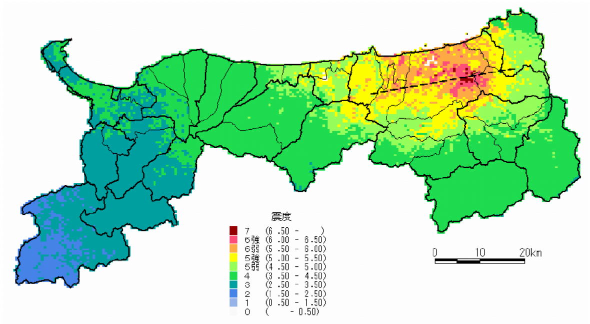
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電率	断水率	通話機能支障率
鳥取県全体	鹿野・吉岡断層（1943年鳥取地震）	12.5%	82.0%	2.4%
	倉吉南方の推定断層	7.9%	33.0%	1.4%
	鳥取県西部地震断層	9.9%	30.0%	3.0%
うち鳥取市	鹿野・吉岡断層（1943年鳥取地震）	−	−	−
	倉吉南方の推定断層	−	−	−
	鳥取県西部地震断層	−	−	−

（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

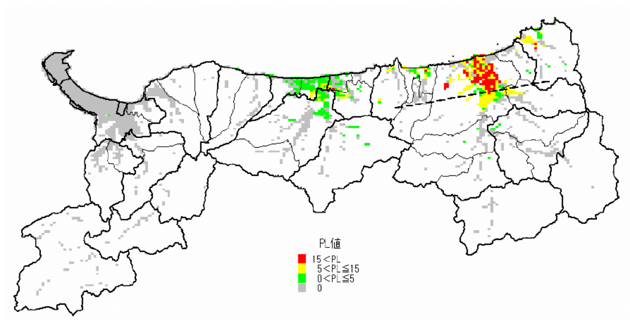
（出典：鳥取県地震防災調査研究報告書　平成 17 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て鹿野・吉岡断層の地震）

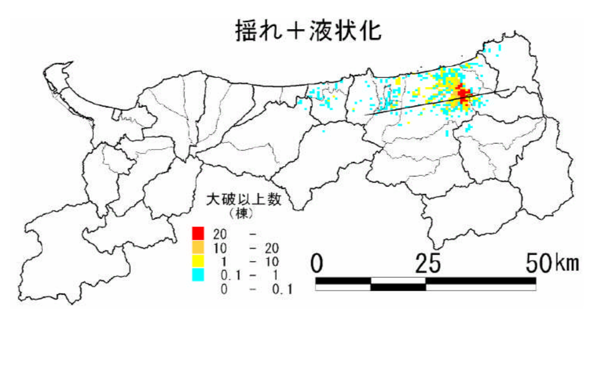
震度分布図



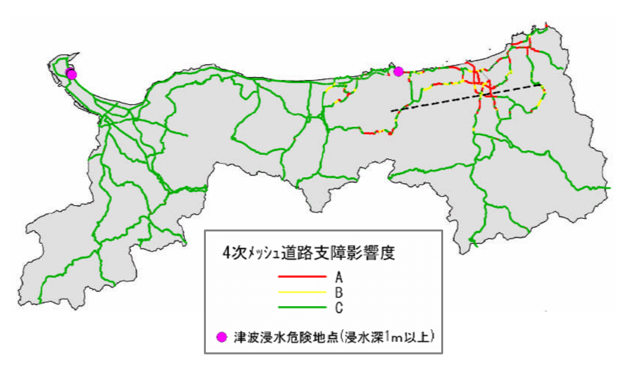
液状化危険度分布図



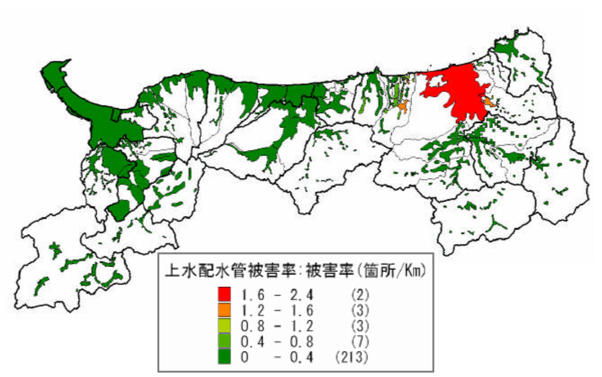
全建物大破以上棟数分布図



道路支障影響度



上水道物的被害率（被害箇所/km）



（出典：鳥取県地震防災調査研究報告書　平成 17 年 3 月）

（32）　島根県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				夏　昼	冬　夕方	夏　昼	冬　夕方
島根県全体	松江南方の地震	7.0	7※	977	1,391	7,126	9,896
	大田市西南方の地震	7.0	7※	99	373	1,669	3,642
	浜田市沖合いの地震	7.1	6強※	48	148	1,030	1,901
	津和野町付近の地震	7.0	6強※	6	7	171	192
うち松江市	松江南方の地震	7.0	7※	804	939	4,025	4,463
	大田市西南方の地震	7.0	5強※	0	0	0	0
	浜田市沖合いの地震	7.1	5弱※	0	0	0	0
	津和野町付近の地震	7.0	4以下※	0	0	0	0

※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）松江市の被害想定データは、市町村合併前の旧松江市（平成 8 年度当時）の数値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害						
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		大破数	中破数	焼失数(焼失率)	大破数	中破数	大破数	中破数
島根県全体	松江南方の地震	12,112	26,262	22,521(7.9%)	－	－	－	－
	大田市西南方の地震	4,429	12,401	2,656(0.9%)	－	－	－	－
	浜田市沖合いの地震	2,588	8,004	697(0.3%)	－	－	－	－
	津和野町付近の地震	610	3,090	2(0%)	－	－	－	－
うち松江市	松江南方の地震	5,097	11,409	20,659(37.4%)	－	－	－	－
	大田市西南方の地震	0	481	0(0%)	－	－	－	－
	浜田市沖合いの地震	0	6	0(0%)	－	－	－	－
	津和野町付近の地震	0	0	0(0%)	－	－	－	－

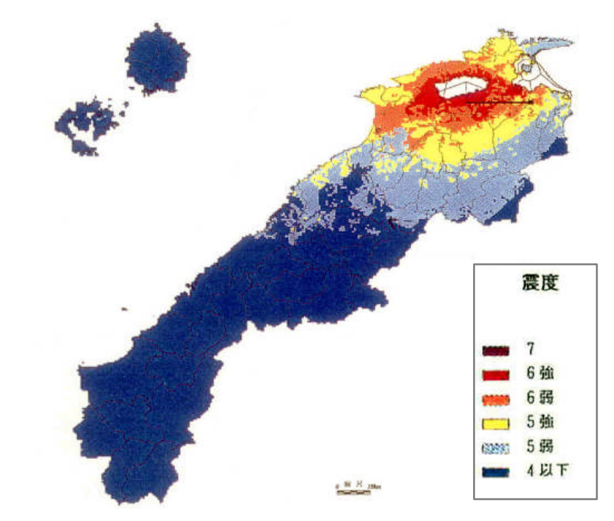
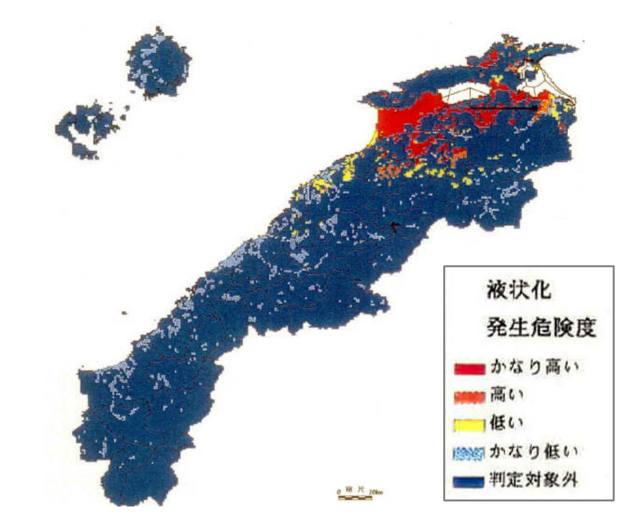
（注）松江市の被害想定データは、市町村合併前の旧松江市（平成 8 年度当時）の数値である
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電戸数(支障率)	断水世帯数(断水率)	通話機能支障回線数（支障率）
島根県全体	松江南方の地震	92,241(22.3%)	137,175	112,019(32.7%)
	大田市西南方の地震	36,420(8.8%)	39,653	41,286(12.1%)
	浜田市沖合いの地震	20,327(4.9%)	45,805	14,047(4.1%)
	津和野町付近の地震	6,431(1.6%)	21,224	2,063(0.6%)
うち松江市	松江南方の地震	55,277(72.9%)	53,676(100.0%)	73,245(100.0%)
	大田市西南方の地震	1,935(2.6%)	32(0.1%)	11(0.0%)
	浜田市沖合いの地震	0(0.0%)	2(0.0%)	0(0.0%)
	津和野町付近の地震	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

（注）松江市の被害想定データは、市町村合併前の旧松江市（平成 8 年度当時）の数値である

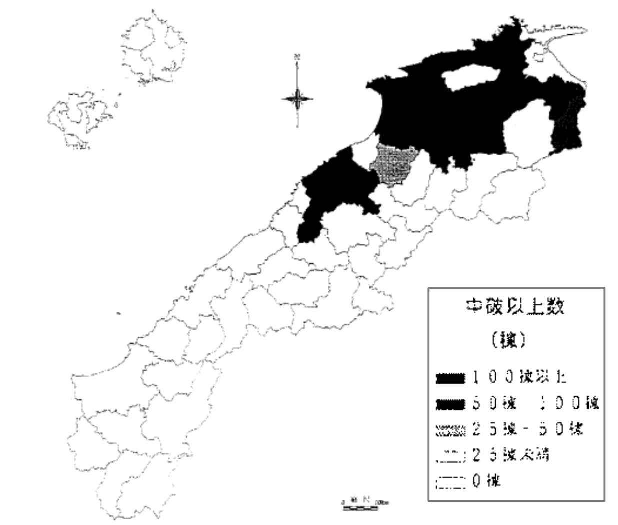
（出典：平成 8 年度島根県地震被害想定調査業務報告書　平成 9 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て松江南方の地震）（その１）

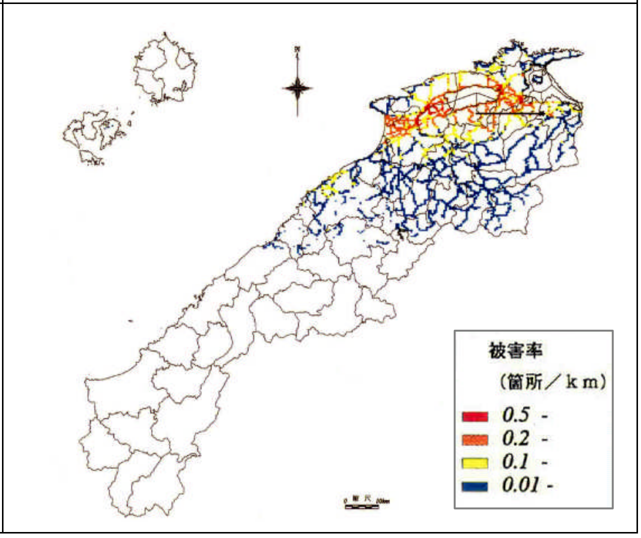
震度分布図	液状化危険度分布図
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て松江南方の地震）（その２）

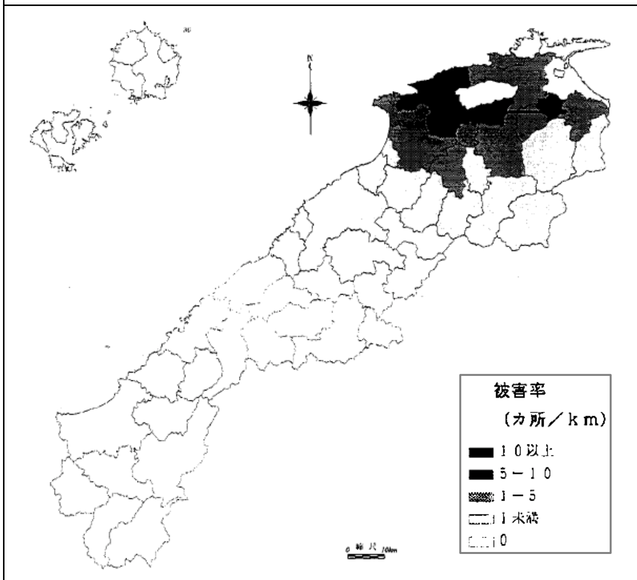
中破以上建物数（木造）



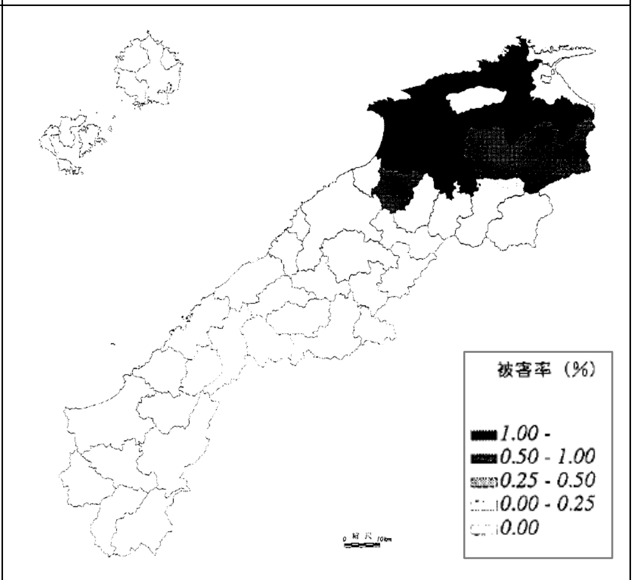
道路被害率（各メッシュの被害）



上水道被害率分布



電柱被害率分布



（出典：平成８年度島根県地震被害想定調査業務報告書　平成９年３月）

（33）　岡山県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬5時	死者数 夏13-16時	死者数 冬18時	負傷者数 冬5時	負傷者数 夏13-16時	負傷者数 冬18時
岡山県全体	南海トラフの地震	8.5	5強	821	59	617	25,422	4,776	20,134
	大原断層	7.2	6強	9	2	6	527	232	464
	中央構造線の一部	8.0	5強	486	37	443	15,407	2,853	14,792
	鳥取県西部地震	7.3	6強	0	0	1	47	27	52
	第2鳥取地震	7.2	6強	2	1	2	262	141	282
	松江南方地震	7.0	5強	0	0	0	0	0	0
うち岡山市	南海トラフの地震	8.5	5強※	502	23	462	14,007	1,846	13,228
	大原断層	7.2	5強※	0	0	0	17	8	15
	中央構造線の一部	8.0	5強※	379	16	432	11,423	1,252	12,393
	鳥取県西部地震	7.3	5弱※	0	0	0	0	0	0
	第2鳥取地震	7.2	5強※	0	0	0	0	0	0
	松江南方地震	7.0	5弱※	0	0	0	0	0	0
うち倉敷市	南海トラフの地震	8.5	5強※	78	26	304	3,697	1,791	9,288
	大原断層	7.2	5弱※	0	0	0	0	0	0
	中央構造線の一部	8.0	5強※	41	14	35	1,957	944	1,746
	鳥取県西部地震	7.3	5弱※	0	0	0	0	0	0
	第2鳥取地震	7.2	5弱※	0	0	0	0	0	0
	松江南方地震	7.0	4※	0	0	0	0	0	0

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

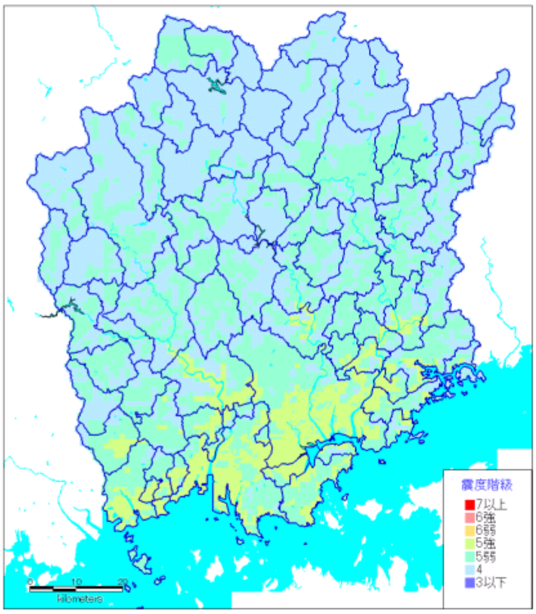
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 大破数（大破率）	揺れ＋液状化 中破数（中破率）	火災[最大] 焼失数（焼失率）	津波 大破数	津波 中破数	崖崩れ 大破数	崖崩れ 中破数
岡山県全体	南海トラフの地震	8,819(0.75%)	12,310(1.04%)	86,668(7.3%)	－	－	－	－
	大原断層	1,146(0.10%)	11,573(0.98%)	69(0.0%)	－	－	－	－
	中央構造線の一部	5,934(0.50%)	14,825(1.25%)	58,068(4.9%)	－	－	－	－
	鳥取県西部地震	91(0.01%)	1,595(0.14%)	0(0.0%)	－	－	－	－
	第2鳥取地震	502(0.04%)	3,020(0.26%)	12(0.0%)	－	－	－	－
	松江南方地震	5(0.00%)	14(0.00%)	0(0.0%)	－	－	－	－
うち岡山市	南海トラフの地震	5,356	7,136	66,229(19.1%)	－	－	－	－
	大原断層	65	1,419	0(0.0%)	－	－	－	－
	中央構造線の一部	4,137	6,613	57,750(16.7%)	－	－	－	－
	鳥取県西部地震	3	8	0(0.0%)	－	－	－	－
	第2鳥取地震	37	121	0(0.0%)	－	－	－	－
	松江南方地震	1	2	0(0.0%)	－	－	－	－
うち倉敷市	南海トラフの地震	1,597	2,243	18,719(12.6%)	－	－	－	－
	大原断層	4	49	0(0.0%)	－	－	－	－
	中央構造線の一部	918	2,283	0(0.0%)	－	－	－	－
	鳥取県西部地震	1	2	0(0.0%)	－	－	－	－
	第2鳥取地震	4	14	0(0.0%)	－	－	－	－
	松江南方地震	0	1	0(0.0%)	－	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

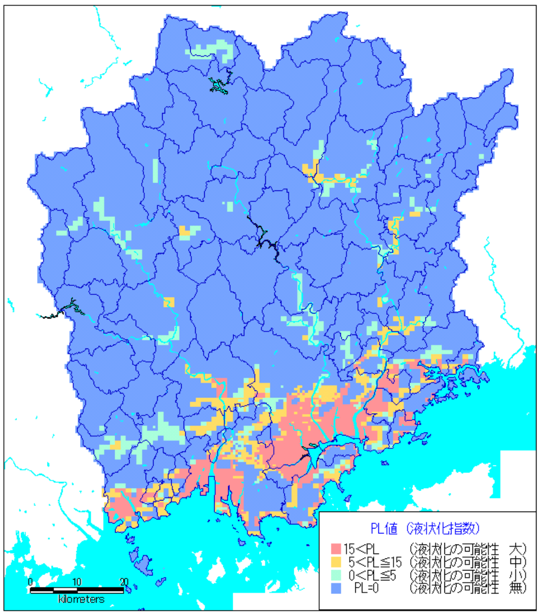
（出典：岡山県南海地震に係る被害想定及び液状化想定の再評価・研究等事業報告書　平成 15 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て南海トラフの地震）

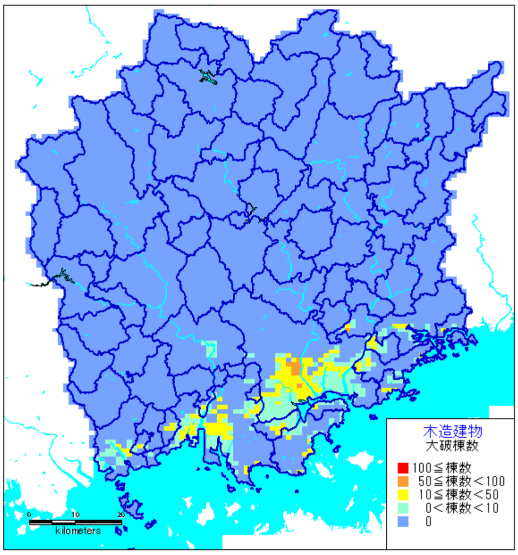
震度分布図



液状化危険度分布図



木造建物大破棟数



（出典：岡山県南海地震に係る被害想定及び液状化想定の再評価・研究等事業報告書　平成 15 年 3 月）

（34） 広島県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬5時	死者数 秋12時	死者数 冬18時	負傷者数 冬5時	負傷者数 秋12時	負傷者数 冬18時
広島県全体	東南海・南海地震	8.5	6弱	31	31	33	565	591	713
	己斐断層による地震	6.5	6強	666	351	796	11,913	7,262	9,628
	五日市断層による地震	7.0	7	1,425	815	3,433	19,128	12,008	16,864
	岩国断層帯による地震	7.6	7	748	494	1,015	7,580	5,504	6,973
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	8.0	6弱	128	118	125	2,955	2,650	2,958
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	8.0	6弱	126	117	124	2,969	2,630	2,988
	安芸灘～伊予灘の地震	7.25	6弱	173	153	166	4,392	3,415	4,130
うち広島市	東南海・南海地震	8.5	5強	9	9	10	135	166	204
	己斐断層による地震	6.5	6強	658	344	788	11,752	7,115	9,442
	五日市断層による地震	7.0	7	975	496	2,470	15,902	9,534	13,621
	岩国断層帯による地震	7.6	6強	152	86	121	4,382	2,789	3,644
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	8.0	5強	15	15	17	256	265	366
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	8.0	5強	16	16	19	350	309	458
	安芸灘～伊予灘の地震	7.25	6弱	37	36	42	1,595	1,074	1,525
うち福山市	東南海・南海地震	8.5	6弱	6	6	6	156	152	186
	己斐断層による地震	6.5	4以下	0	0	0	0	0	0
	五日市断層による地震	7.0	4以下	0	0	0	0	0	0
	岩国断層帯による地震	7.6	5弱	1	1	1	22	22	23
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	8.0	6弱	26	22	25	947	808	899
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	8.0	6弱	14	13	15	630	550	623
	安芸灘～伊予灘の地震	7.25	5強	4	3	4	57	62	72

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 全壊数	揺れ 半壊数	液状化 全壊数	液状化 半壊数	火災[最大] 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
広島県全体	東南海・南海地震	19	3,725	4,422	6,438	0	876	633	162	379
	己斐断層による地震	11,582	39,920	3,354	4,976	3,604	0	0	1,156	2,698
	五日市断層による地震	25,115	61,801	4,642	6,899	21,515	0	0	1,807	4,216
	岩国断層帯による地震	12,532	37,316	4,555	6,692	5,912	0	0	992	2,315
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	1,229	25,264	3,840	5,516	180	0	0	622	1,451
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	1,114	25,623	3,813	5,482	150	0	0	676	1,577
	安芸灘～伊予灘の地震	1,556	29,896	3,234	4,772	200	0	0	1,025	2,392
うち広島市	東南海・南海地震	0	119	262	382	0	109	55	29	68
	己斐断層による地震	11,560	39,251	3,206	4,754	3,604	0	0	1,115	2,601
	五日市断層による地震	17,642	49,173	3,517	5,225	15,158	0	0	1,258	2,935
	岩国断層帯による地震	2,581	18,170	2,736	4,012	270	0	0	343	800
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	14	1,321	98	143	0	0	0	54	127
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	22	1,804	302	436	0	0	0	62	145
	安芸灘～伊予灘の地震	299	7,758	964	1,428	40	0	0	273	636
うち福山市	東南海・南海地震	11	1,257	1,742	2,600	0	26	52	20	47
	己斐断層による地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五日市断層による地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩国断層帯による地震	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	370	7,057	1,668	2,451	60	0	0	86	201
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	164	4,843	1,126	1,660	30	0	0	80	186
	安芸灘～伊予灘の地震	0	3	0	0	0	0	0	4	9

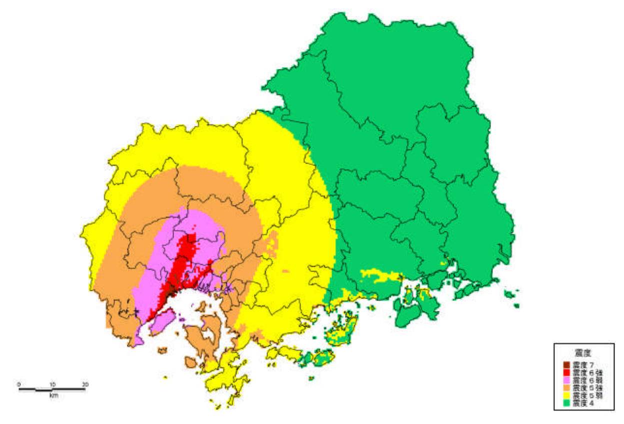
①主な被害想定結果整理表（その２）

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電軒数(支障率)	ライフライン 上水道 断水人口(断水率)	ライフライン 電話・通信 通話機能支障回線数(支障率)
広島県全体	東南海・南海地震	7,230(0.4%)	166,676(5.8%)	2(0.00%)
	己斐断層による地震	232,798(13.6%)	673,524(23.4%)	5,564(0.43%)
	五日市断層による地震	385,489(22.5%)	889,489(30.9%)	23,530(1.83%)
	岩国断層帯による地震	108,956(6.4%)	649,477(22.6%)	6,134(0.48%)
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	27,900(1.6%)	482,039(16.8%)	197(0.02%)
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	27,536(1.6%)	481,698(16.8%)	165(0.01%)
	安芸灘～伊予灘の地震	39,645(2.3%)	412,299(14.3%)	331(0.03%)
うち広島市	東南海・南海地震	2,427	1,157	0
	己斐断層による地震	230,226	660,704	5,561
	五日市断層による地震	318,016	731,287	17,912
	岩国断層帯による地震	50,713	402,671	862
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	4,166	17,357	2
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	4,469	32,399	3
	安芸灘～伊予灘の地震	16,694	126,124	110
うち福山市	東南海・南海地震	1,761	90,569	1
	己斐断層による地震	0	0	0
	五日市断層による地震	2	0	0
	岩国断層帯による地震	543	0	0
	中央構造線(石鎚山脈北縁による地震	8,885	231,710	86
	中央構造線(石鎚山脈北縁西部～伊予灘)による地震	6,839	171,024	47
	安芸灘～伊予灘の地震	1,264	0	0

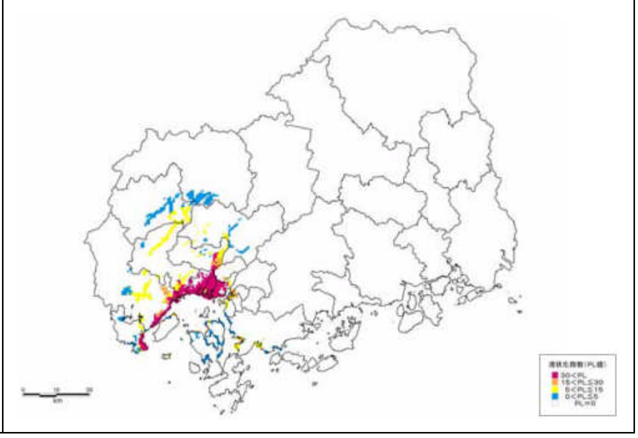
（出典：広島県地震被害想定調査報告書　平成 19 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て五日市断層による地震）

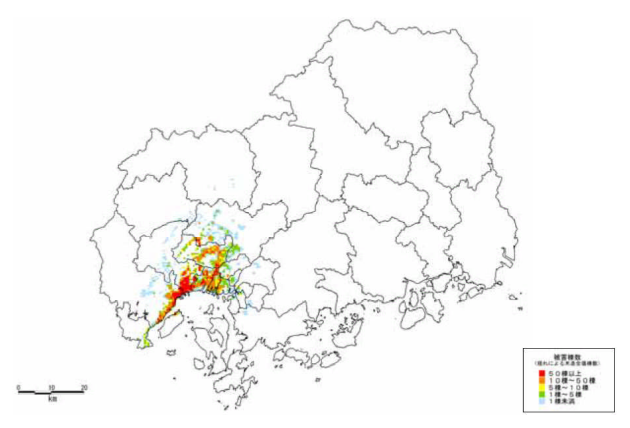
震度分布図



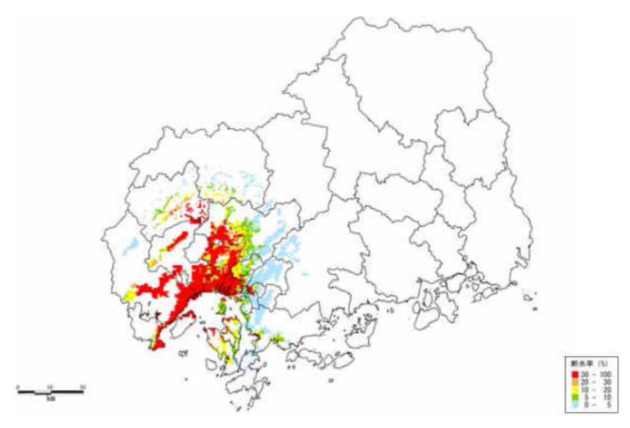
液状化危険度分布図



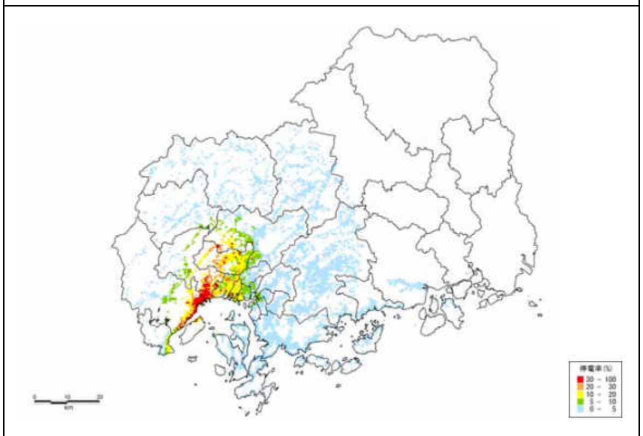
揺れによる木造全壊棟数分布



上水道・工業用水道の断水率分布（翌日）



停電率分布



（出典：広島県地震被害想定調査報告書　平成 19 年 3 月）

(35)　山口県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	冬12時	冬18時	冬5時	冬12時	冬18時
山口県全体	東南海・南海地震	8.5	6弱	11	11	11	112	100	104
	安芸灘～伊予灘の地震	7.25	6弱	31	28	26	339	290	301
	大竹断層 （小方ー小瀬断層）	7.2	7	1,507	1,492	1,461	4,789	4,222	4,246
	菊川断層	7.0	7	245	206	208	2,076	1,735	1,781
	大原湖断層系 （山口盆地北西縁断層）	6.6	6強	393	506	423	2,627	2,543	2,417
	大原湖断層系 （宇部東部断層＋下郷断層）	7.0	7	1,000	989	923	6,557	5,858	5,783
	中央構造線断層帯 （石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	8.0	6強	97	78	81	922	761	806
	渋木断層	6.8	6弱	43	39	38	418	362	365
	厚狭東方断層	6.5	6弱	16	14	15	358	304	318
	萩北断層	6.8	6強	119	104	103	781	688	686
	才ケ峠断層	6.9	6弱	48	43	43	745	661	668
	徳佐ー地福断層	7.2	7	392	333	333	1,698	1,564	1,528
	防府沖海底断層	7.6	6強	471	368	388	5,149	4,332	4,391
	佐波川断層	7.4	6強	630	536	530	5,689	4,829	4,905
	大河内断層	6.8	6強	334	242	265	2,639	2,075	2,202
	日積断層	6.7	6強	96	81	83	855	705	737
うち下関市	東南海・南海地震	8.5	4以下	0	0	0	0	0	0
	安芸灘～伊予灘の地震	7.25	4以下	0	0	0	0	0	0
	大竹断層 （小方ー小瀬断層）	7.2	5弱	0	0	0	0	0	0
	菊川断層	7.0	7	202	168	170	1,600	1,330	1,363
	大原湖断層系 （山口盆地北西縁断層）	6.6	5弱	0	0	0	1	1	1
	大原湖断層系 （宇部東部断層＋下郷断層）	7.0	5強	3	3	3	46	42	43
	中央構造線断層帯 （石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	8.0	5強	3	3	3	42	38	37
	渋木断層	6.8	6弱	5	5	5	44	40	40
	厚狭東方断層	6.5	5強	2	2	2	33	30	30
	萩北断層	6.8	5強	1	1	1	9	8	8
	才ケ峠断層	6.9	5強	3	2	2	38	34	33
	徳佐ー地福断層	7.2	5強	2	2	2	33	30	29
	防府沖海底断層	7.6	5強	4	4	4	50	47	48
	佐波川断層	7.4	5強	3	3	3	45	41	40
	大河内断層	6.8	4以下	0	0	0	0	0	0
	日積断層	6.7	4以下	0	0	0	0	0	0
うち山口市	東南海・南海地震	8.5	5弱	0	0	0	7	7	7
	安芸灘～伊予灘の地震	7.25	5弱	1	1	1	12	11	11
	大竹断層 （小方ー小瀬断層）	7.2	5強	2	2	2	28	26	25
	菊川断層	7.0	5強	2	2	2	29	27	27
	大原湖断層系 （山口盆地北西縁断層）	6.6	6強	386	501	417	2,542	2,464	2,337
	大原湖断層系 （宇部東部断層＋下郷断層）	7.0	7	430	409	381	2,643	2,508	2,387
	中央構造線断層帯 （石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	8.0	5強	2	2	2	31	30	30
	渋木断層	6.8	5強	2	1	1	27	25	24
	厚狭東方断層	6.5	5強	1	1	1	16	15	15
	萩北断層	6.8	5強	2	1	2	28	26	26
	才ケ峠断層	6.9	6弱	14	14	13	326	305	300
	徳佐ー地福断層	7.2	6強	100	93	89	1,059	994	955
	防府沖海底断層	7.6	6強	45	43	40	749	706	676
	佐波川断層	7.4	6強	171	157	152	1,613	1,505	1,448
	大河内断層	6.8	5弱	0	0	0	6	6	6
	日積断層	6.7	4以下	0	0	0	0	0	0

①主な被害想定結果整理表（その２）

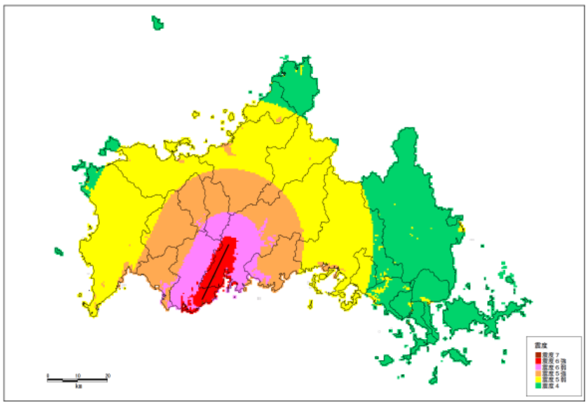
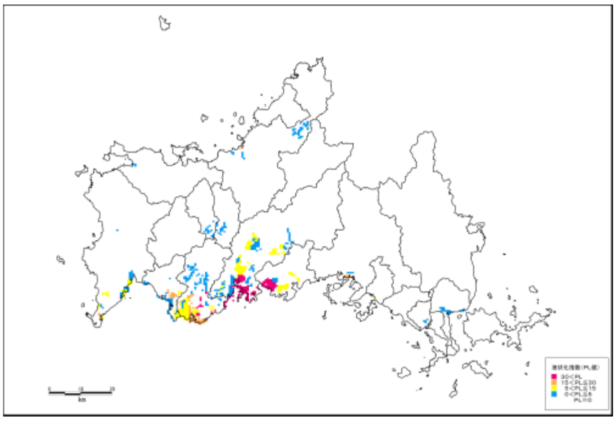
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災［最大］	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
山口県全体	東南海・南海地震	2	605	634	928	0	127	3,535	87	200
	安芸灘～伊予灘の地震	20	3,020	578	836	0	0	0	304	684
	大竹断層 （小方－小瀬断層）	17,818	35,862	2,036	2,934	5,030	0	0	1,600	2,772
	菊川断層	2,613	13,294	1,056	1,554	553	0	0	951	1,857
	大原湖断層系 （山口盆地北西縁断層）	5,599	16,593	559	812	2,227	0	0	387	686
	大原湖断層系 （宇部東部断層＋下郷断層）	13,073	38,776	1,547	2,276	3,944	0	0	683	1,253
	中央構造線断層帯 （石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	479	8,761	1,290	1,872	402	0	0	701	1,483
	渋木断層	179	3,456	374	553	0	0	0	358	760
	厚狭東方断層	101	2,954	497	738	0	0	0	74	166
	萩北断層	1,396	6,224	594	883	743	0	0	333	670
	才ケ峠断層	268	7,079	707	1,035	0	0	0	366	779
	徳佐－地福断層	4,944	16,627	1,168	1,690	1,076	0	0	764	1,510
	防府沖海底断層	5,966	35,603	2,067	3,056	2,199	0	0	1,192	2,439
	佐波川断層	8,258	37,433	1,908	2,808	2,582	0	0	1,249	2,459
	大河内断層	4,364	16,643	852	1,252	1,303	0	0	750	1,408
	日積断層	795	8,133	751	1,115	436	0	0	600	1,249
うち下関市	東南海・南海地震	0	0	3	5	0	38	291	0	0
	安芸灘～伊予灘の地震	0	0	3	5	0	0	0	0	0
	大竹断層 （小方－小瀬断層）	0	0	4	6	0	0	0	0	0
	菊川断層	2,334	9,461	493	716	469	0	0	670	1,231
	大原湖断層系 （山口盆地北西縁断層）	0	0	4	6	0	0	0	0	0
	大原湖断層系 （宇部東部断層＋下郷断層）	0	21	81	117	0	0	0	11	26
	中央構造線断層帯 （石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	0	0	58	83	0	0	0	8	20
	渋木断層	6	272	72	107	0	0	0	41	89
	厚狭東方断層	0	12	67	99	0	0	0	5	12
	萩北断層	0	0	18	27	0	0	0	1	2
	才ケ峠断層	0	5	58	86	0	0	0	6	14
	徳佐－地福断層	0	1	42	61	0	0	0	5	12
	防府沖海底断層	0	49	148	213	0	0	0	16	36
	佐波川断層	0	3	78	113	0	0	0	9	21
	大河内断層	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日積断層	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち山口市	東南海・南海地震	0	0	7	10	0	6	145	0	1
	安芸灘～伊予灘の地震	0	0	9	13	0	0	0	0	0
	大竹断層 （小方－小瀬断層）	0	7	36	52	0	0	0	2	6
	菊川断層	0	44	53	77	0	0	0	1	2
	大原湖断層系 （山口盆地北西縁断層）	5,599	16,397	272	393	2,227	0	0	365	636
	大原湖断層系 （宇部東部断層＋下郷断層）	6,344	16,572	353	510	1,265	0	0	359	661
	中央構造線断層帯 （石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	0	59	76	110	0	0	0	1	3
	渋木断層	0	0	18	25	0	0	0	1	1
	厚狭東方断層	0	7	30	43	0	0	0	1	1
	萩北断層	0	1	12	17	0	0	0	1	2
	才ケ峠断層	70	3,397	172	249	0	0	0	145	319
	徳佐－地福断層	1,183	9,083	216	313	766	0	0	330	626
	防府沖海底断層	523	7,179	228	329	595	0	0	172	357
	佐波川断層	2,170	13,109	334	484	899	0	0	417	782
	大河内断層	0	0	11	16	0	0	0	0	0
	日積断層	0	0	0	0	0	0	0	0	0

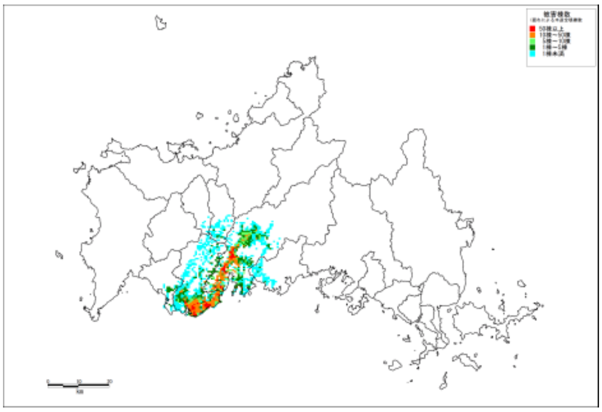
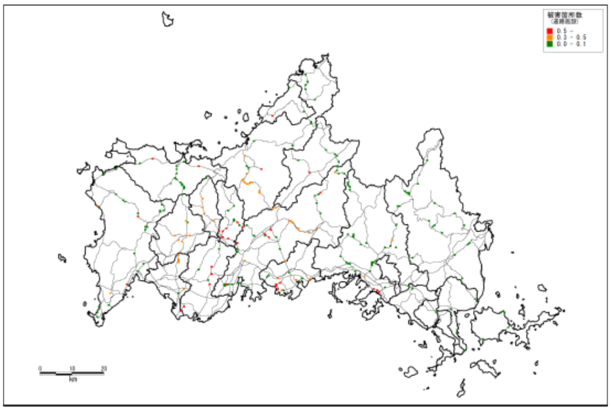
①主な被害想定結果整理表（その３）

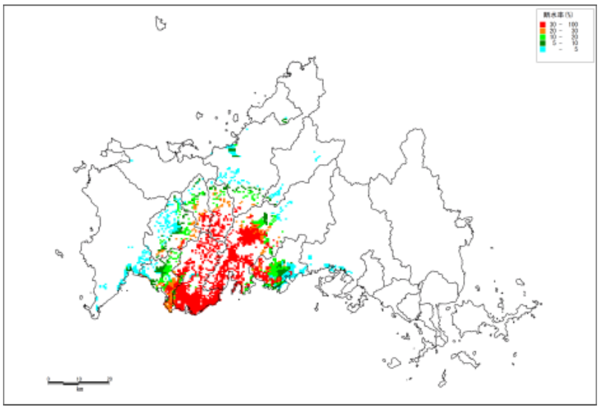
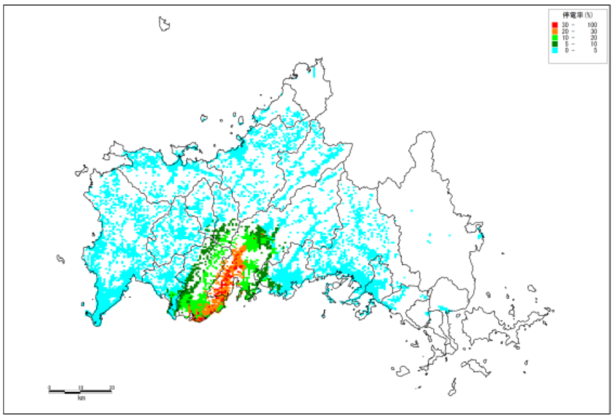
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電軒数(支障率)	上水道 断水人口(断水率)	電話・通信 通話機能支障回線数(支障率)
山口県全体	東南海・南海地震	1,837(0.2%)	15,650(1.0%)	0(0.0%)
	安芸灘～伊予灘の地震	2,831(0.3%)	65,584(4.4%)	2(0.0%)
	大竹断層（小方ー小瀬断層）	81,584(9.1%)	280,122(18.8%)	3,902(0.6%)
	菊川断層	22,329(2.5%)	229,220(15.4%)	397(0.1%)
	大原湖断層系（山口盆地北西縁断層）	64,630(7.2%)	112,962(7.6%)	1,602(0.2%)
	大原湖断層系（宇部東部断層＋下郷断層）	60,795(6.8%)	349,990(23.5%)	3,126(0.5%)
	中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	9,234(1.0%)	139,572(9.4%)	219(0.0%)
	渋木断層	4,507(0.5%)	36,395(2.4%)	12(0.0%)
	厚狭東方断層	3,732(0.4%)	50,442(3.4%)	9(0.0%)
	萩北断層	28,637(3.2%)	46,373(3.1%)	510(0.1%)
	才ケ峠断層	6,867(0.8%)	82,127(5.5%)	17(0.0%)
	徳佐ー地福断層	15,967(1.8%)	122,429(8.2%)	711(0.1%)
	防府沖海底断層	71,327(7.9%)	421,542(28.3%)	1,727(0.3%)
	佐波川断層	58,324(6.5%)	340,423(22.8%)	1,794(0.3%)
	大河内断層	24,348(2.7%)	165,808(11.1%)	890(0.1%)
	日積断層	8,122(0.9%)	128,309(8.6%)	345(0.1%)
うち下関市	東南海・南海地震	0	0	0
	安芸灘～伊予灘の地震	0	0	0
	大竹断層（小方ー小瀬断層）	6	0	0
	菊川断層	17,878	164,274	329
	大原湖断層系（山口盆地北西縁断層）	14	0	0
	大原湖断層系（宇部東部断層＋下郷断層）	872	220	0
	中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	850	2	0
	渋木断層	784	10,201	0
	厚狭東方断層	692	110	0
	萩北断層	151	3	0
	才ケ峠断層	753	79	0
	徳佐ー地福断層	649	8	0
	防府沖海底断層	890	968	0
	佐波川断層	886	40	0
	大河内断層	0	0	0
	日積断層	0	0	0
うち山口市	東南海・南海地震	129	0	0
	安芸灘～伊予灘の地震	224	0	0
	大竹断層（小方ー小瀬断層）	597	0	0
	菊川断層	597	863	0
	大原湖断層系（山口盆地北西縁断層）	63,013	106,263	1,602
	大原湖断層系（宇部東部断層＋下郷断層）	34,701	143,512	1,85
	中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	622	894	0
	渋木断層	593	4	0
	厚狭東方断層	322	73	0
	萩北断層	600	1	0
	才ケ峠断層	2,963	36,083	9
	徳佐ー地福断層	8,435	53,830	489
	防府沖海底断層	5,071	71,352	298
	佐波川断層	11,304	89,349	469
	大河内断層	97	0	0
	日積断層	0	0	0

（出典：山口県地震被害想定調査報告書　平成 20 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て大原湖断層系（宇部東部断層＋下郷断層）の地震）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

揺れによる木造全壊棟数分布	緊急輸送道路の被害箇所数分布
	

上水道・工業用水道の断水率分布（翌日）	停電
	

（出典：山口県地震被害想定調査報告書　平成 20 年 3 月）

（36） 徳島県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬5時	死者数 秋12時	死者数 冬18時	負傷者数 冬5時	負傷者数 秋12時	負傷者数 冬18時
徳島県全体	東南海・南海地震連動および南海地震	8.6Mw	6強	4,279	3,127	3,493	12,485	8,640	10,193
	県西部直下を震源とする地震	7.0Mw	5強	261	160	187	2,378	1,729	1,823
うち徳島市	東南海・南海地震連動および南海地震	8.6Mw	6強※	874	460	936	4,666	3,261	4,513
	県西部直下を震源とする地震	7.0Mw	5強※	85	49	64	893	755	758

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

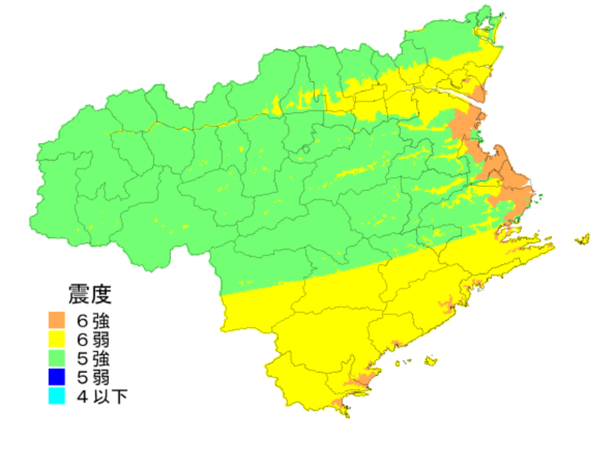
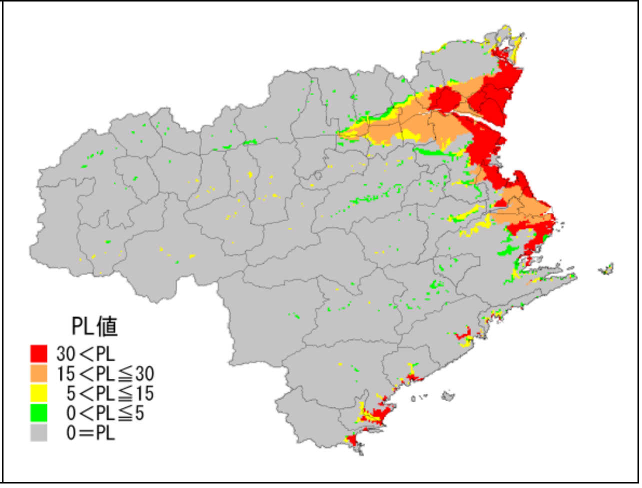
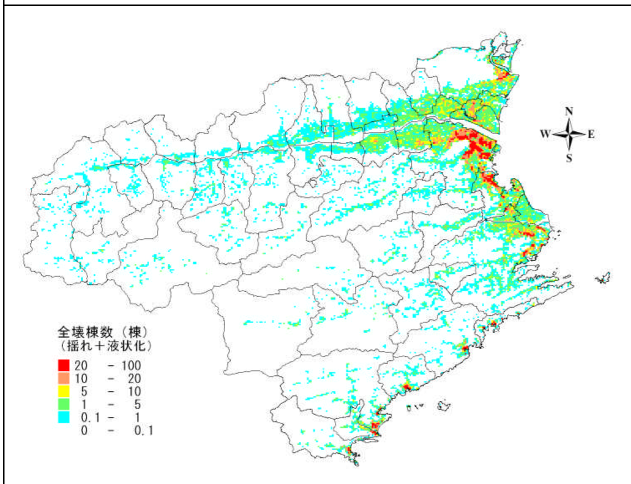
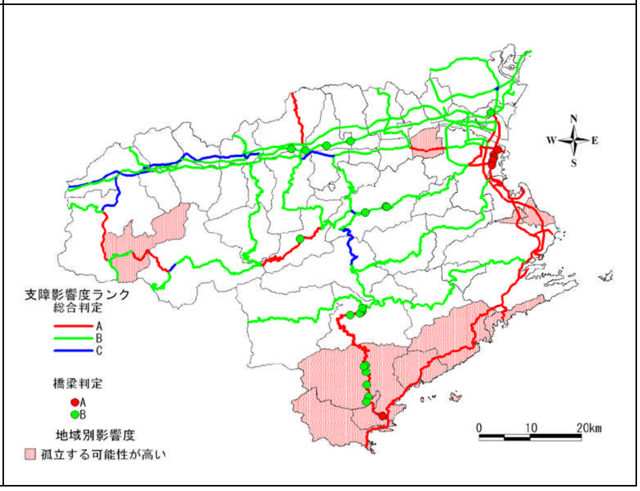
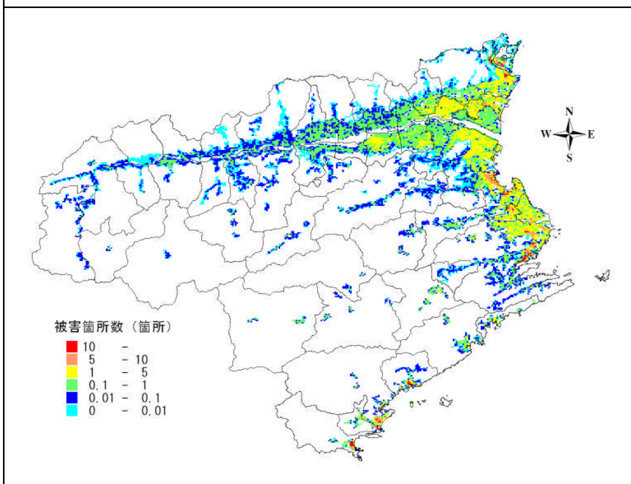
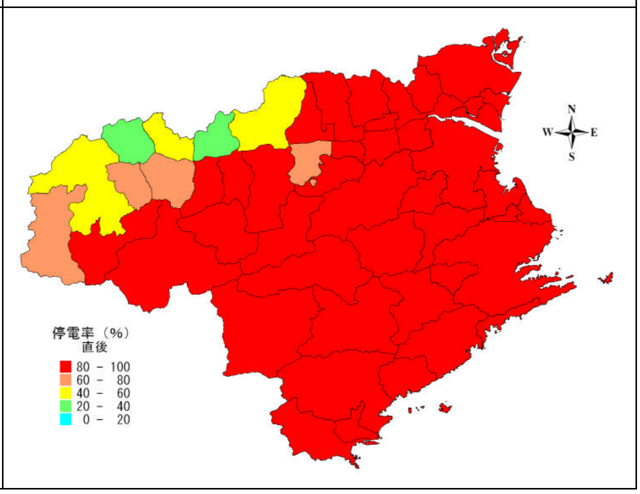
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 全壊数	揺れ 半壊数	液状化 全壊数	液状化 半壊数	火災[最大] 焼失数（焼失率）	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
徳島県全体	東南海・南海地震連動および南海地震	30,005	52,647	6,546	9,711	9,847(2.25%)	5,457	13,691	1,258	2,935
	県西部直下を震源とする地震	2,786	13,817	3,228	4,784	31(0.01%)	－	－	180	420
うち徳島市	東南海・南海地震連動および南海地震	9,966	15,493	2,441	3,546	9,652(8.72%)	88	3,635	197	459
	県西部直下を震源とする地震	908	4,040	1,465	2,144	12(0.01%)	－	－	26	60

（注）建物被害数は重複処理結果のものを記入
（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数(支障率)	上水道 断水人口(断水率)	電話・通信 通話機能支障世帯数（支障率）
徳島県全体	東南海・南海地震連動および南海地震	274,623(95.09%)	659,839(87.62%)	23,457(8.12%)
	県西部直下を震源とする地震	149,696(51.83%)	271,434(36.04%)	0(0.0%)
うち徳島市	東南海・南海地震連動および南海地震	107,010(100.0%)	233,649(96.07%)	14,981(14.0%)
	県西部直下を震源とする地震	59,416(55.52%)	77,972(32.06%)	0(0.0%)

（出典：平成 16 年度徳島県地震動被害想定調査報告書　平成 17 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て東南海・南海地震連動および南海地震）

震度分布図	液状化危険度分布図
	
全壊建物数分布（揺れ・液状化）	緊急輸送道路支障分布
	
水道管被害箇所数分布	電力機能支障（停電率）分布（発災直後）
	

（出典：平成16年度徳島県地震動被害想定調査報告書　平成17年3月）

(37)　香川県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害	
				死者数	負傷者数
				冬夕方	冬夕方
香川県全体	南海地震	8.4	6強	188	3,324
うち高松市	南海地震	8.4	6強※	14	1,085

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

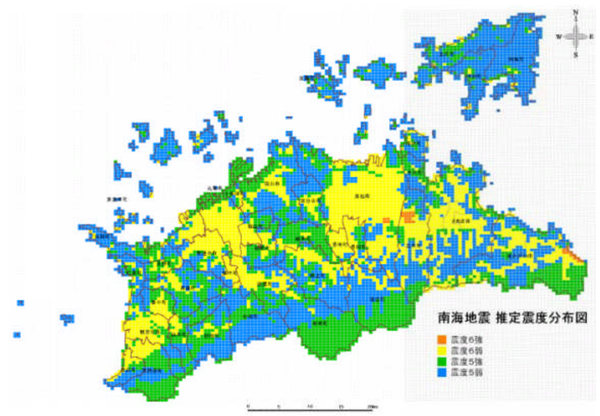
都道府県名／市町村名	想定地震名	揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数（焼失率）	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
香川県全体	南海地震	4,567	17,414	29(0.004%)	−	−	−	−
うち高松市	南海地震	1,396	6,770	10 (0.006%)	−	−	−	−

（注）表内の「ー」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

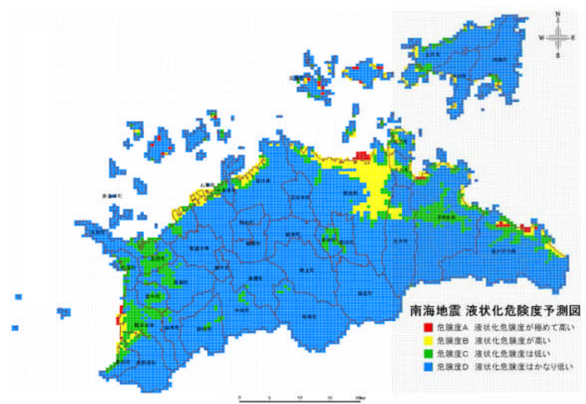
（出典：香川県南海地震被害想定調査の概要　平成17年3月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て南海地震）

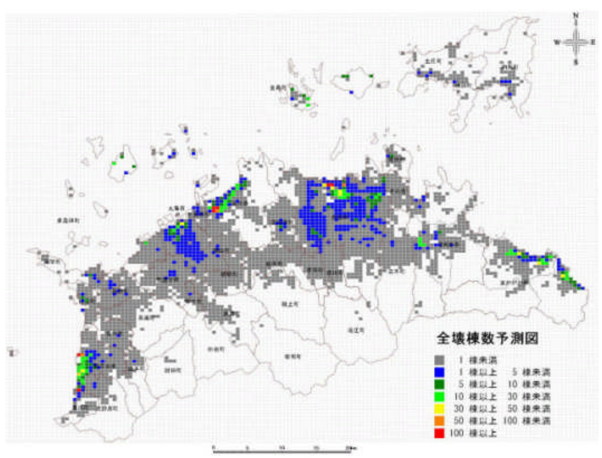
推定震度分布図



液状化危険度予測図



全壊棟数予測図



（出典：香川県南海地震被害想定調査の概要　平成17年3月）

（38） 愛媛県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				冬2時	冬18時	冬2時	冬18時
愛媛県全体	想定地震1：川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	7.6	6強	2,666	2,453	42,399	42,806
	想定地震2：石鎚－池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	8.0	6強	1,719	1,477	32,817	33,137
	想定地震3：伊予断層が活動して発生する地震	7.1	6強	1,247	1,149	30,380	30,317
	想定地震4：伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	7.8	6強	876	773	28,892	29,044
	想定地震5：安政南海地震（1854）（相田、1981）	8.4	6弱	2,987	2,556	46,547	47,011
うち松山市	想定地震1：川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	7.6	6強	1,031	1158	16,349	16,840
	想定地震2：石鎚－池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	8.0	6弱	168	175	8,610	8,725
	想定地震3：伊予断層が活動して発生する地震	7.1	6強	770	802	14,589	14,784
	想定地震4：伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	7.8	6強	343	359	10,997	11,145
	想定地震5：安政南海地震（1854）（相田、1981）	8.4	6弱	589	613	13,288	13,467

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災［最大］	津波		崖崩れ	
		全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	全壊数（全壊率）	半壊数（半壊率）	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
愛媛県全体	想定地震1：川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	58,224(7.97%)	168,411(23.07%)	2,491(0.34%)	4,609(0.63%)	11,362	－	－	－	－
	想定地震2：石鎚－池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	39,227(5.37%)	133,729(18.32%)	2,204(0.30%)	4,047(0.55%)	237	－	－	－	－
	想定地震3：伊予断層が活動して発生する地震	26,320(3.60%)	125,071(17.13%)	1,839(0.25%)	3,418(0.47%)	42	－	－	－	－
	想定地震4：伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	20,140(2.76%)	134,275(18.39%)	1,834(0.25%)	3,379(0.46%)	34	－	－	－	－
	想定地震5：安政南海地震（1854）（相田、1981）	74,291(10.17%)	206,842(28.33%)	2,202(0.30%)	4,116(0.56%)	98	－	－	－	－
うち松山市	想定地震1：川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	20,616(13.13%)	45,447(28.93%)	587(0.37%)	1,095(0.70%)	10,413	－	－	－	－
	想定地震2：石鎚－池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	3,302(2.10%)	26,929(17.14%)	423(0.27%)	789(0.50%)	7	－	－	－	－
	想定地震3：伊予断層が活動して発生する地震	15,377(9.79%)	42,514(27.07%)	579(0.37%)	1,078(0.69%)	22	－	－	－	－
	想定地震4：伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	6,827(4.35%)	34,543(21.99%)	476(0.30%)	884(0.56%)	12	－	－	－	－
	想定地震5：安政南海地震（1854）（相田、1981）	11,810(7.52%)	40,315(25.67%)	308(0.20%)	574(0.37%)	18	－	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

①主な被害想定結果整理表（その２）

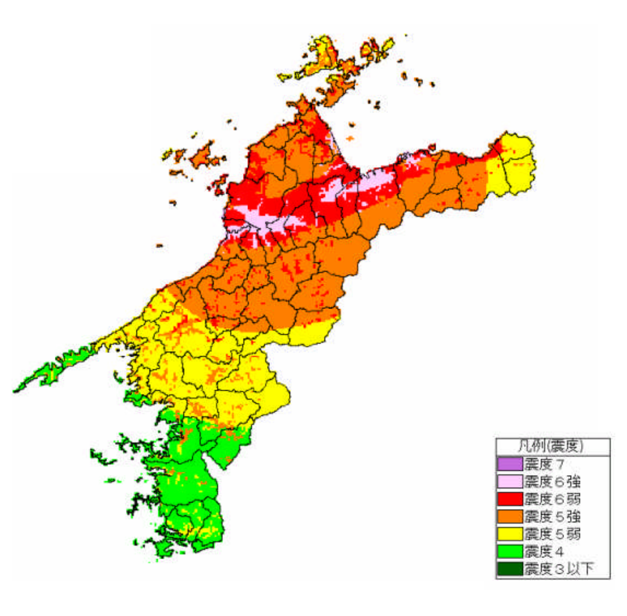
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電戸数(支障率)	上水道 断水世帯数(断水率)	電話・通信 通話機能支障件数
愛媛県全体	想定地震1：川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	94,544(12.5%)	260,616(53.5%)	−
	想定地震2：石鎚－池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	86,209(11.4%)	173,355(46.0%)	−
	想定地震3：伊予断層が活動して発生する地震	55,374(7.3%)	167,139(29.5%)	−
	想定地震4：伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	65,262(8.6%)	121,889(21.5%)	−
	想定地震5：安政南海地震(1854)(相田、1981)	59,378(7.8%)	329,409(58.2%)	−
うち松山市	想定地震1：川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	37,082(16.4%)	114,369(59.4%)	−
	想定地震2：石鎚－池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	33,162(14.7%)	34,149(17.7%)	−
	想定地震3：伊予断層が活動して発生する地震	37,008(16.4%)	101,475(52.7%)	−
	想定地震4：伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	36,312(16.1%)	59,509(30.9%)	−
	想定地震5：安政南海地震(1854)(相田、1981)	16,464(7.3%)	75,837(39.4%)	−

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

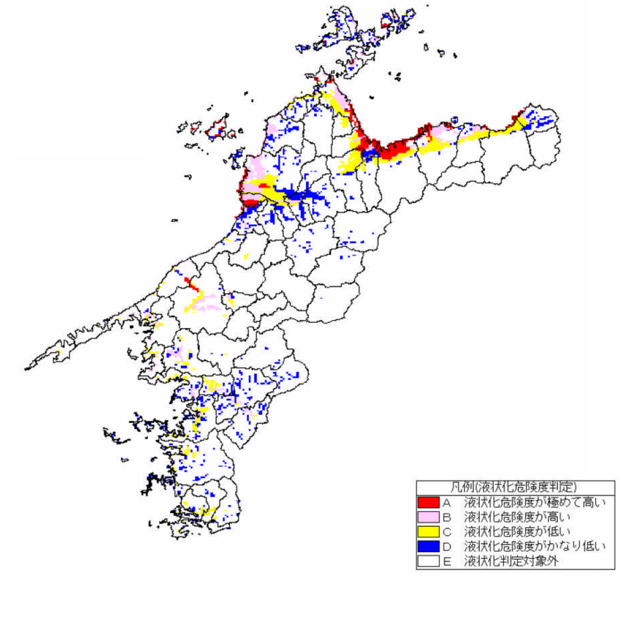
（出典：愛媛県地震被害想定調査報告書　平成 14 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て想定地震１：川上・小松断層ｾｸﾞﾒﾝﾄが活動して発生する地震）

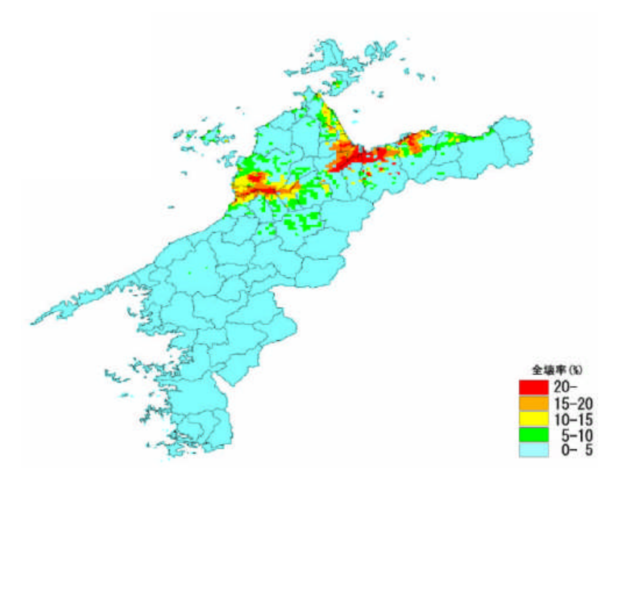
震度分布図



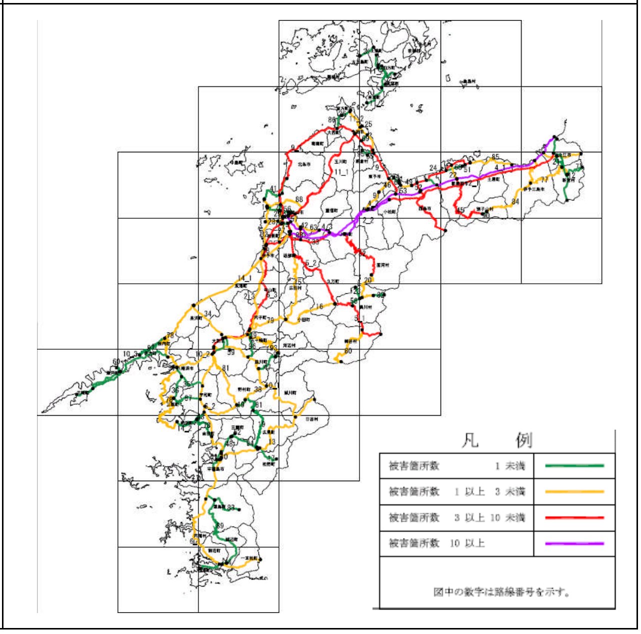
液状化危険度分布図



揺れ・液状化による全建物の全壊率分布図



緊急輸送路線別の被害箇所数



（出典：愛媛県地震被害想定調査報告書　平成 14 年３月）

（39）　高知県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				冬5時	春夏秋の昼	冬18時	冬5時	春夏秋の昼	冬18時
高知県全体	想定南海地震（高知県モデル）	8.4	7	2,638	2,948	3,261	10,766	11,944	13,143
うち高知市	想定南海地震（高知県モデル）	8.4	7	496	614	730	4,604	5,055	5,496

（注）：早朝、避難意識低いという条件下での津波による死者数は県全体では 6,989 人（外数）、高知市では 2,336 人（外数）

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
高知県全体	想定南海地震（高知県モデル）	31,191	50,983	2,132	－	14,042	35,735	11,750	9,942	23,189
うち高知市	想定南海地震（高知県モデル）	7,516	10,339	630	－	5,337	7,454	718	1,182	2,758

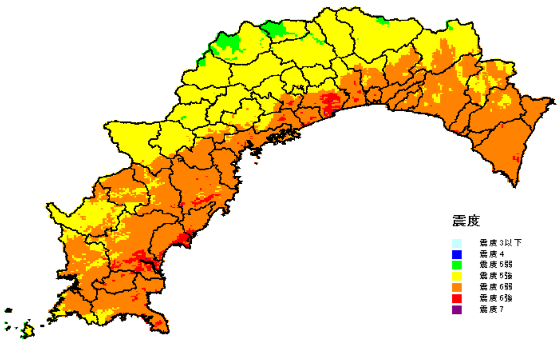
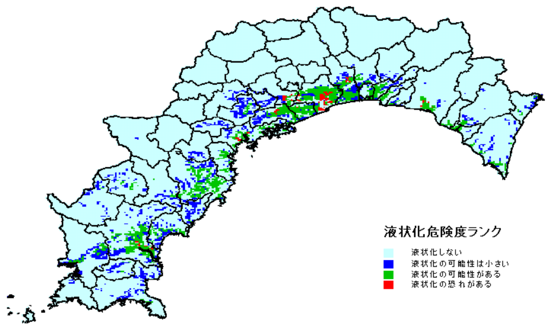
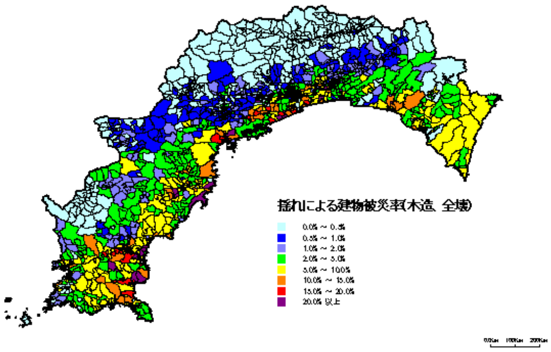
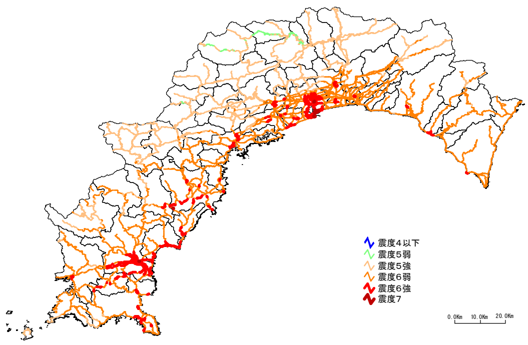
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電世帯数	断水世帯数	通話機能支障件数
高知県全体	想定南海地震（高知県モデル）	－	159,253	－
うち高知市	想定南海地震（高知県モデル）	－	73,934	－

（注）断水世帯数には建物が全半壊した世帯は含んでいない
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：第２次高知県地震対策基礎調査　平成 18 年 7 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て南海地震（高知県モデル））

震度分布図	液状化危険度分布図
	
揺れによる建物被災率（木造、全壊）	道路
	

（出典：第２次高知県地震対策基礎調査　平成 16 年 3 月）

（40） 福岡県

①主な被害想定結果整理表（その１）

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	死者数 冬17-18時	負傷者数 冬17-18時
福岡県全体	小倉東断層北東部の地震	6.5	6弱※	57	904
	西山断層南東部の地震	6.5	6弱※	21	994
	警固断層南東部の地震 M7.0	7.0	6弱※	938	12,648
	警固断層南東部の地震 M7.2	7.2	6強※	1,031	13,742
	水縄断層西部の地震	6.5	6弱※	8	395
	基盤地震動一定	6.5	6弱※	−	−
うち福岡市	小倉東断層北東部の地震	6.5	4※	0	0
	西山断層南東部の地震	6.5	5弱※	1	0
	警固断層南東部の地震 M7.0	7.0	6弱※	681	4,836
	警固断層南東部の地震 M7.2	7.2	6強※	754	5,151
	水縄断層西部の地震	6.5	5弱※	0	0
	基盤地震動一定	6.5	5強※	18	158
うち北九州市	小倉東断層北東部の地震	6.5	6弱※	57	904
	西山断層南東部の地震	6.5	5弱※	0	0
	警固断層南東部の地震 M7.0	7.0	5弱※	0	0
	警固断層南東部の地震 M7.2	7.2	5強※	0	0
	水縄断層西部の地震	6.5	4※	0	0
	基盤地震動一定	6.5	5強※	15	270
うち久留米市	小倉東断層北東部の地震	6.5	4※	0	0
	西山断層南東部の地震	6.5	4※	0	0
	警固断層南東部の地震 M7.0	7.0	6弱※	4	275
	警固断層南東部の地震 M7.2	7.2	6弱※	6	343
	水縄断層西部の地震	6.5	6弱※	8	282
	基盤地震動一定	6.5	5強※	0	30

※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	揺れ＋液状化 全壊数（全壊率）	揺れ＋液状化 半壊数（半壊率）	火災[最大] 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
福岡県全体	小倉東断層北東部の地震	567 (0.03%)	775 (0.04%)	0	−	−	−	−
	西山断層南東部の地震	230 (0.01%)	980 (0.05%)	0	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.0	13,039 (0.65%)	18,830 (0.94%)	146	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.2	14,438 (0.72%)	20,501 (1.02%)	175	−	−	−	−
	水縄断層西部の地震	90 (0.00%)	677 (0.03%)	0	−	−	−	−
	基盤地震動一定	−	−	−	−	−	−	−
うち福岡市	小倉東断層北東部の地震	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	西山断層南東部の地震	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.0	9,263 (3.02%)	11,357 (3.71%)	146	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.2	10,285 (3.36%)	11,928 (3.89%)	174	−	−	−	−
	水縄断層西部の地震	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	基盤地震動一定	30 (0.01%)	379 (0.12%)	0	−	−	−	−
うち北九州市	小倉東断層北東部の地震	567 (0.17%)	775 (0.23%)	0	−	−	−	−
	西山断層南東部の地震	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	水縄断層西部の地震	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	基盤地震動一定	75 (0.02%)	485 (0.14%)	0	−	−	−	−
うち久留米市	小倉東断層北東部の地震	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	西山断層南東部の地震	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.0	79 (0.05%)	166 (0.10%)	0	−	−	−	−
	警固断層南東部の地震 M7.2	114 (0.07%)	296 (0.18%)	0	−	−	−	−
	水縄断層西部の地震	82 (0.05%)	554 (0.34%)	0	−	−	−	−
	基盤地震動一定	2 (0.00%)	22 (0.01%)	0	−	−	−	−

（注）全壊数＝木造全壊＋非木造大破、半壊数＝木造半壊＋非木造中破
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

①主な被害想定結果整理表（その２）

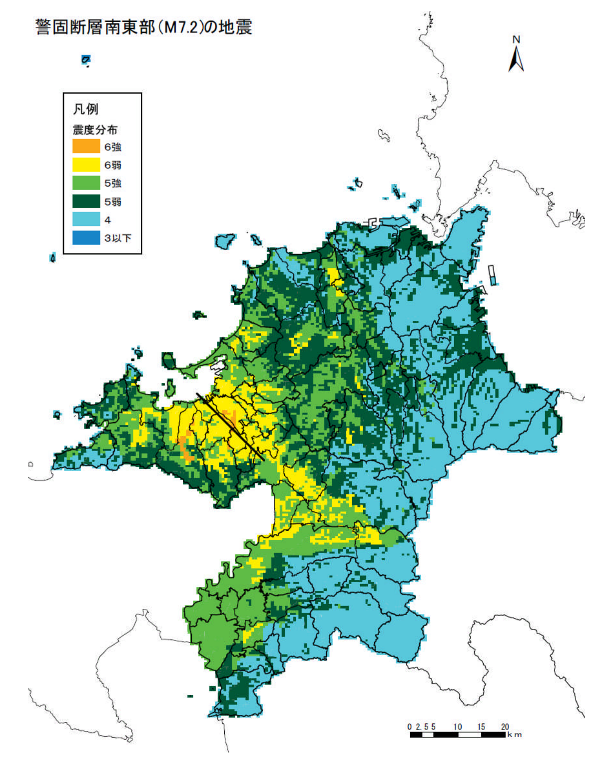
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電世帯数(支障率)	断水人口	通話機能支障回線数(支障率)
福岡県全体	小倉東断層北東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	西山断層南東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	警固断層南東部の地震 M7.0	80,959(2.58%)	−	4,520(0.20%)
	警固断層南東部の地震 M7.2	125,404(4.00%)	−	9,949(0.44%)
	水縄断層西部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	基盤地震動一定	−	−	−
うち福岡市	小倉東断層北東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	西山断層南東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	警固断層南東部の地震 M7.0	57,069(7.34%)	−	3,398(0.64%)
	警固断層南東部の地震 M7.2	69,501(8.94%)	−	6,188(1.18%)
	水縄断層西部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	基盤地震動一定	0(0.0%)	−	0(0.0%)
うち北九州市	小倉東断層北東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	西山断層南東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	警固断層南東部の地震 M7.0	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	警固断層南東部の地震 M7.2	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	水縄断層西部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	基盤地震動一定	0(0.0%)	−	0(0.0%)
うち久留米市	小倉東断層北東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	西山断層南東部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	警固断層南東部の地震 M7.0	4,557(2.44%)	−	66(0.06%)
	警固断層南東部の地震 M7.2	8,004(4.29%)	−	131(0.12%)
	水縄断層西部の地震	0(0.0%)	−	0(0.0%)
	基盤地震動一定	0(0.0%)	−	0(0.0%)

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

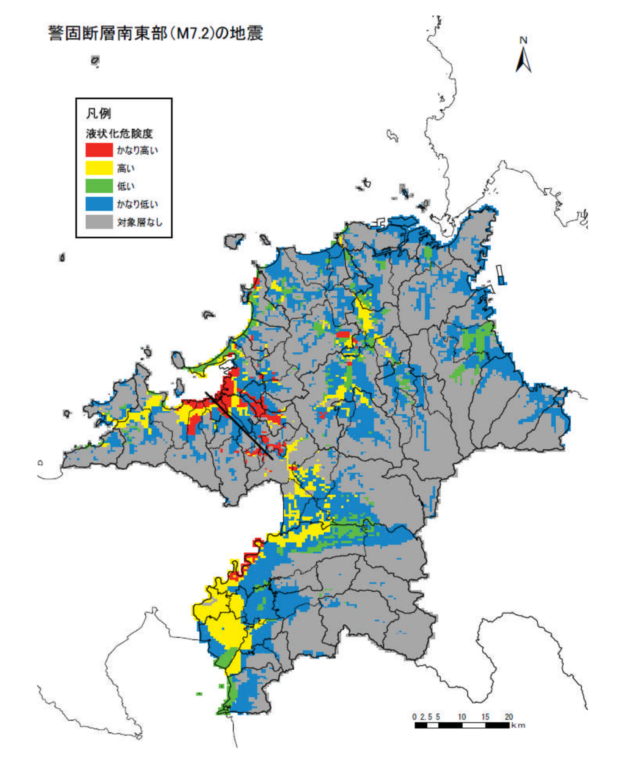
（出典：地震に関する防災アセスメント調査報告書　平成 18 年 12 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て警固断層南東部の地震（M7.2））（その１）

震度分布図

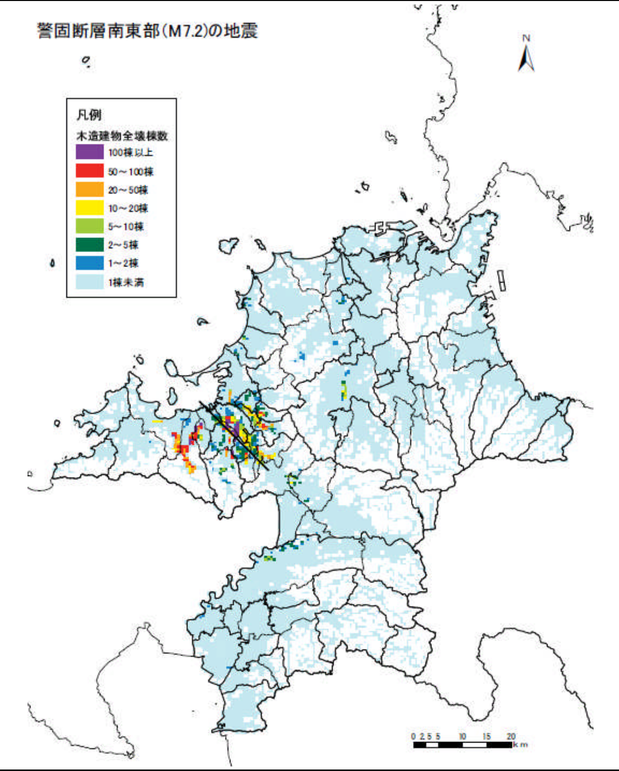


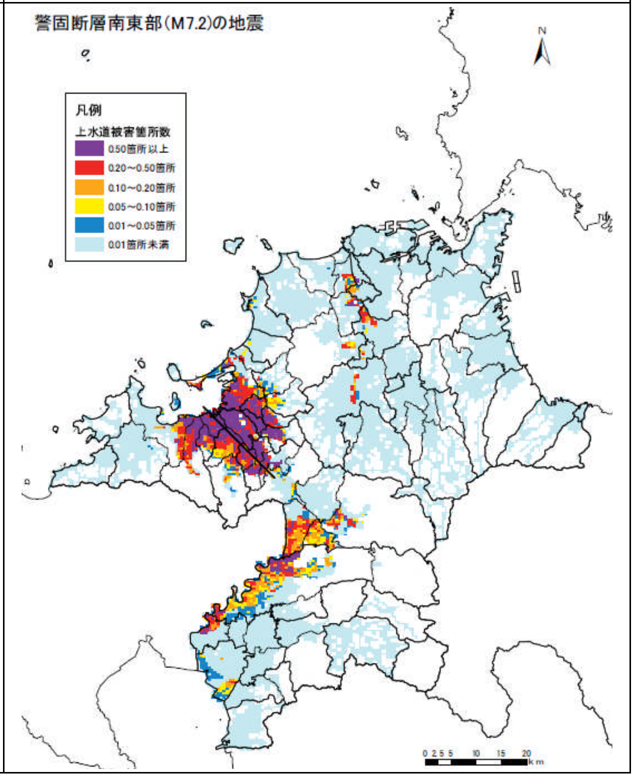
液状化危険度分布図



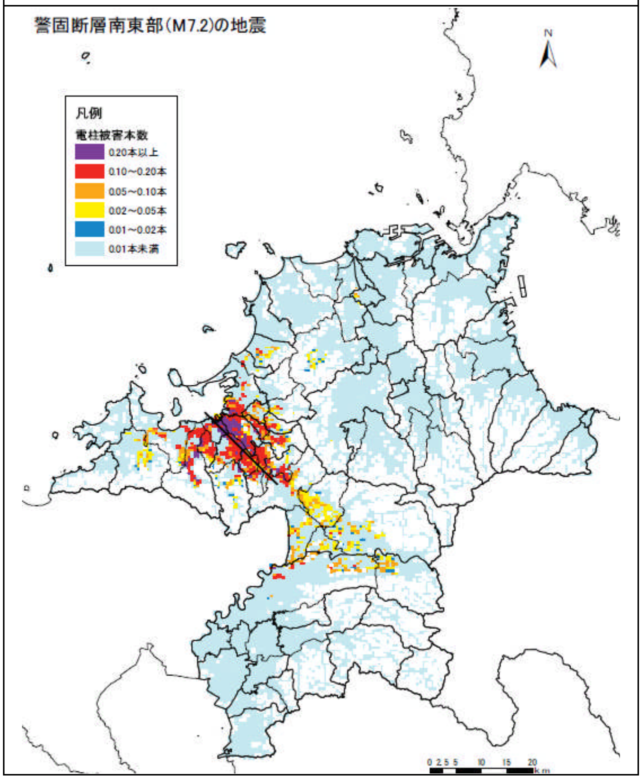
②主な被害想定結果図面（以下は全て警固断層南東部の地震（M7.2））（その２）

木造建物全壊棟数分布図	上水道被害箇所数





電力（電柱）被害想定本数分布図



（出典：地震に関する防災アセスメント調査報告書　平成 18 年 12 月）

(41)　佐賀県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害	
				死者数	負傷者数
佐賀県全体	川久保断層震源	6.8	6強※	817(建物被害に伴う死者数)	8,523(建物被害に伴う負傷者数)
	雲仙地溝南縁断層帯の連動地震(有明海沿岸)	7.7	－	若干数	若干数
	対馬海峡東の断層の地震(玄界灘沿岸)	8.0	－	－	304
うち佐賀市	川久保断層震源	6.8	6強※	－	－
	雲仙地溝南縁断層帯の連動地震(有明海沿岸)	7.7	－	若干数	若干数

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

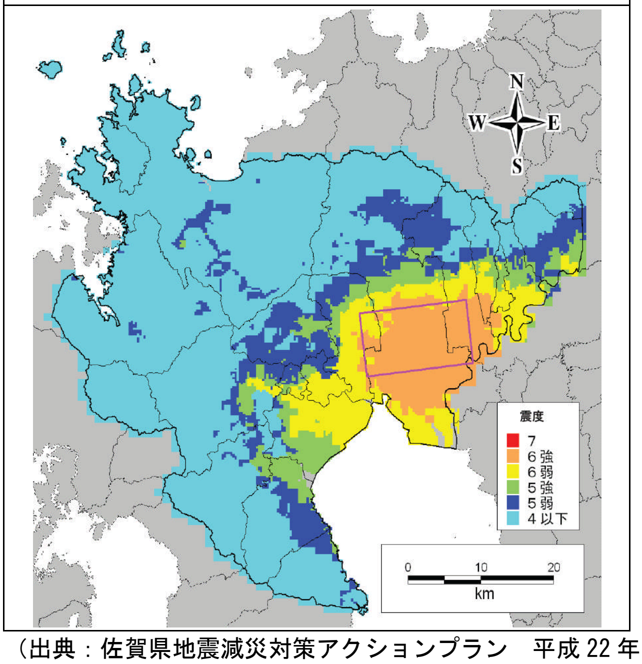
都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊	半壊	全壊	半壊	焼失数	全壊	半壊	全壊	半壊
佐賀県全体	川久保断層震源	17,582	38,914	－	－	－	－	－	－	－
	雲仙地溝南縁断層帯の連動地震(有明海沿岸)	－	－	－	－	－	若干数	若干数	－	－
	対馬海峡東の断層の地震(玄界灘沿岸)	－	－	－	－	－	若干数	218	－	－
うち佐賀市	川久保断層震源	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	雲仙地溝南縁断層帯の連動地震(有明海沿岸)	－	－	－	－	－	若干数	若干数	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：佐賀県地震減災対策アクションプラン　平成 22 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は川久保断層系の地震）

震度分布図



（出典：佐賀県地震減災対策アクションプラン　平成 22 年 3 月）

（42）　長崎県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 夏5時	人的被害 死者数 冬18時	人的被害 負傷者数 夏5時	人的被害 負傷者数 冬18時
長崎県全体	雲仙地溝北縁断層帯	7.3	6強	1,088	1,158	14,633	－
	雲仙地溝南縁東部断層帯と西部断層帯の連動	7.7	7	2,150	2,235	12,660	－
	島原沖断層群	6.8	6弱	36	43	2,061	－
	橘湾西部断層帯	6.9	6弱	128	166	3,798	－
	大村―諫早北西付近断層帯	7.1	6強	423	443	6,087	－
うち長崎市	雲仙地溝北縁断層帯	7.3	6弱	353	371	7,171	－
	雲仙地溝南縁東部断層帯と西部断層帯の連動	7.7	6強	1,204	1,241	5,844	－
	島原沖断層群	6.8	5弱	0	0	3	－
	橘湾西部断層帯	6.9	6弱	112	150	3,304	－
	大村―諫早北西付近断層帯	7.1	6弱	59	59	876	－

（注）死者数は揺れ＋崖崩れ＋火災による被害者、負傷者数は建物被害によるもののみの値
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 大破数	揺れ 中破数	液状化 大破数	液状化 中破数	火災[最大] 焼失数(焼失率)	津波 大破数	津波 中破数	崖崩れ 大破数	崖崩れ 中破数
長崎県全体	雲仙地溝北縁断層帯	18,704	17,902	239	655	10,855(30.94%)	－	－	361	－
	雲仙地溝南縁東部断層帯と西部断層帯の連動	33,389	23,729	290	786	12,201(27.09%)	－	－	583	－
	島原沖断層群	1,476	2,579	32	114	810(30.52%)	－	－	10	－
	橘湾西部断層帯	298	1,064	75	229	2,373(52.83%)	－	－	178	－
	大村―諫早北西付近断層帯	5,421	5,561	247	644	2,601(22.75%)	－	－	254	－
うち長崎市	雲仙地溝北縁断層帯	4,067	4,716	34	105	3,029(32.2%)	－	－	108	－
	雲仙地溝南縁東部断層帯と西部断層帯の連動	15,609	9,878	68	180	4,852(26.77%)	－	－	263	－
	島原沖断層群	0	0	0	0	0(0%)	－	－	0	－
	橘湾西部断層帯	296	987	57	156	2,373(52.83%)	－	－	148	－
	大村―諫早北西付近断層帯	6	132	27	90	15(3.49%)	－	－	92	－

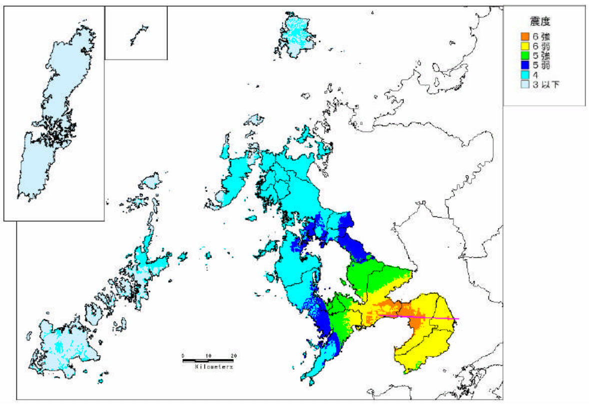
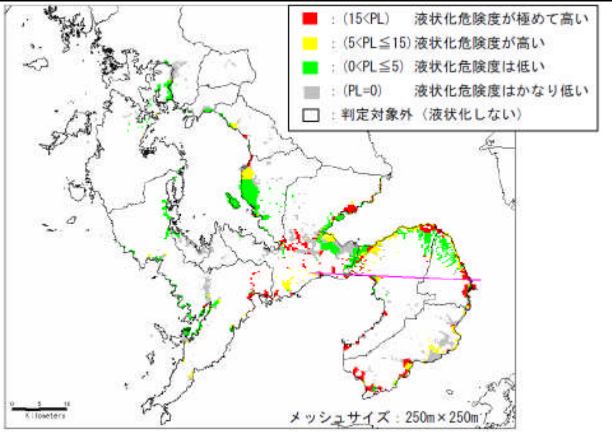
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

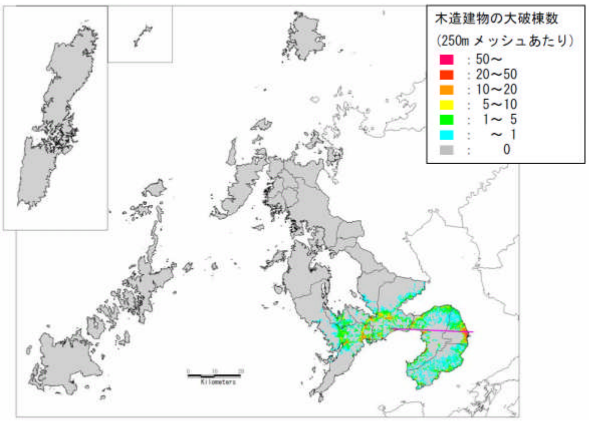
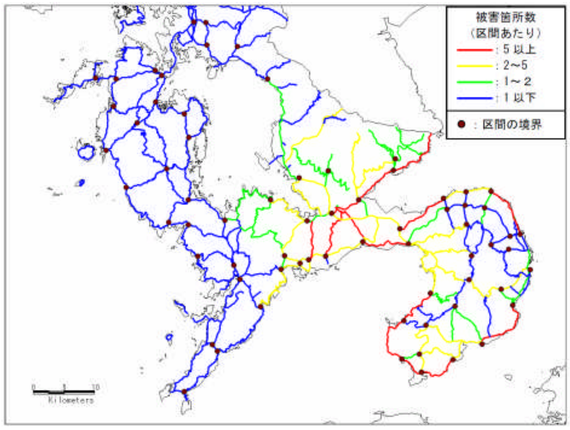
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電率	上水道 断水率	電話・通信 通話機能支障率
長崎県全体	雲仙地溝北縁断層帯	－	－	－
	雲仙地溝南縁東部断層帯と西部断層帯の連動	－	－	－
	島原沖断層群	－	－	－
	橘湾西部断層帯	－	－	－
	大村―諫早北西付近断層帯	－	－	－
うち長崎市	雲仙地溝北縁断層帯	8%	63%	0.7%
	雲仙地溝南縁東部断層帯と西部断層帯の連動	12%	82%	3.7%
	島原沖断層群	0%	3%	0.0%
	橘湾西部断層帯	8%	14%	1.0%
	大村―諫早北西付近断層帯	7%	17%	0.6%

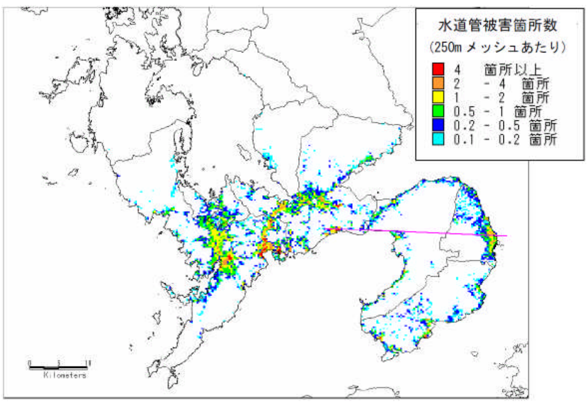
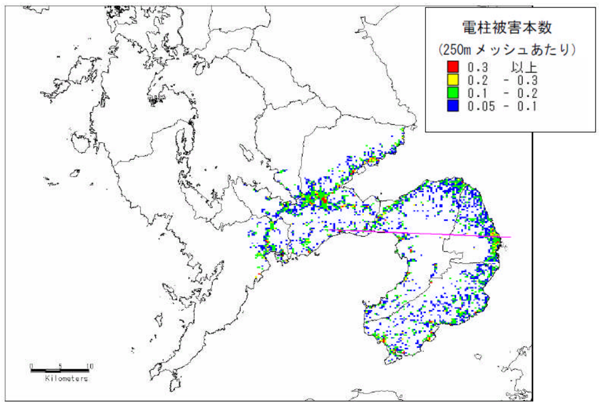
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：長崎県地震等防災アセスメント調査報告書　平成 18 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て雲仙地溝北縁断層帯の地震）

震度分布図	液状化危険度分布図
	

揺れによる木造建物大破棟数分布	道路の切土・盛土、橋梁及び斜面についての被害予測結果
	

上水道管被害予測結果	電柱被害予測結果
	

（出典：長崎県地震等防災アセスメント調査報告書　平成 18 年 3 月）

（43） 熊本県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬未明(5:46)	人的被害 負傷者数 冬未明(5:46)
熊本県全体（市街地部、山間部、島しょう部合計）	超大規模地震(兵庫県南部地震と同程度)	7.2	－	1,422	8,092
	大規模地震(関東大地震との中間規模)	6.9	－	572	4,703
うち熊本市（市街地部）	超大規模地震(兵庫県南部地震と同程度)	7.2	－	908	6,458
	大規模地震(関東大地震との中間規模)	6.9	－	365	3,753

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ＋液状化 全壊数	揺れ＋液状化 半壊数	火災[最大] 焼失数	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
熊本県全体（市街地部、山間部、島しょう部合計）	超大規模地震(兵庫県南部地震と同程度)	34,346		107	－	－	－	－
	大規模地震(関東大地震との中間規模)	16,547		107	－	－	－	－
うち熊本市（市街地部）	超大規模地震(兵庫県南部地震と同程度)	26,826		85	－	－	－	－
	大規模地震(関東大地震との中間規模)	12,922		85	－	－	－	－

（注）揺れ＋液状化による建物倒壊数は全壊・半壊の区別なし
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

（出典：熊本県震災対策指針　平成９年３月）

（44）　大分県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬5時	人的被害 死者数 冬18時	人的被害 負傷者数 冬5時	人的被害 負傷者数 冬18時
大分県全体	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ東）	7.0	7※	2,019	2,247	6,998	7,497
	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）	7.0	7※	2,362	2,555	6,966	7,448
	崩平山ー万年山地溝 北縁断層帯	6.8	6強※	27	24	335	315
	周防灘断層帯	7.0	6弱※	1	1	36	41
	プレート内	7.4	6強※	23	27	646	802
	東南海・南海地震	8.6	5強※	118	45	194	94
うち大分市	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ東）	7.0	7※	1,312	1,420	4,667	4,768
	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）	7.0	7※	1,480	1,574	4,792	4,874
	崩平山ー万年山地溝 北縁断層帯	6.8	6弱※	ー	ー	1	7
	周防灘断層帯	7.0	5弱※	ー	ー	0	0
	プレート内	7.4	6強※	18	21	470	579
	東南海・南海地震	8.6	5強※	ー	0	17	23

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害 揺れ 全壊数	揺れ 半壊数	液状化 全壊数	液状化 半壊数	火災[最大] 焼失数（焼失率）	津波 全壊数	津波 半壊数	崖崩れ 全壊数	崖崩れ 半壊数
大分県全体	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ東）	49,158	34,906	1,789	2,954	10,474(2%)	－	－	58	－
	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）	57,409	38,752	1,793	2,962	10,691(2%)	－	－	58	－
	崩平山ー万年山地溝 北縁断層帯	1,736	2,891	292	461	－	－	－	6	－
	周防灘断層帯	80	372	118	195	－	－	－	－	－
	プレート内	968	3,165	2,386	3,903	－	－	－	7	－
	東南海・南海地震	29	119	63	107	－	1,524	3,929	－	－
うち大分市	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ東）	27,947	19,987	1,351	2,301	3,584(2%)	－	－	45	－
	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）	31,573	20,873	1,355	2,306	3,429(2%)	－	－	38	－
	崩平山ー万年山地溝 北縁断層帯	2	6	119	210	－	－	－	－	－
	周防灘断層帯	0	－	1	1	－	－	－	－	－
	プレート内	663	1,816	1,335	2,271	－	－	－	4	－
	東南海・南海地震	24	78	30	55	－	－	339	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

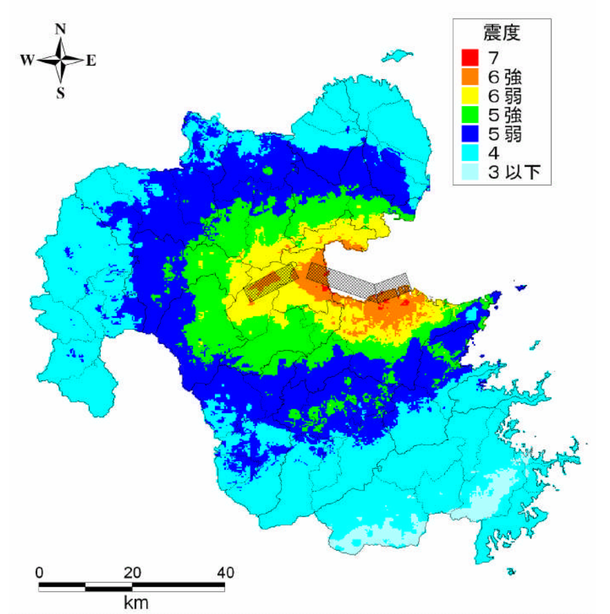
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数	上水道 断水人口（断水率）	電話・通信 通話機能支障件数
大分県全体	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ東）	－	610,754(57%)	－
	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）	－	616,777(57%)	－
	崩平山ー万年山地溝 北縁断層帯	－	21,689(2%)	－
	周防灘断層帯	－	1,761(0%)	－
	プレート内	－	223,092(21%)	－
	東南海・南海地震	－	957(0%)	－
うち大分市	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ東）	－	442,921(97%)	－
	別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）	－	445,127(97%)	－
	崩平山ー万年山地溝 北縁断層帯	－	27(0%)	－
	周防灘断層帯	－	ー	－
	プレート内	－	206,683(45%)	－
	東南海・南海地震	－	946(0%)	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

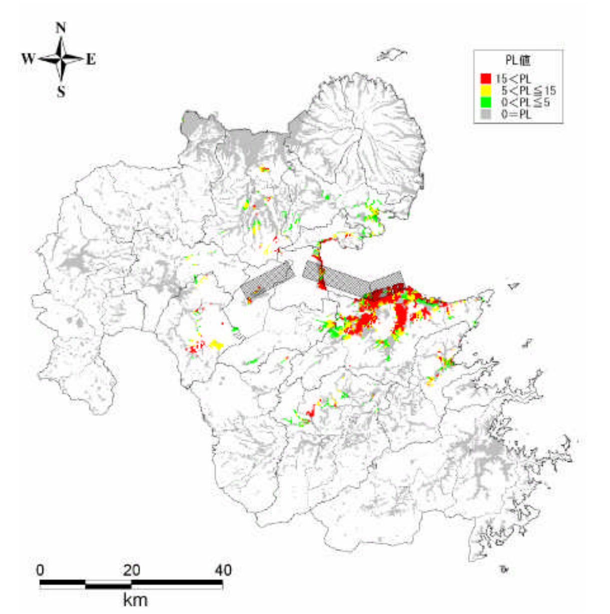
（出典：大分県地震被害想定調査報告書　平成 20 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）の地震）（その１）

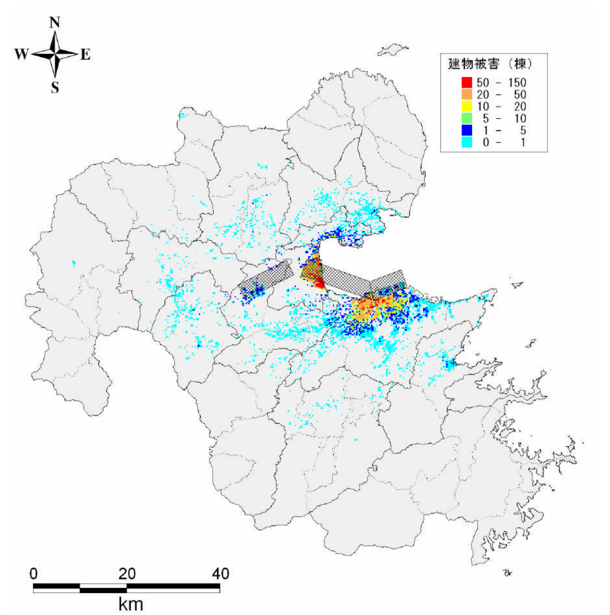
震度分布図



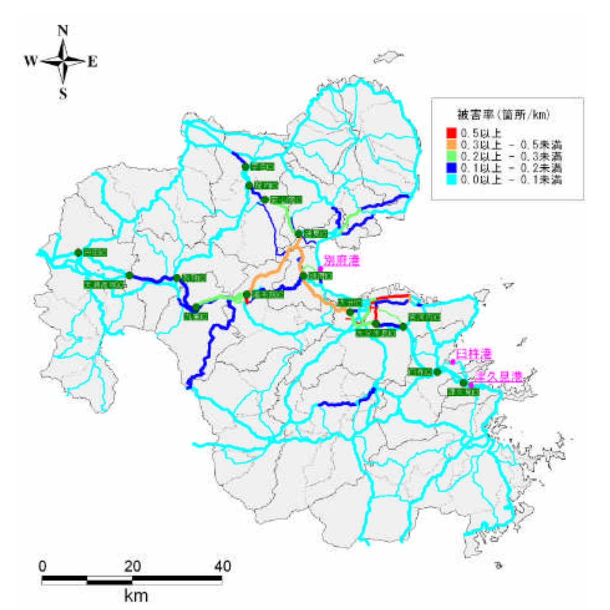
液状化危険度分布図



揺れ・液状化による全・半壊棟数

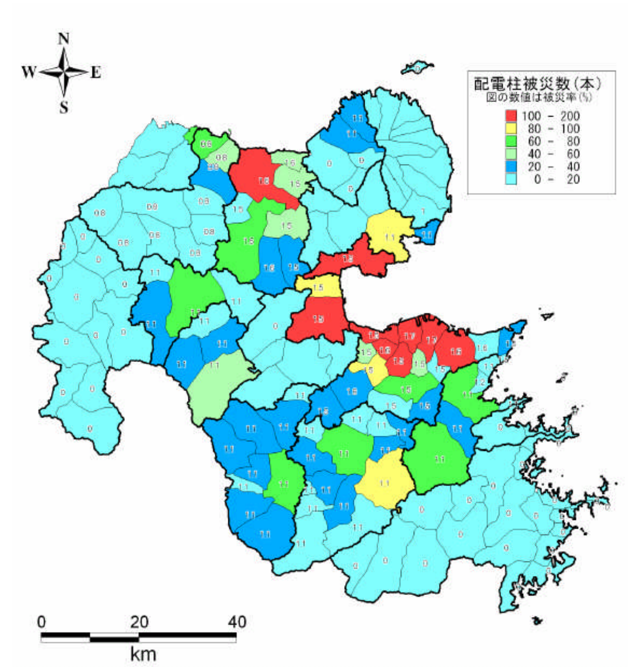


交通被災



②主な被害想定結果図面（以下は全て別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）の地震）（その２）

配電柱被災



（出典：大分県地震被害想定調査報告書　平成 20 年 3 月）

(45)　宮崎県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害					
				死者数			負傷者数		
				夏昼	冬夜	津波	夏昼	冬夜	津波
宮崎県全体	日向灘南部地震	7.5	6強	361	882	672	30,202	31,959	4,321
	日向灘北部地震	7.5	6強	241	331	672	21,642	23,246	4,321
	えびのー小林地震	6.5	6強	77	105	－	9,169	10,035	－
うち宮崎市	日向灘南部地震	7.5	6強※	187	646	48	18,457	19,901	118
	日向灘北部地震	7.5	6強※	60	83	48	7,710	8,651	118
	えびのー小林地震	6.5	6弱※	33	46	－	5,231	6,003	－

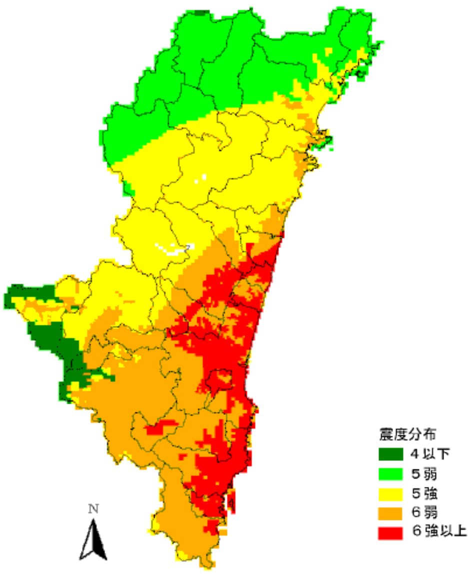
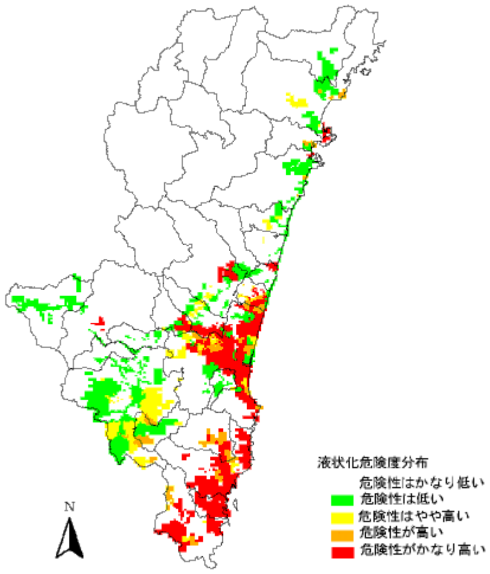
※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）人的被害のうち津波によるものについては、東南海・南海地震のデータを最大被害として採用

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害				
		揺れ＋液状化		火災[最大]	津波	
		全壊数	半壊数	焼失数	大破数	中破数
宮崎県全体	日向灘南部地震	22,644	45,924	4,469	5,155	6,173
	日向灘北部地震	14,367	30,199	3,283	5,155	6,173
	えびのー小林地震	4,401	12,823	1,213	－	－
うち宮崎市	日向灘南部地震	12,496	23,060	3,408	309	570
	日向灘北部地震	3,629	7,024	1,318	309	570
	えびのー小林地震	1,987	3,593	860	－	－

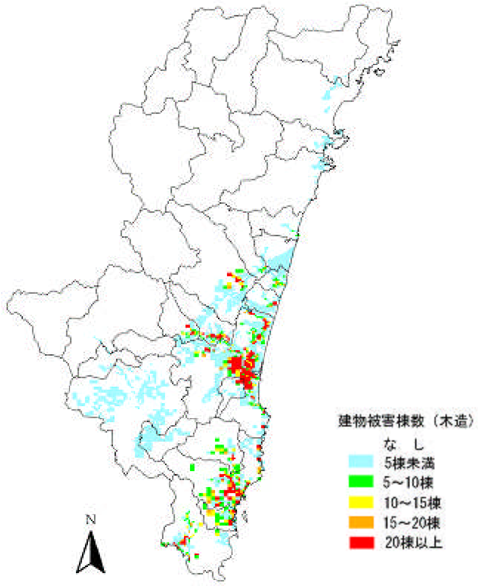
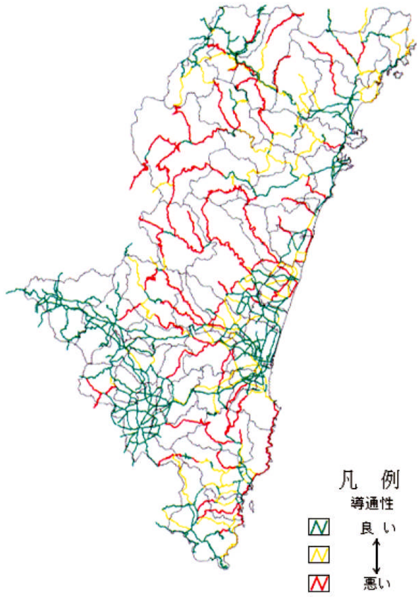
（注）全壊数＝木造全壊数＋非木造大破数、半壊数＝木造半壊数＋非木造中破数
（注）建物被害のうち津波によるものについては、東南海・南海地震のデータを最大被害として採用
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

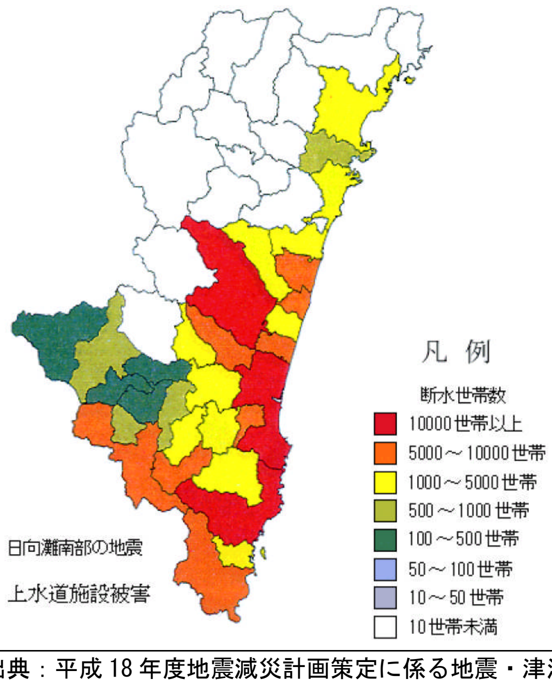
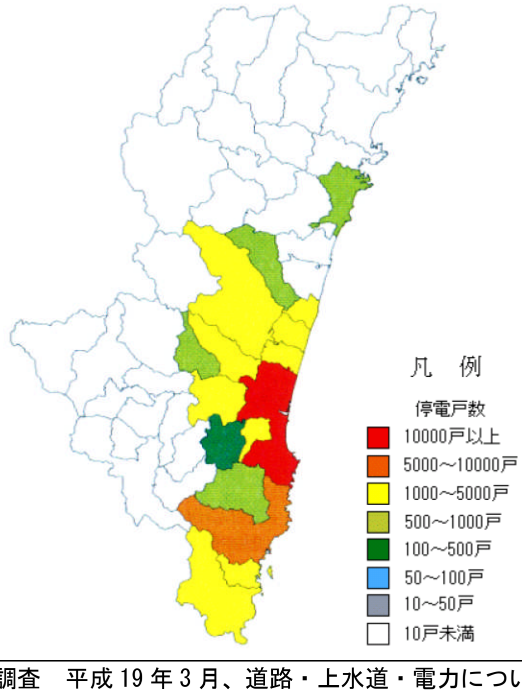
（出典：平成 18 年度地震減災計画策定に係る地震・津波被害想定調査　平成 19 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て日向灘南部地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度予測
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て日向灘南部地震）（その２）

木造建築物被害棟数分布図（木造全壊）	道路　区間導通確率分布図
	

上水道施設被害	電力の被害分布図
	

（出典：平成 18 年度地震減災計画策定に係る地震・津波被害想定調査　平成 19 年 3 月、道路・上水道・電力については、宮崎県地震被害想定調査報告書（概要版）　平成 15 年 3 月）

（46） 鹿児島県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害	
				死者数	負傷者数
				冬夕刻	冬夕刻
鹿児島県全体	鹿児島湾直下	7.1	6弱	1,664	11,873
	日向灘	7.8	6弱	257	2,841
	奄美大島近海	8.0	6強	114	1,910
	県北部直下	6.5	6弱	129	1,277
	県西部直下	6.5	6弱	197	2,059
うち鹿児島市	鹿児島湾直下	7.1	6弱※	1,272	5,290
	日向灘	7.8	5弱※	15	82
	奄美大島近海	8.0	4※	0	0
	県北部直下	6.5	5弱※	7	15
	県西部直下	6.5	6弱※	40	969

※最大震度は震度分布図より読み取った値である
（注）鹿児島市の被害想定データは、旧鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町の合計値

都道府県名／市町村名	想定地震名	揺れ＋液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	焼失数	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
鹿児島県全体	鹿児島湾直下	17,542	65,593	1,242	－	－	－	－
	日向灘	3,452	14,431	3	－	－	－	－
	奄美大島近海	4,146	7,034	41	－	－	－	－
	県北部直下	1,183	7,340	8	－	－	－	－
	県西部直下	2,275	11,472	5	－	－	－	－
うち鹿児島市	鹿児島湾直下	8,609	31,061	1,216	－	－	－	－
	日向灘	7	555	0	－	－	－	－
	奄美大島近海	0	0	0	－	－	－	－
	県北部直下	0	90	0	－	－	－	－
	県西部直下	1,363	5,336	4	－	－	－	－

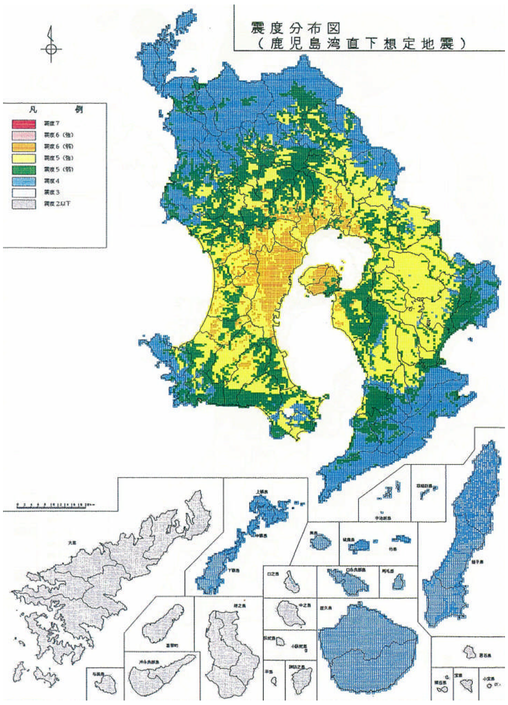
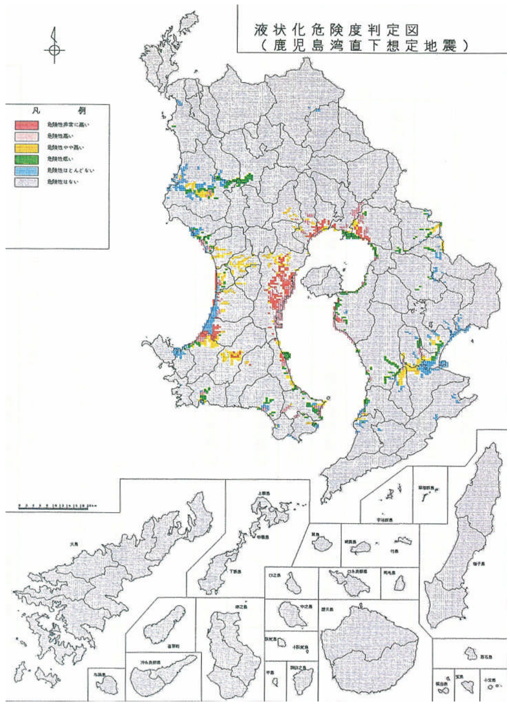
（注）全壊数＝木造大破＋RC 系大破＋S 系大破＋その他の建物大破、半壊数＝木造中破＋RC 系中破＋S 系中破＋その他の建物中破
（注）鹿児島市の被害想定データは、旧鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町の合計値
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

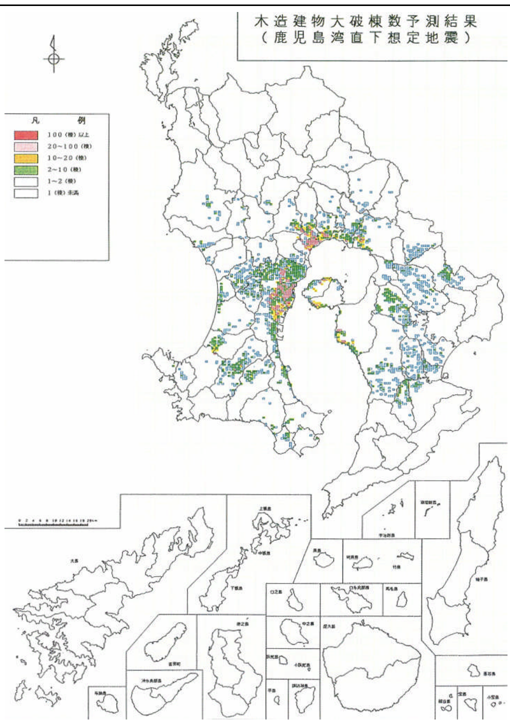
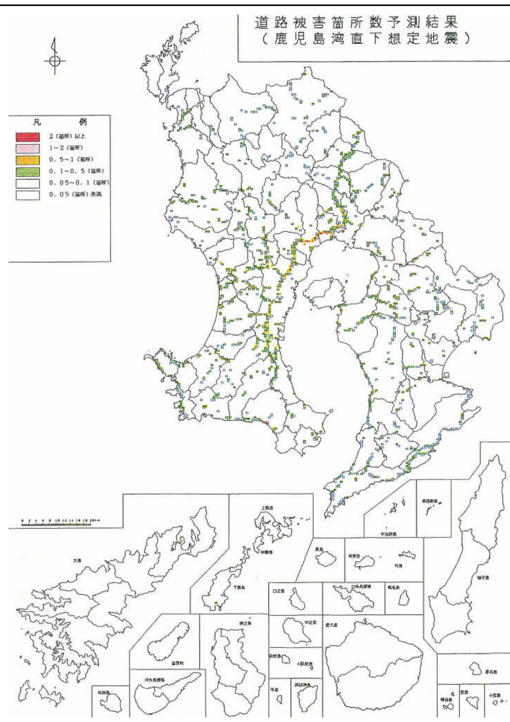
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話･通信
		停電世帯数	断水戸数(断水率)	通話機能支障件数
鹿児島県全体	鹿児島湾直下	－	374,342(0.53%)	－
	日向灘	－	43,041(0.06%)	－
	奄美大島近海	－	36,310(0.05%)	－
	県北部直下	－	16,923(0.02%)	－
	県西部直下	－	176,901(0.25%)	－
うち鹿児島市	鹿児島湾直下	－	229,764	－
	日向灘	－	700	－
	奄美大島近海	－	0	－
	県北部直下	－	0	－
	県西部直下	－	118,480	－

（注）鹿児島市の被害想定データは、旧鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町の合計値
（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

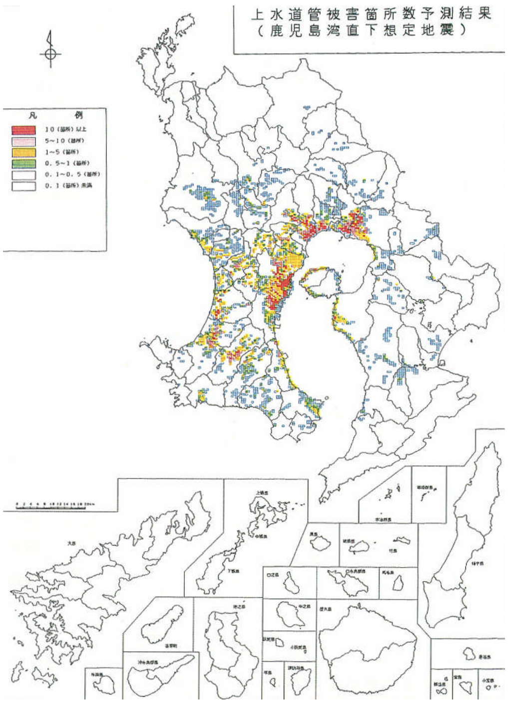
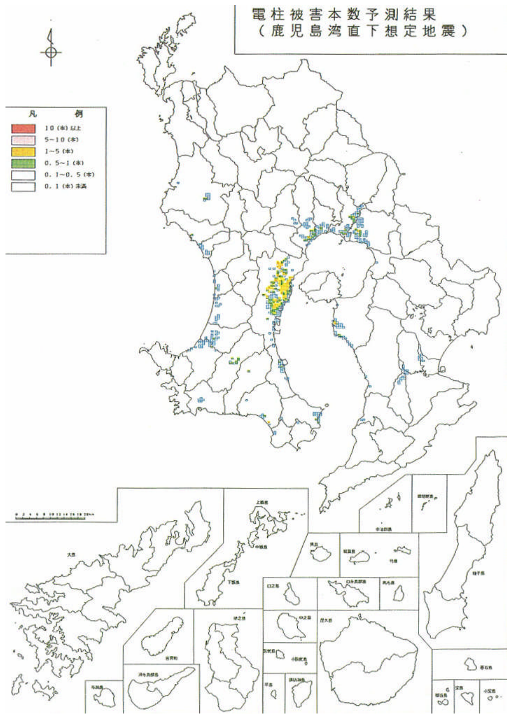
（出典：鹿児島県地震被害想定調査報告書　平成 9 年 3 月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て鹿児島湾直下の地震）（その１）

震度分布図	液状化危険度判定図
	

木造建物大破棟数予測結果	道路被害箇所数予測結果
	

②主な被害想定結果図面（以下は全て鹿児島湾直下の地震）（その２）

上水道管被害箇所数予測結果	電柱被害本数予測結果
	

（出典：鹿児島県地震被害想定調査報告書　平成９年３月）

（47）　沖縄県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模マグニチュード	最大震度	人的被害 死者数 冬夕刻	人的被害 負傷者数 冬夕刻
沖縄県全体	沖縄本島南西沖地震	8.0	6弱※	1,012	3,689
	多良間島南方沖地震	7.4	5強※	36	162
うち那覇市	沖縄本島南西沖地震	8.0	6弱※	751	1,349
	多良間島南方沖地震	7.4	2以下※	0	0

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	揺れ＋液状化 大破数（大破率）	揺れ＋液状化 中破数（中破率）	火災［最大］ 焼失数	津波 大破数	津波 中破数	崖崩れ 大破数	崖崩れ 中破数
沖縄県全体	沖縄本島南西沖地震	16,425(4.448%)	24,029(6.506%)	－	－	－	－	－
	多良間島南方沖地震	330(0.089%)	1,549(0.419%)	－	－	－	－	－
うち那覇市	沖縄本島南西沖地震	7,122(8.714%)	8,861(10.841%)	－	－	－	－	－
	多良間島南方沖地震	0(0.00%)	0(0.00%)	－	－	－	－	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

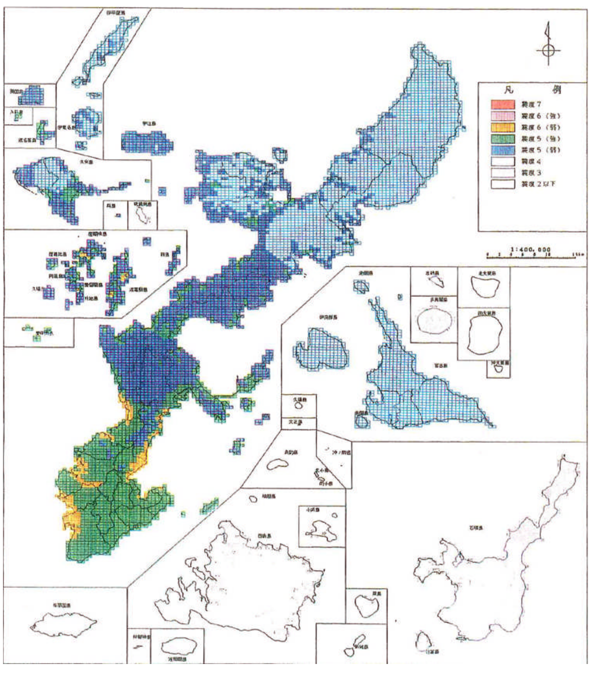
都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン 電力 停電世帯数	ライフライン 上水道 断水率	ライフライン 電話・通信 通話機能支障件数
沖縄県全体	沖縄本島南西沖地震	－	0.71%	－
	多良間島南方沖地震	－	0%	－
うち那覇市	沖縄本島南西沖地震	－	1%	－
	多良間島南方沖地震	－	0%	－

（注）表内の「－」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

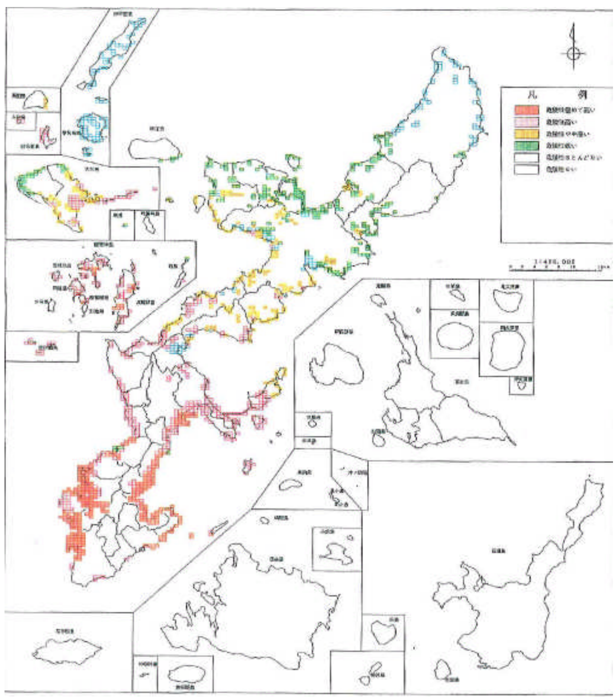
（出典：沖縄県地震被害想定調査報告書　平成９年３月）

②主な被害想定結果図面（以下は全て沖縄本島南西沖地震）（その１）

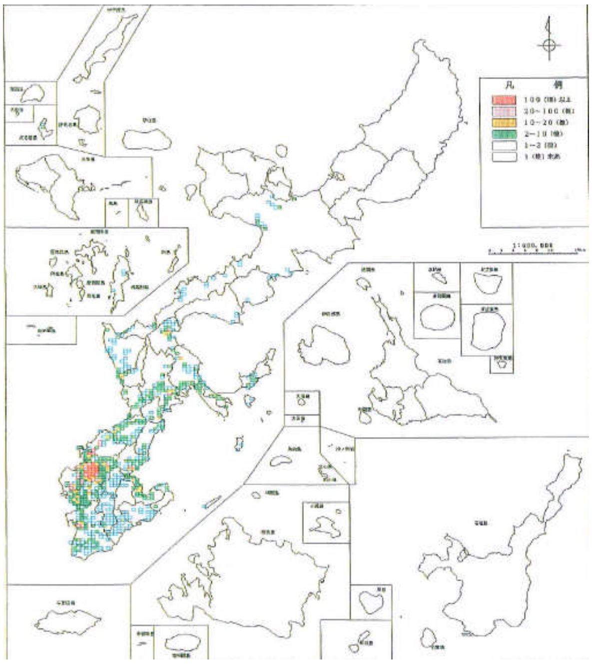
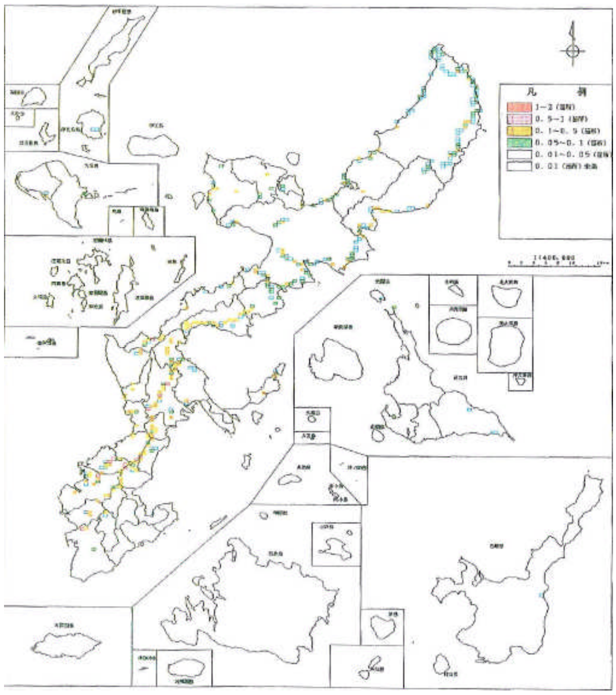
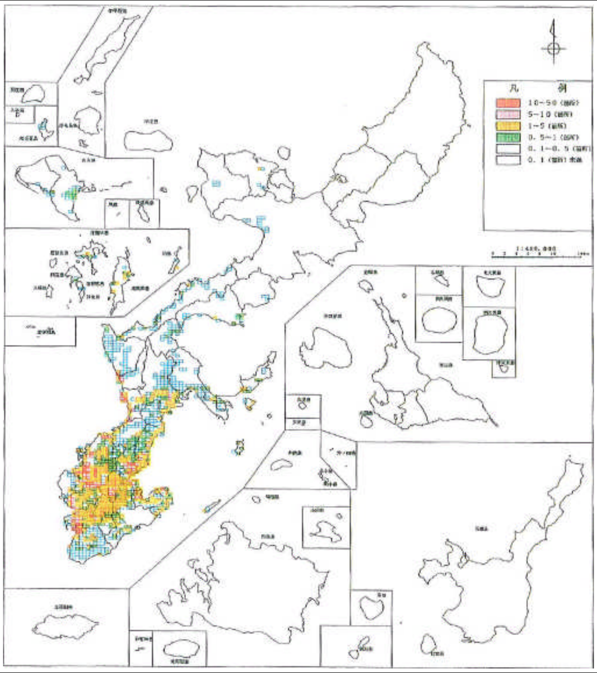
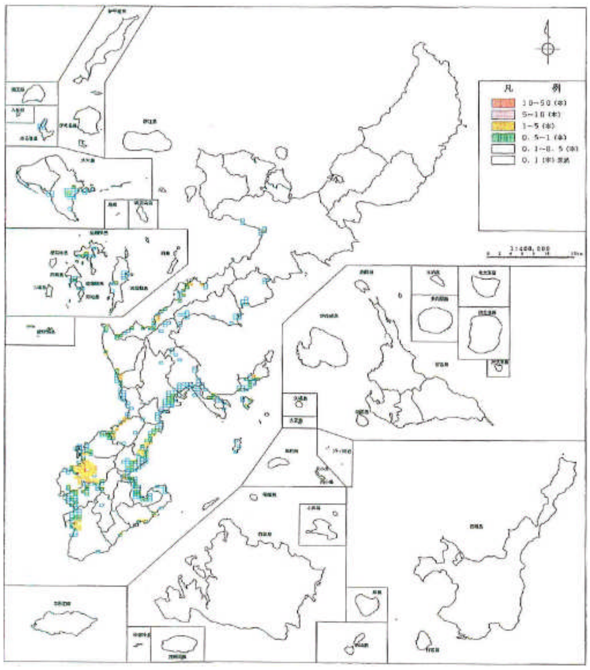
震度分布図



液状化危険度分布図



②主な被害想定結果図面（以下は全て沖縄本島南西沖地震）（その２）

木造建物被害棟数予測結果	道路被害箇所数予測結果
	
上水道管被害箇所数予測結果	**電柱被害本数予測結果**
	

（出典：沖縄県地震被害想定調査報告書　平成９年３月）